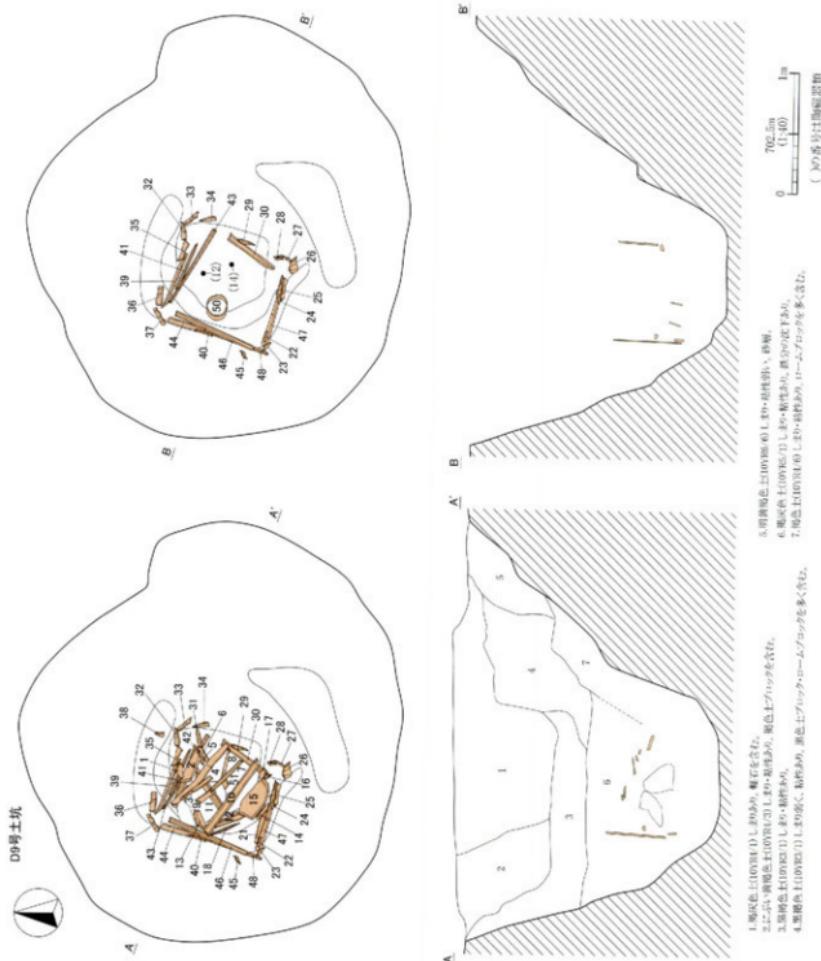
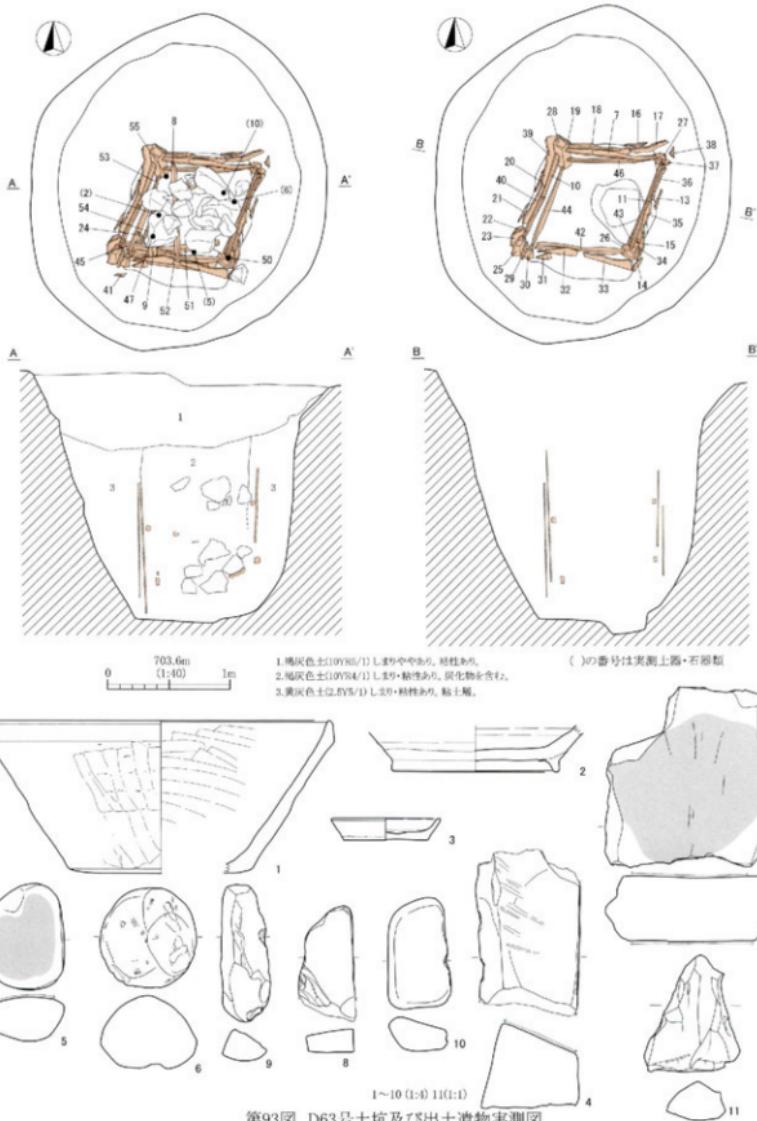


(12) D9号土坑

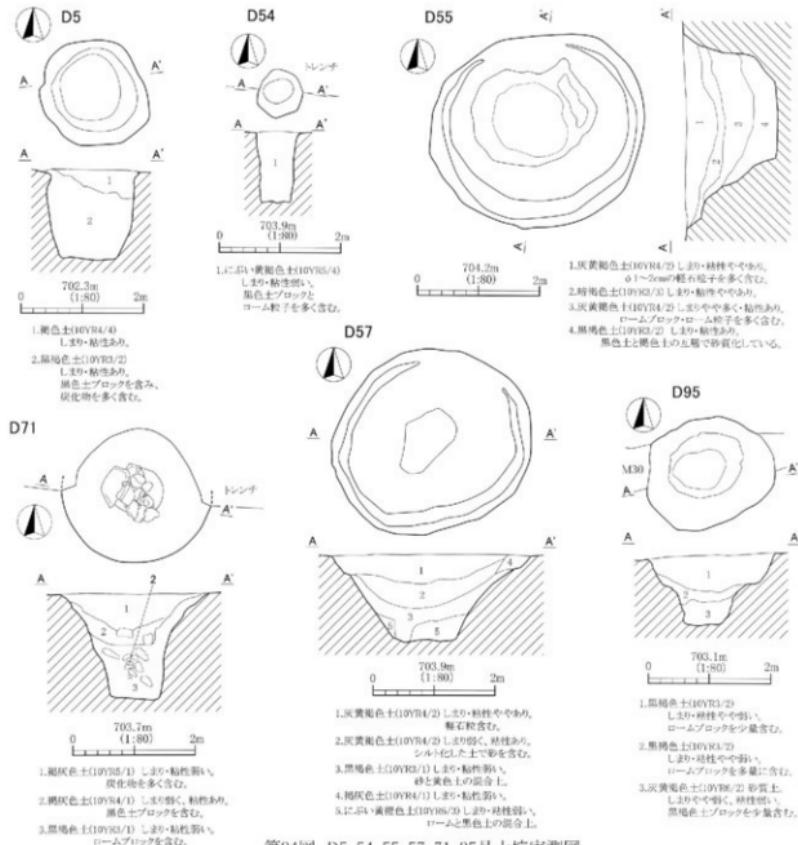
本址は調査区東側のXIX-19・20Grに位置する。形態は不整形で、規模は本遺跡の中では大型で、長軸3.48mで深さ2.18mを測る。底面はローム層まで掘り込んでいた。土坑下部からはやや崩れた状態であったが、木枠が出土し木枠に囲まれた土坑底面より曲げ物が出土した。このほかの出土遺物としては青磁の碗・皿片や東濃系の山茶碗、カワラケ等があった。これらの遺物から本址は13~14世紀代の所産が考えられる。



第92図 D9号土坑実測図



第93図 D63号土坑及び出土遺物実測図



第94図 D5・54・55・57・71・95号土坑実測図

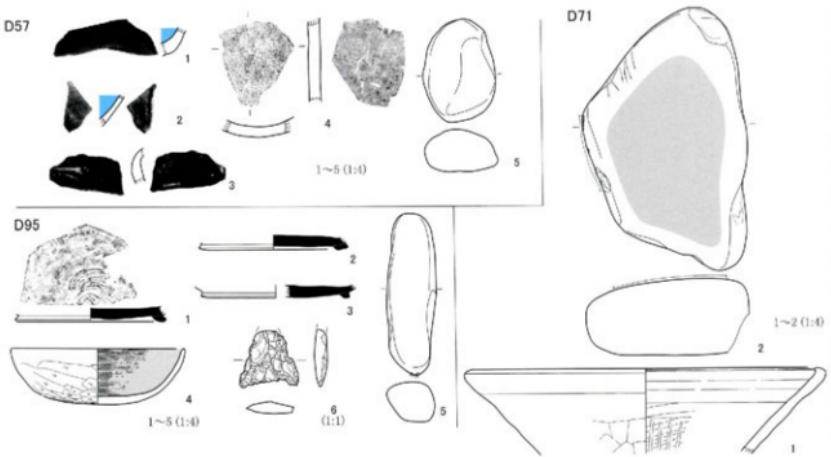
(13) D63号土坑

本址は調査区北側のX-5Grに位置する。残存状況は良好で、形態は円形である。規模は、長軸2.83m・深さ2.12mを測る。本址からは井戸の木枠が組まれた状態で出土した(写真参照)。構造は4本の杭に縦穴で組まれた2段の横木による枠で板を抑える状態で、板は長辺を縦方向に井戸に対して立てる状態で使用している。また、この木枠内から人頭大の礫が重なるように検出され、底面のみならず中層まで詰まっていた。これらの礫は上層のものに関しては、廃絶時の投げ込みと考えられるが、底面検出の礫も乱雜さがめだつことから廃絶後の投げ込みと考えられる。

本址からの出土遺物は北関東系のすり鉢、中津川系の捏ね鉢、カワラケなどがあった。これらの遺物から本址は13~14世紀代の所産時期が考えられる。

(14) D5・54・55・57・71・95号土坑

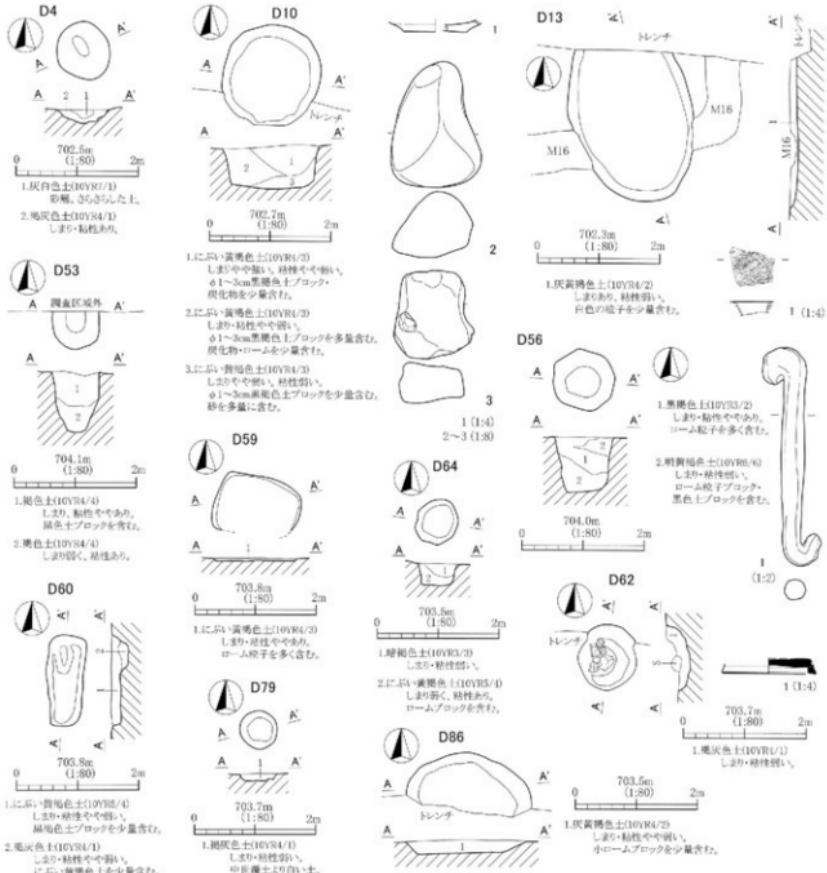
本遺跡の井戸址は、掘り込み形態がいずれもすり鉢状の形態が多く、豊坑を深く掘り込むものはなかった。



第95図 D57・71・95号土坑出土遺物実測図

第32表 D57・63・71・95号土坑出土遺物観察表

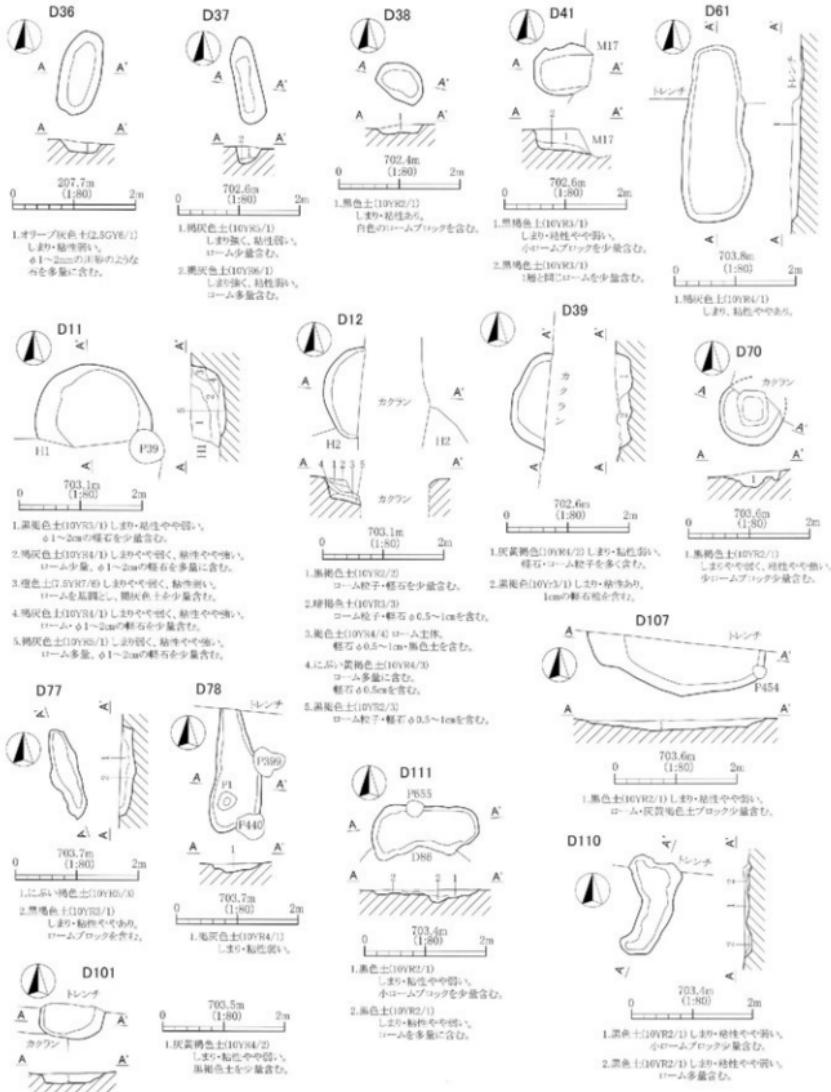
No.	種別	形種	法 面			成形・機整・文様		推定焼() 既存() 丸窓() 備 考	出土地點
			口径(幅) (mm)	直徑(幅) (mm)	高さ(厚) (mm)	内 面	外 面		
D57	青磁	瓶	-	-	-	施釉	施釉	断面実測 12.2~13.0cm 半 埋瓦窓 5区	
	青磁	瓶	-	-	-	施釉	施釉	断面実測 12.2~半 埋瓦窓 5区	
	陶器	壺	-	-	-	ヨコナデ	自然釉付着	断面実測 中腹 寸法 5区	
	瓦質 土器	瓦	(7.9)	(5.6)	(1.7)	施目施	ナデ	5区	
D63	灰陶質 土器	壷	(28.5)	(14.8)	(12.6)	ヨコナデ→ナデ 斜削	斜削ヨコナデ→ナデ 透削ナデ	完全実測 13cm 半 北側窓	
	灰陶質 土器	壷	-	(13.8)	(3.8)	ロクロナデ	ロクロナデ→透削直輪ヘラケズリ→高台貼付	回転実測 13cm 半 東側(中腹) 外腹面自然釉付着	
	土器質 土器	小口付壷	(9.0)	(7.0)	1.8	ロクロナデ	ロクロナデ→透削直削	回転実測 13cm 半	
D71	灰陶質 土器	壷	(29.6)	-	(7.0)	ナデ→ロクロナデ→壷口 を削り	ロクロナデ 体部ナデ	回転実測	
	灰陶器 有台所	-	(12.2)	(12.2)	ロクロナデ→當て具腹あり	ロクロナデ→直輪ヘラケズリ→高台貼付	回転実測		
D95	灰陶器 有台所	有台所	-	(12.2)	(12.2)	ロクロナデ	ロクロナデ→直部直削り後回転ヘラケズリ→高台貼付	回転実測 外面自然釉付着	
	灰陶器 有台所	-	(12.2)	(12.2)	ロクロナデ	ロクロナデ→直部直削り後回転ヘラケズリ→高台貼付	回転実測 外面自然釉付着		
	灰陶器 有台所	-	(14.2)	-	4.7	ミガキ→煮食処理	ロクロナデ→直輪ヘラケズリ	完全実測	
	土器器 牙	-	(14.2)	-	4.7	ミガキ→煮食処理	ロクロナデ→直輪ヘラケズリ	完全実測	
No.	種 別	材 質	最大幅 (mm)	最大幅 (mm)	厚 度 (mm)	所 見		出土地點	
4	砾石	灰褐色	(13.7)	(8.7)	(7.4)	(1220)	被熱あり 全体に黒化 上下へ剥き痕 正面に浅い条痕	井戸枠内	
5	砾石	砾石安山岩	87	68	38	312.18	正面にナリ面		
6	砾石製品	砾石	82	79	66	182.55	全体にナリ		
7	石器	安山岩	14.9	13.8	5.2	2040.00	被熱あり 正面以外黒化 正面に擦痕		
8	礫物石?	黑色微帶安山岩	(9.5)	(4.8)	(2.0)	(35.47)	下端欠損		
9	礫物石?	硬質砂岩	11.3	4.1	3.3	173.38	左側は抉り去り	井戸枠内	
10	礫物石?	輕粒砂岩	9.1	5.2	3.6	207.00	右側は抉り去り		
11	原石	チャート	2.1	2.0	0.8	3.48			
D63	5	?	安山岩	86	6.0	3.5	250.67		5区
D71	2	礫・砾石	砾石安山岩	21.6	13.4	6.4	(2830)	一部欠損 正面にナリ面 左側に条痕と敲打痕	井戸枠内
D95	5	砾石	砾質砂岩	13.4	4.1	3.4	303.17	下端側に敲打痕	
	6	石器	無端石	(1.2)	1.2	0.3	(0.32)	先端削欠損	



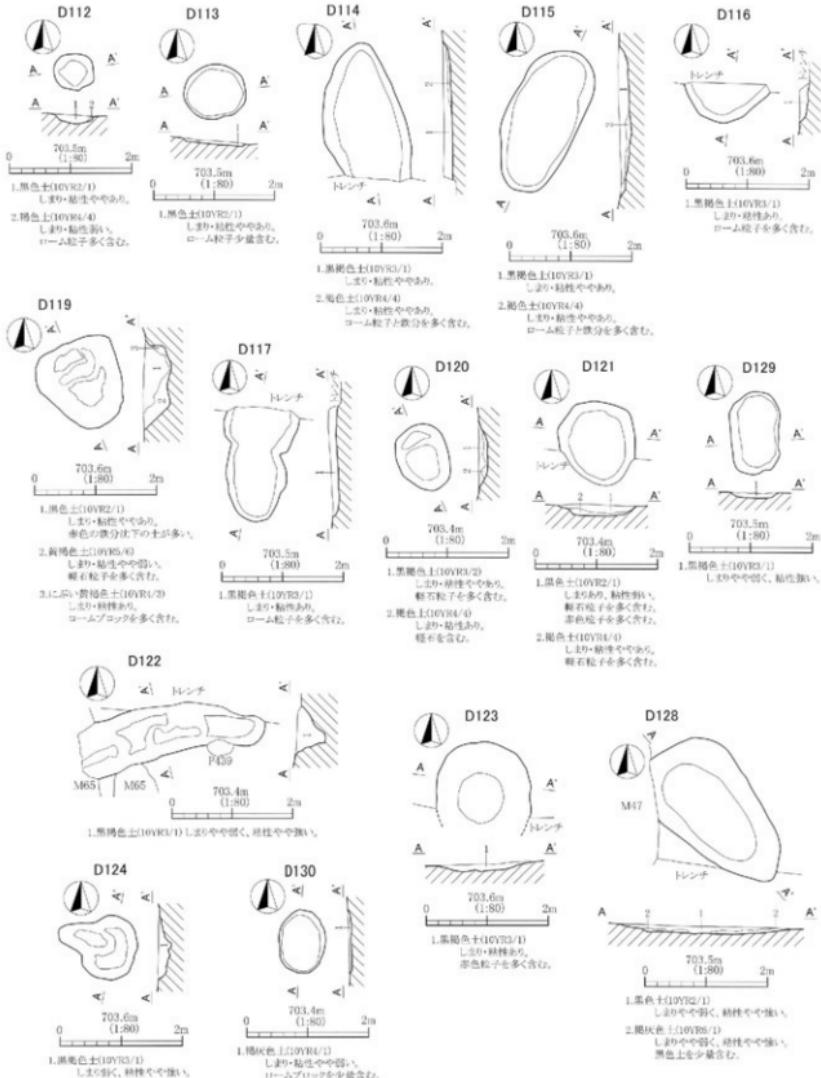
第96図 D4・10・13・53・56・59・60・62・64・79・79・86号上坑及び出土物実測図

第33表 D10・13・56・62号坑出土遺物観察表

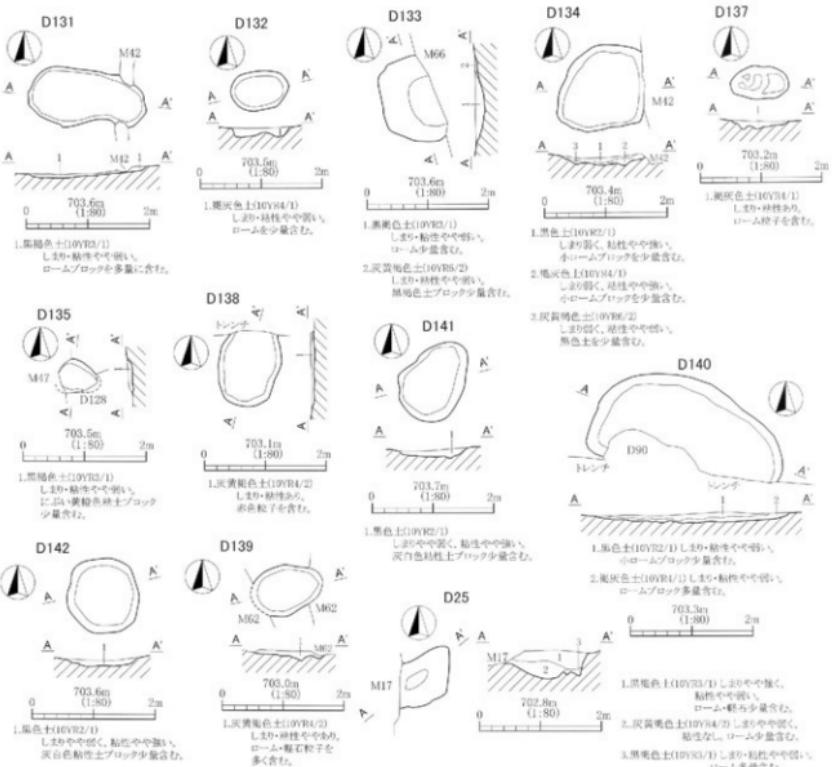
土坑No	種別	西壁	法面		成形・調整・文様		測定値()	保存値()	丸括()	出土位置
			頂面()	底面()	内面	外				
D16 1	土質實	かわらけ	-	(5.2)	(1.0)	ロクロナゲ	ロクロナゲ→底面の軽い凹り	出點実測		
803 1	瓦質 土器	瓦	(3.0)	(3.5)	(1.1)	丸皿底	削薄			
202 1	瓦質器 有台座	-	(7.6)	(1.0)	ロクロナゲ	ロクロナゲ→底面削薄・凹り→高台付	出點実測			
No	種別	法面	頂大廣	底大廣	底大深	重量	法面	所見	出土地點	
2	鐵石?	輝石安山岩	26.8	14.8	10.8	3660.00	熱熱あり	部分的に黒化		
3	鐵石?	輝石安山岩	14.5	13.1	6.6	1880.00	熱熱あり	右側以外黒化	被熱剥れあり	
406 1	不明	輝	9.0	2.3	1.0	109.1				



第97図 D36~39・41・11・12・61・70・77・78・101・107・110・111号土坑実測図



第98図 D112~117・119~124・128~130号土坑実測図



第99図 D25・131~135・137~142号土坑寒測図



D20号土坑調査風景

第5節 溝状遺構

本遺跡からは76本の溝状遺構が検出された。検出位置は調査区全体に及ぶが、所産時期により溝状遺構の構築方向に違いがみられた。弥生～古代に属する遺構は調査区の北東方向から南西方向に伸びる状態で検出された。これに対して、中世の所産と考えられる溝状遺構は南北、東西方向を指向しており、各遺構も直角に交わるものも多かった。本項ではこれら遺構を時期に集出し、特徴ある遺構についてはその都度詳細を記載した。その他のものについては、掲載した溝状遺構計測一覧を参照されたい。

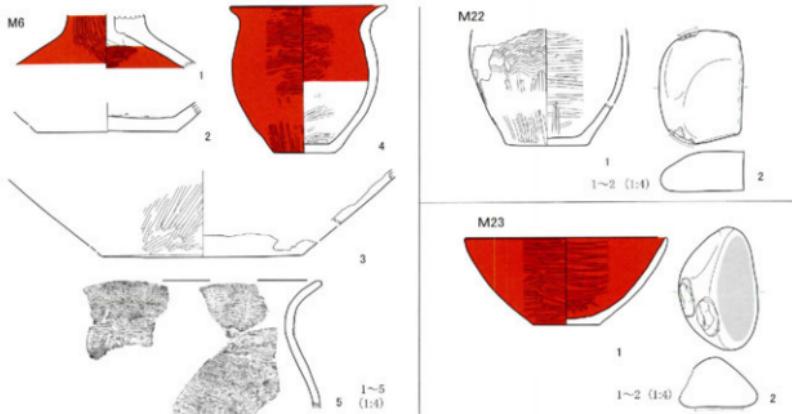
検出された溝状遺構の時期別の内訳は以下の通りである。時期決定に関しては出土遺物や覆土の状況より判断した。なお、遺構番号後ろの()番号は、調査点で別番号を付与した遺構が後に同一遺構と判断できたものであり、実測図面や出土遺物は旧名称を用いるが同一項目で報告する。近世以降の遺構図は全体図を参照されたい。

弥生期	8本	M6.11.22.23.80.87.45.46
古墳期	1本	M7
古 代	25本	M8.9.10.16.26.24.25.34.35.39(76).40.41.48.42(69).43.47(51).63.65.66.71.73.74.75.77.78
中 世	15本	M1.2.15.17(33).18.19.27.28.29.37.91.49(52.64).54.67.72
近世以降	18本	M12(55).13(14).20.21.30(60).31.32.36(58.59).38.44.53.56.57.61.62.68.89.90
不 明	9本	M3.4.5.50.70.79.81.86.88

(1) M6号溝状遺構

本址は調査区東側のXX・XXⅠ区に位置する。本址は調査区北東方向から南西方向に伸びる状態で検出され、東西端は調査区域外となる。溝はやや湾曲する部分もあるがほぼ直線に伸び、掘り込み形態はU字形を呈する。底面は人一人が歩ける幅の状態であった。規模は検出長が97.34m、幅が土手を含めると4.27～4.93m、最小幅で0.87mを測る。溝深さは0.67～0.74mで、東端と西端の標高差は0.74mで、西側の方が低かった。

本址の特徴は、一部西側部分で検出された土手状の高まりである(セクション図B-B' C-C' 間参照)。この高まりは溝北側で高さ0.14～0.17m、幅0.77～0.97mを測る。上層は砂を含む黒褐色土で、所謂「版築」のような堆積ではないが、写真図版57-⑥で示したように北側から堆積する砂層が盛り上がるが観察できる。このため、この高まりは、溝掘り直し時の堆土等の堆積など、人為的なものと判断した。



第100図 M6・22・23号溝状遺構出土遺物実測図

また、セクション図D-D'間は表土からの観察ができたが、表土耕作上下の2~4層の堆積は溝状の堆積を示している。M6号本体との間に6.7層の間層が堆積するが、この上部の掘り込みも溝掘り直しの可能性が指摘でき、溝の中心が南側にずれていぐ状態を示していることは、住居址の項でも述べた「弥生期の地殻のズレ」に起因するものかもしれない。本址からの出土遺物は少なく、覆土中より図示した遺物等が出土した。出土した遺物は弥生後期の箱清水式がほとんどであり、4の壺は溝中へ転落したような状態で出土した。これらの出土遺物より本址は弥生後期の所産と考えられる。

(2) M22・23号溝状遺構

本址は調査区東側のX X区を中心に検出され、本址もM6号溝状遺構と同じく調査区東方向から西方向に伸びる状態で検出された。本址は当初の遺構確認面では検出できず、M8・9・10号溝状遺構調査時にその下部に遺構が存在することが確認でき、再度の確認面下げを行い検出した。その結果、古代・中世の確認面である灰白色土層下の黒色土がM22・23号溝状遺構の確認面であることがわかった。

M22号溝状遺構はほぼ同じ幅で伸びており、規模は検出長が56.2m・幅が平均で1.00m・深さが0.16~0.50mを測る。東側で一部に土坑状の大きく掘り込まれた部分が検出された。規模は径2.36m・深さ0.93mを測る。本址は西側と東側でほとんど標高差がない、標高701.2m前後で掘削されている。溝底面の形状は逆台形状を呈する。

M23号溝状遺構はM22号溝状遺構に沿うように南側で検出された。規模は検出長27.99m・幅が0.33~1.44m、深さは0.08~0.55mを測る。溝の西端は自然に消滅していた。底面の形状は逆台形であり、ほぼ平坦であった。溝の比高差は西端で0.19m低くなるが、約28m間の差であり、M22号溝状遺構と同じく、ほぼ地形に沿って掘削されている。

両遺構からは図示した遺物の他にいずれも弥生後期の箱清水式土器片がわずかながら出土した。これらの事からM22・23号溝状遺構は弥生後期の所産と考えられる。

(3) M7号溝状遺構

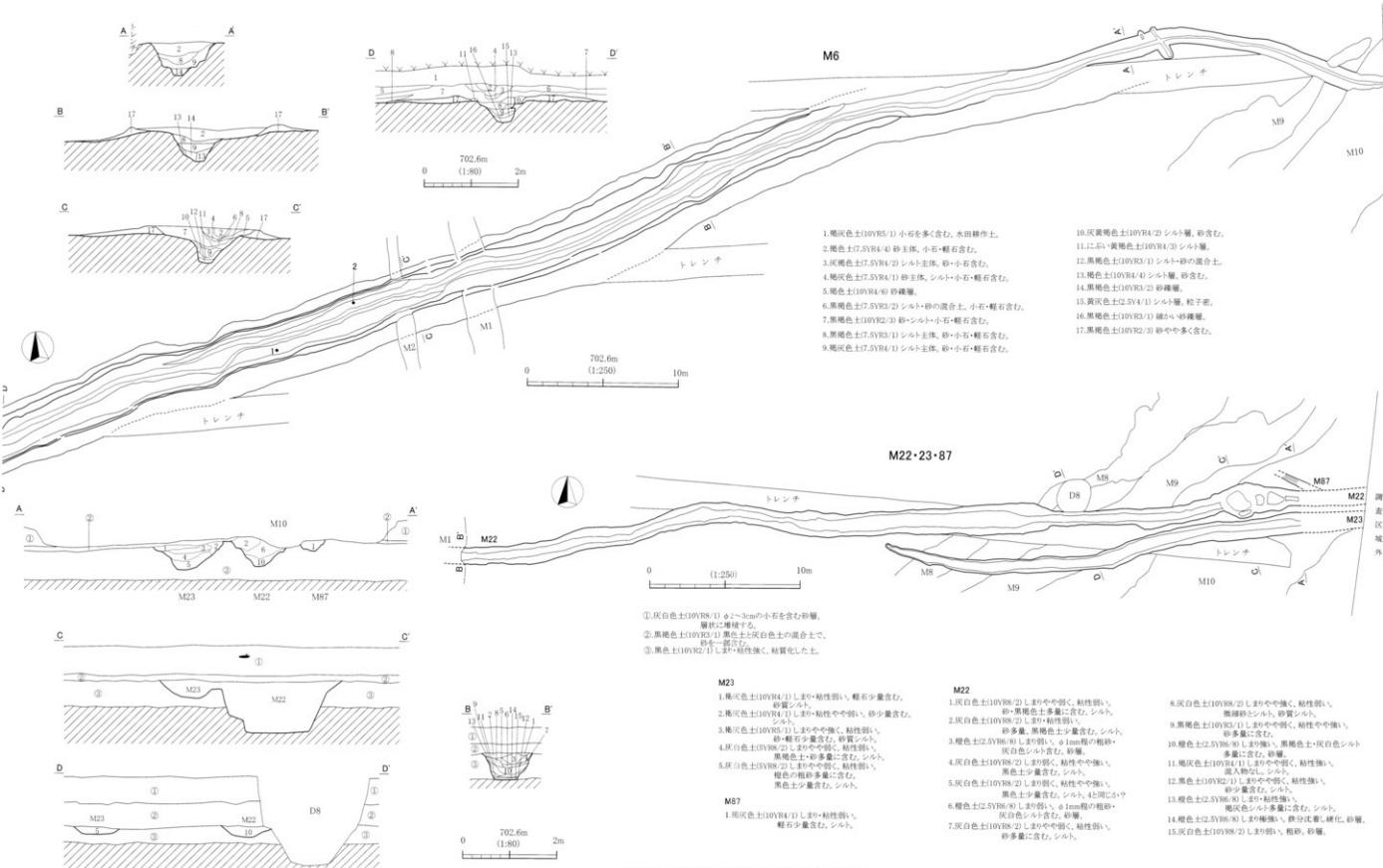
本址は調査区東側のX X I・X X II・X X III区を中心に検出された。検出部北端は南北方向に伸びる形状で、調査区内は北東から南西方向に伸びている。規模は検出長95.73m・幅1.20~2.00m・深さは0.38~0.88mを測る。形状は逆台形である。溝の比高差は0.58mを測る。

本址からの出土遺物は図示したものがあり、1と2は古墳時代中期の特徴的な壺であり、1は復元の結果ほぼ完形となった。のことから本址の所産時期は古墳時代と考えたい。

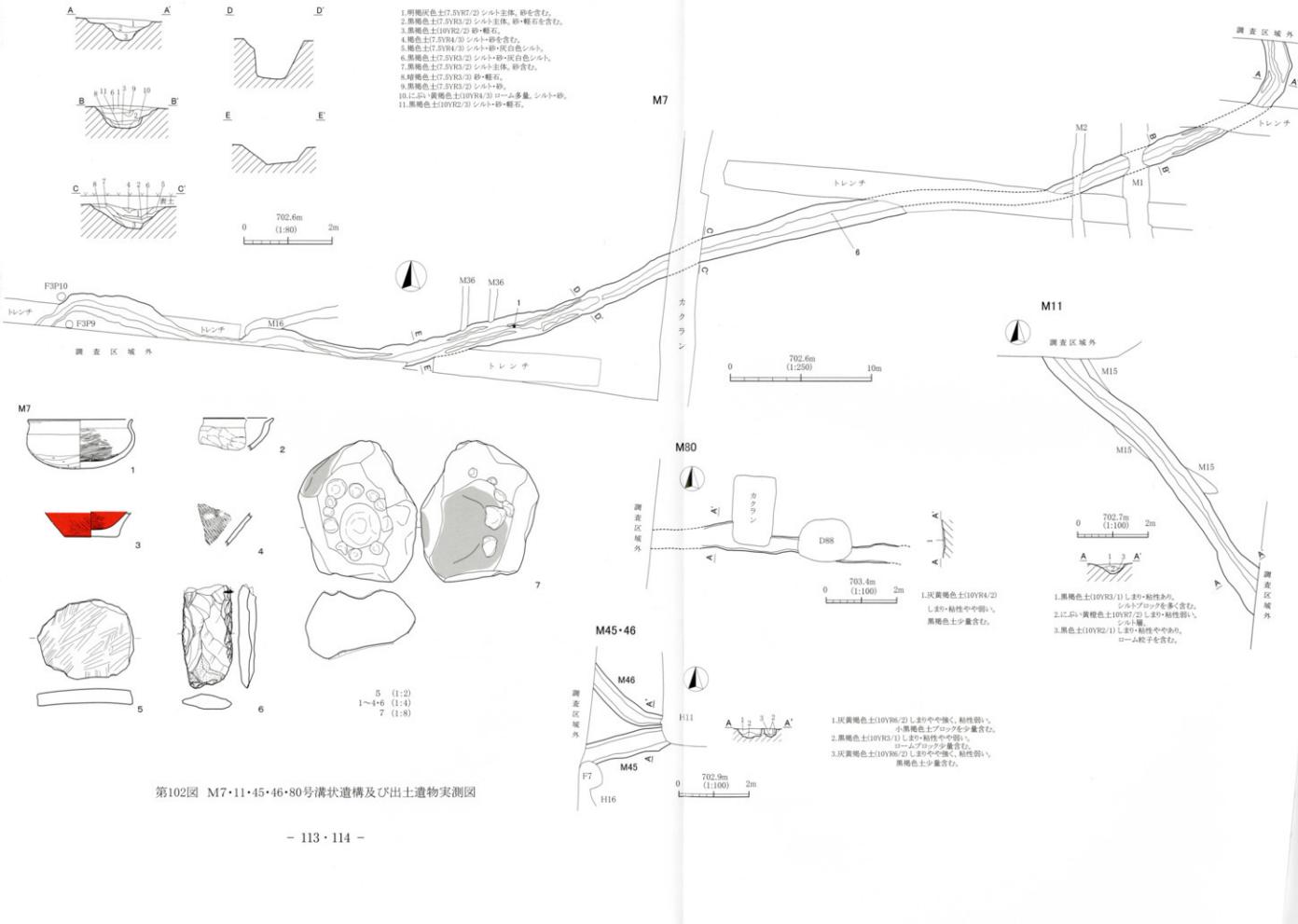
第34表 M6・7・22・23号溝状遺構出土遺物観察表

(cm)

No.	種類	標様	透 量			成形・調整・文 理	測定値()	測定値()	測定値()	出土位置
			口径(横)	透達(縦)	断面(厚)					
M6	1 弥生	蓋	-	-	(4.4)	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩	同様裏面	IV IX	
	2 弥生	壺	-	11.2	(2.0)	ナデ	ミガキ	完全剥離	XX II-15 土手	
	3 弥生	壺	-	(16.7)	(7.1)		ミガキ	完全剥離 内面剥離	XX II-16 上手 13-298	
	4 弥生	壺	(13.0)	5.6	12.2	ミガキ→口縁から胴上半部赤色塗彩	ミガキ→口縁から胴部赤色塗彩	完全剥離	No.2	
	5 弥生	壺	-	-	-	ミガキ	彫刻葉文 横縞波文	彫刻葉文	IV IX XX I-5	
M7	1 土師器	平	(11.9)	-	6.6	ミガキ	ロ線ナコナデ 施刷ヘタケズリ	完全剥離	XX II-7	
	2 土師器	平	-	-	-	体割ナデ→口縁ナコナデ	体割ナデ→口縁ナコナデ	段段剥離	XX II-7	
	3 弥生	鉢	-	6.2	(2.9)	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→体部赤色塗彩	完全剥離	XX II-6	
	4 弥生	壺	-	-	-	ナデ	絞繩文	彫刻葉文	XX II-13	
M22 1	弥生	壺	-	6.8	(3.6)	ヘラミガキ	彫刻葉文→ヘラミガキ	完全剥離		
M23 1	弥生	壺	(16.4)	(5.4)	7.2	ヘラミガキ→赤色塗彩	角削・底削ヘラミガキ→赤色塗彩	圓輪剥離		
No.	種類	素 材	體大長	體大幅	體大厚	透 量	所 見			出土位置
M7	5	円板	上削品	4.6	5.5	6.8	内面ハケナデ	外面ハケナデ→ミガキ		No.7
	6	打製石斧	研磨砂岩	(11.0)	(0.0)	(1.0)	(15×17)	基盤欠損 万能刃付に削離		No.1
M22	7	同	輝石安山岩	32.2	26.9	高さ 19.5	12530.09	中央の側面16×4.9.3 剥離19.9 ナリ面3 正面に凹(正面11.7 厚5.7)		IV IX
	2	瓶	硬質	9.4	7.0	2.3	357.6	上上部剥離に破壊		
M23 2	帶・帶石	輝石安山岩	10.2	6.4	4.2	350.37	正面にナリ面 侧面に破壊			

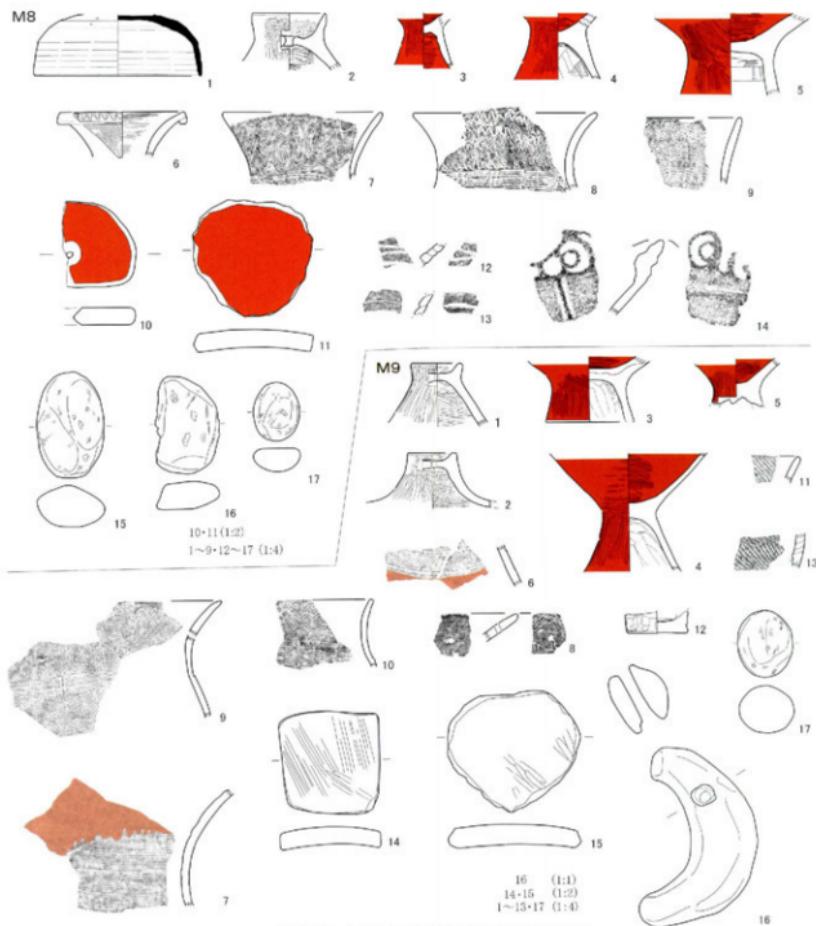


第101図 M6・22・23・87号溝状遺構実測図

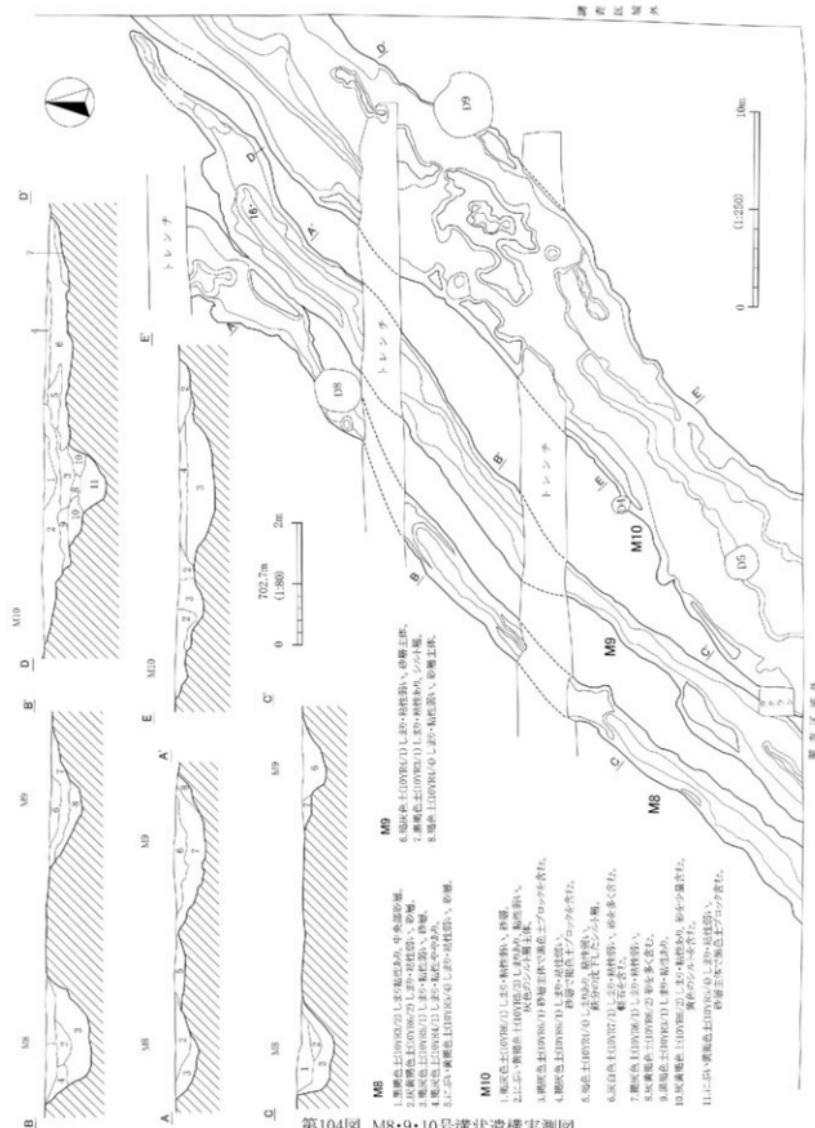


(4) M8・9・10号溝状遺構

本址は調査区東側端のXIX・XX区を中心に検出された。北東から南西に伸びる形状で、3本の溝状遺構が並ぶように検出された。規模はM8が検出長46.30m・幅0.68~3.55m・深さ0.38~0.73mを測る。M9は検出長52.85m・幅0.70~3.32m・深さ0.32~0.47mを測る。M10は検出長41.23m・幅5.44~8.52m・深さ0.55~0.60mを測る。いずれの溝も北側より南側が0.52~0.96m低くなっている。溝の形状はM8とM9は逆台形状の掘り込みで、底面は凹凸があった。M10は3本の中でも最も幅広であり、形状も複雑で底面も凹凸が激しかった。また、セクション図D-D' E-E'で示したように、何度かの掘り込みの結果が現状の形を示していると考えられる。



第103図 M8・9号溝状遺構出土遺物実測図



No.	種別	種類	法 量		成形・機整・文様		推定物()・残存部()・丸底●		
			口径(cm)	底径(cm)	(厚さ)(mm)	内面	外面	備考	出土位置
W 1	須生器	蓋	(13.0)	-	(0.6)	ロクロサザ	ロクロサザ→大井鉄把柄ヘハケメダ	印加実測	I区
	須生	蓋	-	つまみ 0.1	(4.7)	ミガキ	ミガキ	完全実測	焼成前穿孔 II区
	須生	高杯	-	-	(4.5)	杯底ミガキ→赤色塗彩 脱落ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	II区
	須生	高杯	-	-	(0.4)	杯底ミガキ→赤色塗彩 脱落ヘケ口の残るナデ	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	IV区
	須生	高杯	-	-	(0.7)	杯底ミガキ→赤色塗彩 脱落ヘケ口の残るナデ	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	II区
	須生	壺	(19.6)	-	(2.7)	壺底ヘケ口 口縁ハケ口の残るナデ	口縁ハケ口による作痕 口縁ハケ口	印加実測	II区
	須生	壺	(13.2)	-	(0.5)	ハケ口→ミガキ	櫛編廣文式 櫛編波次文	近似実測	II区
	須生	壺	(15.2)	-	(0.3)	ミガキ	櫛編波次文 櫛編波次文 口縁部に刻み	印加実測	II区
	須生	壺	-	-	-	ミガキ	櫛編波次文	断面実測	I区
	須生	跡跡壺	(2.6)	3.5	0.7	ミガキ	ミガキ→赤色塗彩 他成後穿孔	II区	
	手づくね土器	-	-	-	-	ナデ	ナデ	断面実測	I区
	手づくね土器	-	-	-	-	ナデ	ナデ	断面実測	II区
	調文	浅鉢	-	-	-	陶器	陶器 泥垢	断面実測	I区
	調文	浅鉢	-	-	-	ミガキ	ミガキ→赤色塗彩 橋成前穿孔	完全実測	IV区
M 1	須生	壺	-	つまみ 4.3	(5.2)	ミガキ	ミガキ→赤色塗彩 橋成前穿孔	完全実測	IV区
	須生	壺	-	つまみ 4.1	(4.5)	ミガキ	ミガキ 滲成前穿孔	完全実測	IV区
	須生	高杯	-	(7.2)	(5.5)	杯底ミガキ→赤色塗彩 脱落ナデ	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	IV区
	須生	高杯	-	-	(9.7)	杯底ミガキ→赤色塗彩 脱落ナデ	ミガキ→赤色塗彩 完全実測 脱落内面に赤色顔料付着	I区 IV区	
	須生	高杯	-	-	(3.8)	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	IV区
	須生	壺	-	-	-	ハケ口の残るナデ	ミガキ→赤色塗彩 ハラ桔梗紋 ハラ桔梗紋	断面実測	III区
	須生	壺	-	-	-	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩 桶組模毛平行文	断面実測	I区
	須生	壺	-	-	-	ミガキ	ヨコナゲ→焼成前穿孔	断面実測	II区
	須生	壺	-	-	-	ミガキ	櫛編波次文(19本 2透二閉) 櫛編波次文	断面実測	II区 XIX-15
	須生	壺	-	-	-	ミガキ	櫛編波次文(5本 3透三閉) 櫛編波次文	断面実測	I区
	須生	壺	-	-	-	ミガキ	調文BL	断面実測	II区
	須生	土器跡	-	5.0	(1.8)	ナデ	ナデ	完全実測	IV区
	須生	壺	-	-	-	ミガキ	調文BL	断面実測	IV区

3本のいずれの覆土も、砂層やシルト層が主体をなしており、堆積状況も水流の影響を受けた様子が観察できた。また、各構造遺構からの出土遺物は多かつたが、そのほとんどは覆土中からのものであり、尚且つ遺物の縁辺部が摩耗した土器片も多く見られた。これらの事から3本の溝状遺構はいずれも水路あるいは自然流路の可能性が指摘でき、現状3本の溝状遺構に分離しているが、本来は一本の溝状遺構が時間経過とともに流れを変えた結果が、現状の姿とも推定できる。

出土遺物はM8号溝状遺構で17点、M9号溝状遺構で同じく17点、M10号溝状遺構で46点を図示した。特徴的な遺物としてはM8の6が弥生時代壺の口縁部破片と考えられるが、在地の箱清水式や栗林式とは形態が異なり、系譜が注目される。また、M9で14の方形の土版や16の土製勾玉は希少な出土例である。M10からは須恵器や土師器の出土が多く、17の須恵器甕はほぼ全容が解る程度に復元された。また、24の弥生箱清水式の蓋は、稻や雑穀等の痕跡が顕著で意図的な混入が考えられる(第V章 科学分析参照)。3遺構の遺物共通点として、いずれの溝からも調文・弥生・古代までの遺物が出土するのみで、中世以降の出土遺物は含まれていなかった。このことからM8・9・10号溝状遺構は古代まで機能していた溝と考えられる。

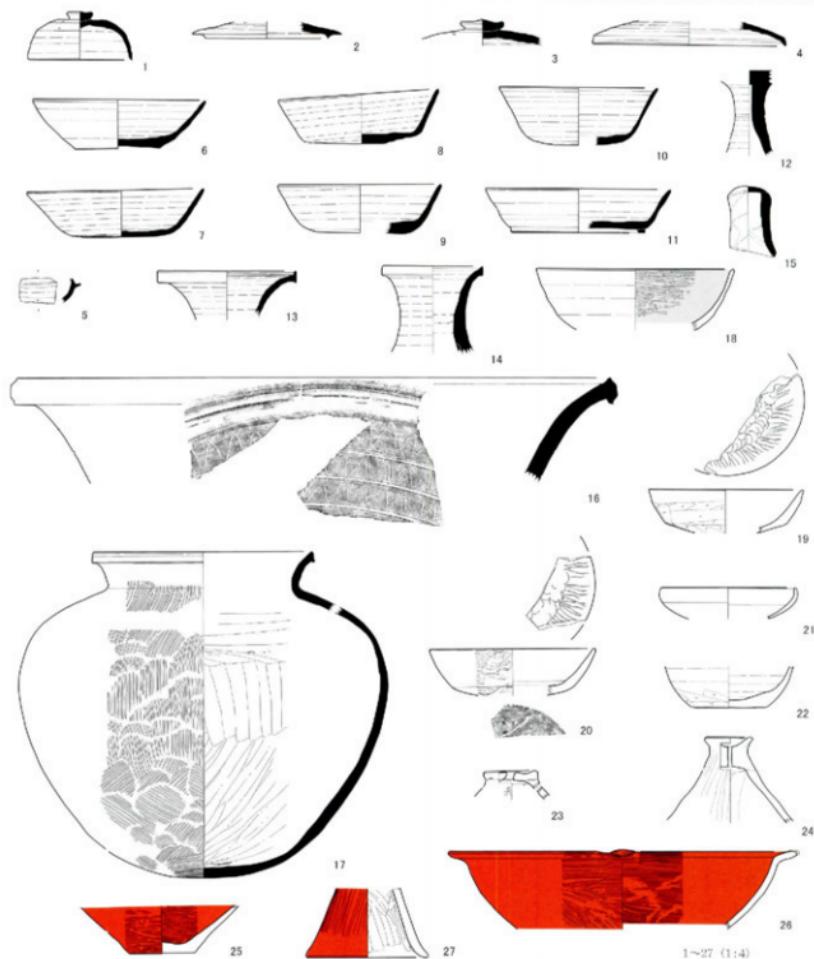
第36表 M10号溝状造構出土遺物観察表(1)

(cm)

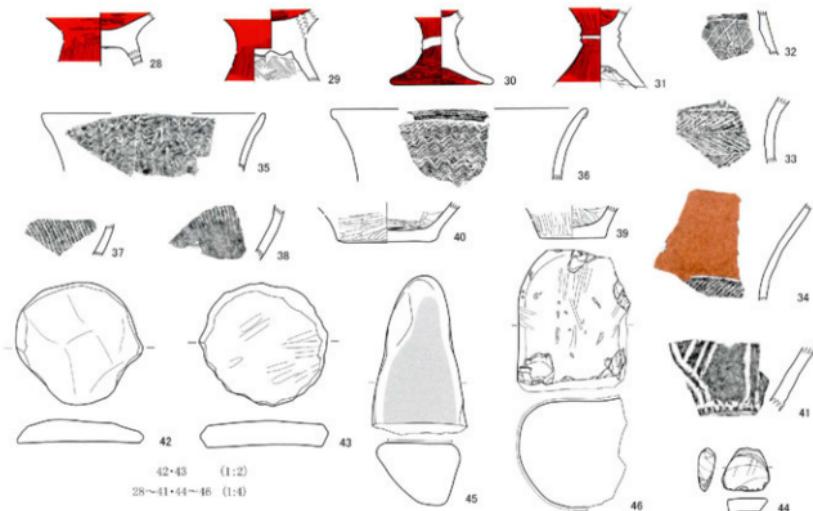
No.	種別	形種	法量			成形・調整・文様		規定値(○)候存値(△)丸赤●	備考	出所位置
			口径 (mm)	底径 (mm)	壁高 (mm)	内面	外面			
1	須恵器	盃	8.0	2.2	4.0	ロクロナデ	ロクロナデ・天井部削輪ヘラケズリーベンミミ輪行	完全実測 外面 台面斜材付	1次	
2	須恵器	盃	(9.8)	-	(1.0)	ロクロナデ	ロクロナデ・天井部削輪ヘラケズリ	部分実測	1次	
3	須恵器	盃	-	2.6	2.2	ロクロナデ	ロクロナデ・天井部削輪ヘラケズリ→つまみ輪行	完全実測 外面 自然斜材付	1次	
4	須恵器	盃	11.0	-	(2.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	完全実測 外面 自然斜材付	1次 Ⅱ区	
5	須恵器	盃	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ→底部削輪ヘラケズリ	部分実測	1次	
6	須恵器	舟	14.3	7.1	4.2	ロクロナデ	ロクロナデ・底部削輪舟切り(右)	部分実測	1次	
7	須恵器	舟	14.6	9.6	4.1	ロクロナデ	ロクロナデ・底部削輪舟切り(左)	完全実測	1次	
8	須恵器	舟	13.3	6.9	4.5	ロクロナデ	ロクロナデ・底部舟切り	完全実測	1次	
9	須恵器	舟	12.8	8.8	4.2	ロクロナデ	ロクロナデ・底部削輪舟へラ切り	完全実測 外面 直角輪付舟	1-Ⅱ区	
10	須恵器	舟	(11.1)	(7.5)	4.8	ロクロナデ	ロクロナデ・底部削輪舟へラ切り	部分実測	1次	
11	須恵器	舟合舟	(15.3)	(11.3)	3.7	ロクロナデ	ロクロナデ・底部削輪舟へラケズリ→三台輪付	部分実測	1-Ⅱ区	
12	須恵器	高杯	-	-	(7.2)	ロクロナデ	ロクロナデ・底部舟あり	完全実測	1次	
13	須恵器	高杯	(11.6)	-	(4.1)	ロクロナデ	ロクロナデ	部分実測	1次	
14	須恵器	盃	(8.4)	-	(2.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	部分実測 内外 直角輪付舟	Ⅲ区	
15	須恵器	高杯	-	-	6.0	ナデ	ナデ	完全実測	1次	
16	須恵器	甕	(50.2)	-	(6.8)	ロクロナデ	ヘラ削輪走刃行文 磨擦波状文	部分実測	1-Ⅱ区	
17	須恵器	甕	(18.0)	-	27.4	ロクロナデ	瓶から底部ナデ	部分実測	1-Ⅱ区	
18	土師器	鉢	(16.2)	-	(5.1)	ミガキ・黑色絞織	ロクロナデ・底部削輪ヘラケズリ	部分実測	1区	
19	土師器	鉢	(12.7)	(16.0)	(3.2)	ヨコナデ・時文	ヨコナデ・ヘラケズリ	部分実測	1-Ⅱ区	
20	土師器	鉢	(13.7)	(16.0)	(3.6)	ヨコナデ・時文	ヘラケズリ・ミガキ	部分実測 脱落 にこな記号?あり	1区	
21	土師器	鉢	(11.4)	(16.0)	(2.6)	ナデ→口縁ヨコナデ	ロクロナデ・身筋ナデ	部分実測	Ⅲ区	
22	土師器	鉢	-	(6.2)	(3.5)	ロクロナデ	ロクロナデ・底部と底部外周手持もヘラケズリ	部分実測	1区	
23	弥生	蓋	-	2.5	4.5	ナデ	ナデ	完全実測	1区	
24	弥生	蓋	-	2.5	3.9	ナデ	ミガキ 残痕あり	完全実測	1区	
25	弥生	鉢	-	5.1	(4.6)	ミガキ・赤色絞織	赤頭ミガキ 体縁ミガキ=赤色絞織	完全実測	1区	
26	弥生	高杯	(28.7)	-	(6.6)	ミガキ・赤色底部	ミガキ・赤色底部	部分実測	1次	
27	弥生	高杯	-	10.1	(5.8)	羅頭ヨコナデ→轉輪底部ナデ	ミガキ・赤色底部	完全実測 外面 直角輪着い	Ⅲ区	
28	弥生	高杯	-	-	(4.4)	片剥ミガキ・赤色絞織 周辺ナデ	ミガキ・赤色絞織	完全実測	Ⅲ区	
29	弥生	高杯	-	-	(5.0)	片剥ミガキ・赤色絞織 片剥ヘラケズリ	ミガキ・赤色絞織	完全実測	1区	
30	弥生	高杯	-	8.6	(6.1)	片剥ミガキ・赤色絞織 片剥ミガキ・赤色絞織	ミガキ・赤色絞織 周辺貼付	完全実測	Ⅲ区	
31	弥生	高杯	-	-	(6.7)	片剥ミガキ・赤色絞織 片剥ヘラケズリ	ミガキ・赤色絞織 流線あり	完全実測	Ⅲ区	
32	弥生	壺	-	-	-	片剥	ヘラ削輪非平行彌文 ヘラ削外彌文	部分実測	1区	
33	弥生	壺	-	-	-	片剥	ヘラ削輪走刃行文 ヘラ削外彌文	部分実測	1区	
34	弥生	壺	-	-	-	ミガキ→赤色絞織	ミガキ・赤色絞織 ヘラ削斜走文	部分実測	1区	
35	弥生	壺	(18.2)	-	(4.0)	ミガキ	彌縫波状文	部分実測	1区	
36	弥生	壺	(21.0)	-	(6.0)	ミガキ	彌縫波状文	部分実測	1区	
37	弥生	壺	-	-	-	ミガキ	彌縫文	部分実測	1区	
38	弥生	壺	-	-	-	ミガキ	彌縫文	部分実測	1区	
39	弥生	壺	-	5.4	(2.6)	ミガキ	ミガキ	完全実測	1区	
40	弥生	壺	-	(8.2)	(3.0)	ハケ目の残るナデ	ミガキ	完全実測	Ⅲ区	
41	調文	圓錐	-	-	-	ナデ	尤縛 特管文	部分実測	Ⅲ区	

(5) M16・26号溝状遺構

本址は調査区中央部のXXII区を中心に検出された。M16号溝状遺構は南東角をもつ直角に曲がる溝状遺構で、規模は検出長が29.44m、幅が0.46～0.84m、深さが0.14～0.25mを測る。M26号溝状遺構は南北に伸びる溝状遺構で、規模は検出長が24.25m、幅が0.52～0.99m、深さ0.12～0.16mを測る。いずれの遺構も南側で試掘トレンチにより削平され確認を得ないが、溝の規模や形態から同一遺構の可能性がある。出土遺物は図示したM26号溝状遺構



第105図 M10号溝状遺構出土遺物実測図(1)



第106図 M10号溝状造構出土遺物実測図(2)

第37表 M10号溝状造構出土遺物観察表(2)

No.	種類	高さ	幅	底大径	底大幅	底大厚	重量	所見	(cm)	出土位置
M10	円板	土製品	5.1	5.1	6.9	21.23	内凹ナメ 外部ヘラケズリー不明			Ⅲ区
	円板	土製品	5.9	5.3	1.0	23.69	内凹ナメ 外部ミガキ			Ⅲ区
	剣片	黒曜石	3.6	3.9	1.2	19.91				Ⅲ区
	帶岩	28/7×8 (13.2) (7.6) (5.0)				676.66	下部欠損 正面にナリ面			Ⅲ区
	台石	砂岩	11.8	9.3	9.1	1456.93	正面にナリと条痕 周辺は敲打痕			Ⅲ区

構から出土した須恵器甕の他には、M16号溝状造構からは弥生高坏片や壺片が出土している。両造構の所産時期は覆土の状態や須恵器甕から古代と考えたい。

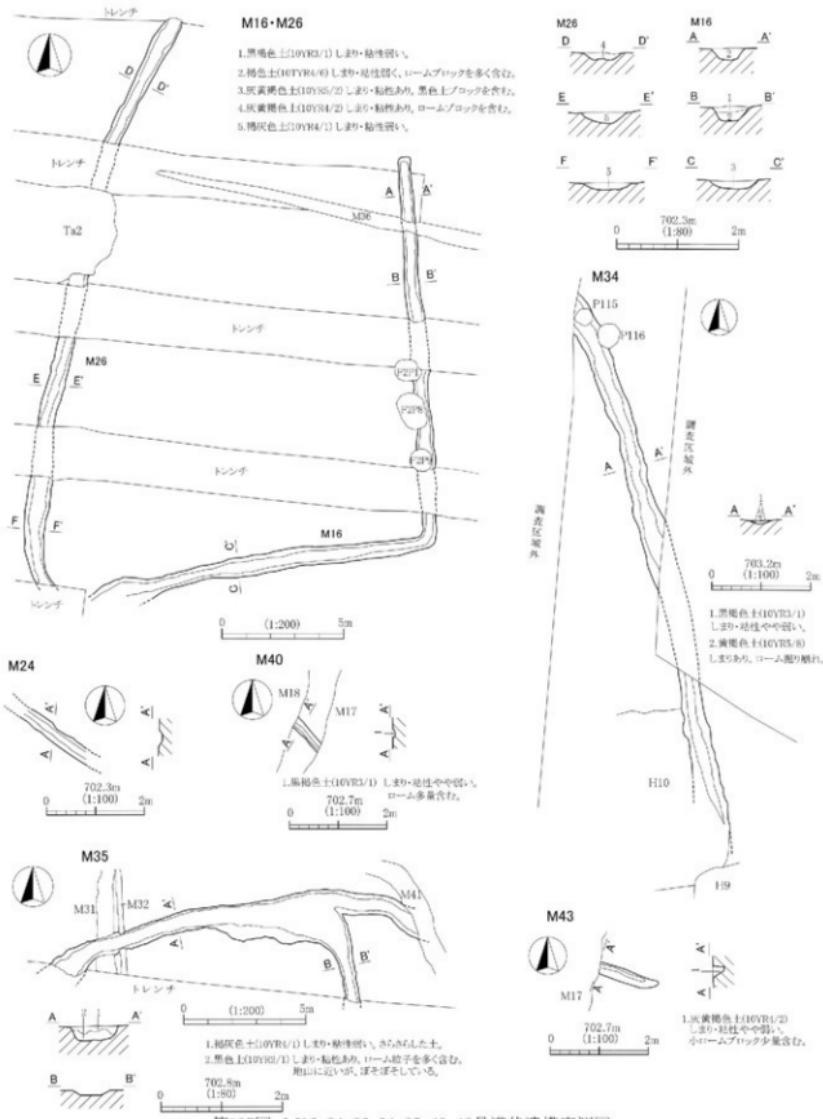
(6) M25号溝状造構

本址は調査区中央のXVI・X・XVII・X・XIII区を中心に検出された。形態は西側に開く「コ」の字状で、南端はD20号土坑に切られている。規模は検出長が86.95m、幅が0.40~1.71m、深さが0.10~0.46mを測る。北側と南側の溝底面の比高差は0.59mであった。覆土は自然堆積であったが、下層にロームブロックを多く含む部分が多くあった。溝底面はやや凹凸があり、水が流れた様子は確認できなかった。本址からの遺物は覆土を中心に多く出土し、14点を図示した。

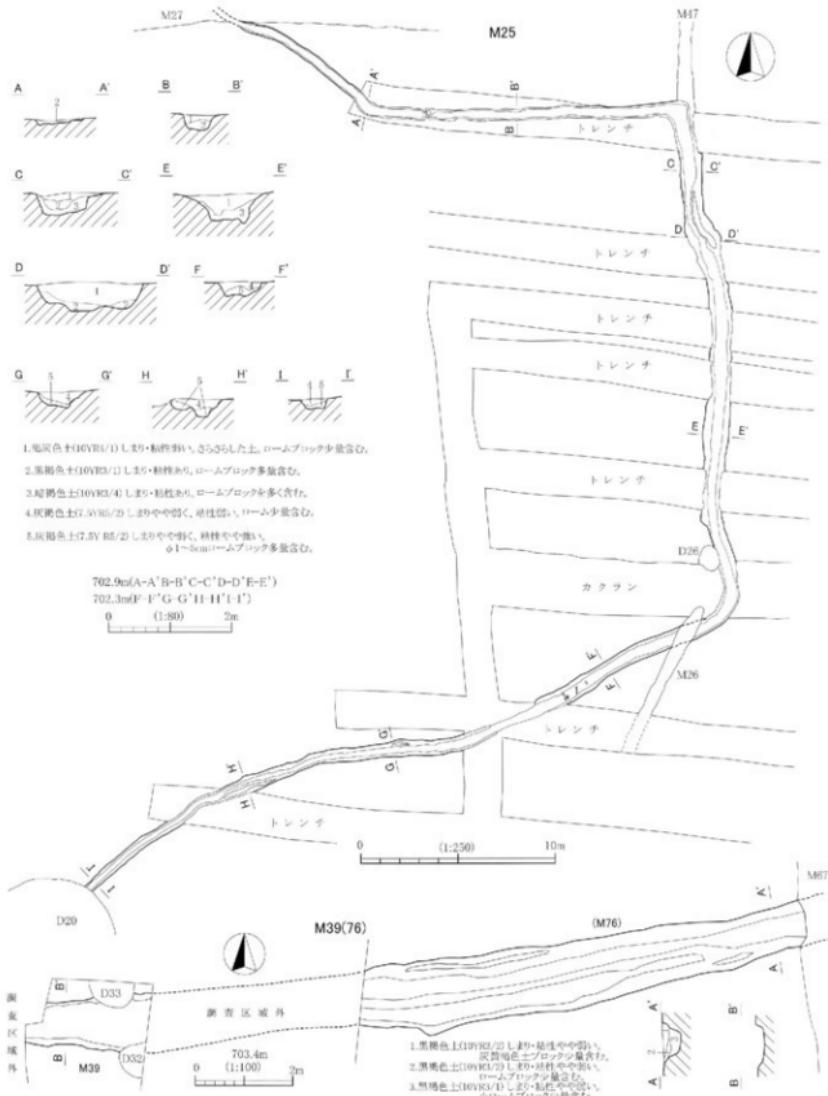
これらの出土遺物から本址の所産時期は古代と考える。

(7) M42(69)・47(51)号溝状造構

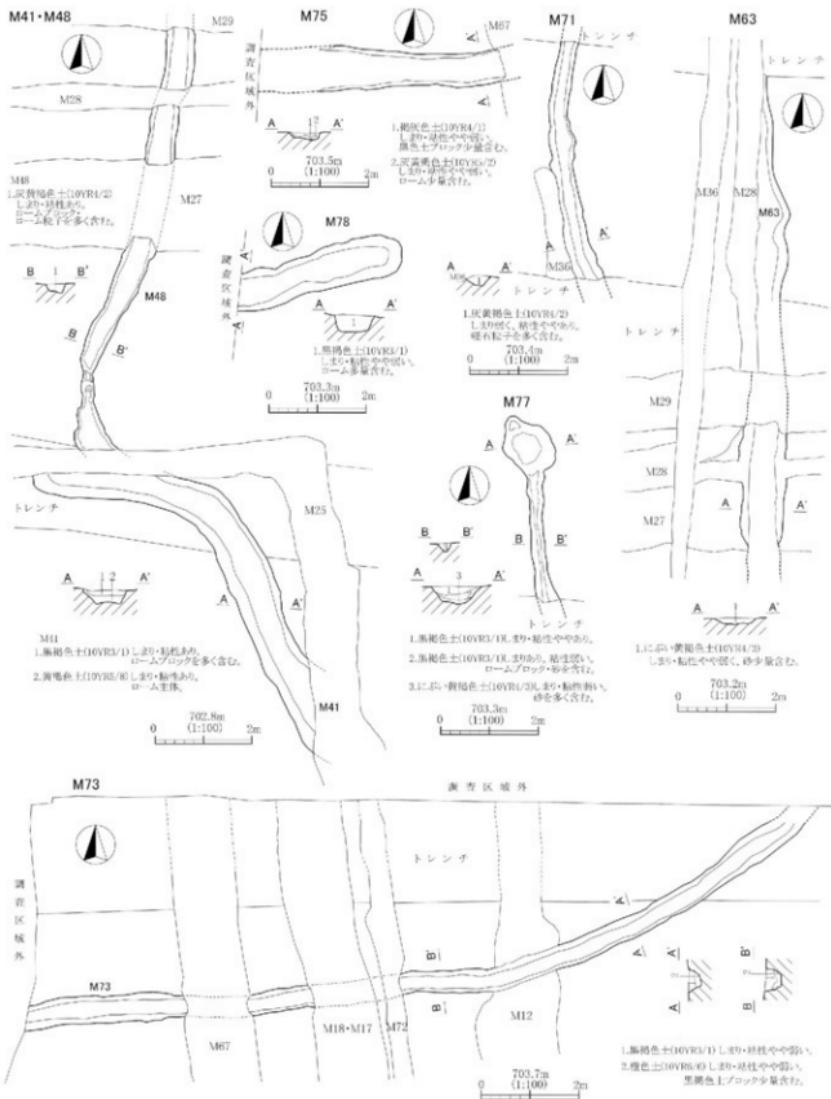
本址は調査区中央のIV・X・XVI区を中心に検出された。M42(69)は南北方向に伸びる形態で、南端でM25と重複するが溝底面の高さは、本址の方が0.23m高い。M47(51)も同じく南北方向に伸びる形態で、南端でM25と重複するが、底面は本址の方が0.18m高い。両造構ともにM25とは段差が存在する為、別造構と考え調査を行ったが、覆土は非常によく似ており、出土遺物も須恵器坏や甕片など古代所産のものであった。また、上面からの明瞭な造構重複ラインは確認できなかった。よってM25.42.47は同時併存の可能性も指摘できる。



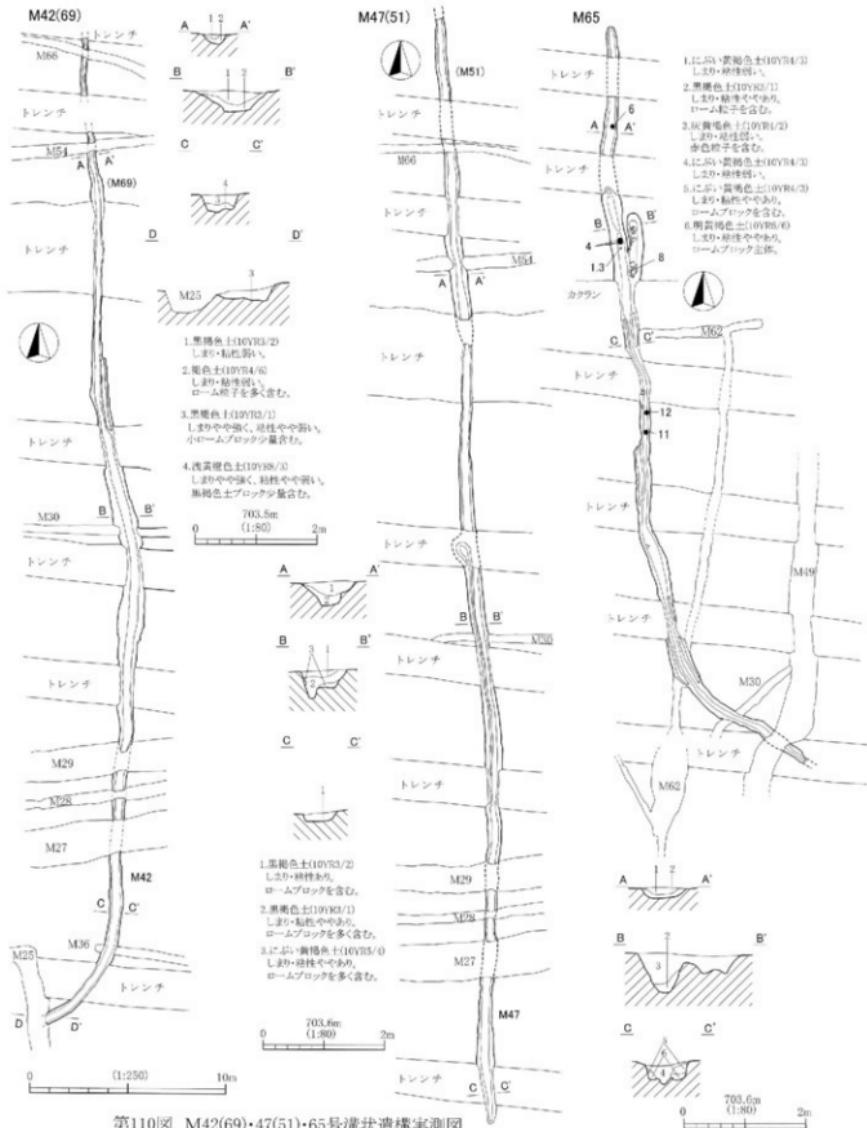
第107図 M16・24・26・34・35・40・43号溝状遺構実測図



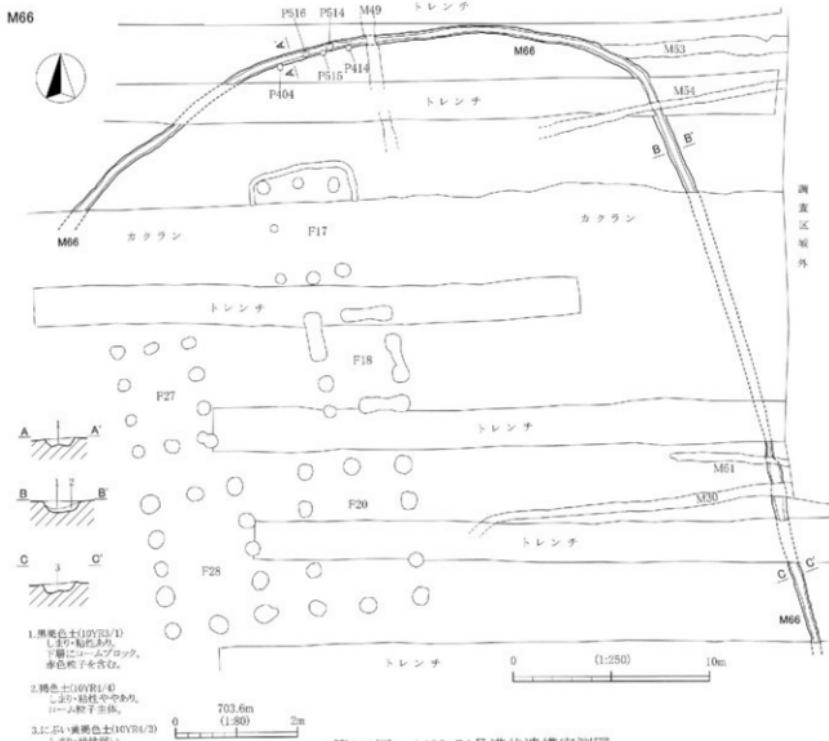
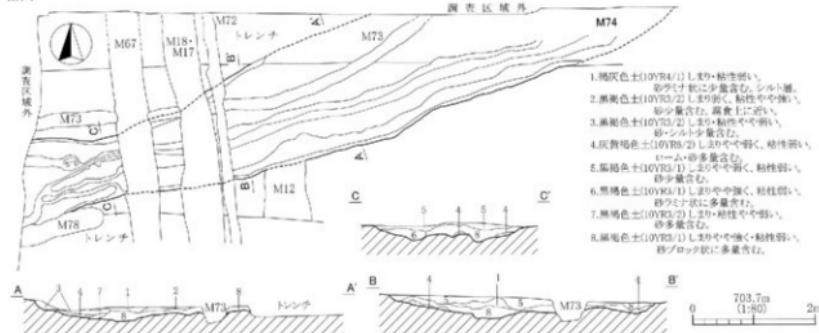
第108図 M25・39(76)号溝状遺構実測図



第109図 M41・48・63・71・73・75・77・78号溝状遺構実測図



第110図 M42(69)・47(51)・65号溝状構造実測図



第111図 M66・74号構状遺構実測図

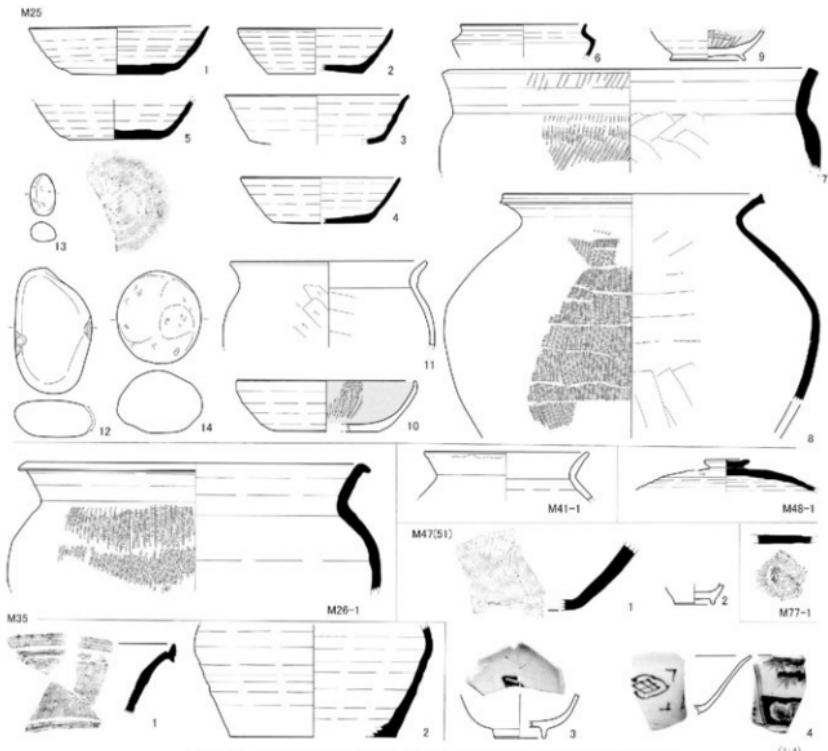
(8) M65号溝状遺構

本址は調査区東側端のV・X・XⅠ区を中心に検出された。南北方向に伸びる形状で、規模は検出長41.4m、幅0.36~1.55m、深さは0.17~0.73mを測る。形態は基本的に逆台形状を呈するが、遺物がまとまって出土したXⅠ-1Gr付近では溝が二股に分かれるような形態を示す部分もある。本址からの出土遺物は図示した須恵器壺や壺口縁部などがある。これらの遺物はいずれも溝底面からは浮いた状態(写真図版61③~⑤参照)で出土している。これららの遺物より、本址は古代の所産と考えられる。

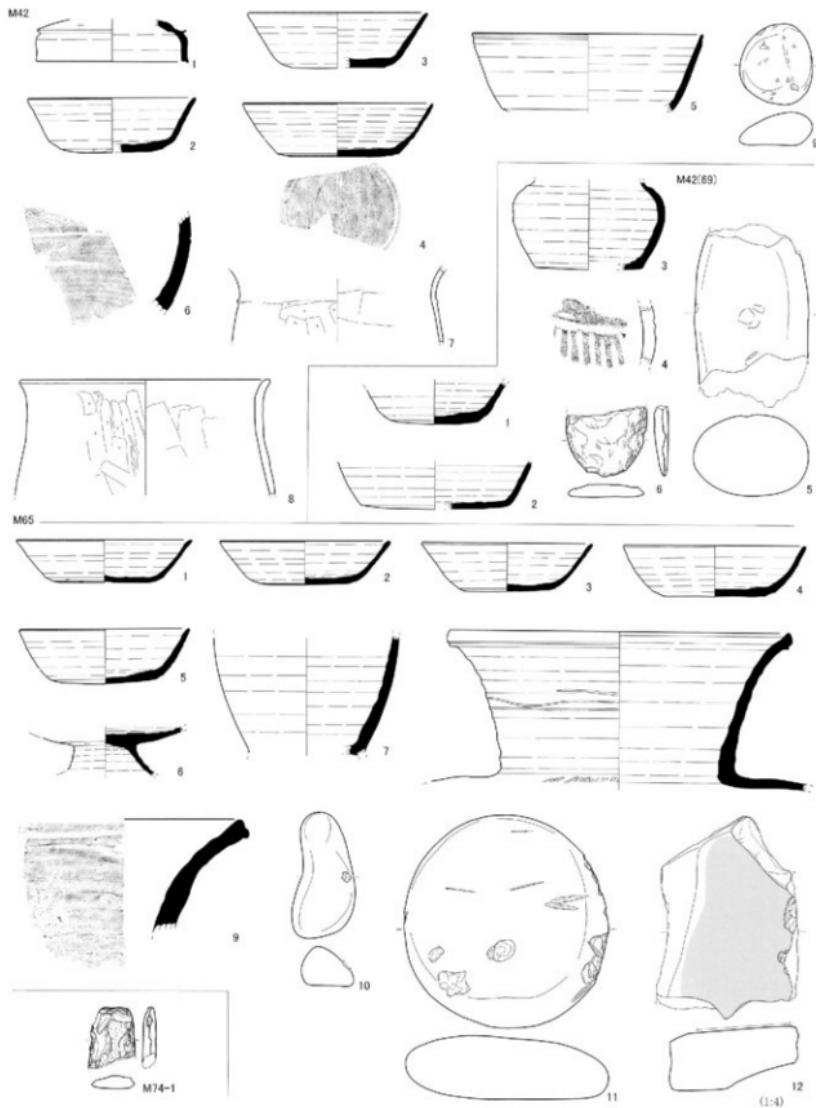
なお、本址は南側でTa1と重複する。本址の方が新しいと判断したが、Ta1の東西ラインのセクションM65が現れない事や、Ta1の南からM65と同規模のM48が伸び、その先でM41と重なり、その南でM25と重複する。これららの事象は先に述べたM42等と共通しており、推定だかこれらの溝はすべてM25に集約される構造とも考えられる。

(9) M66号溝状遺構

本址は調査区中央のIV・V・X区を中心に検出された。掘立柱建物址群を囲むように検出され、検出長62.55m、幅0.33~0.66m、深さは0.06~0.20mを測る。本址からの出土遺物は図示できるものはなかったが、須恵器壺片・壺片等が出土した。本址は出土遺物やその配置から古代の所産と考えられる。



第112図 M25・26・35・41・48・47(51)・77号溝状構出土遺物実測図



第113図 M42(69)・65・74号溝状遺構出土遺物実測図

第38表 M25・26・35・41・42・48・51・65・69・77号溝状遺構出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	器種	量	成形・調整・文様			推定輪(○)残存量(△)丸底●	備考	出土位置	
				口幅(奥) 口径(端) 高さ(厚)	内面 高さ(厚)	外面				
M25	須恵器	坪	14.5 (12.6)	7.4 (7.8)	3.9 3.7	ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ 小斜面へフタ切り ロクロナデ 小斜面へフタ切り 火だすき有 ロクロナデ	完全実測 回転実測 回転実測	XV-14 XV-19 XV-9	
	須恵器	坪	(15.0)	-	(4.0)					
	須恵器	坪	(13.0)	(7.8)	3.8	ロクロナデ	ロクロナデ 切り離し後手持ちへラケズリ	回転実測 内外 面に火だすき有	XV-19	
	須恵器	坪	-	(7.4)	(2.0)	ロクロナデ	ロクロナデ 一斜面へフタ切り 道部にヘラ記号	回転実測	XV-9 M11X-9	
	須恵器	壺	(16.2)	-	(2.7)	ロクロナデ	ロクロナデ	回転実測	XV-9	
	須恵器	壺	(29.4)	-	(8.0)	ロクロナデ	ロクロナデ タタキ目	回転実測	XV-19 XV-14	
	須恵器	壺	(21.0)	-	(20.0)	ナデ	ロクロナデ 脇部タタキ目	回転実測	M25X-9 XV-9 M25X-9 M25X-9 M25X-9 XI-6 Ge-XV-9 XI-6 XV-15 XVI検出 面	
M26	土師器	瓶	-	(6.0)	(2.5)	ハフミガキ→調色處理	ロクロナデ 知り離し後高台付	回転実測	XVI-14	
	土師器	坪	(14.6)	(9.0)	4.2	ハフミガキ→調色處理	ロクロナデ 底部手持ちへラケズリ	回転実測	XVI-9	
	土師器	壺	(16.0)	-	(7.0)	ロクロナデ	ハラケズリ 裂けている	回転実測	XVI-14	
M26	須恵器	甕	(28.8)	-	(19.0)	ロクロナデ	ロクロナデ 平行タタキ目	回転実測	XVI-10	
M25	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	断面実測	XVI-6 XV-10	
M25	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	回転実測	XVI-6 XVI-10	
M21	土師器	甕	(13.6)	-	(4.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	回転実測	XVI-9	
M22	須恵器	蓋	(12.4)	-	(3.5)	ロクロナデ	ロクロナデ 天井斜面へラケズリ	回転実測	XVI-4	
	須恵器	坪	(13.8)	(8.4)	(4.5)	ロクロナデ	ロクロナデ 底部手持ちへラケズリ	回転実測	XVI-4 XVI-9 SB011PT11M	
	須恵器	坪	(14.8)	(7.6)	(4.5)	ロクロナデ	ロクロナデ 底部へラケズリ	回転実測	XVI-2-4	
	須恵器	坪	(15.6)	8.9	4.4	ロクロナデ	ロクロナデ 底面へラケズリ ヘラ記号	完全実測	XVI-4	
	須恵器	坪	(19.0)	-	(6.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	回転実測	XVI-4	
	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	横縞波状文	断面実測	XVI-4-15	
	須恵器	甕	-	-	(0.1)	ロクロナデ	ハラケズリ	回転実測	XVI-4	
M18	土師器	甕	(20.6)	-	(9.5)	ナデ	ナデ	回転実測	XVI-4	
	須恵器	蓋	-	つまみ	(2.7)	ロクロナデ	ロクロナデ 天井斜面へラケズリ つまみ粘付	完全実測		
M51	須恵器	甕	-	-	-	ナデ	平行タタキ ハラケズリ	断面実測	X-14	
	須恵器	小坪	-	3.2	(1.7)	ロクロナデ→施抹	ロクロナデ→施抹(染付)	完全実測 1C 末-1C前 伊 万里 V期	X-9	
	陶器	甕	-	(4.2)	(3.6)	ロクロナデ→施抹	ロクロナデ→施抹(染付)	回転実測 1C 四輪車馬	X-9	
	磁器	鉢	-	-	-	施抹(染付)	施抹(染付)	断面実測 1C 末-1C前 伊 万里 X-9	X-9	
M55	須恵器	坪	(14.4)	(7.2)	3.5	ロクロナデ 火だすき有	ロクロナデ 施跡斜面へラケズリ 火だすき有	回転実測	XI-1 No.3	
	須恵器	坪	(14.0)	(7.5)	3.6	ロクロナデ	ロクロナデ 斜面へラケズリ 火だすき有	回転実測	XI-1	
	須恵器	坪	(14.0)	7.9	4.0	ロクロナデ 火だすき有	ロクロナデ 斜面へラケズリ 火だすき有	完全実測	XI-1 No.3	
	須恵器	坪	(14.9)	8.4	4.2	ロクロナデ	ロクロナデ 斜面へラケズリ	完全実測	XI-1 No.2-5-6	
	須恵器	坪	(13.9)	8.7	4.5	ロクロナデ	ロクロナデ 斜面へラケズリ	完全実測	XI-1 No.6	
	須恵器	高坪	-	-	(4.1)	ロクロナデ	ロクロナデ 斜面凹凸面へラケズリ	完全実測	No.1	
	須恵器	壺	-	-	(0.6)	ロクロナデ	ロクロナデ→施抹(高台欠損)	回転実測	XI-11	
	須恵器	壺	(27.0)	-	(13.0)	ロクロナデ	自然堆積物 平行タタキ目 自然堆積物	回転実測	X-5 No.4	
M89	須恵器	甕	-	-	-	-	-	断面実測	X-11	
	須恵器	坪	-	-	7.4	(3.6)	ロクロナデ	ロクロナデ→施抹斜面へフタ切り	完全実測	X-19
	須恵器	坪	-	(12.2)	(4.0)	ロクロナデ	ロクロナデ→施抹手持ちへラケズリ	回転実測	X-19	
	須恵器	加羅蓋	-	(0.6)	(2.0)	ロクロナデ	ロクロナデ→施抹手持ちへラケズリ 自然堆積物	断面実測	X-34	
M77	須恵器	深鉢	-	-	-	ナデ	ナデ	断面実測	X-19	
	須恵器	坪	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ 武部へフタ切り	断面実測	XII-8	

第39表 M25・42・65・69・74号溝状遺構出土遺物観察表

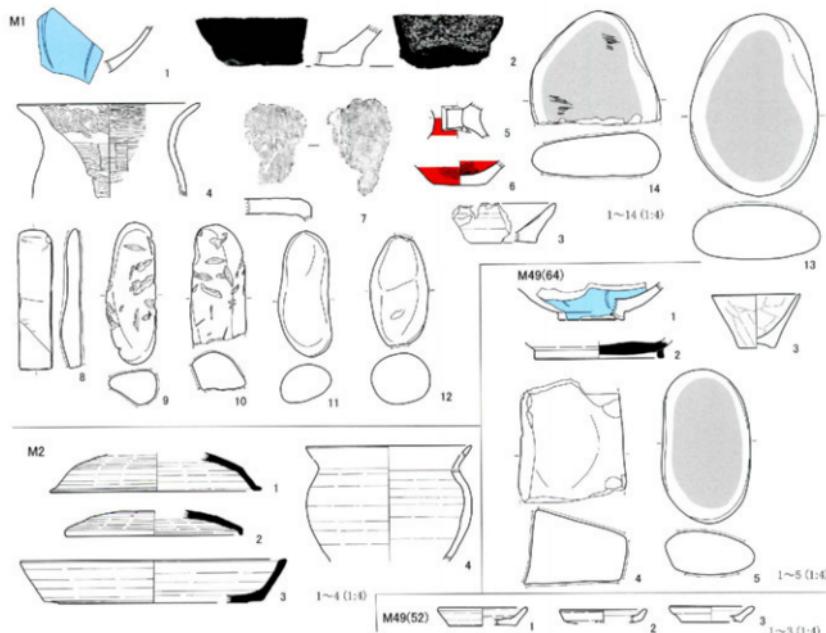
(cm)

No.	器種	素材	最大長	最大幅	最大厚	重 量	所	見	出土位置
M25	輪石	輝石安山岩	10.8	6.3	3.2	319.83	両側にタタキ		XVI-9
	磨石	ルーファイト	3.8	2.2	1.7	16.15	全体にすり		XVI-9
	軽石製品	軽石	7.6	6.8	5.2	111.89	全体にすり		XVI-14
M42	軽石製品	軽石	6.7	5.8	2.7	45.43	全体にすり		
10	磨石	輝石安山岩	10.4	5.2	3.3	262.71	正面に斜打痕		XI-1
11	鐵石	安山岩	17.6	16.8	5.4	1779.00	正面と斜辺に斜打痕と条痕		No.9
12	石斧	安山岩	(16.7)	(11.5)	(6.1)	(1540)	右側下部欠損 正面に朱色痕		No.8
M60	支脚石	輝石安山岩	(15.0)	(9.0)	(6.0)	(1283.42)	坡面あり 上半部墨化 下部欠損		X-4
6	石製石斧	輝石安山岩	(5.8)	(4.6)	(1.2)	(59.80)	上部欠損 刀部磨滅		X-14
M74	打製石器	安山岩	(8.1)	(3.8)	(1.1)	(27.35)	下部欠損		VII-11

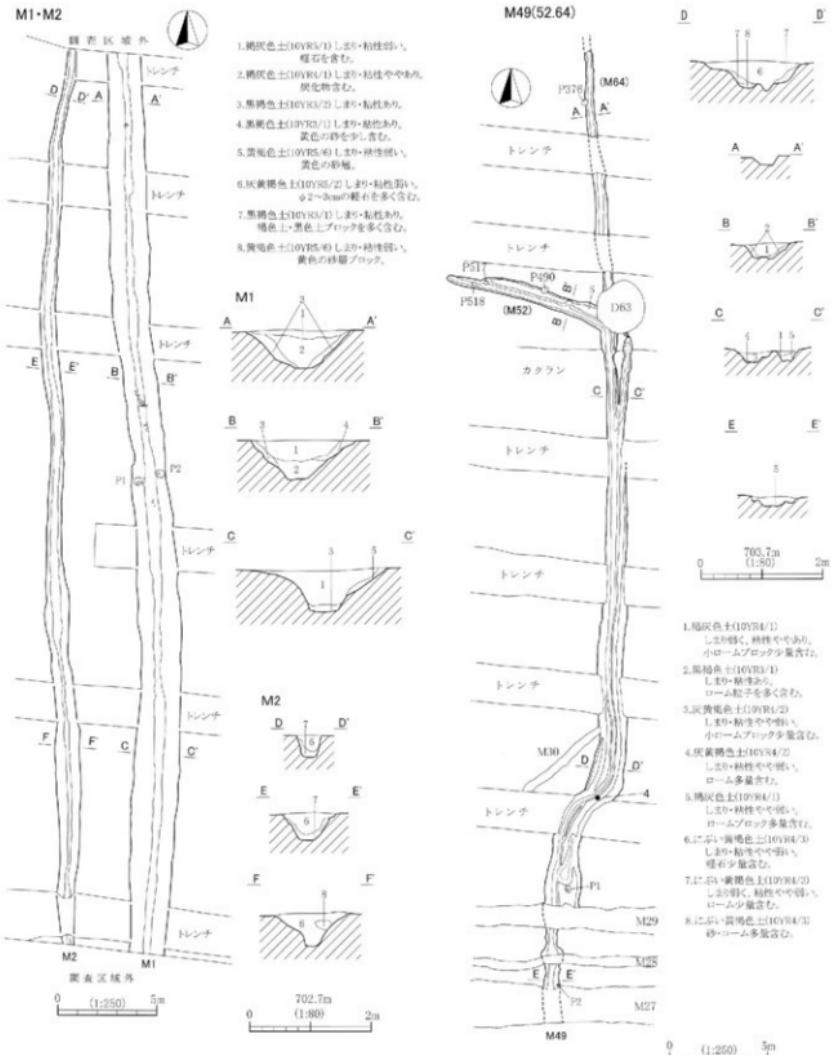
(10) M1・2号溝状遺構

本址は調査区東端のX X I 区を中心に検出された。M1とM2はほぼ並行して南北方向に伸びる形状で検出された。規模はM1が検出長46.29m・幅1.48~2.35m・深さ0.61~0.75mを測る。高低差は南の方が0.60m程低かった。M2の規模は検出長46.12m・幅0.41~1.24m・深さ0.33~0.53mを測る。高低差は南の方が0.53m低かった。どちらの溝も底面は平坦であり、水の流れた様子はなかった。

本址から出土遺物は図示したものであるが、覆上の特徴などから、両遺構は中世の所産と考えられる。



第114図 M1・2・49(52・64)号溝状遺構出土遺物実測図



第115図 M1・2・49(52・64)号溝状遺構実測図

第40表 M1・2・52・64号溝状遺構出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	性種	法量			成形・調整・文理		推定値(△)残存値(○)丸底(●)	備考	出土位置
			口径(底)	底径(幅)	高さ(厚)	内面	外面			
M1	青磁 透青文繩	-	-	-	-	底鉢	施釉	底片天削 13C後半～14C前半 施釉部	II区	
	陶器 盞	-	-	(3.4)	ヨコナデ	自然軸付着	ハケ目状の痕跡の残るナデ	伊賀天削 中腹・底帯	III区	
	土師質 瓦	かわらけ	-	-	3.3	ヨコナデ	ヨコナデ 底部へラケズリ	板井天削 12C代	II区	
	角生 甕	(15.0)	-	(7.7)	ミガキ	複数側面(2腹) (2)	12本 痕跡凹状文	同上	III区	
	角生 器台	-	-	(2.9)	ナデ	ナデ→赤色追印	完全丸削	II区		
	角生 体	-	4.4	(2.0)	ミガキ→赤色追印	ミガキ→赤色追印	完全実削	II区		
	瓦	瓦	(8.5)	(5.7)	1.9	ナデ	ナデ	解説天削	II区	
M2	瓦	青	(17.4)	-	(3.1)	ロクロナデ	ロクロナデ	同上	II区	
	瓦	蓋	(14.0)	-	(2.1)	ロクロナデ	ロクロナデ→天井部凹削へラケズリ	同上実削 内面に自然軸付着	II区	
	瓦	甕	(22.0)	(17.0)	3.6	ロクロナデ	ロクロナデ→底部凹削へラケズリ	同上実削 内面と器底外周に自然軸付着	II区	
	土師質 甕	ロクロナデ	(13.6)	-	(9.6)	ロクロナデ	ロクロナデ	同上実削	II区	
M52	土師質 瓦	かわらけ	(7.4)	(5.6)	1.8	ロクロナデ	ロクロナデ→底部ナデ	同上実削	X-5	
	土師質 瓦	かわらけ	(7.2)	-	(1.1)	ロクロナデ	ロクロナデ→底部ナデへラケズリ	同上実削	X-5	
	土師質 瓦	かわらけ	(7.6)	(4.9)	1.8	ロクロナデ	ロクロナデ→底部凹削糸切り	同上実削	X 1-1	
M54	青磁 透青文繩	-	(5.4)	(2.9)	底鉢	施釉	施釉面削 しのぎなし 13C後半～14C前半 健堀窯	X-19		
	青磁 有台杯	-	(16.6)	(1.4)	ロクロナデ	すれていいろ	ロクロナデ→底部凹削へラケズリ・高台貼付	同上実削	X25	
	角生 小口付器	(7.2)	(2.0)	4.4	ナデ	ナデ	同上実削	X20		
No.	器種	業	基	底大	底大	底	所見		出土位置	
8	砥石	礫灰岩	11.7	2.9	1.6	76.33	研磨面4(正背面)		II区	
9	砥石	彩岩	11.8	4.1	3.6	152.74	研磨面4 削り取ったような使用痕跡		I区	
10	砥石	彩岩	(19.6)	(4.6)	(3.2)	(316.41)	下部欠損 剥り取ったような使用痕跡		Ⅱ区	
M55	11	?	宝山石	19.4	3.4	3.2	207.29		II区	
	12	磨石	宝山石	9.2	4.8	4.2	196.95	上下凹削に飛打痕	II区	
	13	磨石	宝山石	16.1	10.5	4.9	946.21	正面にすり面	II区	
	14	磨石	輝石安山岩	(9.6)	(16.7)	(3.7)	(306.99)	下部欠損 正面にすり面	II区	
M56	4	磨石	虎斑岩	(16.2)	(8.9)	(6.6)	956.98	研磨歴4 上下欠損	No.1	
	5	磨石	輝石安山岩	12.8	7.4	3.7	926.82	正面にすり面	M-11	

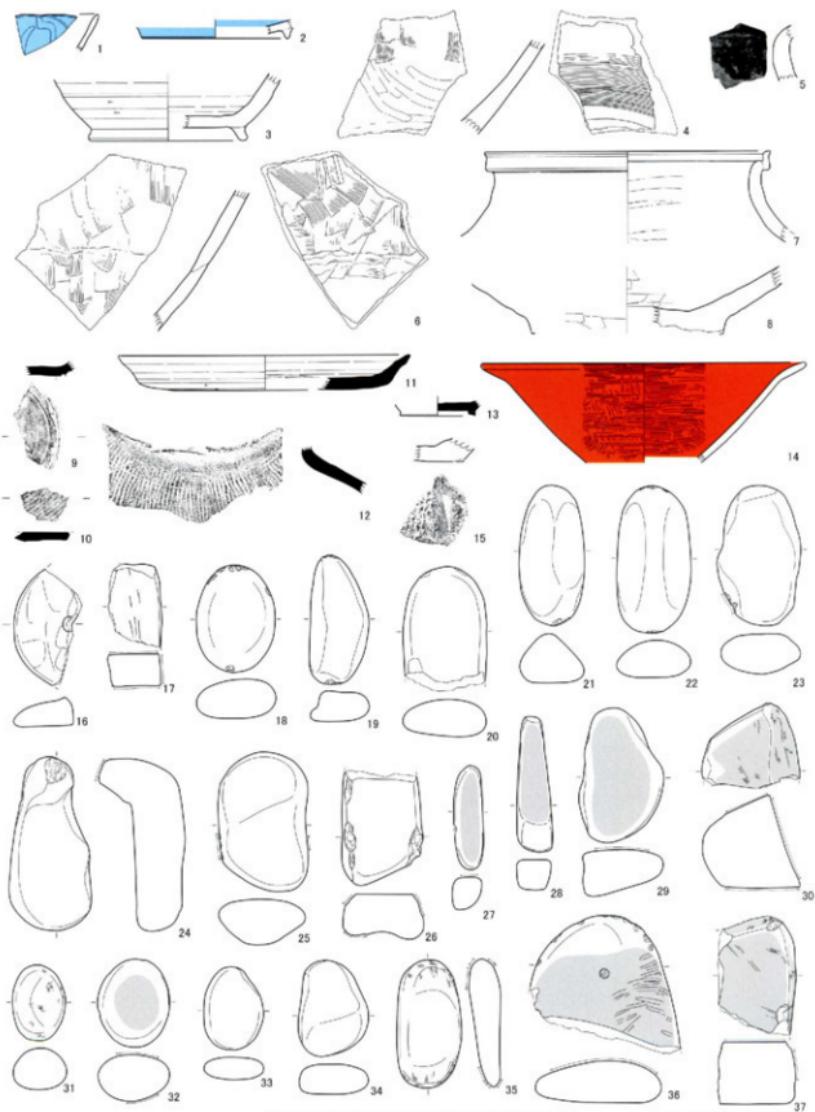
(11) M49(52-64)号溝状遺構

本址は調査区中央のIV・X・X 1区を中心に検出された。D63号土坑を中心に北側の南北に伸びる溝をM64、南側に伸びる溝をM49、西側に伸びる部分をM52として調査した。いずれの遺構もD63号土坑よりは古い。規模はM49が検出長33.39m・最大幅1.84m・深さ0.21～0.47mを測る。M52は検出長7.89mで西端は自然に立ち上がる。幅は0.30m内外である。M64は検出長12.12m・幅は0.30m内外で、北端は自然に立ち上がる。溝底面の形状はM52とM64の部分については逆台形を呈するが、M49の特に南側部分については凹凸が激しく、何本かの溝の集合体のような状況であった。これらの溝状遺構はD63の東側に伸びる検出長18.38mのM54も含め、同一あるいは有機的に結びついた溝状遺構と考えられ、溝の交差する部分に意識的にD63号土坑が築かれたと推定される。

これら遺構の出土遺物はM64より青磁碗、M52よりカワラケ等があり、中世の所産と考えられる。

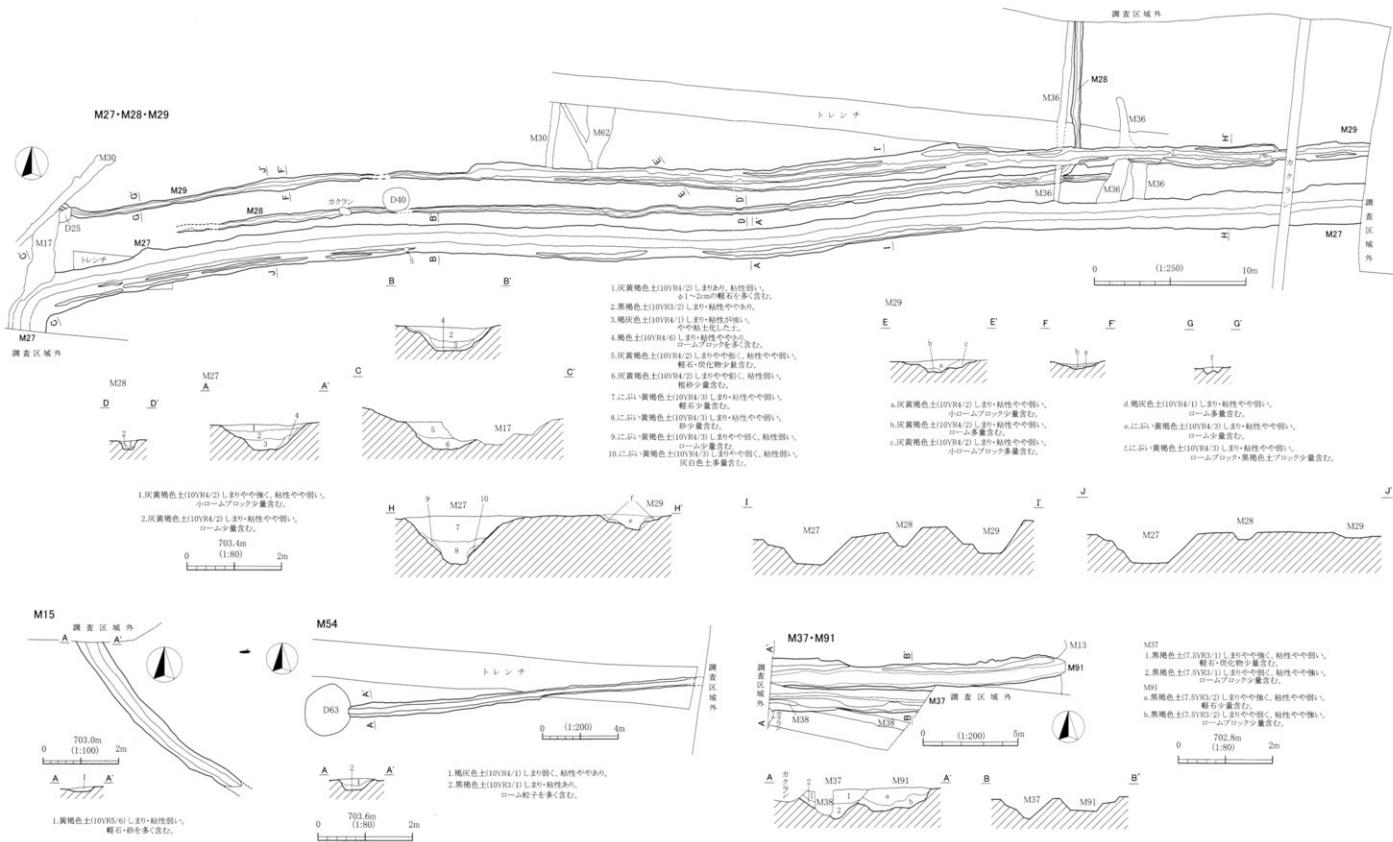
(12) M27・28・29号溝状遺構

本址は調査区中央のX・X 1区を中心に検出された。3本の溝はほぼ並行して東西方向に伸びる形状で検出されたが、M27号溝状遺構は西端で南に向かって曲がり、M28号溝状遺構は東端で二股に分かれ一本は北方向に伸びている。規模はM27が検出長90.52m・幅1.63～2.64m・深さ0.53～0.81mを測る。高低差は西の方が0.72m程低かった。M28の規模は検出長73.47m・幅0.27～0.97m・深さ0.14～0.38mを測る。高低差は南の方が0.57m低かった。M29の規模は検出長87.07m・幅0.26～1.98m・深さ0.12～0.69mを測る。高低差は南の方が0.84m低かった。いずれの溝も西側に比べ東側の方が圃場整備などの削平を受けておらず、残存状況は良かった。溝の覆土はいずれも自然堆積



第116図 M27号溝状遺構出土遺物実測図

1~15・17~37 (1:4) 16 (1:2)

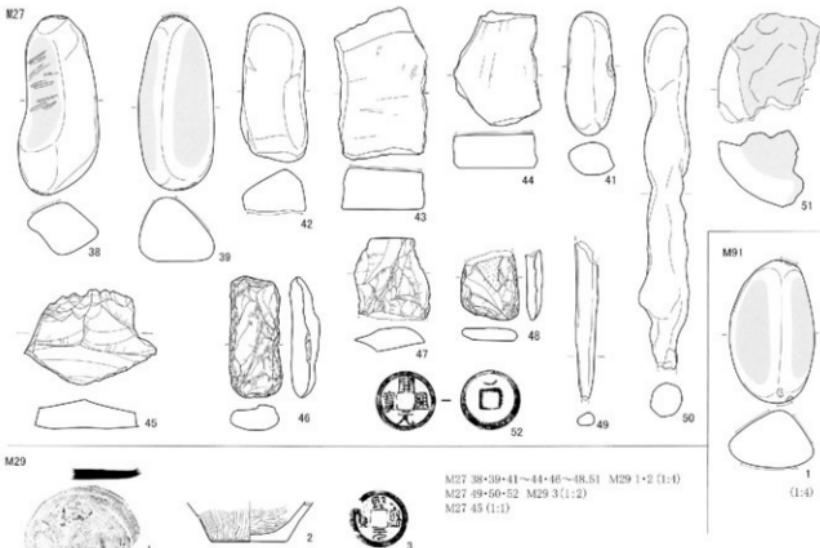


第117図 M15・27・28・29・37・54・91号溝状構造実測図

第41表 M27・29号溝状遺構出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	器種	法 番		成形・調整・文様		測定値() 順序値() 丸括●	出土地點	
			寸法(高)	滲透(幅)	滲透(厚)	内面	外面		
M27	1	青磁	津井文鏡	-	-	-	施釉	施釉	碎片尖底 斜腹底 XIV-3
	2	青磁	鉢	-	(12.2)	(1.5)	施釉	施釉	圓筒尖底 -14C前半 -14C前半 -高乳頭 XIV-4
	3	須恵質	浅縁鉢	-	(13.0)	(5.5)	コクロナデ 自然輪付要 摩打	ロクロナデ-底部外周輪-ハケゼリ-高台輪付	圓筒尖底 13C後半 -高乳頭 XIV-4
	4	須恵質	盤?	-	-	-	ナダ-ハケナデ	ナダ-ハケナデ	碎片尖底 北壁直 13世紀代 IX-25
	5	陶器	甌	-	-	-	ヨコナデ	自然輪付要	断面実測 中後 高瀬 XIV-2
	6	須恵質	盤?	-	-	-	ナダ-ハケナデ	ナダ-ハケナデ	碎片尖底 北壁東 13世紀代 X-21
	7	陶器	甌	(23.4)	-	(7.5)	輪便成形→コナデ 自然輪付要	ヨコナデ-自然輪付要	圓筒尖底 北壁南 X-21 X-22
	8	陶器	甌	-	-	(0.4)	ヘラナデ 自然輪付要	ナダ	圓筒尖底 中後 寛瀬 XIV-2
	9	須恵器	有耳甌	-	-	(1.2)	ロクロナデ	底露輪-ハケゼリ-高台輪付(高台欠損)	断面実測 ヘラ記号あり X-23
	10	須恵器	不明	-	-	-			断面実測 ヘラ記号あり XIV-5
	11	須恵器	丑	(23.8)	(20.7)	(2.9)	ロクロナデ-みこみ輪ナデ 狹直	ロクロナデ-底露輪-ハケゼリ	圓筒尖底 X-21
	12	須恵器	甌	-	-	-	肩部ナデ-口縁ヨコナデ	口縁ヨコナデ 肩部タキ目	断面実測 肩部外側- 口縁内側に自然輪付 XIV-1 M29 X-23 XVI -高乳頭 XVII-4
	13	須恵器	有耳甌	-	(6.2)	(1.2)	ロクロナデ	ロクロナデ-底部丸切り-高台輪付	圓筒尖底 XIV-5
	14	須恵器	鉢	(26.6)	-	(8.2)	ミガキ-赤色施彩	ミガキ-赤色施彩	断面実測 XIV-3 カク ラン XⅣ-4 XⅣ-5 カクラン
	15	調文	鉢	-	-	-	ナダ	底部に網代模あり	断面実測 X-21
M29	1	須恵器	牙	-	-	(0.9)	ロクロナデ	ロクロナデ-底部曲輪-ハケゼリ	断面実測 底部外面に ヘラ記号あり X-25
	2	須恵器	更	-	6.3	(3.3)	ミガキ	底部ミガキ 通鑑ミガキ	完全実測 X-25
No.	西	東	材	断大径	断大厚	断大厚	断面	所見	出土地點
M27	16	土製防寒車	砂岩	(4.0)	(2.7)	(1.2)	(12.69) 径(5.6) 孔径(6.7)	圓整ナデ	X-25
	17	砾石	砂岩	9.0	(4.0)	(2.4)	(121.80) 底面凹凸		X-25
	18	砾石	砂岩	8.9	6.5	3.3	272.37	上端部に敲打痕	XIV-3
	19	砾石	花崗岩	10.6	5.0	3.9	265.22	下端部に敲打痕	XIV-4
	20	?	輝石安山岩	(9.0)	(7.0)	(3.0)	(375.14) 下部欠損		
	21	砾石	輝石安山岩	11.6	5.4	4.2	344.06	下端部に敲打痕	X-24
	22	砾石	輝石安山岩	12.1	6.0	5.2	365.81	上端部に敲打痕	X-22
	23	砾石	石英安山岩	11.6	6.9	3.6	295.37	上端部は敲打?	XVII-2
	24	砾石	砂岩	14.3	6.7	6.3	602.39	先端部に敲打痕	X-23
	25	砾石	安山岩	11.5	7.4	3.7	467.07	両端部に敲打痕	XIV-4
	26	砾石	砂岩	(9.5)	(6.6)	(3.7)	(602.34) 下部欠損	上端部に敲打痕	X-25
	27	砾石	安山岩	8.6	2.5	2.8	88.74	正面にナリ面	XIV-3
	28	砾石	輝石安山岩	11.2	3.0	2.6	159.00	正面にナリ面	X-23
	29	砾石	安山岩	11.1	6.9	3.8	407.93	正面にナリ面	XV-6
	30	砾石	安山岩	(2.6)	(0.1)	(7.2)	(509.13) 下部欠損	正面にナリ面	X-22
	31	砾石	輝石安山岩	8.5	1.4	3.6	123.59	全体にナリ	XIV-1
	32	砾石	輝石安山岩	7.4	5.8	4.6	226.07	正面にナリ面	X-23
	33	?	砂岩	7.9	5.9	2.1	85.95		XIV-5
	34	?	花崗岩	8.0	5.8	2.6	150.90		XIV-4
	35	砾石	砂岩	10.5	5.3	2.6	190.00	上下端部にナリ	X-25
	36	砾石-敲打	砂岩	(11.0)	(12.0)	(4.0)	(603.84) 下部欠損	正面にナリ面 浅い剥離あり 締辺に敲打痕	X-25
	37	砾石	安山岩	(9.7)	(6.6)	(5.3)	(944.27) 左側-下側欠損	正面にナリ面 左側-右側-上側にナリ面	XIV-2
	38	砾-敲打	赤貝砂岩	14.7	6.5	4.7	540.92	正面にナリ面 浅い剥離あり 上下端部に敲打痕	XIV-5
	39	砾-敲打	安山岩	14.3	6.2	5.3	677.94	正面2ヶ所にナリ面 上下端部に敲打痕	X-21
	40	陶物石	輝石安山岩	10.1	4.1	2.8	163.04	右側に抉り孔?	XIV-4
	41	?	達賀貝殻	(12.2)	(5.6)	(4.0)	(341.43) 裏面欠損		XIV-4
	42	谷石	輝石安山岩	12.4	7.6	2.4	581.97	正面に使用痕	XIV-3
	43	谷石	安山岩	9.3	7.2	2.8	328.94	被削あり? 裏面除き削化 正面に使用痕	XIV-2
	44	鉄片	花崗岩	2.9	2.3	0.6	2.56		XIV-1
	45	打撃石斧	輝石安山岩	9.9	4.4	2.1	116.98	全体に削減	
	46	打撃石斧	輝石安山岩	9.6	(5.3)	(2.6)	(95.75) 下部欠損		XIV-1



第118図 M27・29・91号溝状遺構出土遺物実測図

第42表 M27・29・91号溝状遺構出土遺物観察表

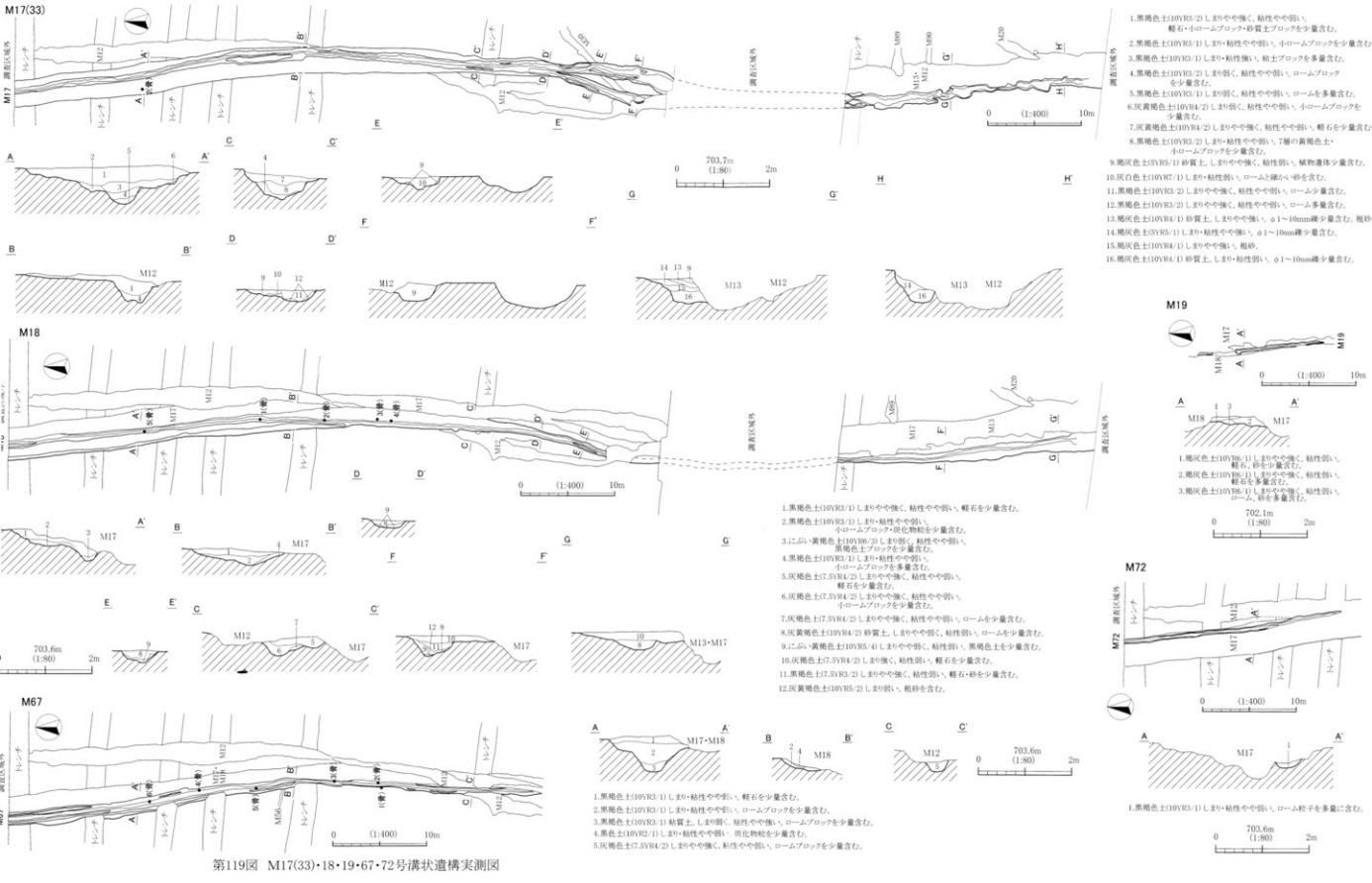
No.	器種	素材	断面	最大幅	最大高	板厚	重 量	著 見	(cm)	出土位置
M27	打製石斧	安山岩	(5.7)	(4.7)	(1.2)	(44.0)	上部欠損 刀刃部分	X VI-5		
	石刀	砂岩	(6.0)	(0.6)	(7.46)	下部欠損	X 22			
	不明	砂岩	(1.6)	(2.1)	(1.7)	(59.29)	下部欠損 本体は刀身部分	X 24		
	鉄滓	鉄	(9.0)	(8.4)	鋸歯	(413.64)	約1/4残存? 斧付分着 増幅形	XK-25		
	正鉢	陶	2.0	-	0.14	2.38	実物 繁元通宝 621年(神武1月)	XV-5		
M29	正鉢	陶	2.4	-	0.15	2.42	実物 繁寧元宝 1068年(承和10年)	X-23		
M29.1	鐵・鉛石	輝石安山岩	11.7	7.0	4.9	547.14	正面2ヶ所と裏面にすり面 上下端部に鉄打痕	XVII-2		

の状況で、底面は平坦であり、水の流れた様子はなかった。なお、M28号溝状遺構は東端の北側に曲がる部分でM29号溝状遺構と新旧関係が確認され、M28の方が古いと判明した。このことからこれら3本の溝は同時に併存したものではなく、M27とM29が同時に併存した可能性がある。このことは、先に述べたM1号溝状遺構とM2号溝状遺構の様子よく似通っており、幅と深さの異なる大小の溝が間隔を置いて併存することが指摘できる。また、後述するM17.18号溝状遺構も含めて考えると、これらの溝はいずれも直角に交わることが予想される。

3箇所の遺構から出土した遺物は遺構によりその量が非常にばらつきがあった。M28・29号溝状遺構からはほとんど遺物は出土せず、M27号溝状遺構からの出土が非常に多かった。特にM27からは覆土中からの出土であるが、龍泉窯系青磁碗や尾張系の捏ね鉢、常滑の甕、北關東系の壺等の破片が出土した。これら遺物はいずれも13世紀代から14世紀前半を示すもので、これらのことからM27・28・29号溝状遺構は中世前半の所産時期が考えられる。

(13) M17(33)・18・19・67・72号溝状遺構

本址は調査区西側のV・VI・X I・X II・X VII・X VIII区を中心に検出された。調査区を南北方向に貫くように伸びており、表記した溝状遺構の新旧関係は、M17が一番新しく、M18・19・72が次で、M67が最も古い。このことから、これら溝状遺構は、調査区の西側から東側に向けて徐々に位置をずらしながら掘り込まれていることが予想される。なお、近世から近代の遺構と考えられるM12.13号溝状遺構もM17の東側に位置をずらして構築されており、時代をまたいで



関連性が指摘できる。

規模はM17が検出長129.59m、幅が0.40~3.45m、深さは0.23~0.90mを測る。溝底部はやや凹凸があり、覆土は自然堆積であった。溝の一部に二股に分かれる部分もあった。M18は検出長116.95m、幅0.56~2.57m、深さ0.15~0.73mを測る。溝底部はM17と同じく凹凸があり、覆土は自然堆積であった。いずれの溝状遺構も覆土中に砂層が確認され、水流の影響を受けていると推定される。

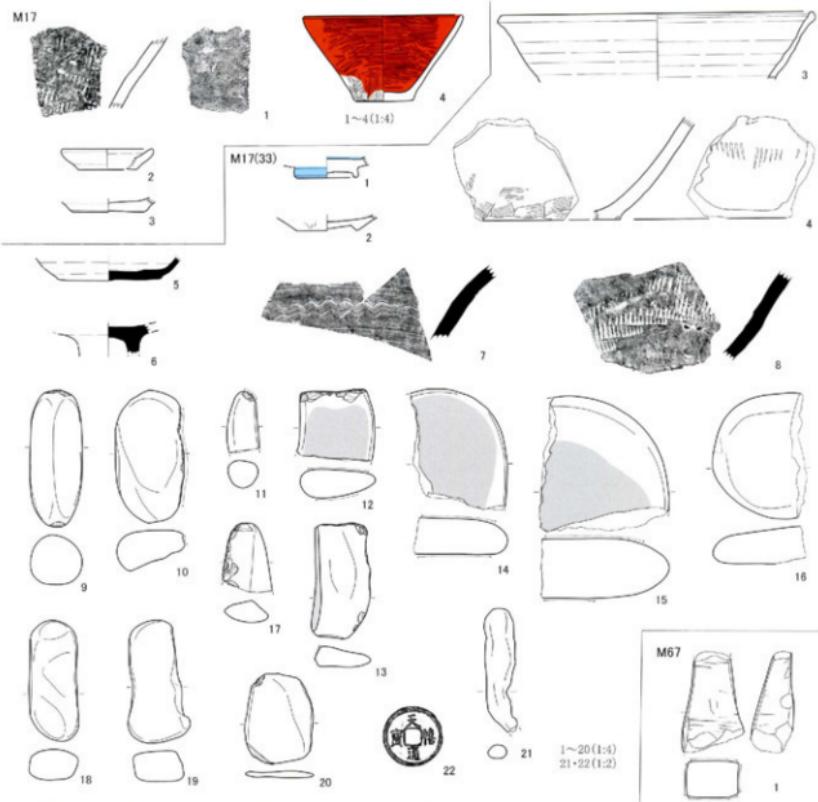
各遺構からは、覆土中を中心に遺物が出土した。M17からは図示した常滑の甕やカワラケ、龍泉窯系の青磁碗とともに、中津川系の捏ね鉢片が出土した。また、M18からは硯片とともに古代の円面鏡が出土した。欠損しているが方形の透かしを持つタイプの鏡である。

これらの遺物から、ここに記載した溝状遺構は中世の所産と考えられる。

第43表 M17・33・18・67号溝状遺構出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	種類	法 番		成形・調整・文様		指定地()	残存地()	丸底●
			口径(奥)	直径(幅)	高さ(厚)	内 面			
M17	陶器	甕	-	-	-	ヨコナデ	タタキ目	断面実測 常滑	中世 常滑 I区
	土師質	かわらけ	(7.4)	(4.7)	1.8	ヨクロナデ	ヨクロナデ→底部糸切り	回転実測	I区
	土師質	かわらけ	-	(6.3)	(1.1)	ヨクロナデ	ヨクロナデ→底部糸切り	回転実測	II区
	陶生	鉢	(13.2)	(4.0)	7.1	ミガキ→赤色塗彩	口縁ハナナデ→ミガキ→赤色塗彩 部部ナデ	回転実測	V区
M18	青磁	碗	-	8.3	(1.7)	施釉	施釉	完全実測 籠目模様	13C X1-15
	陶器	土瓶?	-	(5.0)	(1.3)	底輪(抹輪)	ヨクロナデ→底輪(抹輪)	回転実測 13C末 前山 M85	X1-15 XI-26
	須恵質	涅ね鉢	(26.0)	-	(5.6)	ヨクロナデ	自然糊付着	回転実測 13C後半 中津川	X1-20
	須恵質	壺	-	-	-	盛り目を削り 濡糞	ナデ	板戸窓跡 13世紀代 長野県	V-25
	須恵質	壺	-	-	-	ヨクロナデ	ヨクロナデ→底部ヘラケズリ	完全実測	
	須恵質	壺	-	8.5	(2.0)	ヨクロナデ	ヨクロナデ	完全実測	
	須恵質	壺	-	-	-	ヨクロナデ	ヨクロナデ	完全実測	
	須恵質	壺	-	-	-	ヨクロナデ	ヨクロナデ	断面実測 XIV-XV M85-V-29 M85-V-28	XIV-XV M85-V-29 M85-V-28
M19	須恵器	圓筒	-	-	(1.6)	ヨクロナデ	ヨクロナデ→透し 桃成尚草孔	回転実測	
No.	種 別	素 材	規 大 長	規 大 幅	規 大 厚	規 大 重	規 量	規	出 古 土 位
9	磁石	輝石安山岩	11.2	4.3	4.1	291.27	上 下端部に輪状		M19V-29
10	磁石	輝石安山岩	10.9	5.6	3.4	292.85	右側に織目痕		M19V-15
11	磁石	砂岩	(5.0)	(2.7)	(2.3)	(37.31)	下端欠損 上端部に織目痕		V-25
12	磨 石	砂岩	(5.0)	(6.5)	(2.4)	(151.30)	下端欠損 上端部に織目痕 三面にすり面		
13	磁石	輝石安山岩	9.5	4.9	1.7	198.43	左側にすり面		M19V-16
14	磁石	輝石安山岩	(16.0)	(9.0)	(3.1)	(399.45)	熟熱わり 裏面黒化		XI-15
15	磁石	輝石安山岩	(11.4)	(6.7)	(5.1)	(291.58)	熟熱わり? 左側に下端欠損 三面にすり面		XI-15
16	?	砂岩	(16.0)	(7.8)	(0.2)	(360.31)	右側欠損		XI-10
17	?	珪利質	(5.7)	(4.1)	(1.6)	(50.45)	下端欠損 上部へ左側に剥離		XI-10
18	礫物石	砂岩	19.0	4.1	2.6	168.27			XI-15
19	礫物石	輝石安山岩	19.2	5.6	2.5	200.87			XI-20
20	塵 石	千枚材	7.8	3.7	0.6	34.87			XI-20
21	角 石?	砂岩	(5.1)	1.2	1.2	(8.17)	下部欠損		
22	古 瓦		2.81	-	0.11	3.06	丸形 天継通室 1617(応永)		XI-15
2	硯	和紙	(4.2)	(5.6)	(1.2)	(34.26)	表面と側面欠損		XIV-21
3	?	砂岩	(5.6)	(3.1)	(2.2)	(41.62)	下端欠損		XI-10
4	磁石	輝石安山岩	12.4	6.2	3.5	429.04	左側と上端部に織目痕		XI-5
1	磁石	輝灰岩	(8.0)	(5.0)	(3.2)	(153.06)	既底敷4 上下欠損 4面とも摩痕と委縮あり		V-21
2	磁石	砂岩	3.4	4.8	1.9	79.65	三面にすり面		V-21
3	磁石	石英安山岩	(6.4)	(7.0)	(2.9)	(212.41)	左側へ下部へ裏面欠損 正面にすり面		XI-15
4	?	輝石安山岩	19.3	5.9	2.7	319.46			北端
5	打脱石	輝石安山岩	(18.5)	11.9	1.6	(366.96)	上端欠損 造謡開合せあり		XI-5 M86

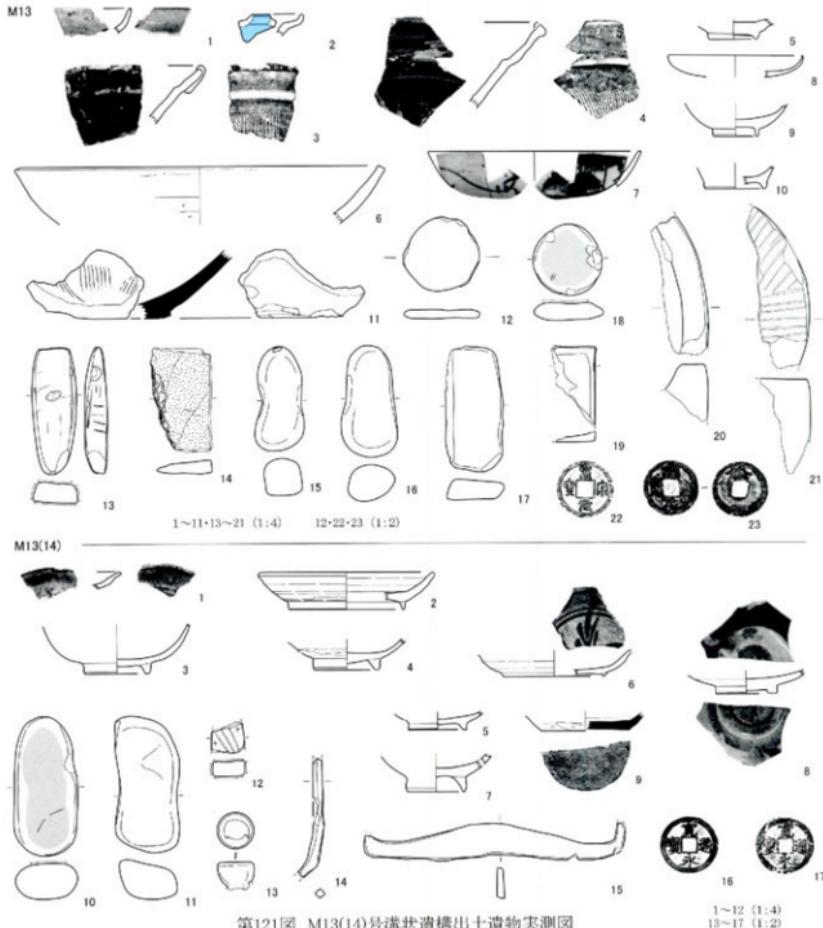


第120図 M17(33)・18・67号溝状遺構出土遺物実測図

(14) 近世以降の溝状遺構

今回の調査では近世以降の所産と考えられ溝状遺構が前述のように18本検出された。これらの溝のうち調査区を南北方向に貫くように伸びるM12(55)は圃場整備前に存在した道路の脇にあった水路と重なる。また、M30(60)・31・32・36(58・59)・62は圃場整備前の旧水田地割と重なる部分が多く、これらに付随した水路や地割遺構と考えられる。

また、これらの溝から出土した遺物も古代から中世のものも含まれるが、17～18世紀代の伊万里染付や在地の前山窯製品が多く出土した。ただ、M55から出土した(第123図M55-25)瓦は欠損しているものの、八弁複葉の所謂「川原田寺式」軒丸瓦と考えられ、注目される遺物である。

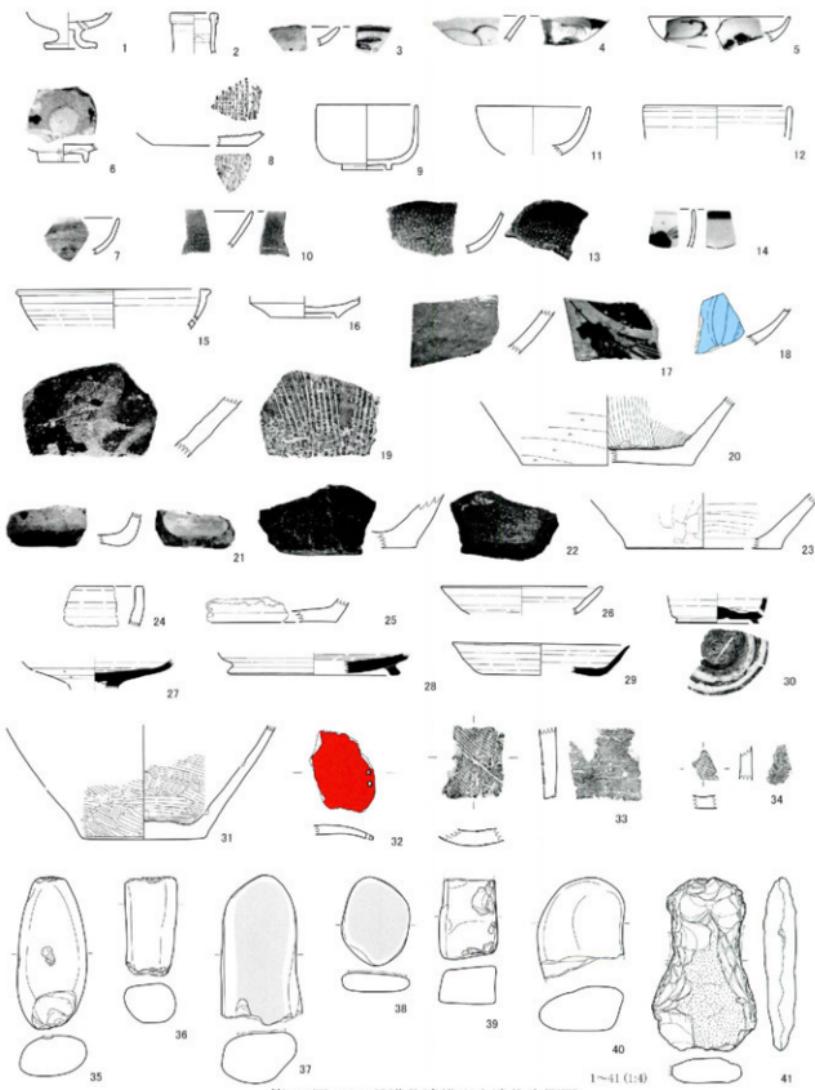


第121図 M13(14)号溝状遺構出土遺物実測図

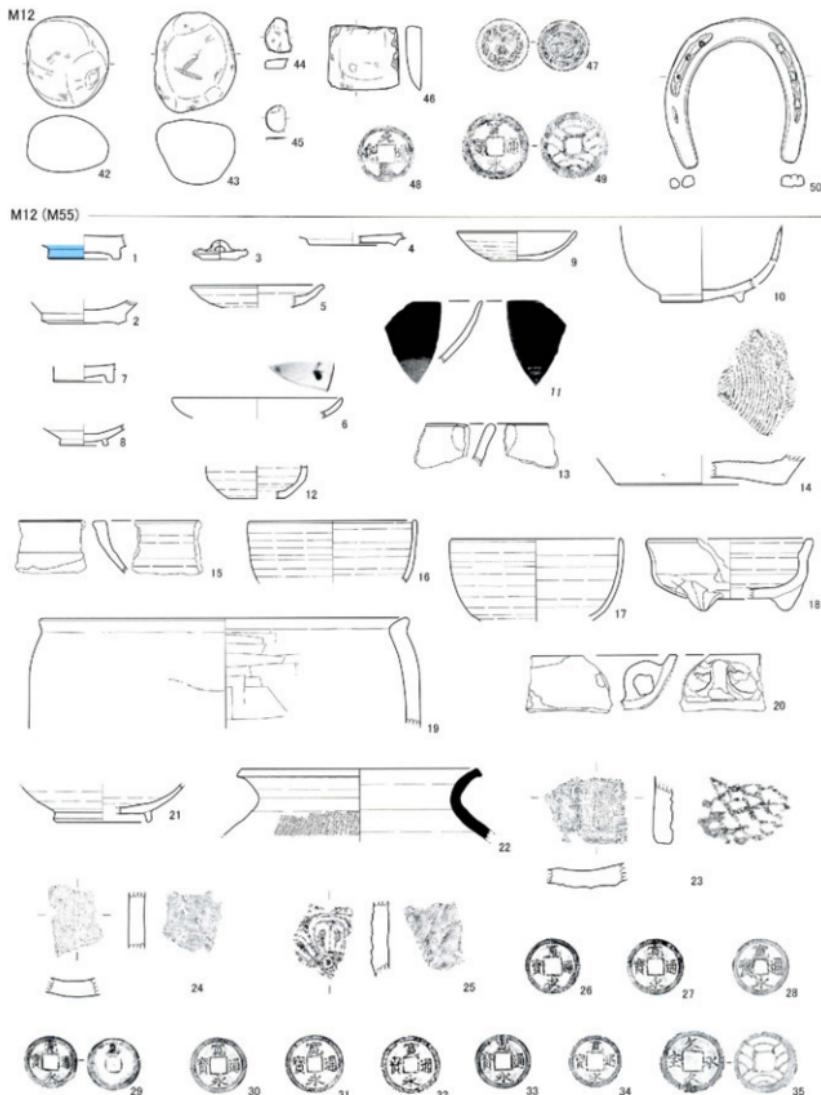
第44表 M13・14号溝状遺構出土遺物観察表

(C)

No.	器種	形態	構形・調整・文様			推定年() 買存年() 出土年()
			内面	外面	備考・出土位置	
M13	陶輪	志野丸底	-	-	底輪(灰輪)	断面実測 120前半 湖戸美濃
	青釉	鉢	-	-	底輪	破片実測 13C 嶺東窯 Ⅱ区
	陶器	縦り鉢	-	-	縦り目を刻む底輪(鉢輪)	断面実測 18C末~19C前 前山V区
	陶器	縦り鉢	-	-	縦り目を刻む底輪(鉢輪)	断面実測 18C末~19C前 前山Ⅱ区
	縦器	皿	-	4.0 (1.6)	ロクロナダ→底輪	完全実測 17C中頃 伊万里染付Ⅰ区
	縦器	縦り鉢	(30.4)	-	(4.2) ロココナダ	断面実測 13C後半 常滑V区
	縦器	皿	(17.4)	-	(3.0) ロクロナダ→底輪(染付)	断面実測 18C末~19C前 伊万里V期 Ⅱ区
	縦器	皿	(11.0)	-	(1.8) ロクロナダ→底輪	断面実測 18C末~19C前 伊万里V期 Ⅱ区
	縦器	碗	-	(3.8)	(2.2) ロクロナダ→底輪	断面実測 18C末~19C前 伊万里V期 Ⅳ区
	縦器	瓶	-	(4.8)	(1.6) コクロナダ→底輪	断面実測 18C末~19C前 伊万里V期 Ⅳ区
	漆器質系	縦り鉢	-	-	縦り目を刻む 置輪	漆片面実測 13C後半~14C 長野県産 Ⅰ区
M14	縦器	志野焼 丸皿	-	-	(3.4) 底輪(灰輪 略缺あり)	断面実測 12C 湖戸美濃 Ⅰ区
	縦器	皿	(14.4)	(9.4)	2.1 ロクロナダ→底輪(灰輪ツケ付け)	断面実測 18C末~19C前 前山Ⅰ区
	縦器	丸皿	-	(5.4)	(4.1) 底輪(灰輪)	断面実測 買入 18C末~19C前 柳戸美濃 Ⅲ区
	縦器	丸皿	-	5.5 (2.5)	底輪(灰輪)	完全実測 18C末~19C前 滋山Ⅰ区
	縦器	丸皿	-	(4.0)	(1.5) 底輪	完全実測 18C末~19C前 滋山Ⅰ区
	縦器	志野焼 丸皿	-	(8.2)	(2.2) 底輪(灰輪 略缺あり)	同上
	縦器	志野焼 丸皿	-	5.0	(0.2) 底輪	断面実測 17C後半 唐津 Ⅰ区
	縦器	縦剥き皿	-	(6.0)	(1.9) 底輪(鉢輪?)	同上
	縦器	坪	-	(7.2)	(1.6) ロクロナダ	断面実測 底部外周面持ちヘラケメリ XXR-10
No.	器種	高さ	幅大根	幅大根	幅大根	備考
M13	円板	土製品	3.1	3.1	0.20	6.00 ヘラケメリ 土蔵器の二次利用 磨耗
	砥石	緑色闊底灰岩	16.4	3.6	1.8	161.92 画面数4
	打削石器	輝石安山岩	(8.7)	(5.0)	(1.1)	(72.15) 左側以外欠損 左側に留めあり
	偏物石	輝石安山岩	8.6	4.1	2.1	175.11
	偏物石	輝石安山岩	9.2	4.6	3.0	201.49
	?	輝石安山岩	(0.4)	(4.0)	(1.7)	(149.68) 一部欠損
	磨石	安山岩	5.9	5.6	1.5	59.88 正面にすり面
	かわら	土製	(6.0)	(3.6)	(0.8)	(14.26) 土鍋を残して欠損 緑部分も剥落か
	粉挽き臼上臼	安山岩	(1.4)	(1.7)	(0.2)	(188.14) 緑不明 オホク部分
	粉挽き臼下臼	安山岩	(13.0)	(8.1)	(0.2)	(329.34) 緑不明 ソリカセ部分
M14	古瓶	圓	2.7	-	0.1	2.37 完形 豊永元年 1101年
	古瓶	圓	2.22	-	0.12	2.11 完形 不明
	古瓶	圓	2.4	-	0.17	2.69 完形 豊永通宝(古)
	古瓶	圓	2.4	-	0.17	2.69 完形 豊永通宝(古)
	古瓶	圓	11.5	8.3	3.2	319.65 正面にすり面
	偏物石	輝石安山岩	11.3	8.3	3.8	353.42
	拂曾	拂灰丸	(2.6)	(2.8)	(1.0)	(14.16) 暗想軸4 上下欠損 正面に螺店の表記
	拂曾	拂	1.5	1.5	0.1	(1.22) 下部欠損
M14	当封	鉢	(5.0)	(6.0)	(0.2)	(2.82) 上下欠損
	火打ち台具	鉢	19.7	1.4	0.3	(13.61) 一部欠損
	古瓶	圓	2.4	-	0.12	2.69 完形 豊永通宝(古)
	古瓶	圓	2.4	-	0.17	2.69 完形 豊永通宝(古)
	古瓶	圓	2.4	-	0.17	2.69 完形 豊永通宝(古)

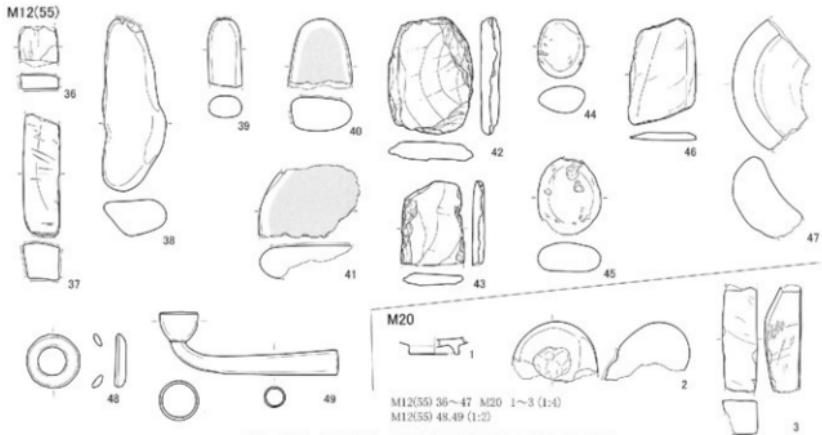


第122図 M12号溝状遺構出土遺物実測図



第123図 M12(55)号溝状遺構出土遺物実測図

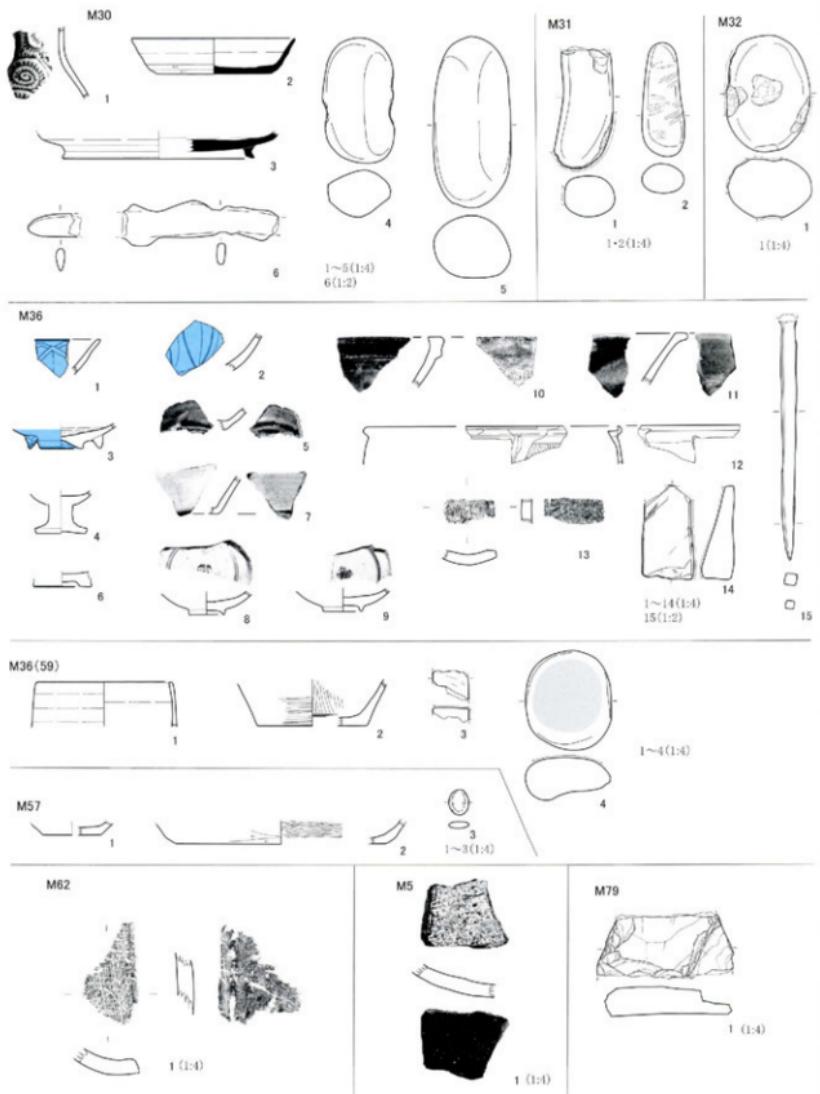
M12 47~49 M12(M55)26~35 1:2
M12 42~46,50 M12(M55)1~25 1:1



第124図 M12(55)・20号溝状遺構出土遺物実測図

第45表 M12号溝状遺構出土遺物観察表

No.	種別	器種	法面			成形・調整・文様		推定焼成期	焼成場所	丸印●
			口径(表)	通径(縦)	底高(厚)	内面	外面			
1	陶器	仏頭	-	(4.0)	(3.0)	施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	完全灰釉 前伊万里	18C末~19C 前伊万里	I 区
2	陶器	瓶利	(4.0)	-	(3.4)	口縁に施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	完全灰釉 前伊万里	18C末~19C 前伊万里	II 区
3	陶器	云片瓶底	-	-	-	施釉(灰釉)・鉛鉢	施釉(灰釉)	所産灰釉 瀬戸美濃	17C前半 瀬戸美濃	XXII-10
4	磁器	皿	-	-	-	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	所産灰釉 前伊万里 V期	18C末~19C 前伊万里 V期	II 区
5	磁器	皿	(11.0)	-	(2.3)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	所産灰釉 前伊万里 V期	18C末~19C 前伊万里 V期	I 区
6	磁器	皿	-	-	(1.5)	ロクロナダ→部施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	所産灰釉 伊万里	17C後半 伊万里	I 区
7	陶器	小瓶	-	-	-	ロクロナダ→施釉(猪目縫)	ロクロナダ→施釉(猪目縫)	所産灰釉 前伊万里	18C末~19C 前伊万里	II 区
8	陶器	おろし日	-	-	-	おろし日 番種(灰釉)	ロクロナダ→底部舟切り	所産灰釉 中世 古墳	18C後半 古墳	Ⅳ区
9	陶器	度戸瓶	(10.4)	(6.0)	5.4	施釉(灰釉)	施文様を作る口辺のみ施釉(灰釉)	所産灰釉 戸美濃	18C後半 戸美濃	II 区
10	陶器	貝器手鏡	-	-	-	施釉	施出先端 買入る 17C後半 延喜	所産灰釉 買入る 17C後半	XXIII-10	
11	陶器	碗	(9.4)	-	(4.0)	ロクロナダ→施釉	ロクロナダ→施釉(集付)	所産灰釉 前伊万里 V期	18C末~19C 前伊万里 V期	II 区
12	陶器	碗	(12.2)	-	(2.6)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	所産灰釉 前伊万里	18C後半 前伊万里	II 区
13	陶器	呂器手鏡	-	-	-	施釉	所産灰釉 買入る 17C後半	所産灰釉 買入る 17C後半		
14	陶器	碗	-	-	-	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	所産灰釉 前伊万里 V期	18C末~19C 前伊万里 V期	II 区
15	陶器	片口鉢	(16.0)	-	(3.0)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	所産灰釉 前伊万里	18C末~19C 前伊万里	XVII-25 M141区
16	陶器	鉢	-	(5.6)	(1.7)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	底落・底部外周凹輪・ハケヅリ→施釉(灰釉)	所産灰釉 瀬戸美濃	18C末~19C 瀬戸美濃	XXIII-10
17	陶器	杯	-	-	-	施釉(灰釉・猪目縫)	施釉(灰釉)	所産灰釉 瀬戸美濃	18C末~19C 瀬戸美濃	II 区
18	青磁	連多文瓶	-	-	-	施釉	施釉	所産灰釉 瀬戸美濃	18C末~19C 瀬戸美濃	XVII-25
19	陶器	縦目鉢	-	-	-	目口を割む→施釉(猪目縫)	ハラクズリ→施釉(猪目縫)	所産灰釉 前伊万里	18C末~19C 前伊万里	XVII-25
20	陶器	縦目鉢	-	(13.8)	(5.8)	目口を割む→施釉(猪目縫)	割切凸輪・ハラクズリ 底部折衷・舟切り→施釉(猪目縫)	所産灰釉 前伊万里	18C末~19C 前伊万里	前山



第125図 M30・31・32・36(59)・57・62・5・79号溝状遺構出土遺物実測図

第46表 M12・55号溝状遺構出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	種類	法 番			成形・調整・文様		指定場()	既存場()	丸底●
			口径(奥)	底径(幅)	高さ(厚)	内 面	外 面			
M12	陶器	壺	-	-	-	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	井筒実測 曲 前山	18C末~19C 前山	I 区
	陶器	壺	-	-	(4.5)	ロクロナダ 自然釉付壺	タタキ目 底面外腹へラケズリ	井筒実測 中世 常滑	XXⅢ~10	
	陶器	壺	-	(12.0)	(4.5)	ロクロナダ 滴り 自然釉付壺	ナブ	井筒実測 中世 常滑	上層カクラン	
	土師質	土瓶	-	-	(2.4)	ロクロナダ	ロクロナダ	瓶井実測 施釉質	19C	I 区
	土師質	土瓶	-	-	(1.6)	ロクロナダ	ロクロナダ	瓶井実測 施釉質	19C	I 区
	土師質	小口壺	(13.2)	-	(2.4)	ロクロナダ	ロクロナダ	井筒実測	XXⅢ~10	
	瓦	高平	-	-	(2.6)	ロクロナダみこみ落葉飾付工 具によるナダ	ロクロナダ 千周へラケズリ	完全実測		II 区
	瓦	高平	-	(14.2)	(1.6)	ロクロナダ	ロクロナダ→底面凹部へラケズリ→高台足付	井筒実測		I 区
	瓦	坪	(14.4)	598	26	ロクロナダ	ロクロナダ	井筒実測		I 区
	瓦	壺	-	(6.8)	(1.5)	ロクロナダ	ロクロナダ→底面凹部へラケズリ→高台足付	井筒実測 みこみ間に 自然釉付壺		I 区
	弥生	漆	-	19.2	(0.6)	ハ目口	鋼部えぎき 底部えぎき	完全実測		II 区 XXⅢ~10 3 II 区
	弥生	漆	-	-	-	ミガキ	ミガキ→赤色底部 施成片穿孔	破片実測		
	瓦質	平瓦	(8.6)	(8.4)	(1.4)	ナダ	舟目板			
	瓦質	平瓦	(2.6)	(2.0)	(1.1)	ナダ	舟目板			上層カクラ ン
No.	器種	素材	最大長	最大幅	最大厚	重 量	新 月			出土位置
35	磁石	輝石安山岩	13.2	5.7	2.5	361.90	上下端部に敲打痕			I 区
36	磁石	砂岩	8.2	4.3	2.5	209.54	上下端部に敲打痕			IV 区
37	漂石	板状質安山岩	(12.4)	(6.7)	(4.0)	929.10	下部欠損 正面にナリ面			I 区
38	漂石	硬質砂岩	7.3	5.6	1.8	106.57	正面にナリ面			XXⅢ~10
39	飛石?	頁岩	(8.7)	(4.0)	(3.2)	190.97	上部欠損 表面による剝離が不明			IV 区
40	?	輝石安山岩	(8.6)	(7.1)	(3.8)	323.54	下部欠損			
41	打撲石斧	輝石安山岩	14.4	8.5	2.2	324.65	表面につぶれ状の底			II 区
42	輝石製品	輝石	7.0	6.7	4.7	14.372	金縛にナリ			XXⅡ~10
43	輝石製品	輝石	8.3	6.7	5.4	22.326	金縛にナリ 条縞あり			XXⅡ~10
44	輝石製品	輝石	(2.9)	(2.2)	(0.8)	(3.23)	側面大縫 全体にナリ			上層カクラン
45	碁石	礫質砂岩	(2.2)	(1.6)	(0.15)	(0.71)	心臓へ裏面欠損			XXⅢ~10
46	刀器	石英閃緑岩	5.4	5.9	1.3	81.38	六方の刃跡 敲打状の痕跡あり			III 区
47	古鏡	銅	2.2	-	0.1	2.85	少鉄 完形			III 区
48	古鏡	銅	2.37	-	0.08	2.08	完形 兼豐通宝 1078年			
49	古鏡	銅	2.81	-	0.12	3.93	完形 見事通宝 四文銭 1768年			
50	網袋	麻	12.4	11.7	1.9	183.42	孔と側が傷む			
No.	種別	種類	法 番			成形・調整・文様		指定場()	既存場()	丸底●
M13	陶器	碗	法 番			内 面		既存場()		
			口径(奥)	底径(幅)	高さ(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置	
	白磁	碗	-	(5.8)	(2.0)	施釉	施釉	井筒実測 13C~14C	施釉碗	X I~5
	白磁	碗	-	-	-	施釉	施釉	井筒実測 11C~12C	中世 IV 期	
	陶器	蓋	-	-	(1.6)	ロクロナダ→施釉角滴り	つまみ足付→施釉(灰釉)	完全実測 18C末~19C初	前山	
	陶器	志野火皿	-	(7.2)	(1.6)	施釉	施釉	井筒実測 17C前半	前山	X II~21
	陶器	耳	(11.6)	-	(1.8)	施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	井筒実測 18C末~19C初	前山	X I~5
	御器	皿	(14.0)	-	(1.7)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→底粒	井筒実測 17C後半 伊万里 Ⅲ 期		II 期
	陶器	九輪	-	4.9	(1.5)	施釉(鉄釉ツカガク)	施釉(鉄釉ヘアリ)→施釉(鉄釉ハケぬり?)	完全実測 18C末~19C初	前山	
7	陶器	小鏡	-	(4.0)	(1.7)	施釉	施釉	井筒実測 18C末~19C初	前山	X II~21

第47表 M55号溝状遺構出土遺物観察表

No.	種別	器種	法 量			形態・調査・文様			推定地() 残存部() 丸高() 備考	出土位置
			口径(底)	底径(底)	厚さ(厚)	内面	外面			
M55	9	陶器	灯明皿	9.8	4.2	2.4	ロクロナダ→施釉(鉢縁)(鉢底シク) ガケ 下部ヘケメリ	ロクロナダ→施釉(鉢縁)→施釉(上部ツク シク)	完全焼成 内面底25.1 トゲノ痕残り 18.6 ~19.0cm 前山?	
	10	陶器	丸壺	-	(6.0)	(6.0)	施釉(灰暗)	施釉(灰暗)	回転実測 18.6cm~19.0 cm 酒六美濃	
	11	陶器	天目系碗	-	-	(5.0)	施釉(灰暗)	ロクロナダ→施釉(鉢縁)	施釉(灰暗) 施釉(鉢縁) 吉澤戸 後掛IV期	
	12	陶器	盃類	-	(4.6)	(2.7)	ロクロナダ→施釉(鉢縁)	ロクロナダ→施釉(鉢縁)	回転実測 18.6cm~19.0cm 前山	X I ~ S
	13	陶器	楕円鉢	-	-	-	ロクロナダ	ロクロナダ	鏡片実測 注ぎ口あり 18.6cm~19.0cm 外腹	X I ~ S
	14	陶器	楕円鉢	-	(14.0)	(2.4)	楕円口を封じる施釉(鉢底)	施釉外周回転ヘラケズリ 施釉(鉢縁) (鉢底)	回転実測 18.6cm~19.0cm 前山	
	15	瓦質土器	壺	-	-	-	ロクロナダ	ロクロナダ	鏡片実測 透光	X I ~ S
	16	陶器	丸壺	(11.0)	-	(5.1)	施釉(灰暗)	施釉(灰暗)	回転実測 18.6cm~19.0cm 前山	
	17	陶器	丸壺	(14.2)	-	(6.0)	施釉(灰暗)	施釉(灰暗)	回転実測 18.6cm~19.0cm 前山	V ~ XX I 槍塗
	18	瓦質土器	香炉	(13.0)	(12.0)	6.0	ロクロナダ	ロクロナダ→脚付	回転実測 18.6cm~19.0cm 前山	V ~ XX
	19	土器	土罐	(30.0)	-	(9.1)	ロクロナダ	ナダ	回転実測 近世	
	20	土器	内耳	-	-	-	耳貼付	ナダ	鏡片実測 新羅後半 近世	
	21	陶器	灰釉瓶	-	(7.4)	(3.1)	ロクロナダ 施釉(ツケガケ) 施釉(ツケガケ)	ロクロナダ 外部印傳輪ヘラケズリ後裏台跡付 施釉(ツケガケ)	回転実測	
	22	酒器	甕	(19.4)	-	(6.0)	ロクロナダ	ロクロナダ 平門タタキ	回転実測	
	23	瓦質	平瓦	(3.6)	(6.0)	(1.5)	タタキ	瓦目板		
	24	瓦質	平瓦	(4.6)	(4.4)	(1.6)	ナダ	瓦目板		
	25	瓦質	軒丸瓦	-	-	(1.0)	型押し(引抜式)	型押し(引抜式)	鏡片	X I ~ S
No.	種別	素 材	最大長	最大幅	最大厚	重 量	所	見		出土位置
26	石	銅	2.3	-	0.1	2.12	完形	寛永通宝(新)		
27	古鉄	銅	2.33	-	0.1	2.31	完形	寛永通宝(新)		
28	古鉄	銅	2.37	-	0.12	2.94	完形	寛永通宝(古)		
29	古鉄	銅	2.2	-	0.1	1.94	完形	寛永通宝(新)		
30	古鉄	銅	2.4	-	0.15	3.33	完形	寛永通宝(古)		X I ~ S
31	古鉄	銅	2.34	-	0.11	2.08	完形	寛永通宝(新)		X II ~ 21
32	古鉄	銅	2.43	-	0.16	3.52	完形	寛永通宝(古)		
33	古鉄	銅	2.3	-	0.13	2.90	完形	寛永通宝(新)		X I ~ S
34	古鉄	銅	2.19	-	0.09	1.31	完形	寛永通宝(新)		
35	古鉄	銅	2.66	-	0.12	2.88	完形	文久永宝(宿室) 1863年		
36	軽石	鉢灰岩	(3.4)	(3.2)	(1.2)	(20.80)	鏡面4	上下欠損		
37	軽石	鉢灰岩	(10.0)	(3.1)	(3.1)	(161.60)	鏡面4	上部欠損		
38	軽石	輝石安山岩	14.0	5.2	2.0	298.95	上部に軽打痕			
39	軽石	砂岩	(5.6)	(2.8)	(1.0)	(45.01)	下部欠損	上部に軽打痕		
40	軽石	重加賀安山岩	(5.9)	(5.2)	(2.8)	(138.61)	下部欠損	正面と左側にナリ面		
41	軽石	輝石安山岩	(5.0)	(8.0)	(2.0)	(148.64)	左側以外欠損	正面にナリ面		
42	打削石斧	輝石安山岩	9.6	7.0	1.5	144.13				
43	打削石斧	輝石安山岩	(9.9)	(6.2)	(1.0)	(57.81)	下部欠損	全体に削耗		
44	?	安山岩	4.9	3.8	2.2	38.95	全体にナリ			X I ~ S
45	軽石製品	輝石	(6.3)	(6.2)	(2.0)	(96.00)	一側欠損			X I ~ S
46	原石	千枚骨	8.8	6.6	0.7	49.95				
47	田石	安山岩	(10.7)	(6.0)	高さ (6.7)	(291.89)	最大径(12.4)	前1/4残存		
48	鋼製品	銅	是大塔 2.2	是小塔 1.1	高さ 0.5	4.06	留厚	0.25		
49	鋼製品	銅	7.4	2.6	-	9.23	先端	径 3.01 壁 厚 0.95		

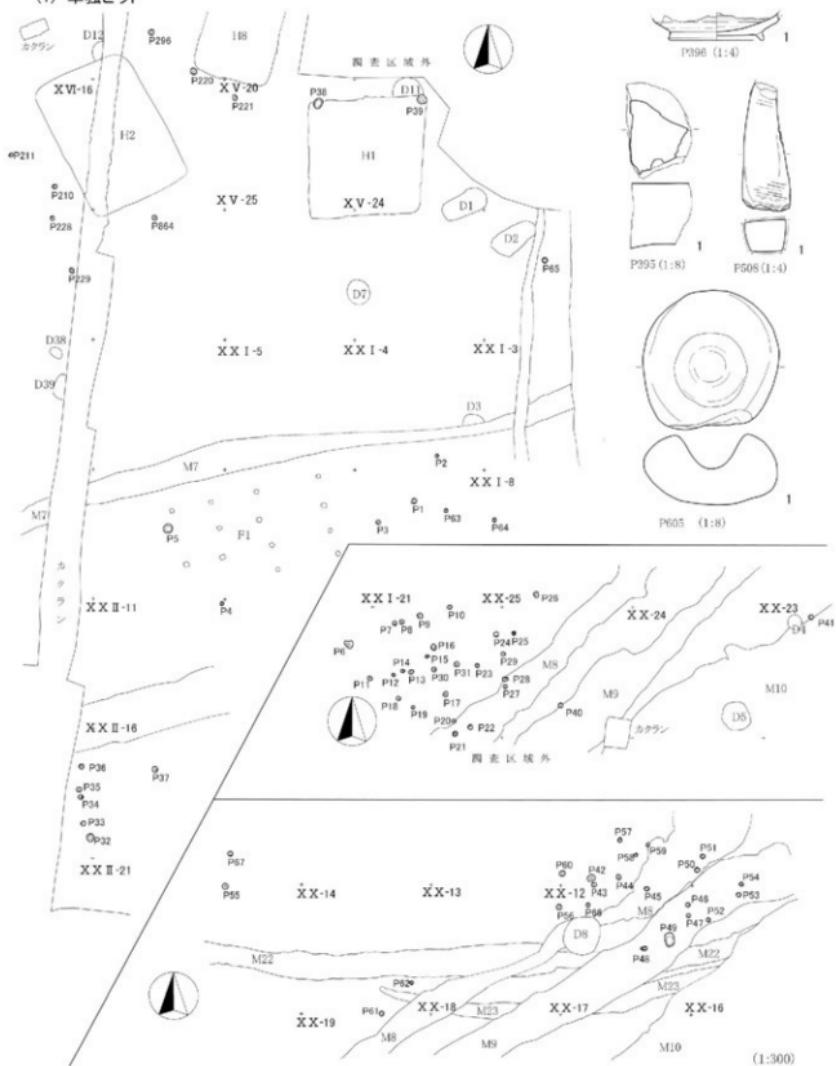
第48表 M20・30～32・36・57・59・62・57・79号溝状造構出土遺物観察表

(cm)

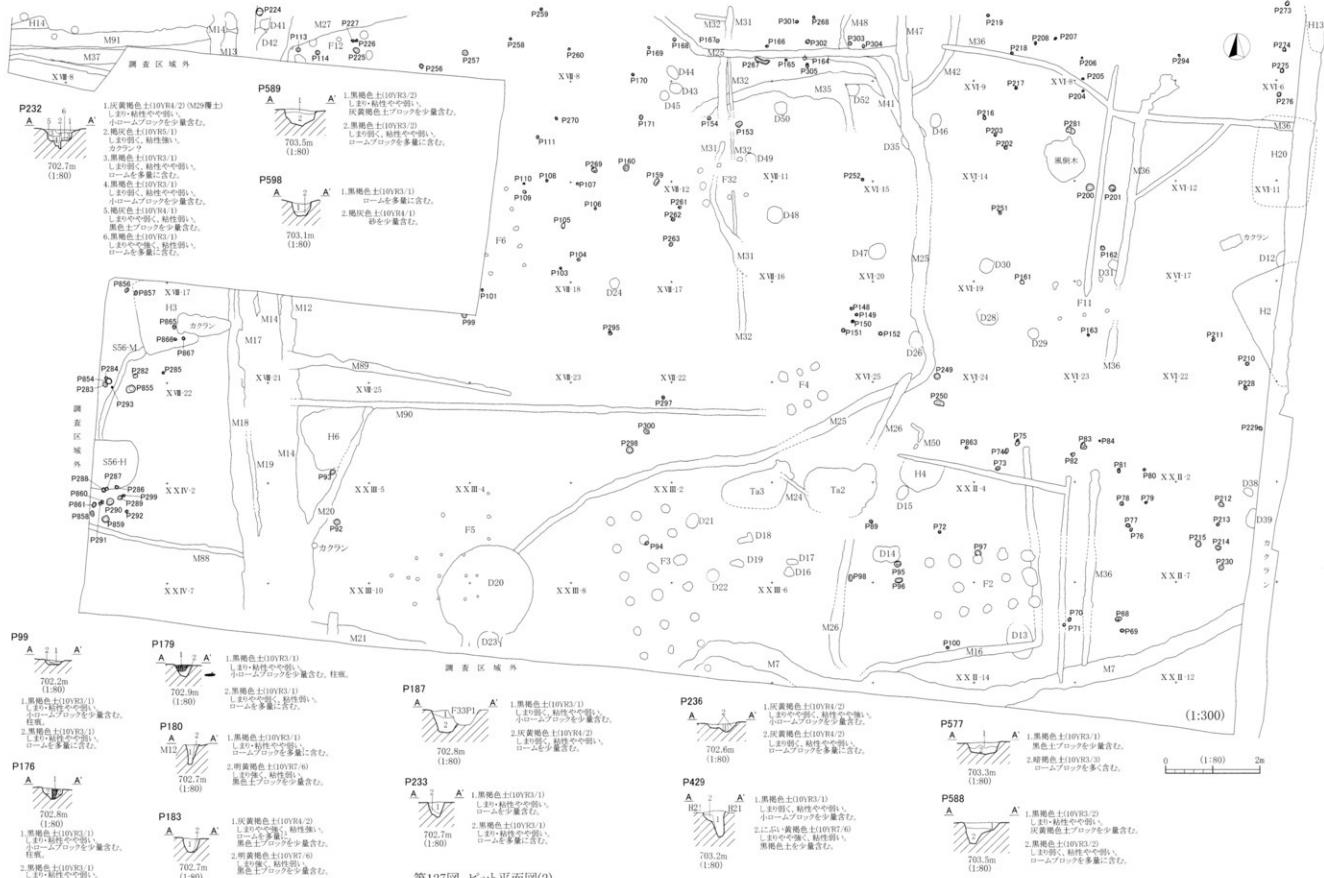
No.	種別	種類	法 異			成 形・調 整・文 種			推定施()既存値()丸記●	備 考	出土位置	
			口徑(底) 基底(縦) 植高(厚)	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面				
M20 1	陶器	歩け分けの盆	- (4.2) (1.4)	施釉(灰釉 鉄釉)	施釉(灰釉 鉄釉)	施釉(灰釉 鉄釉)	施釉(灰釉 鉄釉)	施釉(灰釉 鉄釉)	施釉(灰釉 鉄釉)	18C後半 瀬戸美濃		
M30	1	磁器	瓶	- - -	ロクロナダ	ロクロナダ→施釉(集付)	ロクロナダ→施釉(集付)	ロクロナダ→施釉(集付)	ロクロナダ→施釉(集付)	18C末～19C 前 伊万里 V期		
	2	須磨器	片 (13.4) (9.4)	3.0	ロクロナダ	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ	18C後半 瀬戸美濃		
	3	須磨器	- (15.6) (2.0)	ロクロナダ	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ→窓台足付	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ→窓台足付	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ→窓台足付	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ→窓台足付	ロクロナダ→施釉及び鉢部下第三輪へケズリ→窓台足付	X-29		
M35	1	青磁	運舟文瓶	- - -	施釉	施釉	施釉	施釉	施釉	鏡片美濃 13C 瀬戸美濃	XV-7	
	2	青磁	浮舟文瓶	- - -	施釉	施釉	施釉	施釉	施釉	鏡片美濃 13C 瀬戸美濃	XV-7	
	3	青磁	香炉	- 3.6	(2.0)	施釉	施釉	施釉	施釉	完全美濃 13C代 瀬戸美濃	XV-7	
	4	磁器	仏壇	- (4.0) (3.5)	ロクロナダ→施釉	ロクロナダ→施釉(集付)	ロクロナダ→施釉(集付)	ロクロナダ→施釉(集付)	ロクロナダ→施釉(集付)	完全美濃 18C末～19C 前 伊万里 V期	XV-7	
	5	陶器	内 外 盆	- - -	施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	所蔵美濃 16C末 瀬 戸尚清 大判IV-V	XV-7	
	6	陶器	瓶	- 4.8	(1.2)	施釉(鉄釉)	施釉(鉄釉)	施釉(鉄釉)	施釉(鉄釉)	完全美濃 18C末～19C前 猿山	XVI-7	
	7	磁器	瓶	- - -	施釉	施釉	施釉	施釉	施釉	所蔵美濃 18C末～19C前 京焼	XVI-7	
	8	磁器	瓶	- (3.0) (1.9)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	18C末～19C 前 伊万里 V期	XVI-22	
	9	磁器	瓶	- (3.2) (1.9)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	ロクロナダ→施釉(染付)	18C末～19C 前 伊万里 V期	XVI-7	
	10	磁器	壷り鉢	- - -	施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	ロクロナダ→施釉(灰釉)	鏡片美濃 19C 瀬山	XVI-7	
	11	陶器	鉢	- - -	施釉	施釉	施釉	施釉	施釉	鏡片美濃 18C末～19C前 瀬山	XVI-7	
	12	磁器	行平盤	(21.2) -	(3.1)	ロクロナダ→施釉(鉄釉)	ロクロナダ→施釉(鉄釉)	ロクロナダ→施釉(鉄釉)	ロクロナダ→施釉(鉄釉)	ロクロナダ→施釉(鉄釉)→注ぎ口點付(注ぎ口 欠損)→施釉(鉄釉)	18C末～19C前 瀬山	XVI-7
	13	瓦質	平瓦	(2.0) (4.5) (1.2)	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	XVI-7	
M57	1	土師質	かわらけ	- (4.0) (1.1)	ナダ	ナダ	土師削(輪切り)	土師削(輪切り)	土師削(輪切り)	土師削(輪切り)		
	2	土師質	ほうろく	- (17.0) (1.0)	ハラミガキ	ハラミガキ	ハラミガキ	ハラミガキ	ハラミガキ	ハラミガキ		
M69	1	陶器	碗	(11.0) -	(3.2)	施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	施釉(灰釉)	18C末～19C前 猿山	
	2	陶器	笠り鉢	- (9.0) (3.6)	壷り口を烈む→施釉(鉄釉)	壷り口を烈む→施釉(鉄釉)	壷り口を烈む→施釉(鉄釉)	壷り口を烈む→施釉(鉄釉)	壷り口を烈む→施釉(鉄釉)	18C末～19C前 猿山		
M82 1	瓦質	平瓦	(5.0) (5.5) (2.1)	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	ナダ	XI-21	
95 1	陶器	甕	- - -	自然鉢形甕	自然鉢形甕	自然鉢形甕	自然鉢形甕	自然鉢形甕	自然鉢形甕	自然鉢形甕	中世 青波	
No.	器 型	真 材	範 大 長	範 大 幅	大 面	面 重	折	見	出土位置			
M90	2	石	輝石安山岩	(5.0) (6.9)	0.8	(232.09)	下部欠損	正面に鋸打痕				
	3	石	輝石安山岩	(8.0) (2.8)	0.8	(99.4)	軸部数4	上下欠損 右側と画面に条痕				
	4	繊物石	砂岩	19.4	6.0	3.8	320.10	両側に抉り				
M95	5	繊物石?	輝石安山岩	14.1	6.4	6.2	690.98					
	6	刀子	鉄	(2.2) (0.9)	(0.0)	(1.38)	先端部	両端欠損 同一側か			X-20	
M97 1	磨・研石	安山岩	(18.0) (4.9)	(3.4)	(226.72)	上部欠損 左側にナリ面 右側に下側に鋸打痕					XIII-14	
2	磨石	砂質砂岩	9.4	3.5	2.5	105.35	全体にすりかき 正面に洗い条痕				XIII-11	
M97 1	圓石	輝石安山岩	9.6	6.9	5.2	491.10	正裏と両側に鋸打痕				XIII-6	
M97 14	磨石	砂岩	(7.0) (4.3)	(2.6)	(194.43)	軸部数2(正面・側面)	上部欠損				XIII-7	
M97 15	角針	砂	(16.1) (0.7)	(0.5)	(99.97)	底面欠損					XIII-7	
M97 3	磨石	泥質砂岩	2.1	1.7	0.5	2.62	全体にすり					
M97 3	石	輝石安山岩	(2.0) (3.0)	(1.5)	(10.22)	軸部数2 上干・裏面欠損						
M97 4	磨石	砂岩	8.2	7.0	2.5	318.78	正面にすり面					
M97 1	打製石斧	安山岩	(8.0) (11.2)	(2.0)	(204.11)	上下欠損						

第6節 ピット・杭列状遺構

(1) 単独ピット



第126図 ピット平面図(1)及び出土遺物実測図



第127図 ピット平面図(2)



第128図 ピット平面図(3)

第49表 ピット計測表(1)

番號 表	出土位置	長径	短径	深さ	形 態	出土遺物 叢	備 考	遺物 名	出土階層	長径	短径	深さ	形 態	出土遺物 叢	備 考
P1	XX-I-8	30.0	30.9	14.5	円形	縫合土 (0.032/3) 黒色ヒヨコ型		P63	XX-I-8	22.8	22.8	22.8	円形	1. にひい 黄褐色土 (1.0V4/3) 砕・ ヨーム。 2. 摺曲面 (1.0V4/3) 砕・ヨーム。 3. にひい 黃褐色土 (1.0V4/3) 砕・ ヨーム。	
P2	XX-I-3	21.3	20.3	13.5	円形	浮生土 縫合土 (0.032/3) 黒色ヒヨコ型		P64	XX-I-7	24.9	22.0	11.5	円形	にひい 黄褐色土 (1.0V4/3) 砕・ ヨーム。	
P3	XX-I-8	30.2	27.2	19.5	円形	縫合土 (0.032/3) 黒色ヒヨコ型		P65	XX-I-25	24.0	22.7	6.0	円形	にひい 黄褐色土 (1.0V4/3) 砕・ ヨームを多く含む。	
P4	XX-I-16	24.5	20.4	6.2	円形	縫合土 (0.032/3) 黒色ヒヨコ型		P66	XX-II-11	24.8	23.5	32.6	円形	灰褐色土 (1.0V4/2) こじりあり。	
P5	XX-I-16	66.7	55.2	16.7	円形	縫合土 (0.032/3) 黒色ヒヨコ型		P67	XX-II-9	32.4	29.2	18.7	円形	中敷 灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P6	XX-I-21	56.7	47.4	16.5	不規則	灰褐色土 (1.0V4/2) こじりあり。 砂子を含む。		P68	XX-II-2	(22.5)	(32.8)	(34.4)	橢円形	浮生土 灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P7	XX-25	28.2	24.2	17.8	円形	灰褐色土 (1.0V4/2)		P69	XX-II-2	(25.6)	(32.0)	(13.0)	不規則	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P8	XX-25	30.6	27.4	26.5	円形	灰褐色土 (1.0V4/2)		P70	XX-II-9	(25.0)	(29.0)	(11.5)	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P9	XX-25	34.6	31.2	21.2	円形	灰褐色土 (1.0V4/2)		P71	XX-II-9	(24.6)	(22.0)	(21.5)	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P10	XX-25	29.6	24.6	14.1	円形	灰褐色土 (1.0V4/2)		P72	XX-II-2	23.6	21.1	9.0	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P11	XX-I-21	29.3	19.2	2.9	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) 陶化物を含む。 地衣 (1.0V4/1)		P73	XX-II-23	(28.6)	(29.1)	(8.5)	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P12	XX-25	22.5	19.3	22.1	橢円形	地衣 (1.0V4/1)		P74	XX-II-23	(28.6)	(26.6)	(8.0)	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P13	XX-25	32.6	25.8	18.7	円形	地衣 (1.0V4/1)		P75	XX-II-23	56.9	53.0	22.7	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P14	XX-25	25.1	19.9	13.2	円形	地衣 (1.0V4/1)		P76	XX-II-2	28.7	17.8	38.4	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P15	XX-25	36.5	17.5	8.0	橢円形	地衣 (1.0V4/1)		P77	XX-II-2	33.7	26.8	11.2	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P16	XX-25	19.8	32	20.2	円形	地衣 (1.0V4/1)		P78	XX-II-2	29.0	29.2	13.1	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P17	XX-25	34.3	27.6	22.0	橢円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P79	XX-II-2	23.6	17.5	1.0	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P18	XX-25	26.9	25.7	24.4	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P80	XX-II-22	22.6	18.2	1.4	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P19	XX-25	21.5	19.2	20.6	円形	地衣 (1.0V4/1)		P81	XX-II-22	26.0	23.4	16.0	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P20	XX-25	24.3	21.9	29.2	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P82	XX-II-23	35.4	27.9	36.2	不規則	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P21	XX-25	31.2	29.9	37.1	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P83	XX-II-22	57.3	49.7	64.5	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P22	XX-25	30.5	28	30.5	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P84	XX-II-22	12.9	12.8	8.7	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P23	XX-25	24.8	23.8	25.9	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P85	XX-II-23	29.3	21.9	11.6	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P24	XX-25	31.8	29.1	29.0	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P86	XX-II-23	50.1	47.4	26.2	不規則	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P25	XX-24	22.0	23.1	16.2	円形	地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P87	XX-II-22	57.3	49.7	64.5	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P26	XX-19	36.6	28.3	24.3	万形	地衣 (1.0V4/1)		P88	XX-II-22	13.9	12.8	8.7	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P27	XX-24	25.7	24.8	31.0	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1)		P89	XX-II-23	50.1	47.4	26.2	円形	灰褐色土 (1.0V4/1) こじりあり。 軋みあり、軋みすりしている。	
P28	XX-24	35.2	23.5	26.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1)		P90	XX-II-5	60.1	45.9	14.0	-	明治灰褐色 (1.75V4/1) しりよう強く、 粘性旺盛。 黑褐色土を多量に含む。	
P29	XX-24	26.8	26.1	22.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1)		P91	XX-II-5	45.5	37.2	14.1	-	明治灰褐色 (1.75V4/1) しりよう強く、 粘性旺盛。 黑褐色土を多量に含む。	
P30	XX-25	29.5	27.6	18.1	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P92	XX-II-5	33.4	23.4	11.5	橢円形	灰褐色土 (1.0V4/2) しりよう強く、 粘性旺盛。 黑褐色土を含む。	
P31	XX-25	32.4	30	21.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P93	XX-II-2	33.4	23.4	11.5	橢円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P32	XX-I-16	49.5	44.8	13.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P94	XX-II-2	33.4	23.4	11.5	橢円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P33	XX-I-16	31.8	27.4	66.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P95	XX-II-4	4.9	4.7	33.8	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P34	XX-I-16	30.8	30.2	72.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P96	XX-II-4	5.6	5.6	31.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P35	XX-I-16	33.7	28.7	9.8	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P97	XX-II-3	6.7	4.3	28.8	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P36	XX-I-16	30.8	30.5	40.0	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P98	XX-II-3	5.7	3.7	21.2	橢円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P37	XX-I-26	35.8	32.5	76.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P99	XX-II-19	21.6	21.2	1.0	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P38	XX-19	65.0	59.9	12.6	橢円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P100	XX-II-9	24.8	19.6	36.6	橢円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P39	XX-19	56.0	53.1	49.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P101	XX-II-18	24.4	18	34.6	橢円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P40	XX-24	30.6	27.4	25.8	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P102	XX-13	19.7	17.5	9.5	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P41	XX-22	31.3	29.8	13.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P103	XX-13	26.1	21.7	10.1	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P42	XX-24	49.4	41.1	29.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P104	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P43	XX-6	32.2	26.5	32.2	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P105	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P44	XX-6	31.5	26.6	21.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P106	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P45	XX-11	30.9	26.6	12.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P107	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P46	XX-11	29.4	25.7	25.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P108	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P47	XX-11	26.5	24.8	19.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P109	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P48	XX-11	29.2	24.3	14.2	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P110	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P49	XX-11	83.0	57.3	33.9	万形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P111	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P50	XX-10	32.4	27.8	20.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P112	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P51	XX-10	29.3	27.4	17.8	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P113	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P52	XX-10	26.6	25.6	12.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P114	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P53	XX-10	29.4	24.4	17.4	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P115	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P54	XX-10	50.3	33.6	10.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P116	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P55	XX-14	36.5	34.5	19.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P117	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P56	XX-12	33.8	32.9	21.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P118	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P57	XX-12	29.6	23.0	15.2	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P119	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P58	XX-6	24.0	19.9	21.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P120	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P59	XX-6	26.2	20.6	6.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P121	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P60	XX-6	38.9	32.6	13.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P122	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P61	XX-13-18	39.2	27.6	11.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P123	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P62	XX-13	22.3	21.2	8.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P124	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P63	XX-13	27.4	22.3	10.9	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P125	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P64	XX-13	33.8	32.9	21.3	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P126	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P65	XX-13	29.6	23.0	15.2	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P127	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P66	XX-6	24.0	19.9	21.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P128	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P67	XX-6	24.0	19.9	21.6	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。		P129	XX-13	24.7	24.7	20.7	円形	MSより新 地衣 (1.0V4/1) 陶化物を含む。	
P68	XX-6														

第50表 ピット計測表(2)

番号	出土位置	長径	短径	深さ	形	層	出土遺物 層別開示	備考	層名	出土位置	長径	短径	深さ	形	層	出土遺物 層別開示	備考
P132	瓦丘 8	20.4	18.3	11.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P207	XV-3	26.5	17.2	15.3	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P134	瓦丘 9	23.8	11.6	9.1	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P208	XV-3	29.2	17.9	9.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P135	瓦丘-7	24.2	15.9	6.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P210	XV-15	35.4	26.2	34.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P136	瓦丘-7	25.8	25.2	33.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P201	XV-15	27.5	25.6	25.3	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P137	瓦丘-5	18.9	13.9	7.5	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P212	XX-II-1	47.4	34.6	38.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P138	瓦丘-2	20.0	17.7	7.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P213	XX-II-1	26.3	22.2	12.8	円形		黒灰色土(10YR4/1)コム紐子多い。	
P139	瓦丘-2	25.9	22.6	14.5	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P214	XX-II-1	44.9	35.6	9.1	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P140	XII-21	48.2	41.6	51.7	楕円形	瓦生痕 F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり・ 縫合性地質、 ロームブロックを多量に含む。		P215	XX-II-1	48.9	41.7	25.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)コム紐子多い。	
P141	XII-21	53.0	48.2	6.8	円形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり・ 縫合性地質、 ロームを少量含む。		P216	XX-II-1	29.4	23.9	15.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P142	XV-29	29.7	20.1	21.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり・ 縫合性地質、 ロームを少量含む。		P217	XV-29	22.6	18.7	11.9	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P143	XV-29	25.9	21.9	1.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり・ 縫合性地質、 ロームを少量含む。		P218	XV-29	24.9	21.1	31.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P144	XV-29	25.7	22.6	24.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり・ 縫合性地質、 ロームを少量含む。		P219	XV-2	24.2	24.4	23.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P145	XV-29	30.6	29.2	20.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり・ 縫合性地質、 ロームを少量含む。		P220	XV-15	46.7	37.1	15.8	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P146	XV-19	26.2	23.8	6.1	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P221	XV-19	32.0	25.9	23.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P147	XV-6	11.9	41.5	20.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P222	XI-25	25.1	25.0	9.8	-	瓦生痕より古	黒灰色土(10YR4/1)しまりや弱く、 縫合性地質、 ロームブロックを少量含む。瓶の下。	
P148	XV-9	29.9	23.3	23.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P223	XV-8	38.3	33.1	12.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまりや弱く、 縫合性地質、 ロームブロックを少量含む。瓶の下。	
P149	XIII-7-12	58.1	32.0	30.0	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P224	XME-1	42.7	53.3	34.4	楕円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質、 ロームブロックを少量含む。	
P150	XVI-7	43.6	45.4	51.3	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P225	XV-8	52.8	49.2	18.0	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質、 ロームブロックを少量含む。	
P151	XV-18	36.7	31.7	37.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P226	XV-21	26.1	21.9	31.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)	
P152	XV-17	24.1	29.5	28.1	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P227	XV-8	22.5	18.3	8.9	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質、 ロームブロックを少量含む。	
P153	XV-17	21.4	18.1	11.3	円形		黒灰色土(10YR4/1)ロームブロックを 含む。		P228	XV-8	17.0	16.5	21.9	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質、 ロームブロックを少量含む。	
P154	XV-7	29.9	23.3	23.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P229	XV-8	27.7	19.5	7.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまりや強く、 縫合性地質。	
P155	XV-7-12	58.1	32.0	30.0	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P230	XV-8	21.1	22.0	11.7	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P156	XV-7	43.6	45.4	51.3	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P231	XV-8	17.0	16.5	21.9	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまりや強く、 縫合性地質。	
P157	XV-1	40.0	38.0	10.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P232	XI-23	41.1	35.6	11.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)ローム化物を含む。	
P158	XV-1	36.1	25.2	22.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P233	XI-23	40.8	36.4	34.3	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P159	XV-2	20.2	16.8	15.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P234	XI-23	68.7	36.4	34.3	不整形		黒灰色土(10YR4/1)ローム化物を含む。	
P160	XV-2	25.2	20.3	11.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P235	XI-23	96.1	51.9	38.4	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P171	XIV-7	37.0	29.5	11.4	不整形		黒灰色土(10YR4/1)		P236	XI-23	92.6	45.6	35.0	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P172	XII-21	43.6	29.8	51.7	楕円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P237	XI-23	41.1	35.5	31.0	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P173	XII-21	23.9	16.5	10.4	円形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P238	XI-23	41.8	38.4	31.0	円形		黒灰色土(10YR4/1)セシヨン間に土層剥離あり。	
P174	XIII-2	30.2	23.3	10.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P239	XI-23	68.7	36.4	34.3	不整形		黒灰色土(10YR4/1)セシヨン間に土層剥離あり。	
P175	XIII-2	46.8	39.1	29.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P240	XI-23	92.6	45.6	35.0	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P176	XIII-5	47.9	44.3	24.6	円形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P241	XI-23	92.6	45.6	35.0	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P177	XIII-5	22.8	22.1	16.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P242	XI-22	117.4	98.5	42.0	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P178	XIII-5	21.2	20.2	9.2	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P243	XI-24	23.5	22.8	11.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P179	XIII-2	38.8	38.0	24.8	円形		黒灰色土(10YR4/1)ローム化物あり。		P244	XII-4	23.5	22.8	11.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)ローム化物あり。	
P180	XIII-2	21.1	24.3	12.0	43.9	円形	M12より古 セシヨン間に土層剥離あり。		P245	XII-4	23.5	22.8	11.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)ローム化物あり。	
P181	XII-21	20.3	19.5	36.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P246	XII-15	33.9	29.3	11.9	楕円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P182	XII-21	22.7	19.7	8.6	-		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P247	XII-15	30.2	47.1	28.9	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P183	XII-21	37.7	33.9	27.9	円形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P248	XII-15	30.6	46.2	28.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P184	XII-21	30.3	41.4	4.4	不整形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P249	XII-15	30.6	46.2	28.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P185	XII-21	24.1	20.2	16.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P250	XII-15	30.6	46.2	28.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P186	XII-21	24.1	20.2	16.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P251	XII-15	30.6	46.2	28.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P187	XII-25	36.8	28.7	46.1	楕円形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P252	XII-15	30.6	46.2	28.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P188	XII-25	33.4	29.6	27.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P253	XII-15	30.6	46.2	28.1	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P189	XII-25	39.8	28.6	2.8	不整形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。		P254	XII-17	34.6	32.0	34.6	楕円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P190	XII-25	62.2	56.8	28.2	円形	F33より古	黒灰色土(10YR4/1)		P255	XII-17	58.3	31.4	27.9	楕円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P191	XV-12	51.5	51.2	29.4	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P256	XII-17	34.4	28.9	11.0	方形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P192	XV-12	24.7	23.8	29.6	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P257	XII-14	46.5	44.5	15.2	方形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P193	XV-12	24.5	23.5	12.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P258	XII-17	28.0	22.5	13.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P194	XV-17	16.6	18.8	16.6	不整形		黒灰色土(10YR4/1)		P259	XII-17	28.0	22.5	13.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P195	XV-12	21.6	19.2	12.9	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P260	XII-9	20.6	19.4	7.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	
P196	XV-12	15.2	13	8.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)		P261	XII-9	20.6	19.4	7.7	円形		黒灰色土(10YR4/1)しまり弱く、 縫合性地質。	

第51表 ピット計測表(3)

遺構名	出土位置	埋深	短さ	深さ	形	出土遺物 種類・特徴	備考	著者	遺構名	出土位置	長径	短径	深さ	形	著者	出土遺物 種類・特徴	備考
P259	XVI-3	246	21.5	7.8	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 黏性やや弱い。 小ロームフックを含む。		P224	V-12	21.1	18.1	5.6	円形	黒褐色土(10R4/1)			
								P225	V-12	15.9	13.9	9.7	円形	黒褐色土(10R4/1)			
								P226	V-12	22.7	17.7	13.3	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P260	XVII-3	207	17.1	24.6	椭円形	黒褐色土(10R2/1)しまりくろ、 黏性やや弱い。		P227	V-12	21.6	16.9	9.6	円形	黒褐色土(10R4/1)			
								P228	V-12	23.8	20.4	9.5	円形	黒褐色土(10R4/1)			
								P229	V-16	37.3	31.5	23.9	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P261	XVII-11	23.2	20.6	24.3	方形	黒褐色土(10R2/3)		P230	V-17	27.3	16.2	29.5	円形	黒褐色土(10R6/4)			
P262	XVII-11	31.6	24.3	6.0	円形	黒褐色土(10R2/3)		P231	V-17	36.1	21.6	25.5	円形	黒褐色土(10R6/4)			
P263	XVII-11-12	33.4	26.6	12.7	円形	黒褐色土(10R2/3) ロームフックを含む。		P232	V-17	21.5	19.2	23.3	円形	黒褐色土(10R6/4)			
P267	XVII-1	18.6	19.6	48.6	不規則	折合 灰色 黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。		P233	V-17	31.4	28.1	14.3	円形	黒褐色土(10R6/4)			
P268	XVII-5	20.7	18.8	12.7	円形	黒褐色土(10R4/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。		P234	V-11	30.0	24.0	16.6	不規則	黒褐色土(10R4/1)			
P269	XVII-7	48.1	36.9	13.2	椭円形	黒褐色土(10R4/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。 ロームフックを含む。		P235	V-18	35.0	22.3	24.7	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P270	XVII-9	25.1	12.1	9.8	円形	黒褐色土(10R4/1)		P236	V-18	21.1	17.7	11.3	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P271	XI-2	31.8	25.1	40.1	椭円形	黒褐色土(10R4/1)		P237	V-18	25.4	22	26.9	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P272	X-25	25.2	17.1	7.1	円形	黒褐色土(10R4/1)		P238	V-17	25.0	24.2	36.2	円形	黒褐色土(10R4/1)			
						2に、「浅褐色土-1(10B7/4)		P239	V-17	33.2	29.8	19.8	円形	黒褐色土(10R4/1)			
								P240	V-17	27.7	21.0	23.1	円形	黒褐色土(10R4/1)			
								P241	V-17	27.2	23.1	17.6	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P273	XV-25	20.3	21.6	26.0	椭円形	カクラン		P242	V-17	30.6	26.8	29.1	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P274	XV-25	20.2	25.1	19.1	方形	カクラン		P243	V-17	30.5	26.9	27.8	円形	土と砂混 黒褐色土(10R4/1)			
P275	XV-25	23.8	22.7	22.4	方形	カクラン		P244	V-22	36.2	34.8	26.7	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P276	XV-16	18.8	21.6	22.2	方形	カクラン		P245	V-18	18.6	16.4	27.7	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P277	XV-17	7.5	21.6	45.6	椭円形	黒褐色土(10R9/1)		P246	V-17	44.6	38.7	29.3	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P278	XVII-17	37.1	23.8	11.5	方形	S556四脚		P247	V-19	18.4	15.1	6.2	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P279	XVII-17-22	41.1	31.1	20.4	椭円形	四脚 S556四脚		P248	V-17	41.7	36.9	22.1	椭円形	黒褐色土(10R4/1)			
P280	XVII-17	26.3	2.46	11.1	円形	S556四脚		P249	V-17	31.9	32.0	31.5	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P285	XVII-17	20.2	19.2	8.6	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。		P250	V-17	32.3	30.9	9.4	円形	黒褐色土(10R4/1)			
P286	XXIV-2	29.0	25.9	11.1	円形	S556四脚		P251	V-22	38.1	39.2	32.3	椭円形	黒褐色土(10R4/1)			
P287	XXIV-2	25.0	21.0	38.6	38.9	円形	S556四脚		P252	V-22	30.1	35.2	30.2	方形	こぶし 黒褐色土(10R4/3)		
P288	XXIV-2	23.5	26.6	17.2	不規則	S556四脚		P253	V-21-22	26.7	22.9	32.9	椭円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P289	XXIV-2	37.4	33.6	17.4	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。 ロームフックを含む。		P254	V-22	38.3	32.2	28.2	方形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P290	XXIV-5	59.8	51.9	20.5	円形	黒褐色土(10R3/1)		P255	V-16	31.9	28.5	32.1	椭円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P291	XXIV-2	25.1	20.9	22.9	円形	黒褐色土(10R3/1)		P256	V-16	32.3	29.3	16.8	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P292	XXIV-2	25.5	19.2	17.3	方形	黒褐色土(10R3/1)		P257	V-21	26.1	19.5	23.8	方形	化粧土を含む。			
P293	XVII-22	11.5	13.2	3.9	円形	S556四脚		P258	V-21	32.5	26.4	34.8	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P294	XVII-22	22.6	15.5	7.6	椭円形	黒褐色土(10R3/1)		P259	V-21	27.4	26.6	29.7	円形	K6918.9 黒褐色土(10R4/3)			
P295	XVII-17	32.7	27.2	15.4	円形	黒褐色土(10R3/1)		P260	V-21	28.8	25.7	24.5	円形	化粧土で覆う。			
P296	XV-15	35.9	34.3	16.7	不規則	扁平形土(10R2/1)		P261	V-21	28.7	28.1	20.2	方形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P297	XV-22	28.8	21.7	37.1	不規則	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。 ロームフックを含む。		P262	V-22	41.9	40.6	23.2	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
								P263	V-16	32.6	30.6	11.4	円形	生糞便			
P298	XVII-22	54.8	51.9	12.8	円形	黒褐色土(10R3/1)		P264	V-16	27.6	24.3	24.0	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P299	XVII-2	37.4	33.6	17.4	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱い。		P270	V-21	26.6	19.2	25.8	椭円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P300	XVII-2	29.8	22.4	12.6	円形	生糞便		P271	V-21	26.5	23.9	14.5	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P301	XVII-2	31.4	27.8	21.3	円形	生糞便		P272	V-21	40.5	33.9	14.5	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P302	XVII-2	29.9	26.5	19.5	円形	生糞便		P273	V-21	36.6	38.4	26.8	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P303	XVII-2	29.3	29.2	57.9	椭円形	黒褐色土(10R3/1)		P274	V-21	47.7	39.9	34.9	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P304	XVII-2	55.2	52.6	11.6	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱く。 種子を少数含む。		P275	V-21	37.3	29.3	27.0	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P305	XVII-2	23.2	23.2	16.9	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱く。		P276	V-21	26.5	19.2	25.8	椭円形	黒褐色土(10R4/3)			
P306	XVII-2	31.8	31.4	16.9	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱く。		P277	V-21	26.5	19.2	25.8	椭円形	黒褐色土(10R4/3)			
P307	XVII-2	29.8	22.4	11.5	円形	黒褐色土(10R3/1)		P278	V-16	28.6	23.1	23.4	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P308	XVII-2	30.4	30.3	11.1	円形	黒褐色土(10R3/1)		P279	V-16	29.0	28.9	18.2	椭円形	黒褐色土(10R4/3)			
P309	XVII-2	31.7	30.4	18.6	円形	黒褐色土(10R3/1)		P280	V-16	26.0	20.4	22.6	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P310	XVII-20	32.0	23.7	17.3	椭円形	黒褐色土(10R3/1)		P281	V-16	32.5	26.3	27.5	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P311	XVII-18	28.8	35.9	8.5	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱く。		P282	V-21	9.5	34.5	28.4	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P312	XVII-25	25.1	24.8	15.4	円形	黒褐色土(10R3/1)しまりくろ、 粘性やや弱く。		P284	V-17	38.6	38.3	38.2	方形	こぶし 黒褐色土(10R4/3)			
P313	XVII-25	20.6	18.9	21.9	円形	黒褐色土(10R3/1)		P285	X-3	27.7	21.1	37.7	椭円形	こぶし 黒褐色土(10R4/3)			
P314	XVII-19	29.4	23.4	13.1	円形	黒褐色土(10R3/1)		P286	X-3	26.9	21.3	39.5	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P315	XVII-19	45.1	37.6	22.6	円形	黒褐色土(10R3/1)		P287	IV-24	25.6	23.9	24.4	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P316	XVII-19	21.0	19.9	12.5	円形	黒褐色土(10R3/1)		P288	IV-24	30.3	27.3	19.0	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P317	XVII-19	38.7	34.3	12.3	円形	黒褐色土(10R3/1)		P289	IV-24	27.2	19.6	27.0	椭円形	黒褐色土(10R4/3)			
P318	XVII-20	55.6	51.2	8.5	円形	にじ 黒褐色土(10R3/4)		P290	X-3	29.1	23	21.2	円形	倒伏より黒褐色土(10R4/3)			
P319	XVII-20	24.9	24.4	13.0	円形	にじ 黑褐色土(10R3/4)		P291	X-3	27.7	21.1	31.1	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P320	XVII-21	27.7	22.2	15.7	円形	にじ 黑褐色土(10R3/4)		P292	X-3	27.7	21.1	31.1	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
P321	XVII-19	24.1	23.6	12.7	円形	にじ 黑褐色土(10R3/4)		P293	X-3	31.1	26.4	31.6	円形	黒褐色土(10R4/3)			
P322	XVII-21	18.1	16.6	3.6	円形	にじ 黑褐色土(10R3/4)		P294	X-3	24.7	21.1	31.1	円形	F6912.9 黒褐色土(10R4/3)			
P323	V-11	47.9	46.9	26.3	円形	黒褐色土(10R3/4)		P295	V-16	27.4	25.5	23.4	円形	黒褐色土(10R4/3)			
								P296	V-16	24.3	22.7	21.6	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
								P297	V-16	34.3	30.7	24.7	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
								P298	V-16	34.2	30.7	24.7	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
								P299	V-16	30.3	27.6	24.5	円形	こぶし 黑褐色土(10R4/3)			
								P300	V-16	36.2	31.3	22.8	円形	黒褐色土(10R4/3)			
								P301	V-16	41.7	30.6	16.8	円形	黒褐色土(10R4/3)			

第52表 ピット計測表(4)

測定 名	出土初期	長程	短程	深さ	形 態	出土場所 標識番号	著 者	測定 名	出土位置	長程	短程	深さ	形 態	出土物 標識番号	著 者
P369	V-21	31.6	22.9	23.2	円筒形	476より土	栗原色土(10784/1)	P440	X-1-3	22.4	19.4	23.8	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。	
P369	V-22	51.8	46.5	21.3	不規則	土目井掛 297より土	栗原色土(10784/1)	P441	X-1-3	23.9	23.8	30.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P400	V-22	70.3	64.8	38.1	不規則	476より土	栗原色土(10784/1)	P442	X-1-3	38.1	35.5	39.6	方形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P401	V-22	77.4	54.3	28.2	不規則	476より土	栗原色土(10784/1)	P443	X-1-3	55.0	43	59.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P402	X-1	18.2	16.3	11.5	円形	476より土	栗原色土(10784/1)	P444	X-1-3	38.1	35.5	39.6	方形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P403	X-1	23.7	21.6	24.8	円形	476より土	栗原色土(10784/1)	P445	X-1-3	36.0	34.1	32.2	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P404	V-21	34.6	26.9	22.8	円形	476より土	栗原色土(10784/1)	P446	X-1-3	36.0	34.1	32.2	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P405	V-21	41.8	31.6	40.1	圓筒形	476より土	栗原色土(10784/1)	P447	X-1-3	34.5	32.6	36.0	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P406	V-21	67.4	34.5	32.6	圓筒形	476より土	栗原色土(10784/1)	P448	X-1-3	34.5	32.6	36.0	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。	
P407	V-24	(26.4)	24.8	48.9	円形	栗原色土(10784/1)	P449	X-1-3	35.5	43	59.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P408	V-21	(26.0)	24.9	(19.6)	円形	栗原色土(10784/1)	P450	X-1-4	30.3	28.4	41.9	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P409	V-22	(23.4)	25.0	(19.7)	円形	栗原色土(10784/1)	P451	X-1-4	27.5	25.2	37.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P410	V-22	(34.0)	31.1	29.8	円形	栗原色土(10784/1)	P452	X-1-4	27.5	25.2	37.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P411	V-23	(23.2)	21.6	9.1	円形	栗原色土(10784/1)	P453	X-1-4	27.5	25.2	37.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P412	V-23	(29.1)	22.1	34.2	圓筒形	栗原色土(10784/1)	P454	X-1-4	27.5	25.2	37.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P413	V-22	(17.6)	16.6	12.6	円形	栗原色土(10784/1)	P455	X-1-4	27.5	25.2	37.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P414	V-25	36.5	24.8	33.7	円形	栗原色土(10784/1)切口と同上	P456	X-1-4	30.3	28.1	44.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P415	X-6	27.1	26.4	24.2	円形	栗原色土(10784/1)	P457	X-1-4	30.3	28.1	44.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P416	V-25	29.0	22	12.5	円形	栗原色土(10784/1)	P458	X-1-4	30.3	28.1	44.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P417	V-21	29.8	28.2	12.5	円形	栗原色土(10784/1)	P459	X-1-4	30.3	28.1	44.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P418	V-16	25.9	19.6	12.8	圓筒形	栗原色土(10784/1)	P460	X-1-4	30.3	28.1	44.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P419	V-21	32.7	32.7	23.4	円形	栗原色土(10784/1)	P461	X-1-4	27.5	25.2	39.7	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P420	V-22	22.4	21.9	17.2	圓筒形	栗原色土(10784/1)	P462	X-1-4	34.2	27.4	27.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P421	X-1 15-18	21.7	20.7	4.5	円形	476より土 栗原色土(10784/1)ローム少量含む。	P463	X-1-4	34.2	27.4	27.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P422	X-1-18	55.4	50.6	18.5	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P464	X-1-4	34.2	27.4	27.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P423	X-1-18	56.6	46.2	10.6	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P465	X-1-4	34.2	27.4	27.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P424	X-1-19	24.5	22.8	13.1	円形	栗原色土(10784/1)	P466	X-1-4	27.5	25.2	31.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P425	X-1-19	29.3	26.3	28.9	円形	栗原色土(10784/1) 切口2.9	P467	X-1-4	21.3	21.9	31.7	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P426	X-1-19	23.1	22.2	31.3	円形	栗原色土(10784/1) 切口2.9	P468	X-1-4	21.6	20.2	14.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P427	X-1-18	49.2	39.9	33.4	圓筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P469	X-1-4	23.2	20.9	34.3	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P428	X-5	(22.0)	(35.2)	63.0	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P470	X-1-4	27.2	21.1	39.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P429	X-5	(22.0)	(23.7)	7.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P471	X-1-4	27.2	20.5	29.3	不規則	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P430	X-5	33.7	28.8	24.5	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P472	X-1-4	12.6	10.6	45.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P431	X-5	33.7	28.8	24.5	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P473	V-22	(2.9)	0.6	33.9	不規則	71より土 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P432	X-5	30.6	27.6	36.2	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P474	X-1-3	25.9	14.7	188	-	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P433	X-5	29.7	24.2	24.3	円形	栗原色土(10784/1)	P475	X-1-3	28.7	16.5	36.7	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P434	X-5	31.1	21.6	15.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P476	X-1-3	42.4	34.9	34.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P435	X-1-1	16.5	27.8	44.4	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P477	X-1-3	29.6	24.4	20.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P436	V-22	49.5	43.2	17.4	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P478	X-1-3	25.5	22.5	27.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P437	V-22	51.3	49.2	54.6	円形	栗原色土(10784/1)	P479	X-1-3	20.9	18.4	27.7	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P438	V-22	38.4	35.2	22.6	円形	栗原色土(10784/1)	P480	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P439	V-22	78.7	84.6	49.7	圓筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P481	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P440	V-23	25.6	21.6	26.4	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P482	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P441	V-22	51.3	49.2	54.6	円形	栗原色土(10784/1)	P483	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P442	V-22	38.4	35.2	22.6	円形	栗原色土(10784/1)	P484	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P443	V-22	78.7	84.6	49.7	圓筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P485	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P444	V-23	25.6	21.6	26.4	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P486	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P445	V-24	33.6	29.7	27.6	円形	栗原色土(10784/1)	P487	X-1-3	21.6	21.6	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P446	V-24	45.0	34.1	29.6	圓筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P488	V-22	38.5	36.9	40.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P447	X-5	35.6	31.2	45.6	円形	栗原色土(10784/1)	P489	V-21	26.1	22.5	24.0	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P448	X-5	37.5	32.1	23.3	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P490	V-21	22.8	19.3	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P449	X-1-3	56.3	39.3	36.7	円筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P491	V-21	22.8	22.5	32.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P450	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P492	V-21	23.3	23.8	25.8	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P451	X-1-3	22.1	20	41.8	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P493	V-21	22.8	22.5	32.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P452	X-1-3	28.2	24.5	37.9	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P494	V-21	66.1	58.4	55.0	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P453	X-1-3	56.3	39.3	36.7	円筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P495	V-21	25.7	25.1	25.8	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P454	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P496	X-1-12	64.8	43.4	27.9	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P455	X-1-3	56.3	39.3	36.7	円筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P497	X-1-12	36.9	31.3	37.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P456	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P498	V-22	38.5	36.9	40.4	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P457	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P499	V-21	26.1	22.5	24.0	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P458	X-1-3	22.1	20	41.8	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P500	V-21	22.8	19.3	26.6	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P459	X-1-3	56.3	39.3	36.7	円筒形	476より土 栗原色土(10784/1)	P501	V-21	22.8	22.5	32.5	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P460	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P502	V-21	23.3	17.8	25.8	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P461	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P503	V-21	24.9	21.8	26.9	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P462	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P504	V-22	32.6	26.4	14.1	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		
P463	X-1-3	57.5	36.7	36.7	円形	476より土 栗原色土(10784/1)	P505	V-16	21.6	21.1	24.9	円形	363より新 栗原色土/ロック少量含む。 しまり・粒性やや弱い。		

第53表 ピット計測表(5)

測量 孔	出土剖面 高さ	底面 高さ	深さ 形	底面 形	出土剖面 物質構成 編	著	測量 孔	出土剖面 高さ	底面 高さ	深さ 形	底面 形	出土剖面 物質構成 編	著		
P506	V-21	38.1	29.7	26.3	斜面	河原土+1998/1 土質より古	P555	X-II-6	23.8	21.8	7.5	円形	黑褐色土(+1998/1) 粘土を少含む		
P507	V-21	21.7	10.7	20.4	円形	褐褐色土(+1998/1)	P506	X-II-6	23.8	20.9	4.2	円形	褐褐色土(+1998/1) 粘土を少含む		
P508	V-21	23.8	21.0	22.8	不整形	褐褐色土(+1998/1)	P567	X-II-6	25.9	21.1	11.7	円形	黑褐色土(+1998/1)		
P509	V-25	26.4	25.5	12.9	円形	褐褐色土(+1998/1)	P556	X-II-6	26.5	26.2	8.3	円形	小ロームブロックを少含む。		
P510	V-25	22.9	13.9	11.2	円形	褐褐色土(+1998/1)	P559	X-II-11	25.3	23.9	12.4	円形	黑褐色土(+1998/1) 粘土を少含む		
P511	V-25	21.1	17.8	13.1	不整形	褐褐色土(+1998/1)	P560	X-II-12	26.8	25.6	16.7	円形	褐褐色土(+1998/1) 粘土を少含む		
P512	V-17	30.1	(13.7)	17.9	円柱	P604より古	P561	X-II-12	23.2	16.9	21.8	-	F16より古		
P513	X-I-1	30.7	26.5	26.5	不整形	河原土+1998/1 土質より古	P561	X-II-12	23.2	16.9	21.8	-	F16より古		
P514	V-25	30.3	(30.8)	(16.6)	方形	P604より古	P562	X-II-12	19.4	17.2	22.4	円形	灰黄褐色土(+1998/2) ロームブロックを少含む。		
P515	V-25	26.3	27.6	21.6	円形	河原土+1998/1	P563	X-II-11	26.6	24.7	16.3	円形	黑土(+1992/1) ロームブロックを少含む。		
P516	V-25	30.6	(29.6)	(7.9)	円形	P604より古	P564	X-II-11	29.0	28.4	8.9	円形	黑褐色土(+1998/1)		
P517	X-I-1	21.0	20.5	17.5	円形	河原土+1998/1 土質より古	P565	X-II-6	20.6	19.0	4.6	円形	黑褐色土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P518	X-I-1	24.5	21.3	13.3	円形	P604より古	P566	X-II-6	33.4	23.4	18.1	円形	黑褐色土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P519	X-I-16	(37.1)	(36.6)	(20.6)	円形	中野+土 泥炭質土 P604より古	P567	X-II-11	28.7	25.6	22.2	円形	小ロームブロックを少含む。		
P520	X-I-1	29.4	19.6	24.3	円形	泥炭質土 P604より古	P569	X-II-11	26.7	25.2	9.2	円形	黑褐色土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P521	X-5	(16.1)	(12.6)	(14.6)	椭円	P604より古	P570	X-II-11	49.8	45.9	44.2	円形	黑褐色土(+1998/1) ロームブロックを少含む。		
P522	X-3-8	34.0	16.9	35.3	不整形	P604より古	P571	X-II-16	27.9	23.1	16.6	円形	黑褐色土(+1998/1) ロームブロックを少含む。		
P523	X-3	36.9	29.8	16.2	円形	P604より古	P572	X-II-16	23.6	22.6	25.9	円形	黑褐色土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P524	X-4	36.2	31.4	19.2	円形	中野+土 泥炭質土	P573	X-II-16	41.2	31.0	35.2	不整形	黄褐色土(+1998/1) 粘土を多含む。		
P525	X-10	27.6	21.2	11.3	円形	泥炭土 P604より古	P574	X-II-16	59.4	52.5	24.7	円形	黑褐色土(+1998/1) ロームブロックを少含む。		
P526	X-14	31.2	28.6	25.2	円形	泥炭土 P604より古	P575	X-II-11	26.2	21.9	43.9	円形	黑褐色土(+1998/1) ロームブロックを少含む。		
P527	X-16	22.3	20.9	12.4	円形	F20より新 泥炭土	P576	X-II-12	45.6	45.6	11.6	円形	F16より古 泥炭土(+1998/1) ロームブロックを少含む。		
P528	X-15	(48.0)	(28.5)	(13.7)	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり	P577	X-II-6	72.6	68.1	26.2	円形	セシヨン中に土質混在あり。 黄褐色土(+1998/1) 粘土を多含む。		
P529	X-I-6	69.0	(28.5)	(9.6)	円形	泥炭土(+1998/1)	P578	X-II-6	82.4	71.3	55.3	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ロームブロックを少含む。		
P530	X-I-11	(22.5)	(23.5)	(17.1)	-	P604より古 泥炭土(+1998/1)	P579	X-II-7	29.7	27.3	9.7	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P531	X-I-21	43.5	42.8	21.3	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり	P580	X-II-6	24.0	22.8	42.7	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P532	X-20	39.8	(37.6)	33.2	不整形	泥炭土(+1998/2) しまりあり	P581	X-16	30.9	9.7	方形	F17より古 泥炭土(+1998/2)	泥炭土(+1998/2) 粘土を多く含む。 粘土混在。		
P533	X-25	55.8	45.9	48.1	不整形	土質混在 中野+土 泥炭質土	P582	X-21	33.4	32.6	56.9	円形	F17より古 泥炭土(+1998/2) 小ロームブロックを少含む。		
P534	X-21	21.4	23.3	9.9	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P583	X-II-6	77.7	69.2	26.2	円形	セシヨン中に土質混在あり。 黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P535	X-I-21	20.9	22.7	26.6	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P584	X-16	22.7	17.2	7.8	不整形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P536	X-I-4	24.8	21.7	8.2	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P585	X-16	25.2	18.3	16.9	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P537	X-I-4	20.4	18.4	9.7	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P586	X-16	22.7	21.9	15.1	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P538	X-I-4	20.4	18.4	9.7	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P587	X-16	23.0	20.6	56.9	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P539	X-I-4	20.4	18.4	9.7	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P588	X-16	25.2	18.3	16.9	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P540	X-I-4	32.4	21	25.1	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P589	X-16	22.7	17.2	7.8	不整形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P541	X-I-4	26.9	26.2	15.9	円形	泥炭土(+1998/2) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P590	X-16	58.6	41.2	25.1	椭円	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/2) ローム粒子を多く含む。		
P542	X-I-4	25.5	26.3	52.2	円形	泥炭土 F20より新 泥炭土	P591	X-II-7	24.9	23.7	10.8	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/1) 小ロームブロックを少含む。		
P543	X-I-9	37.9	35.6	15.3	円形	土削割 泥炭土(+1998/2) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P592	X-II-16	84.9	74.8	44.6	円形	P604より古 泥炭土(+1998/1) クランク調子に土質混在あり。 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P544	X-I-9	39.2	37.5	18.2	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P593	X-II-16	78.3	67.6	53.4	円形	泥炭土(+1998/1) 泥炭土(+1998/2) クランク調子に土質混在あり。 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P545	X-I-16	33.1	31.6	18.8	円形	泥炭土(+1998/2) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を含む。	P594	X-II-7	(2.3)	3.8	5.5	円形	F20より古 泥炭土(+1998/1) 泥炭土(+1998/2) 小ロームブロックを少含む。		
P546	X-I-9-16	31.6	23.5	23.3	円形	泥炭土(+1998/2) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P595	X-II-16	38.2	(33.8)	8.2	-	P604より古 泥炭土(+1998/2)	泥炭土(+1998/2) ローム粒子を少含む。	
P547	X-I-9	33.5	29.2	63.5	円柱	F20より古	P596	X-1-10	(7.5)	(5.2)	33.4	円形	P604より古 泥炭土(+1998/1) クランク調子に土質混在あり。 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P548	X-I-10	56.3	37.4	12.7	不整形	泥炭土 泥炭土質土(+1998/2) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P597	X-II-16	84.9	74.8	44.6	円形	P604より古 泥炭土(+1998/1) クランク調子に土質混在あり。 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を少含む。		
P549	X-I-10	60.1	55.3	25.6	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P598	X-I-12	27.0	21.5	12.3	円形	黑褐色土(+1998/1) 泥炭土(+1998/2) ローム粒子を少含む。		
P550	X-I-16	32.7	29.2	7.6	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P599	X-I-14	45.1	41.8	32.9	円形	セシヨン中に土質混在あり。 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を多く含む。		
P551	X-I-10	37.6	40.9	15.1	不整形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P600	X-I-16	36.8	39.2	12.3	円形	P604より古 泥炭土(+1998/1) クランク調子に土質混在あり。 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を少含む。		
P552	X-18	22.0	16.2	6.1	円形	泥炭土(+1998/1) しまりあり 粘性弱い ローム粒子を少含む。	P601	X-I-9	30.8	33.6	18.9	円形	泥炭土(+1998/1) 泥炭土(+1998/2) ローム粒子を少含む。		
P553	X-18	20.1	19.6	17.6	円形	泥炭土(+1998/1) 泥炭土(+1998/2) ローム粒子を少含む。	P602	X-I-19	26.5	22.9	(24.0)	円形	泥炭土(+1998/2) 泥炭土(+1998/1) ローム粒子を少含む。		
P554	X-23	19.4	15.3	7.6	円形	泥炭土(+1998/2) ローム粒子を多く含む。	P603	X-I-19	82.3	43.3	12.0	椭円	P604より古 泥炭土(+1998/2) ローム粒子を少含む。		

第54表 ピット計測表(6)

層 名	出土位置	長径	短径	深さ	形 態	出土物類 及 地質	概 要	層 名	出土物類 及 地質	長径	短径	深さ	形 態	考	層 名	
P604	X-19	38.8	(33.4)	16.6	不整形	P603より新 風鳴色土(10983/2) 小ロームブロックを少含む。		P655	V-21	34.3	29.4	12.6	円形	同じく 同じく	灰黒色土(10984/2)しまり・粘性や 弱い・粘り・ロームを少含む。	
P605	X-16	64.8	51.9	38.5	円形	風鳴色土(10983/2) しまり・弱く・粘性あり。		P656	V-21	82.1	28.4	9.9	円形	風鳴色土(10982/1)しまり・粘性や 弱い・ロームを少含む。		
P606	IX-20	62.5	58.6	57.4	円形	黒褐色土(10983/1) しまり・弱く・粘性あり。		P657	V-16	(41.6)	44.4	45.9	円形	灰黒色土(10984/2) しまり・粘性や・弱い。	灰黒色土(10983/1)しまり・粘性 や・弱く・粘性あり。	
P607	IX-20	26.6	21.8	16.3	円形	灰黒色土(10984/2) しまり・粘性あり。		P658	V-16	(35.0)	(31.3)	27.2	円形	MS1より古 風鳴色土(10984/2) しまり・粘性あり。	黒褐色土(10983/1)しまり・ 弱く・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P608	IX-20	21.2	21.3	12.1	円形	灰黒色土(10984/2) しまり・粘性あり。		P659	X-18	(68.9)	(59.1)	22.7	不整形	孫生土(10981/1) ローム粒子を含む。	孫生土(10982/1) ロームブロックを含む。	
P609	IX-20	74.5	44.6	15.6	不整形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を含む。		P660	XII-4	(28.3)	(26.1)	46.6	円形	MS2より古 風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	
P610	IX-19	35.8	30.9	8.8	円形	風鳴色土(10983/1)		P661	XII-4	27.9	24.4	24.4	円形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を含む。	黒褐色土(10983/1) ローム粒子を含む。	
P611	IX-19	64.8	45.5	13.6	円形	黒褐色土(10983/1)		P662	XII-4	66.3	37.4	18.8	円形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を含む。	黒褐色土(10983/1) ローム粒子を含む。	
P612	IX-20	27.9	27.5	24.4	円形	風鳴色土(10983/1)		P663	V-21	101.5	66.6	21.5	円形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を含む。	風鳴色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P613	IX-20	66.8	66.6	21.6	円形	風鳴色土(10983/1)		P664	V-21	101.0	66.0	21.5	円形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を含む。	風鳴色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P614	IX-20	23.2	21.0	38.3	円形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を含む。		P665	XII-4	(56.6)	27.5	37.9	円形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	風鳴色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P615	IX-25	66.5	59.2	17.2	円形	孫生土(10981/1) 灰黒色土(10981/1)		P666	V-21	88.1	30.3	11.8	円形	孫生土(10982/1) ローム粒子を含む。	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを含む。	
P616	XII-1	26.7	21.6	29.3	円形	孫生土(10981/1) 灰黒色土(10981/1) しまり・弱く・粘性や・強度あり。		P667	V-21	88.1	30.3	11.8	円形	孫生土(10982/1) ローム粒子を含む。	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを含む。	
P617	X-19	(68.9)	(36.0)	60.1	不要形	MS3より古 黒褐色土(10983/1) 弱く非常に多く含む。		P668	V-22	36.5	30.2	20.2	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P618	X-17	66.6	27.8	15.6	不整形	風鳴色土(10983/1)		P669	V-21	(21.5)	(15.2)	56.6	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P619	X-17	27.1	21.3	18.8	方形容	黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。		P670	V-21	55.3	23.6	18.9	椭円形容	黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P620	X-24	27.1	24.0	17.8	円形	黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。		P671	XII-4	(30.4)	26.5	14.6	円形	MS8より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P621	XII-41	19.1	15.0	27.3	椭円形容	F2より古 風鳴色土(10983/1)		P672	XII-41	35.8	24.2	19.3	円形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P622	XII-41	22.6	16.2	12.8	-	F2より古 風鳴色土(10983/1)		P673	XII-41	56.4	45.2	16.6	-	MS7より古 風鳴色土(10983/1)	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性や・弱い・ 小ロームブロックを少含む。	
P623	XII-41	27.5	19.7	18.2	円形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P674	V-19	29.8	16.6	22.4	円形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P624	X-19	28.5	17.7	22.8	不整形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P675	V-19	35.6	24.9	20.4	椭円形容	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P625	X-19	19.3	12.5	16.2	円形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P676	V-19	33.4	32.9	14.6	方形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P626	X-19	18.2	16.5	16.5	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P677	V-19	28.2	24.1	24.1	方形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黑色土下から他出。	
P627	IX-29	39.6	39.1	17.8	不整形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを多く含む。		P678	V-11	33.8	27.9	17.2	方形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黑色土下から他出。	
P628	IX-29	44.7	16.6	16.3	F34+FE12	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを多く含む。		P679	V-23	25.3	22.5	16.6	方形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黑色土下から他出。	
P629	IX-29	47.5	38.0	26.2	椭円形容	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを多く含む。		P680	V-20	27.4	25.7	14.0	円形	黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黑色土下から他出。	
P630	X-17	31.7	(26.1)	23.1	円形	MS6より古 黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P681	X-23	82.6	87.0	14.3	不整形	MS7より古 黒褐色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1)ローム 粒子を多く含む。	
P631	X-24	28.5	27.4	38.9	方形容	風鳴色土(10983/1)		P682	X-16	(42.0)	37.2	22.7	不整形	風鳴色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	
P632	X-24	24.3	21.0	15.7	円形	風鳴色土(10983/1)		P683	V-23	41.4	29.2	19.2	椭円形容	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黑色土下から他出。	
P633	XI-4	62.6	60.7	17.6	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P684	X-19	23.7	19.4	8.9	不整形	風鳴色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	
P634	XI-18	27.4	23.1	21.4	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P685	V-25	38.4	35.9	31.9	円形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P635	XI-18	28.7	26.7	18.4	不整形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P686	XI-13	26.2	(28.4)	28.7	不整形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P636	XI-17	27.2	27.2	18.1	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P687	XI-22-23	49.1	(18.1)	23.4	不整形	風鳴色土(10983/1) ロームブロックを少含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P637	XI-17	26.9	26.9	12.8	円形	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P688	X-23	82.6	87.0	14.3	不整形	風鳴色土(10983/1)ローム 粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P638	XI-17	26.7	26.0	13.2	方形容	黒褐色土(10983/1) ロームブロックを少含む。		P689	XI-16	42.0	37.2	22.7	不整形	風鳴色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	
P639	XI-17	25.8	25.8	12.6	不整形	MS6より古 黒褐色土(10983/2) ロームブロックを少含む。		P690	V-23	41.4	29.2	19.2	椭円形容	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P640	XI-17	26.6	26.6	6.1	円形容	MS6より古 黒褐色土(10983/2)		P691	V-23	37.3	31.4	41.2	方形	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P641	XI-17	21.9	21.9	20.1	14.8	円形容	黒褐色土(10982/1)		P692	XI-16	42.0	24.8	17.0	椭円形容	風鳴色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。
P642	XI-17	19.5	16.4	19.7	円形容	黒褐色土(10982/1)		P693	X-19	23.7	19.4	8.9	不整形	風鳴色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	
P643	XI-17	29.0	27.3	8.2	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P694	V-23	41.4	29.2	19.2	椭円形容	風鳴色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	
P644	XI-16	26.1	29.6	25.9	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P695	V-23	41.4	29.2	19.2	椭円形容	風鳴色土(10983/1)	MS7より古 黒褐色土(10983/1) ローム粒子を多く含む。	
P645	XI-16	34.1	26.9	36.2	不整形	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P696	V-23	37.3	31.4	41.2	方形	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P646	XI-16	26.0	26.0	13.8	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P697	XI-16	42.0	29.8	19.8	円形	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P647	XI-16	29.2	27.2	14.1	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P698	XI-23	23.8	17.2	13.6	椭円形容	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P648	V-24	16.0	43.7	11.0	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P699	XI-23	23.8	17.2	13.6	椭円形容	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P649	XI-16	23.7	30.2	29.5	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P700	XI-23	23.8	17.2	13.6	椭円形容	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P650	XI-16	43.8	36.4	15.1	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P701	V-21	41.4	29.2	19.2	椭円形容	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P651	V-21	41.6	44.7	32.4	円形容	MS6より古 黒褐色土(10982/1)		P702	XI-23	68.6	36.1	30.2	椭円形容	MS6より古 黒褐色土(10982/1)	MS6より古 黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	
P652	V-21	80.7	11.6	16.9	方形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P703	XI-23	23.8	17.2	13.6	椭円形容	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P653	V-21	82.0	33.6	8.1	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P704	XI-21	28.3	19.0	14.1	円形	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	
P654	V-21	23.1	26.1	19.0	円形容	黒褐色土(10982/1) ロームブロックを少含む。		P705	XI-21	23.8	17.2	13.6	椭円形容	黒褐色土(10982/1) ローム粒子を多く含む。	黒褐色土(10982/1) しまり・粘性 弱い。黒色土下から他出。	

第55表 ピット計測表(7)

遺傳子	出土位置	長径	短径	深さ	形	出土品種	遺傳子関連性	著	場所	出土位置	長径	短径	深さ	形	出土品種	遺傳子関連性	備
P91	XII-11	32.9	21.5	12.7	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	しまり・耐性やや低い。	Y	IV-4	33.3	28.9	24.6	円筒形	黒鶴色土(10983-1)	しまり・粘性やや低い。		
P92	XI-7	19.4	(7.6)	23.6	-	黒鶴色土(10982/1)	しまり・耐性やや高い。		X-4	22.4	15.5	6.0	円筒形	ミスミックタマゴ	ミスミックタマゴ		
P93	XI-2	(26.2)	(26.7)	(41.6)	不整形	黒鶴色土(10981/1)	しまり・耐性やや高い。		X-3	26.3	16.9	7.7	円筒形	MESより古	粘性やや高い。		
P94	XII-10	19.0	17.1	9.2	方形	黒鶴色土(10984/2)	しまり・耐性やや高い。		IV-23	25.6	21.5	20.1	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P95	XII-12	28.5	20.2	13.2	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	しまり・耐性やや高い。		X-3-4	72.5	118.9	14.6	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P96	IV-20	11.1	(9.7)	8.9	-	黒鶴色土(10982/1)	しまり・耐性低い。		IV-23	28.7	28.2	24.7	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	しまり・耐性やや高い。		
P97	IV-13	30.6	20.8	45.8	椭円形	黒鶴色土(10982/1)棒状。	黒鶴色土(10982/1)棒状。		X-3	23.6	22.6	20.1	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P98	VI-26	21.9	37.2	21.0	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	耐性あり。		IV-23	24.2	22.3	15.7	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	しまり・耐性やや高い。		
P99	VII-20	20.9	19.3	11.5	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	耐性あり。		X-4	23.0	22.7	20.8	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P100	VII-11	25.8	21.2	15.5	不整形	黒鶴色土(10981/2)	耐性あり。		X-4	23.6	22.6	20.1	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	まろやか・耐性やや高い。		
P101	V-16	37.3	30.6	42.6	不整形	黒鶴色土(10981/2)	しまり・耐性高い。		X-4	23.0	22.7	20.8	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P102	V-11	27.2	24.2	13.2	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	しまり・耐性低い。		X-4	23.6	22.6	20.1	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P103	V-16	21.1	19.2	12.3	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	しまり・耐性低い。		X-3	23.6	22.6	20.1	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P104	V-17	63.1	22.1	15.1	椭円形	黒鶴色土(10984/2)	しまり・耐性低い。		IV-23	23.4	19.1	15.3	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性やや高い。		
P105	V-17	31.4	23.6	42.7	椭円形	黒鶴色土(10983/1)	耐性あり。		X-3	25.9	15.3	44.4	椭円形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P106	V-17	51.5	25.6	16.1	椭円形	黒鶴色土(10985/1)	耐性あり。		IV-13	26.6	20.6	13.4	椭円形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性低い。		
P107	V-12	33.0	31.9	40.9	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性あり。		IV-12	23.6	22.6	20.1	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P108	V-12	21.2	19.2	12.0	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性あり。		IV-13-18	58.5	22.4	30.1	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P109	V-21	22.2	22.2	16.9	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	耐性あり。		IV-13	23.4	19.1	15.3	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P110	V-16	34.6	28.6	11.3	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性あり。		X-4	23.6	22.6	20.1	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	まろやか・耐性低い。		
P111	VII-22	22.6	20.7	8.4	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性あり。		X-4	16.7	13.5	8.8	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P112	VII-22	23.9	20.2	22.9	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	耐性あり。		X-4	16.7	13.5	8.8	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P113	VII-17	19.9	15.8	12.2	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性あり。		X-4	17.4	13.5	8.8	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P114	XI-2	33.2	32.0	12.4	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	耐性あり。		X-4	17.4	13.5	8.8	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P115	V-22	30.9	28.6	9.2	円筒形	黒鶴色土(10983/3)	耐性低い。		X-14	28.9	19.7	11.5	椭円形	黒鶴色土(10983/2)	まろやか・耐性低い。		
P116	XI-1	23.8	21.4	17.1	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	耐性低い。		X-19	17.5	15.3	18.3	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P117	V-22	47.3	(46.9)	26.1	不整形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-24	15.5	14.8	14.5	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P118	V-22	26.6	(26.6)	16.4	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-24	22.4	22.4	15.8	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P119	V-21	23.2	18.5	24.5	不整形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-29	20.5	20.8	18.3	椭円形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P120	V-25	39.4	26.1	29.3	不整形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-24	21.8	16.6	20.0	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P121	V-25	27.2	20.7	17.8	不整形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-11	24.4	21.5	10.1	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P122	V-25	20.5	25.9	26.5	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-16	26.5	20.8	12.4	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P123	V-25	24.7	24.6	17.6	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-16	16.5	14.5	4.4	不整形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P124	V-25	60.0	49.9	20.8	-	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-20	24.0	19.5	13.4	円筒形	MORより古	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。	
P125	V-25	24.7	24.6	17.6	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-15	29.7	15.2	14.6	椭円形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P126	V-25	13.1	6.9	12.2	-	中井	黒鶴色土(10984/2)	耐性低い。		X-19	29.6	27.7	23.8	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。	
P127	V-25	80.8	29.1	26.4	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-20	30.7	27.9	8.6	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P128	V-25	25.0	16.8	6.6	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-20	29.8	19.8	7.6	円筒形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P129	X-5	33.6	18.5	12.8	椭円形	黒鶴色土(10984/2)	耐性低い。		X-19	26.6	14.6	14.2	椭円形	黒鶴色土(10983/1)	まろやか・耐性低い。		
P130	IV-20	46.5	41.6	34.6	不整形	黒鶴色土(10985/2)	耐性低い。		X-15	26.8	23.8	7.8	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	まろやか・耐性低い。		
P131	IV-20	25.8	24.2	12.4	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-20	25.0	24.4	9.8	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	まろやか・耐性低い。		
P132	IV-20	26.1	24.7	16.5	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-18	107.5	43.0	25.5	椭円形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P133	VII-19	89.5	27.4	17.6	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		V-22	23.6	(36.5)	16.9	円筒形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P134	VII-19	30.9	23.3	46.3	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-16	19.9	36.5	24.5	円筒形	黒鶴色土(10981/1)	まろやか・耐性低い。		
P135	VII-15	28.6	28.5	32.4	不整形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-18	14.8	34.4	12.8	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	まろやか・耐性低い。		
P136	VII-15	21.6	18.4	10.9	円筒形	黒鶴色土(10985/2)	耐性低い。		X-17	30.2	29.2	18.1	円筒形	黒鶴色土(10984/2)	まろやか・耐性低い。		
P137	IV-15	21.6	18.4	10.9	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-17	39.4	21.9	11.3	円筒形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P138	IV-24	31.2	19.6	6.1	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-17	34.9	21.9	11.3	円筒形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P139	IV-24	30.6	31.2	14.8	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-17	24.9	18.0	12.7	円筒形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P140	IV-24	30.8	27.6	35.0	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-17	24.9	18.0	12.7	円筒形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P141	IV-14	24.7	21.5	16.7	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-17	24.4	18.7	18.1	円筒形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P142	IV-14	26.9	19.9	20.2	椭円形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-19	26.7	20.6	9.1	不整形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P143	IV-19	23.1	19.0	9.5	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-17	21.6	20.6	21.8	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		
P144	X-4	(23.1)	(19.0)	(9.5)	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-16	22.6	14.1	6.9	椭円形	黒鶴色土(10984/1)	まろやか・耐性低い。		
P145	X-4	37.1	(33.5)	64.2	円筒形	黒鶴色土(10981/2)	耐性低い。		X-16	16.3	12.9	29.4	円筒形	黒鶴色土(10982/1)	まろやか・耐性低い。		

第56表 ピット計測表(8)

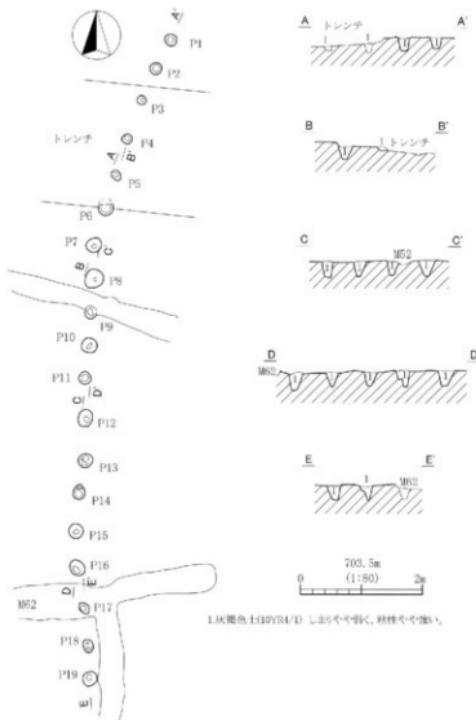
遺物名	出土位置	長径	短径	深さ	形態	出土遺物 裏面焼付	著者	測量 名	出土位置	長径	短径	深さ	形態	著者	裏面焼付
PB6	X-16	18.8	17.7	7.1	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	P030	V-15	28.7	25.9	16.9	円形	黒褐色土(10YR4/1)柱直あり。	黒褐色土(10YR3/1)色色眩子を含む。	
PB7	X-10	16.4	14.8	19.4	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	P040	V-24	23.5	18.3	17.0	方形	黒褐色土(10YR2/1) ロームブロックを多く含む。	黒褐色土(10YR3/1)しまり・粒性弱い。	
PB8	X-13	27.5	25.5	17.7	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	P041	XII-2	21.1	18.7	9.9	円形	黒褐色土(10YR3/1)しまり・粒性弱い。	黒褐色土(10YR3/1)柱直あり。	
PB9	X-14	24.9	20.2	25.7	円形	灰褐色土(10YR4/2) しまり・粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	P042	XII-1	26.3	25.5	19.4	円形	黒褐色土(10YR3/1) 柱直あり。	黒褐色土(10YR3/1)柱直あり。	
PB10	V-20	23.2	18.2	20.5	円形	灰褐色土(10YR4/2) しまり・粒性やや弱い。	P043	XI-21	72.3	47.6	16.8	椭円形	黒褐色土(10YR4/1)	黒褐色土(10YR3/1)	
PB11	V-13	27.5	21.6	11.5	椭円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P044	XI-21	16.9	12.8	16.9	円形	黒褐色土(10YR3/1)	黒褐色土(10YR3/1)	
PB12	X-1-3	29.7	28.4	22.3	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P045	XI-21	29.3	19.6	21.1	椭円形	黒褐色土(10YR3/1) 柱直あり。	黒褐色土(10YR3/1)	
PB13	X-1-4	23.6	18.6	9.1	円形	灰褐色土(10YR4/2) しまり・粒性やや弱い。	P046	XI-10	(8.6)	(16.6)	(16.6)	円形	MST-105 より上	黒褐色土(10YR3/1)	
PB14	X-1-3	31.8	30.3	20.7	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P047	V-20	29.9	23.7	16.9	円形	黒褐色土(10YR4/1) 柱直あり。	黒褐色土(10YR3/1)	
PB15	X-1-6	21.1	17.1	19.3	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	P048	X-10	34.5	42.3	12.9	円形	黒褐色土(10YR3/1)しまり・粒性弱い。 柱直あり。	黒褐色土(10YR3/1)柱直あり。	
PB16	V-24	52.2	24.1	19.1	椭円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームを多量に含む。	P049	X-19	30.0	23.2	12.8	円形	MST-105 より上	黒褐色土(10YR4/1)	
PB17	V-18	25.4	22.1	17.1	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームを少量含む。	P050	XII-7	55.8	45.6	14.6	椭円形	黒褐色土(10YR3/1) 柱直あり。	黒褐色土(10YR3/1)しまり・粒性弱い。	
PB18	XI-2	(32.2)	(9.3)	21.5	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P051	XII-6	96.1	80.6	16.2	不整形	黒褐色土(10YR3/2) しまり・粒性弱い。	黒褐色土(10YR3/2)しまり・粒性弱い。	
PB19	V-20	34.2	16.8	19.3	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P052	XV-17	47.0	45.6	4.1	円形	黒褐色土(10YR4/1) 柱直あり。	黒褐色土(10YR4/1)しまり・粒性弱い。	
PB20	X-19	30.7	28.7	18.6	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P053	XV-22	73.3	50.9	55.3	円形	SSE調査	SSE調査	
PB21	V-14	34.8	34.1	16.2	方盤	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームを少量含む。	P054	XV-17	37.5	25.6	19.4	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB22	X-16	(16.3)	13.5	13.5	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームブロックを多く含む。	P055	XVII-2	31.2	29.5	31.1	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB23	XI-6	29.5	21.1	13.0	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P056	XVII-7	18.9	21.1	14.5	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB24	XI-1	29.7	16.9	6.7	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P057	XVII-1	19.9	21.1	14.5	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB25	V-14	23.3	14.3	8.4	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	P058	XVII-2	29.2	18.5	30.8	円形	SSE調査	SSE調査	
PB26	V-20	34.2	16.8	19.3	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P059	XVII-2	31.2	29.5	31.1	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB27	V-19	30.7	28.7	18.6	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P060	XVII-7	18.4	17.6	14.5	円形	SSEより上	SSEより上	
PB28	XI-2	34.8	34.1	16.2	方盤	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームブロックを多く含む。	P061	XVII-2	31.2	29.5	31.1	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB29	XI-6	29.5	21.1	13.0	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P062	XI-4	18.4	17.6	14.5	円形	SSEより上	SSEより上	
PB30	XI-1	29.7	16.9	6.7	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P063	XVII-21	23.3	24.2	28.2	円形	SSE調査	SSE調査	
PB31	V-14	34.8	34.1	16.2	方盤	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームブロックを多く含む。	P064	XVII-2	56.8	52.3	17.4	方形	頭部鋤 骨生糞	SSE調査	
PB32	XI-2	(32.2)	(9.3)	21.5	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P065	XVII-2	29.2	18.5	30.8	円形	SSE調査	SSE調査	
PB33	V-20	34.2	16.8	19.3	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P066	XVII-2	31.2	29.5	31.1	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB34	X-19	30.7	28.7	18.6	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P067	XI-4	18.4	17.6	14.5	円形	SSEより上	SSEより上	
PB35	V-14	34.8	34.1	16.2	方盤	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。 ロームブロックを多く含む。	P068	XVII-2	31.2	29.5	31.1	椭円形	SSE調査	SSE調査	
PB36	X-16	(16.3)	13.5	13.5	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P069	XVII-2	29.2	18.5	30.8	円形	SSEより上	SSEより上	
PB37	XI-6	29.5	21.1	13.0	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P070	XI-3	16.5	16.0	13.9	-	SSEより上	SSEより上	
PB38	XI-1	29.7	16.9	6.7	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。	P071	X-18	46.5	43.6	13.1	不整形	骨生糞	馬褐色土(10YR3/1) しまり弱く。粒性やや弱い。 小ロームブロックを少量含む。	
PB39	V-19	30.6	27.6	17.5	円形	黒褐色土(10YR4/1) しまり弱い。ローム焼土を多く含む。	P072	XI-3	65.1	53.9	15.1	不整形	黒褐色土(10YR4/1) しまり・粒性やや弱い。ロームブロックを少量含む。	黒褐色土(10YR3/1)しまり・粒性や の弱い。ロームブロックを少量含む。	
PB40	V-14	23.3	14.3	8.4	円形	黒褐色土(10YR3/1)									

第57表 単独ピット出土遺物観察表

(cm)

No.	種類	標識	古面		成形・調整・文様		測定値(□)既存値(△)丸底● ○柱直(長) 柱直(短) 柱直(高)	著者	出土位置
			(7.6)	(2.0)	ロクロナデ	内面			
F206	火候控制器	鉄	15.7	19.5	11.70	242.00	正方形用型 大底板(△)不規	既存	E-6(火苗)
F207	石	(10.6)	(4.6)	(2.0)	(142.3)	既存	既存	No.1	
F208	粘土	糊状	15.7	19.5	11.77	773.00	既存	既存	
F605	回石	輝石安山岩	22.8	22.2	8.5	11.7	既存	既存	

(2) 1号杭列状遺構



第129図 1号杭列状遺構実測図

本址は調査区中央のX-5・10Grから検出された。本遺構は標準土層で述べたVII・IX層を除去した後、X層の所謂浅間P1ローム層上面で遺構が確認された。ピットは19か所、南北方向にやや弧を描くように一直線上に検出された。ピットの形態は円形を基調とする。ピット列の規模は検出距離で10.93m、ピット間隔が約0.53～0.68m、径が0.15～0.29m、深さが0.04～0.28mを測る。

ピットからの出土遺物は無く、所産時期については不明である。しかし、類似遺構として長野市松原遺跡の杭列状遺構が挙げられる。松原遺跡の例は縄文中期末葉～後期前葉の集落に付属する遺構と考えられ、本址と同じく径15cmほどの小さな穴が列となって何重にも検出されている。本遺跡からは縄文期の集落は発見されていないが、調査区西側で落とし穴と考えられる土坑が2基発見されている。また、溝状遺構等から出土している縄文土器も加曾利式や堀之内式といった縄文中期後半から後期の土器片が出土している。これらのことから本遺跡の杭列状遺構もこの松原遺跡と同じような性格で、所産時期もこれらの遺物に対応すると推定できる。

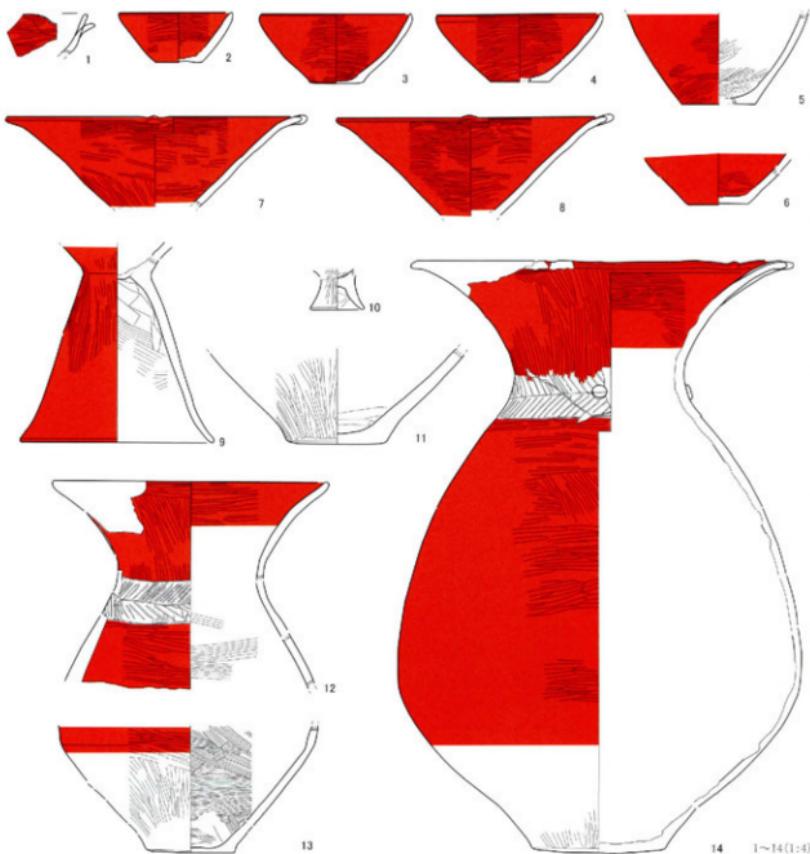
第7節 遺物集中区

本遺跡からは弥生後期の土器が集中して検出される場所が10か所確認された。調査段階ではU1からU11の番号を付したが、整理段階で土器の出土状態よりU1・2・3・8、U4・5、U6、U7・9、U11の5グループのまとまりとして報告する。

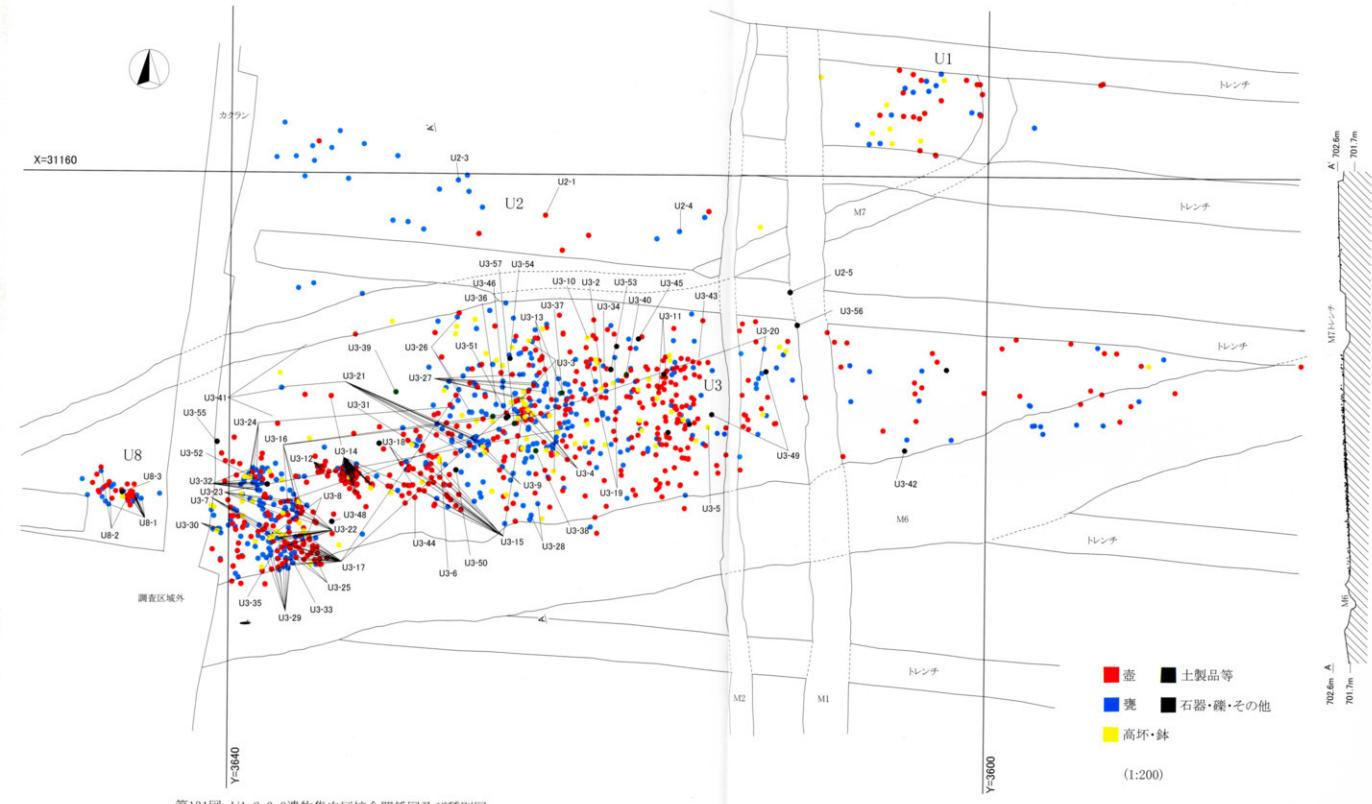
この遺物集中区は弥生後期箱清水期の集落の南側、集落域と低地部の境界線あたりに展開するように検出された。U6を除いてはいずれの遺物集中区も小片の土器がおびただしい数出土し、U11は20×20mの範囲で点数にして4700点以上の遺物が出土した。以下、各遺物集中区の特徴を述べる。

(1) U1-2-3-8遺物集中区

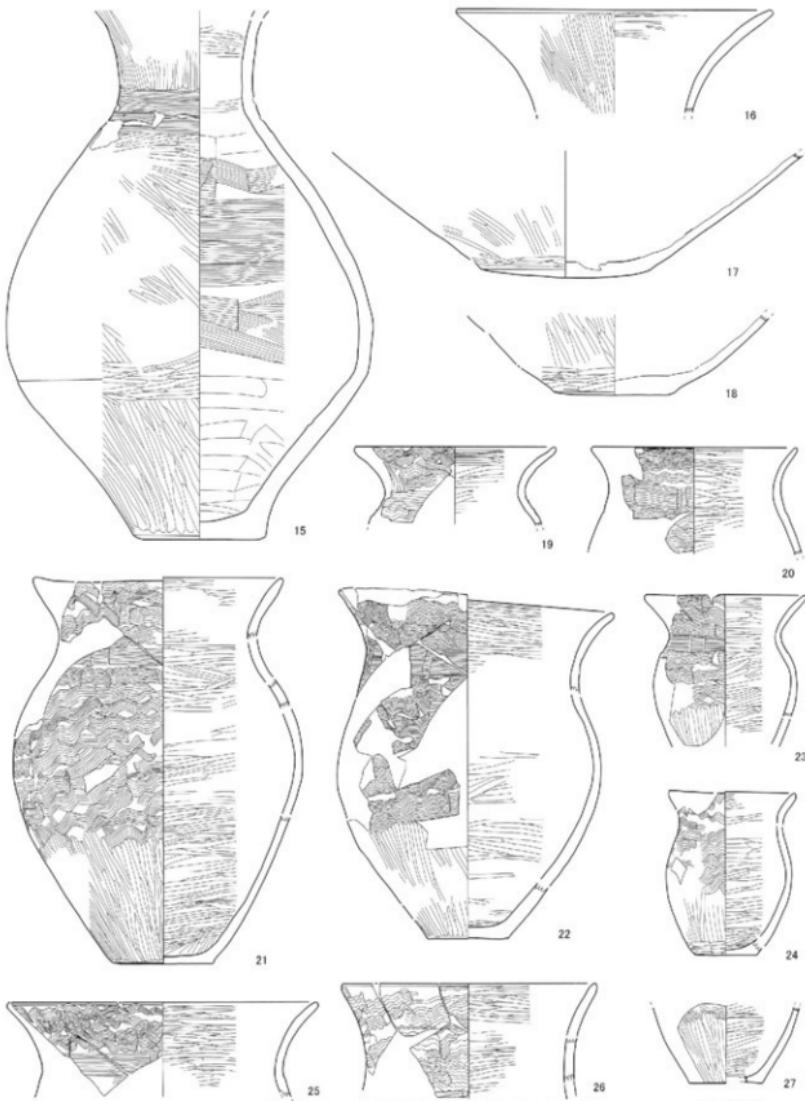
本址は調査区東側のX X・X X I区を中心に検出された。U3を中心に北と西側に広がるような形でU1,2,8が展開



第130図 U3遺物集中区出土遺物実測図(1)

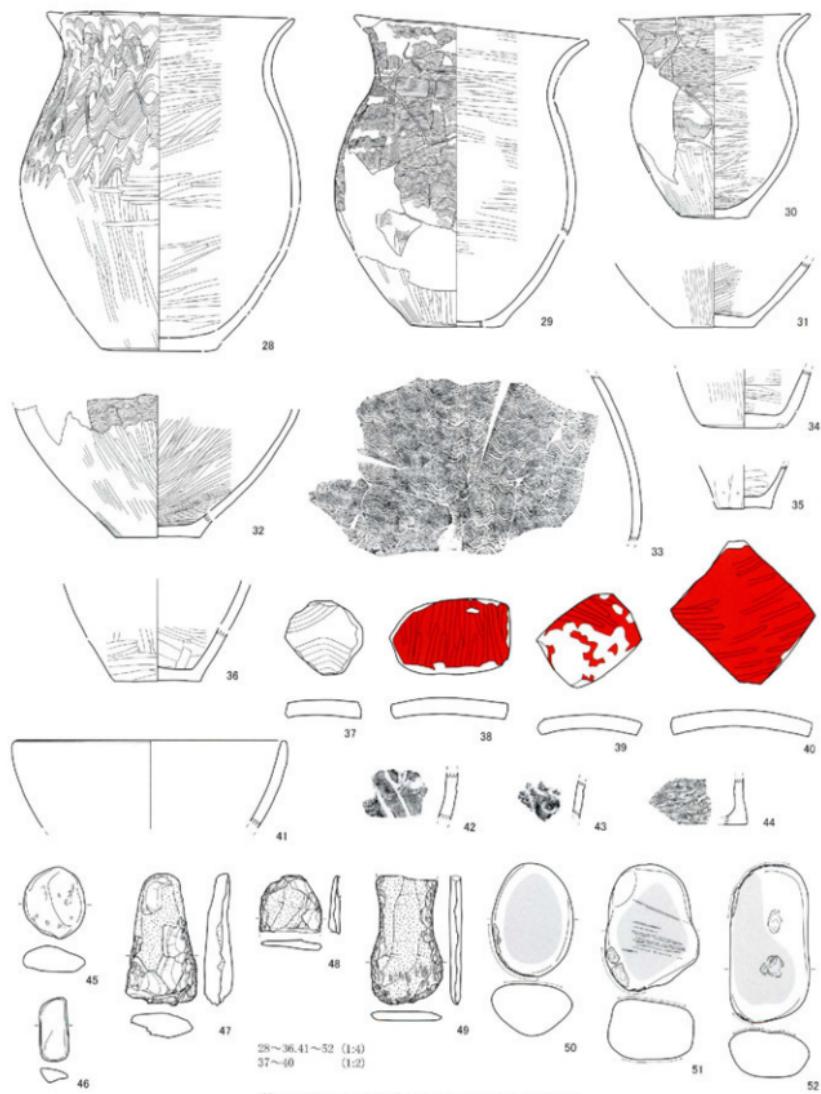


第131図 U1・2・3・8遺物集中区接合関係図及び種別図

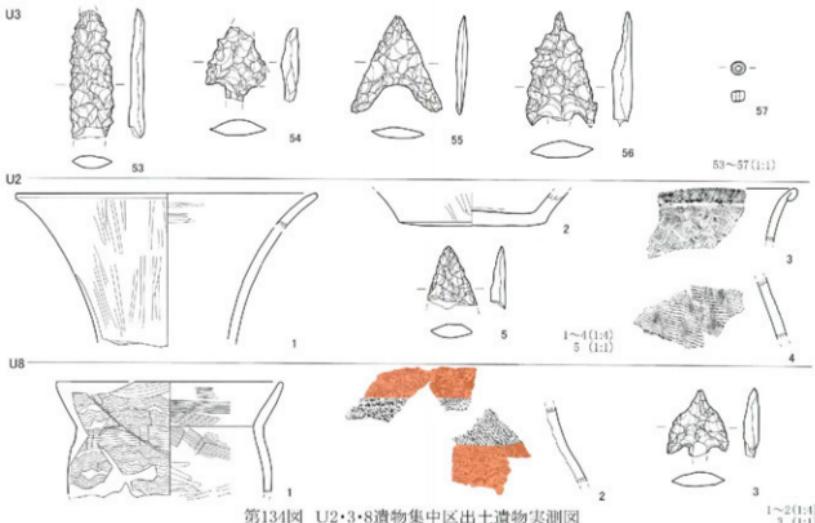


第132図 U3遺物集中区出土遺物実測図(2)

15~27 (1:4)



第133图 U3遗物集中区出土遗物实测图(3)



第134図 U2・3・8遺物集中区出土遺物実測図

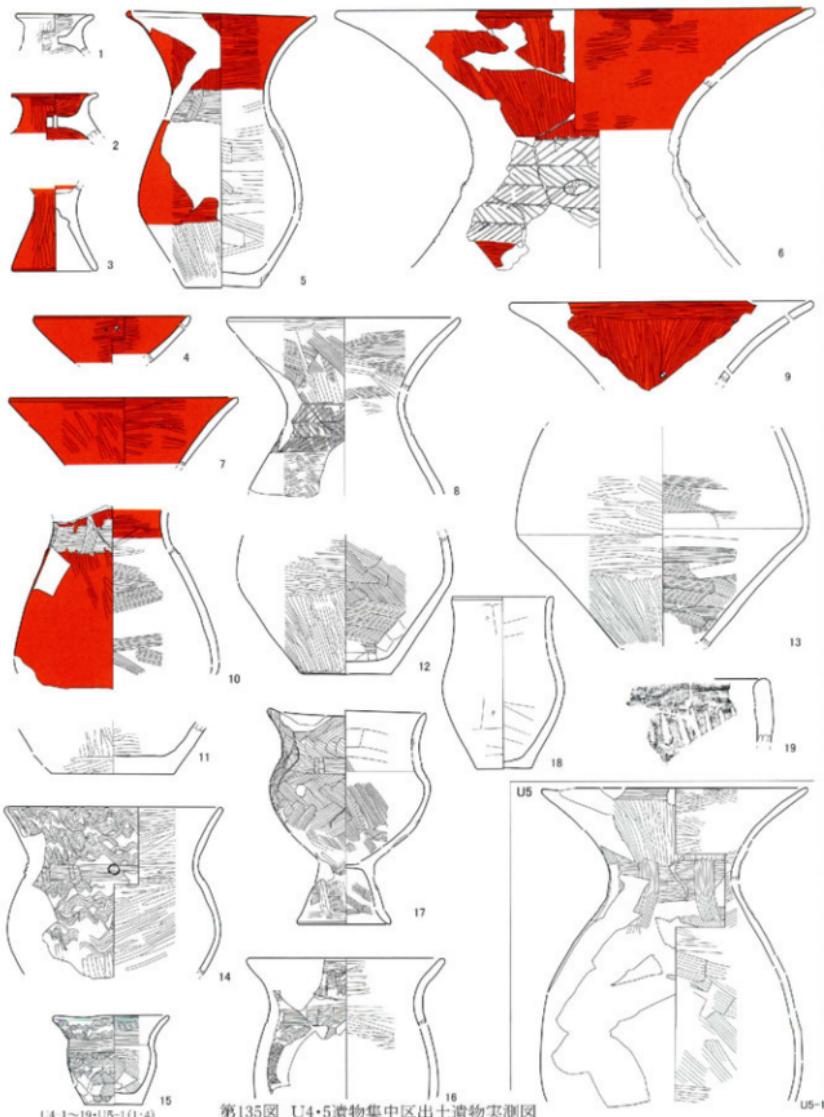
する。遺物の総数はU1が41点、U2が531点、U3が1081点、U8が56点である。遺物の平面的な広がりは東西60m、南北20mの範囲で、最大の特徴はM6号溝状遺構の北側に沿うように遺物が検出され、溝の南側には広がっていないことである。この事は、M6号溝状遺構が機能している段階で、これら遺物群はこの場所に運搬されたことを示していると考えられこれらの遺構が有機的に関連があるとも推定できる。遺物の垂直的な広がりは第130図に示したように、南傾斜の地形に沿うように厚み20cm前後の範囲で出土している。遺物の出土位置下からは顕著な掘り込み等は確認されなかった。遺物の種類ごとの出土状況は範囲全体に広がり意図的な状況は確認できなかつたが、接合後に完形に近くなり、図示し得た遺物は、範囲の西寄りに多く出土していることが解る。

また、本遺物集中区の土器はH2号住居址とH8号住居址出土の上器と接合関係にあることが解った。H2号住居址と接合関係にあった土器はいずれも壺、H8号住居址と接合したものは壺である。いずれの破片も胴部や底部の破片であり、住居址内出土の口縁部等と接合し器形全容が把握できたものもある。これらの事実は居住内で使用し、欠損した土器の破棄方法を具体的に示す好資料であり、土器のすべてを一か所に破棄しない意味等を考えることが今後の課題である。なお、土器片群に混ざってガラス小玉1点が出土した。

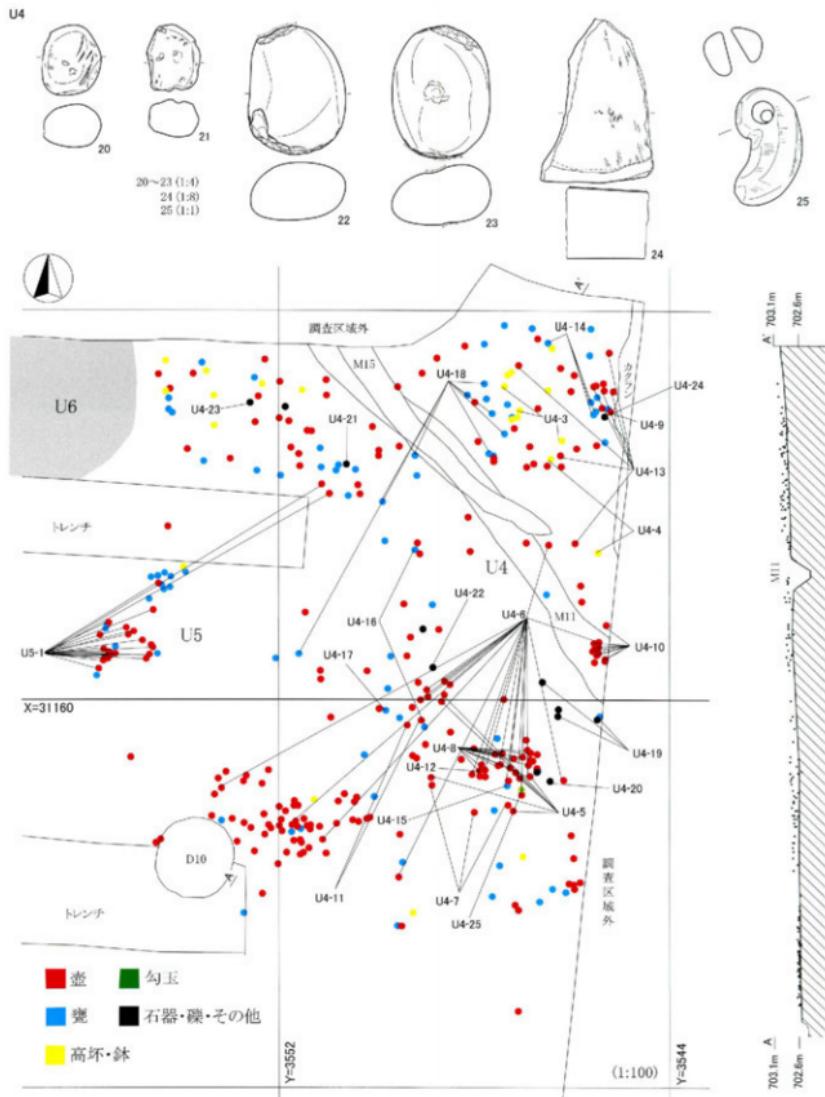
(2) U4・5遺物集中区

本址は調査区東端のX III・XIX区に位置する。北側と東側が調査区外となるが遺物の出土状態から、遺構は大きく北東側に広がると考えられる。遺物の総数はU4が326点、U5が32点であり、調査時は別遺構名を付したが、遺物の広がりから同一の遺構と判断できる。遺物の片面的な広がりは調査区で制約されているが、南北は15m程の範囲である。遺物の垂直的な広がりはU3のグループに比べると遺物間の比高差があり翡翠勾玉は15の土器下20cmで出土した。また、第135図で示したように遺物の種別としては壺破片が全体の中で多い傾向にあり、他の遺物集中区と異なる点である。なお、本址からは先に触れた完形の翡翠勾玉が1点出土した。また、図示した15の小型の甕は、施文がしっかりと施された甕で完形品である。U3においてもガラス小玉1点が、U11においては管玉1点が出土している。

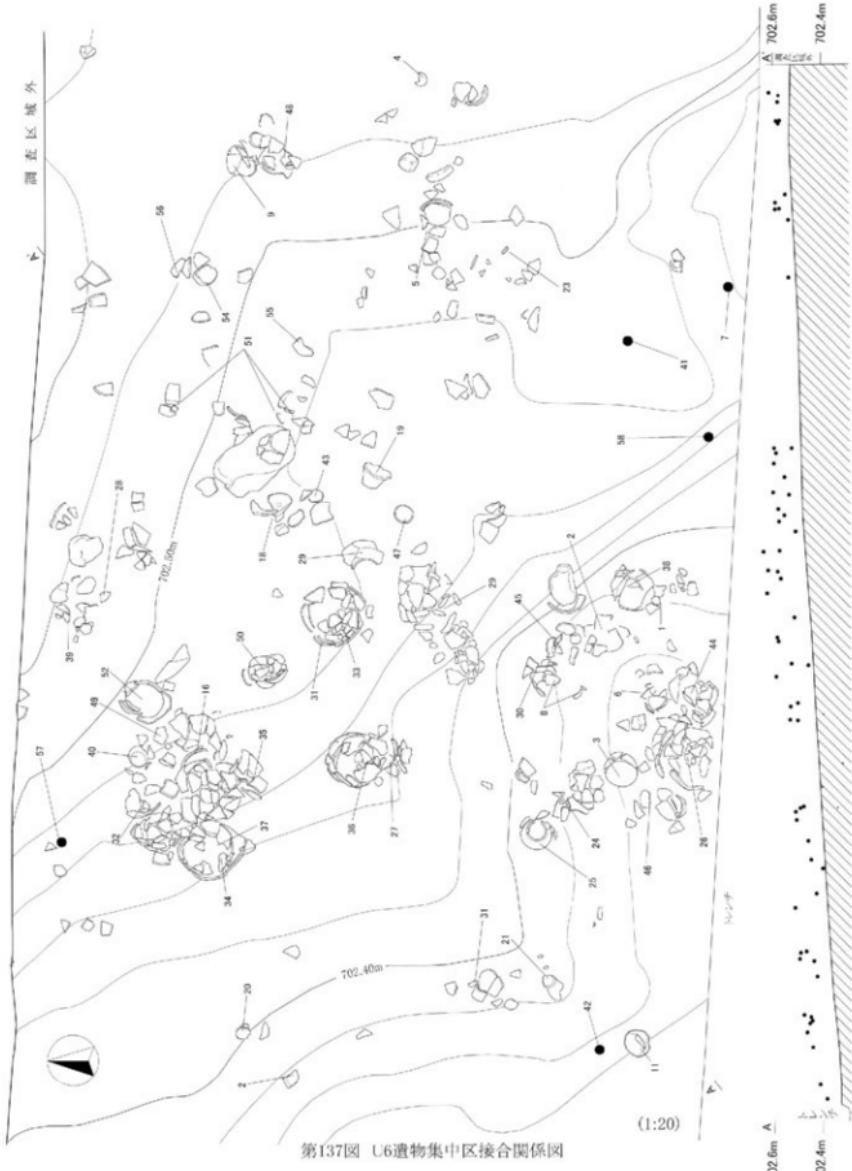
このように土器片がまとまって一か所に出土すると一概に土器廃棄的な性格付けで結論づけられるが、少量ではあるが玉類の出土や、種別の偏りなどはこのような遺構の性格付けに一石を投じるものであり、調査時の検出状況での早急な判断に警鐘を鳴らすものと考える。



第135図 U4・5遺物集中区出土遺物実測図

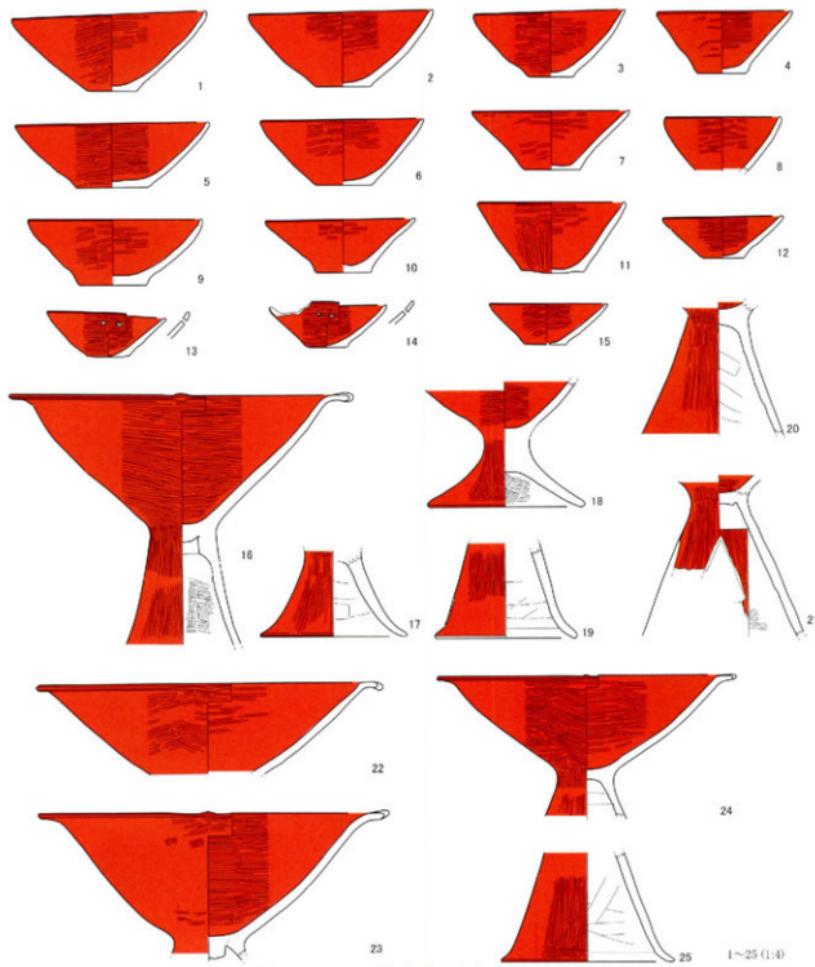


第136図 U4・5遺物集中区接合関係図・種別図及び出土遺物実測図

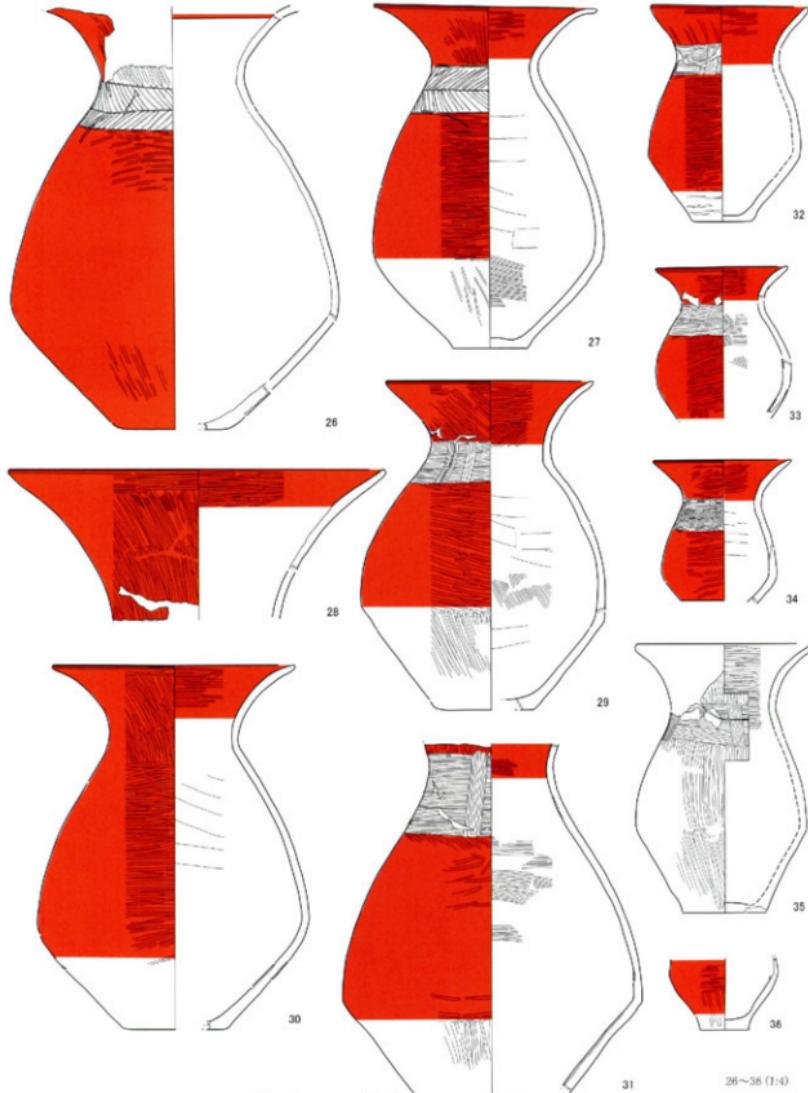


(3) U6遺物集中区

本址は調査区東端のX III区に位置する。北側が調査区外となるが遺物の出土状態から、遺構は北側に広がると考えられる。遺物の平面的な広がりは緩やかな南傾斜の5×3mの範囲に鉢、壺、高杯を中心に置かれた様な状態で検出された。種別ごとの配置に意図的なものは確認できなかったが、壺を中心に甕・高杯・鉢がセットになって置かれているようにも見える。また、加工痕等は確認されなかつたが、大型の甕が3点置かれたような状態で検出された。

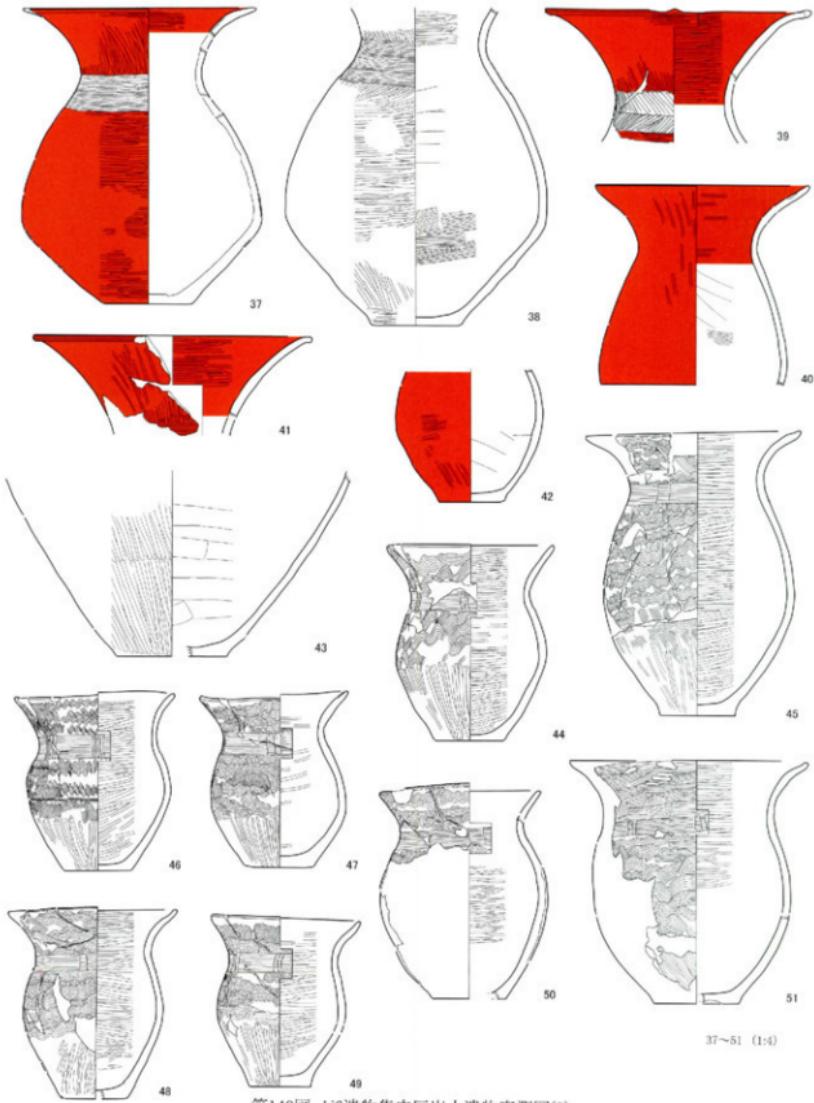


第138図 U6遺物集中区出土遺物実測図(1)

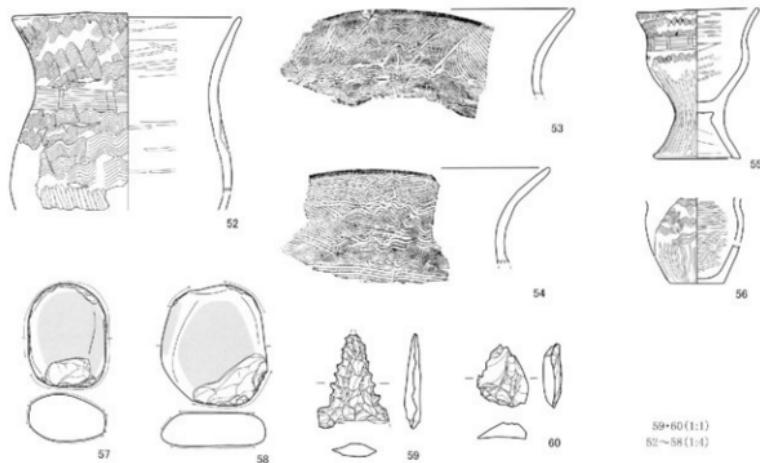


第139図 U6遺物集中区出土遺物実測図(2)

26~36 (1:4)



第140図 U6遺物集中区出土遺物実測図(3)



第141図 U6遺物集中区出土遺物実測図(4)

また、本址から出土した土器の中には意図的に土器内部より胸部を壊したと考えられるものがあった。それらはいずれも壺であり、顯著なものとして27・29・38があり、不確実ではあるが可能性のあるものが33・34である。これらの破片は焼成後の行為であり、破碎した片断等が周辺より出土していないことから、他の場所で胸部に穴を開けたものを、この場所に据え置いたと考えられる。壺以外の土器についても、U6については接合作業を経て土器の完形率は高くなるもののが多かったが、高坏については脚部と坯部が接合できず完形になるものが無かった。これとは対照的に鉢は、法量も大・中・小とあり、いずれも完形のものが多く、その場所に据え置かれた様な状態であった。

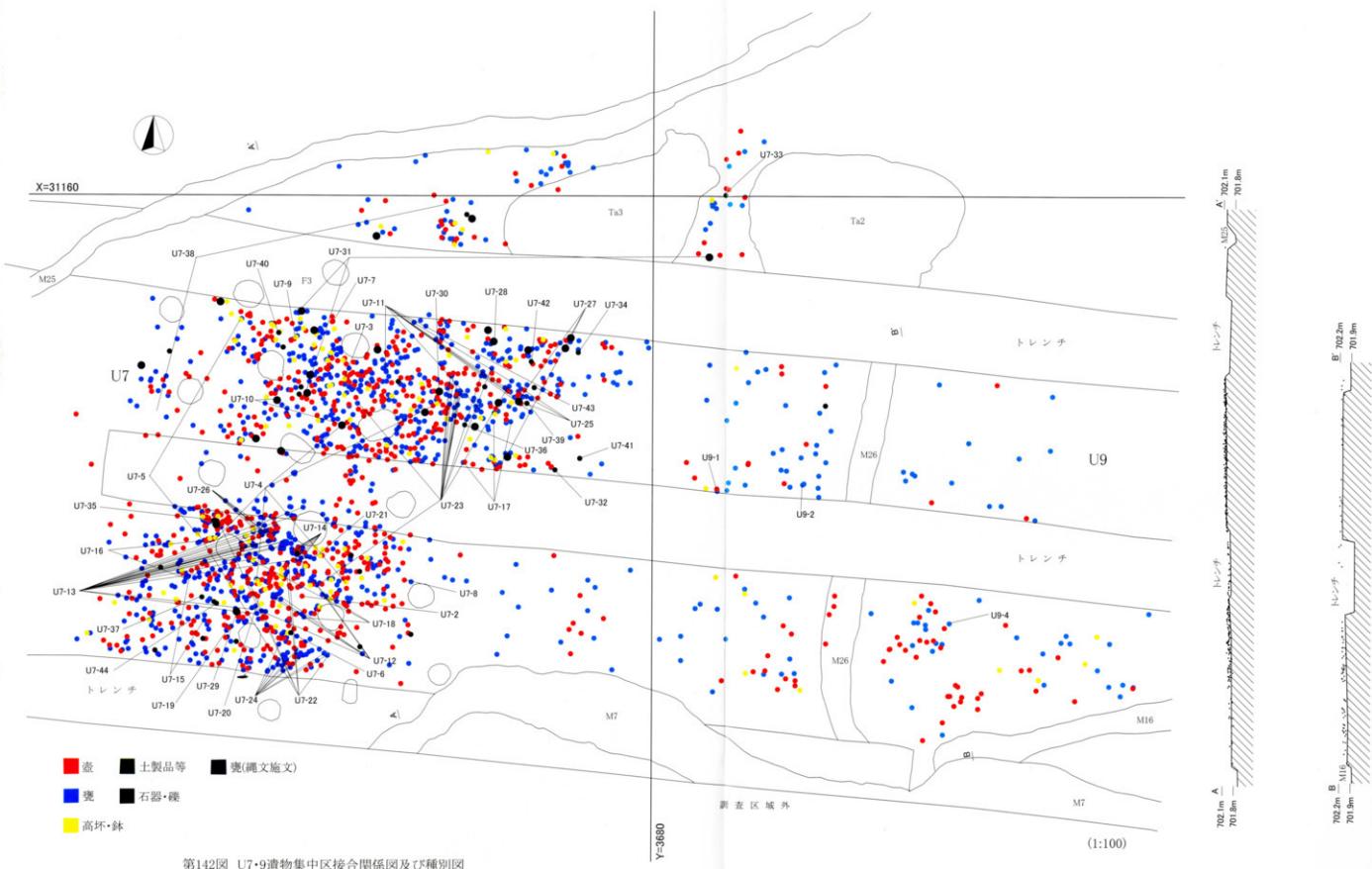
このように、本址は他の遺物集中区に比べ遺物の出土状況も明らかに異なり、未調査部分もあるため不確実ではあるが、祭祀的な位置づけがなされると考える。ただ、他の遺物集中区で出土している玉類がU6は全く無く、祭祀と玉類の関係が注目される。

(4) U7・9遺物集中区

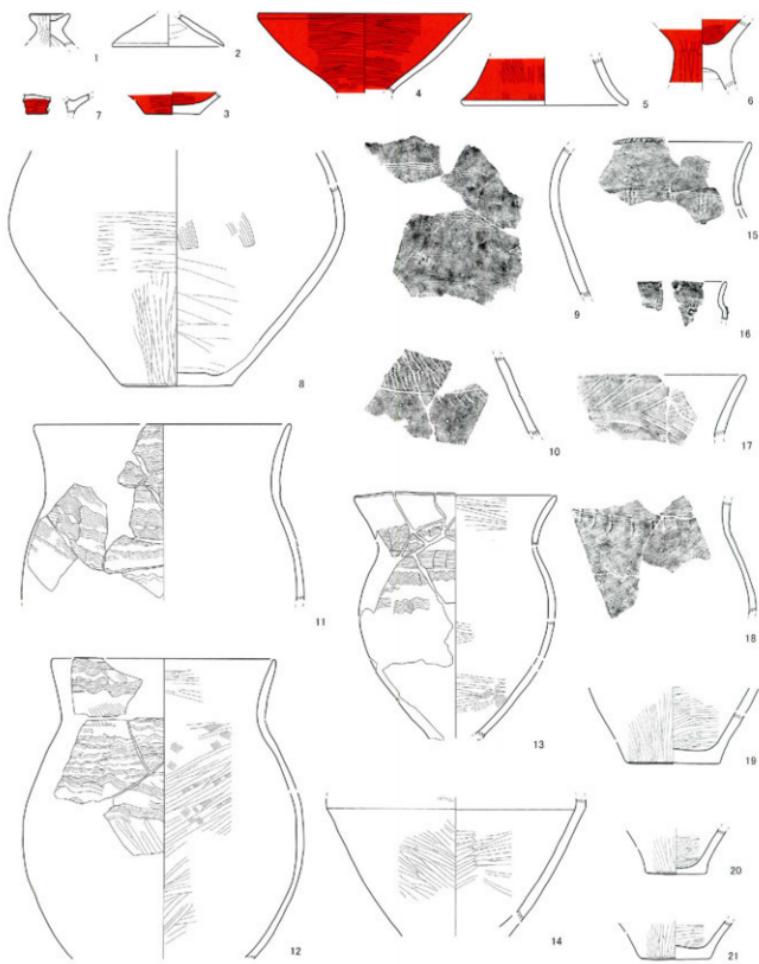
本址は調査区南端のXⅩⅡ・XⅩⅢ区を中心に検出された。遺物の平面的な広がりは東西30m、南北15mの範囲であるが、遺物の出土状態から遺構は南へ広がると思われる。また、調査当初は遺物の広がり方で西側をU7、東側をU9として調査したが、遺物の粗密だけで一連の広がりと判断して同一グループとして報告する。遺物の総量はU7が1812点、U9が206点であった。U7・9はU3のグループに比べ土器総量も多い割には接合率が低く、土器復元を経ても完形となるものが非常に少ないのが特徴である。また、西側に多く出土する傾向にあった。これらの様相から本址は西側に広がる集落からの遺物廃棄場と考えられる。

(5) U11遺物集中区

本址は調査区中央のXⅥ・XⅦ区で検出された。約20×20mの範囲で遺物が検出されたが、南側は圃場整備の削平の影響を受けており、あるいはU7・9と本来は繋がっていたとも考えられる。遺物の平面的な広がりは西側に多い。傾向はU7・9同じで、特に北端部分に非常に多くの遺物が集中して出土した。遺物の総量は4735点であった。しかし、接合率は低く、復元後の完形率も非常に低かった。ただ、1点であるがH26号住居址の甕と接合関係が確認され、U7・9とU11は調査区西側や昭和56年調査の周防畠B遺跡で検出された集落域から廃棄された土器の可能性が指摘できる。なお、U11からは外来からの影響と考えられる縄文施文の土器が多く出土し注目される。

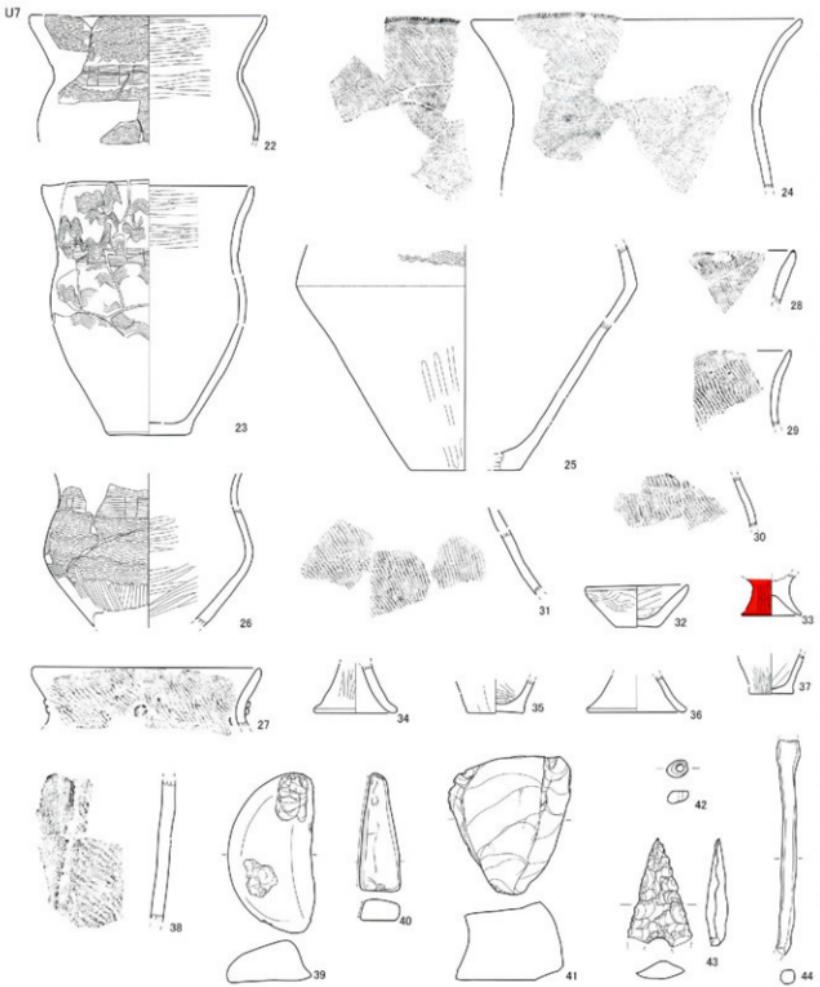


第142図 U7・9遺物集中区接合関係図及び種別図

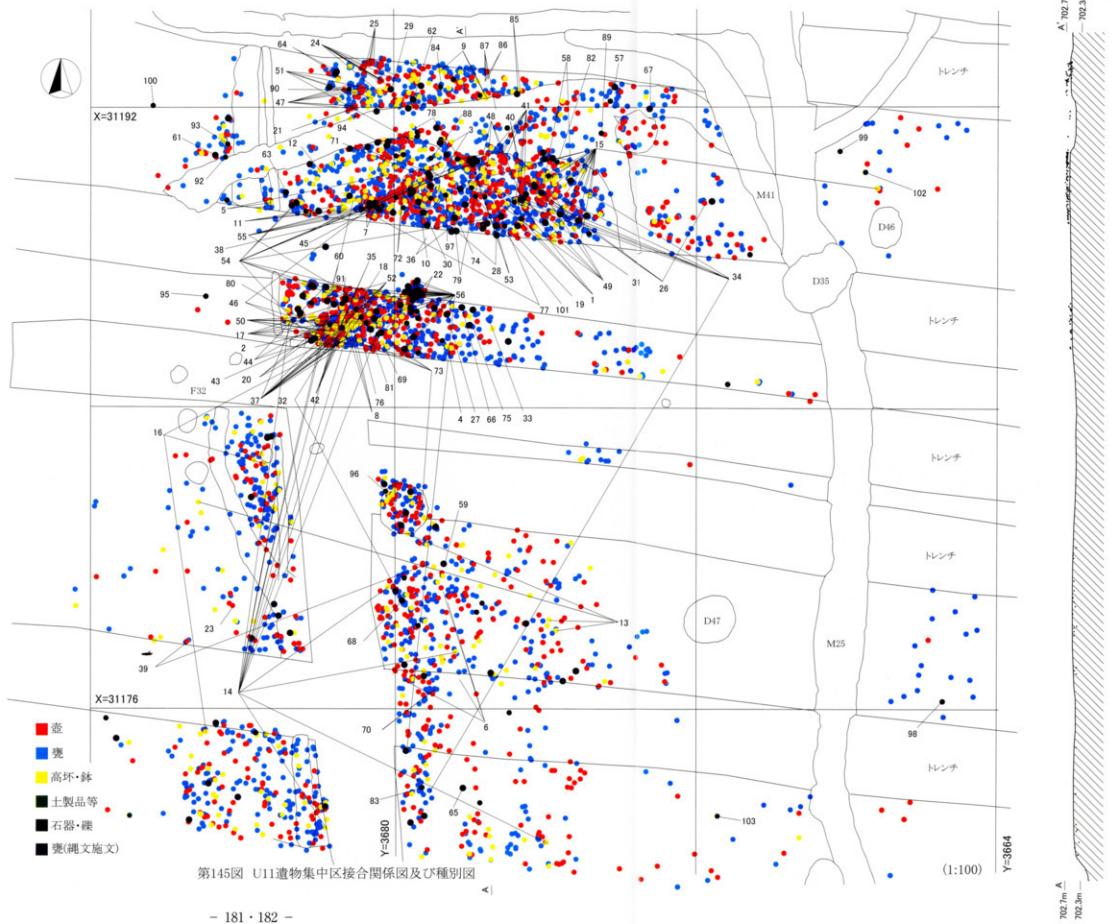


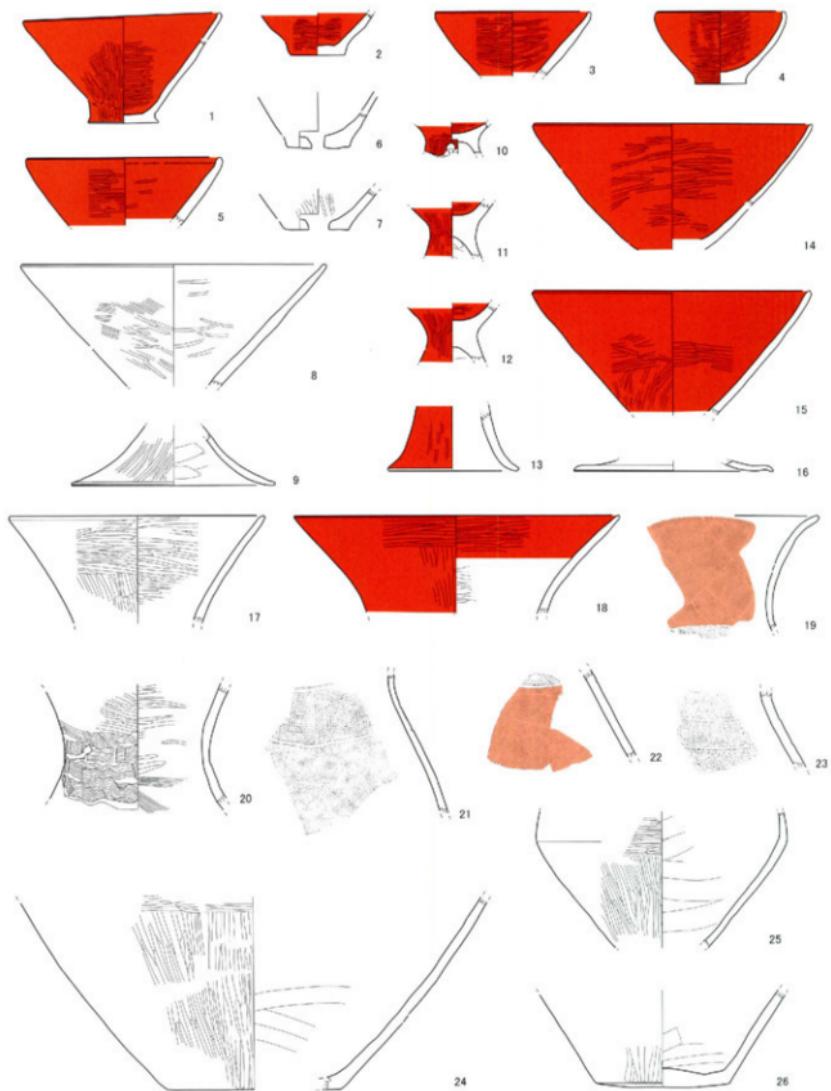
第143図 U7遺物集中区出土遺物実測図

1~21 (1:4)



第144図 U7・9遺物集中区出土遺物実測図



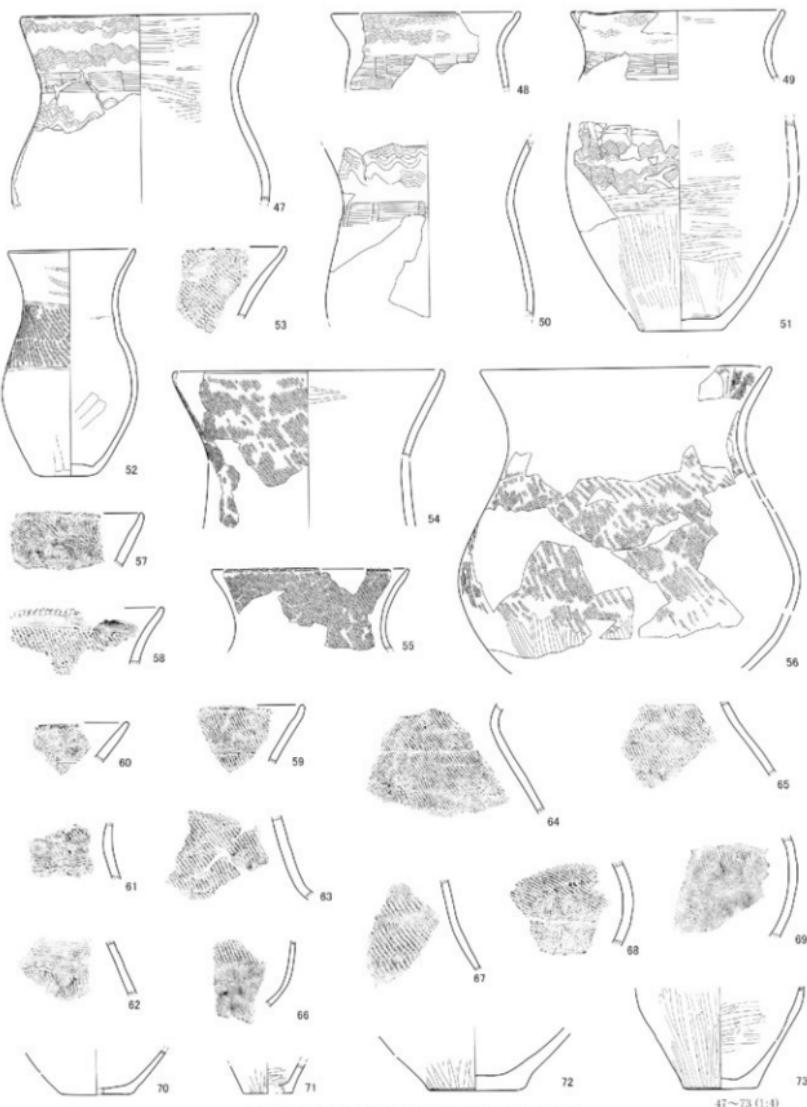


第146図 U11遺物集中区出土遺物実測図(1)

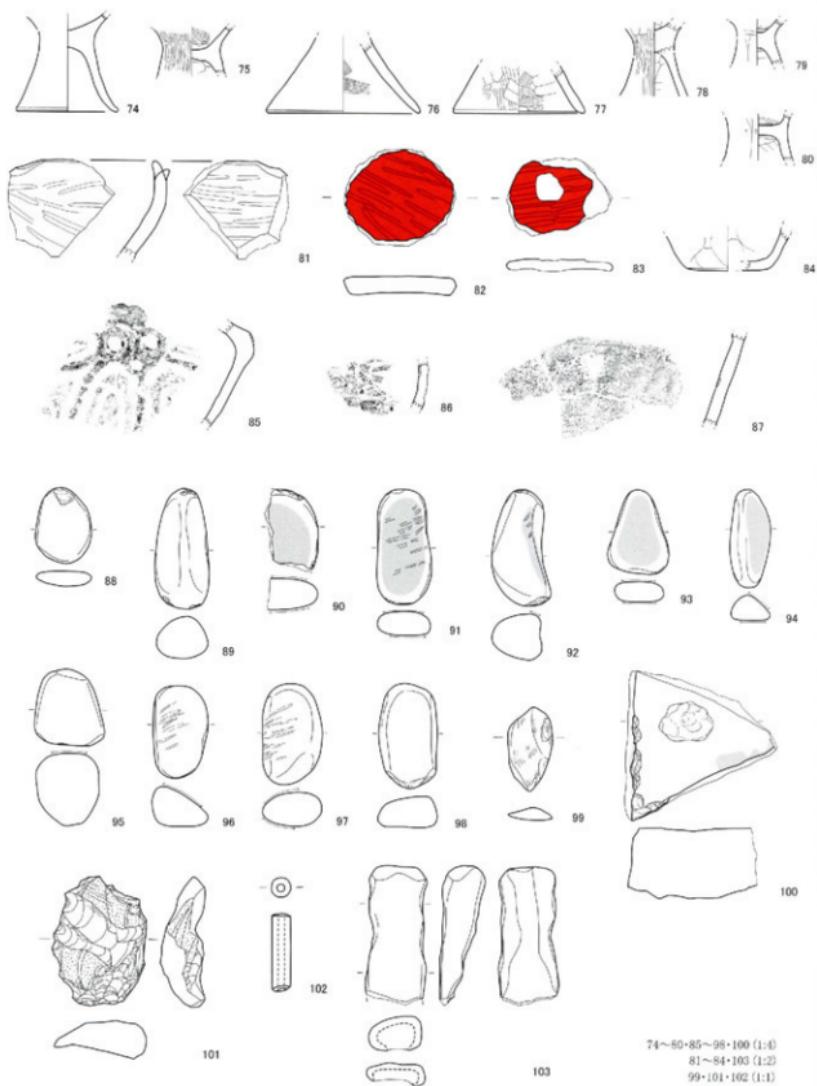
1~26 (1:4)



第147図 U11遺物集中区出土遺物実測図(2)



第148図 U11遺物集中区出土遺物実測図(3)



第149図 U11遺物集中区出土遺物実測図(4)

74~80·85~98·100 (1:4)
81~84·103 (1:2)
99·101·102 (1:1)

第58表 U2・3遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	埋施	表面	基 量			成 形・調 整・文 標		規定値()既存値()欠落●	測 者	出土位置
			口径(外)	底径(内)	高さ(厚)	内 面	外 面			
1	弥生	鉢	-	-	-	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	柱片実測	XX I-45	クロ
2	弥生	鉢	9.4	3.7	4.2	ヘラミガキ→赤色塗彩 刻離	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測		
3	弥生	鉢	(12.6)	(4.6)	5.8	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測	XX I-9クレ	
4	弥生	鉢	(13.8)	(4.8)	5.6	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測		
5	弥生	鉢	-	(6.0)	(7.5)	ヘラミガキ	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測	XX I-9	
6	弥生	鉢	-	4.9	(4.2)	ヘラミガキ→赤色塗彩 刻離	赤色塗彩 朴層	完全実測	XX I-9	12
7	弥生	高杯	(24.2)	-	(7.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測		
8	弥生	高杯	(22.2)	-	(8.2)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測		
9	弥生	高杯	-	(11.8)	(16.5)	平底 刻離(赤色塗彩) 鶴羽ハイドヘーフラナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	II2IV区	
10	弥生	高杯	-	4.3	3.3	片削ヘラミガキ 鶴羽ハイドヘーフラナデ	ヘラミガキ	完全実測		
11	弥生	直	-	(8.2)	(7.0)	ヘラナダ	ヘラミガキ	回転実測		
12	弥生	直	(22.6)	-	(17.1)	ハケ目→ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミ模様文→ヘラミ模様文→ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	II2Ⅱ区	
13	弥生	直	-	7.2	(19.5)	ハケ目	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	U1-2	XX I-9
14	弥生	直	(30.8)	(11.0)	(49.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩 刻離	ヘラミ模様文→ヘラミ模様文 丸型點付文→	回転実測	XX I-9	
15	弥生	直	-	10.9	(43.0)	ハケ目→ヘラナダ→ヘラミガキ	鶴羽模様文→ヘラミガキ	完全実測		
16	弥生	直	(25.9)	-	(8.4)	ヘラミガキ 頂残	ヘラミガキ	回転実測	II1	
17	弥生	直	-	13.8	(10.3)	刻離	ヘラミガキ	完全実測		
18	弥生	直	-	9.8	(6.7)	刻離	ヘラミガキ	完全実測		
19	弥生	直	(16.6)	-	(6.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文→鶴羽模様文→ヘラミガキ	回転実測	U2	XX I-9
20	弥生	直	(16.8)	-	(8.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文→鶴羽模様文(2連止め)11本→鶴羽模様文	回転実測	II1	
21	弥生	直	(26.5)	8.4	31.7	ヘラミガキ	鶴羽模様文→鶴羽模様文(2連止め)18本→ヘラミガキ	完全実測	U2	XX I-9
22	弥生	直	22.5	6.6	28.8	ヘラミガキ	鶴羽模様文→鶴羽模様文(2連止め)18本→ヘラミガキ	完全実測		
23	弥生	直	(13.2)	-	(12.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文(2連止め)10本→鶴羽模様文→ヘラミガキ	柱片実測		
24	弥生	直	(19.3)	5.0	(13.2)	ヘラミガキ	鶴羽模様文→ヘラミガキ	完全実測		
25	弥生	直	(25.6)	-	(7.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文(2連止め)12本→鶴羽模様文	回転実測	XX I-9	
26	弥生	直	(19.0)	-	(9.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文→鶴羽模様文→ヘラミガキ	完全実測	XX I-7	XX I-9 M7
27	弥生	直	-	(8.0)	(6.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文→ヘラミガキ	回転実測		
28	弥生	直	(20.1)	7.4	29.0	ヘラミガキ	鶴羽模様文→ヘラミガキ	完全実測		
29	弥生	直	(19.4)	7.6	29.0	ヘラミガキ	鶴羽模様文→鶴羽模様文(2連止め)11本→ヘラミガキ	完全実測	XX I-15	XX II-11
30	弥生	直	(15.6)	5.6	16.8	ヘラミガキ	鶴羽模様文(2連止め)13本→鶴羽模様文→ヘラミガキ	回転実測	XX I-15	クロ
31	弥生	直	-	6.0	(5.4)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	U2	
32	弥生	直	-	6.8	(11.0)	ヘラミガキ	鶴羽模様文→ヘラミガキ	完全実測		
33	弥生	直	-	-	-	ヘラミガキ	鶴羽模様文	断面実測		
34	弥生	直	-	(7.0)	(4.0)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測	II2 I区 II区 IV区	
35	弥生	直	-	4.4	(3.0)	ヘラナダ	ヘラケヅリ	完全実測		
36	弥生	直	-	7.0	(8.0)	ヘラナダ→ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	XX I-9	
37	縄文?	鉢	(22.4)	-	(7.0)			回転実測 俊?		
38	縄文	深鉢	-	-	-		沈継 深文	前面実測 縄文 後継?		
39	縄文	深鉢	-	-	-		沈継	背面実測 縄文 後継?		
40	縄文	深鉢	-	-	-	ヘラナダ	縄文(無縦)	断面実測 前期末		
41	縄文?	鉢	(22.4)	-	(7.0)			回転実測 俊?		
42	縄文	深鉢	-	-	-		沈継 深文	前面実測 縄文 後継?		
43	縄文	深鉢	-	-	-		沈継	背面実測 縄文 後継?		
44	縄文	深鉢	-	-	-	ヘラナダ	縄文(無縦)	断面実測 前期末		
45	弥生	直	(24.0)	-	(12.0)	ヘラミガキ 潜純	鶴羽模様文→ヘラミガキ	完全実測		
46	弥生	直	-	(12.0)	(2.0)	ヘラナダ	ヘラミガキ	回転実測	XX I-9	
47	弥生	直	-	-	-	ヘラミガキ	鶴羽模様文	断面実測		
48	弥生	直	-	-	-	ヘラミガキ→赤色塗彩	調文	断面実測	10	

第59表 U2~5・8遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	器種	法 葉			形態・調整・文様			指定印()既存値()丸底● 備考	出土位置
			口径(高さ)	底径(幅)	厚さ(厚)	内面	外面			
38	1	筒生	奥	(18.0)	-	(9.0)	ハケ日→ハミガキ	側面直次文→側面直次文	既存(未測)	XXX-E-11地表面
	2	筒生	奥	-	-	-	赤色塗彩 刺繡	縫文 帝色塗彩	既存(未測)	XXX-E-11地表面
No.	器種	高さ	底径大	底径幅	厚さ	重量		所見		出土位置
32	5	石瓶	黒墨石	(1.0)	(1.0)	(0.2)	(0.30)	基部欠損		
38	3	石器	黑墨石	(1.0)	1.3	0.2	(0.40)	基部欠損		
37	40	円板	土製品	3.1	2.8	0.65	7.67	内面ヘラナダ 外面横縦波状文		
38	40	円板	土製品	6.0	5.1	0.7	15.75	内面ヘラナダ 外面ヘラミガキ→赤色塗彩		
39	40	円板	土製品	3.9	3.6	0.6	10.19	内面ヘラミガキ→赤色塗彩 外面ヘラミガキ→赤色塗彩		
40	41	圓盤	土製品	4.8	4.2	0.7	23.12	内面ヘラナダ 外面ヘラミガキ→赤色塗彩		
45	50	輪石	輕石	5.9	5.0	2.2	41.93	全体にすり		
46	50	輪石	輪石	5.1	2.2	1.2	18.99			
47	48	打製石斧	打製砂岩	0.8	0.8	0.2	129.81	自然剥離心		
48	49	打製石斧	輝石安山岩	(4.7)	(5.1)	(0.9)	(26.87)	下部欠損 王溝とも節理面		
49	50	打製石斧	輝石安山岩	(0.6)	(0.6)	(0.6)	98.76	上部欠損 王溝とも節理面 両面磨感		
50	51	第・最石	輝石安山岩	9.3	6.6	1.4	406.73	正面にすり面 左側へ下端部に敲打痕		
51	52	第・最石	輝石安山岩	10.6	7.6	1.2	630.37	正面にすり面 正面に浅い丸痕 左側に敲打痕		
52	53	磨・研石	輝石安山岩	13.0	8.5	1.0	378.05	被熱あり?个体に研化 正面にすり面と凹み 上下端部に敲打痕		
53	54	火照器	海螺石	(2.0)	(0.9)	(0.3)	0.77	上下端撲		
54	55	石器	黒墨石	(1.8)	(1.2)	(0.3)	(0.54)	先端・基部欠損		
55	56	石器	赤朱色セドナ	2.0	1.8	0.2	0.50			
56	57	石器	黒墨石	(2.3)	(1.5)	(0.35)	(0.92)	基部欠損		
57	58	ガラス小玉	-	9.25	9.25	0.25	0.84	毛端.0.1		
No.	種別	器種	法 葉			形態・調整・文様			指定印()既存値()丸底● 備考	出土位置
			口径(高さ)	底径(幅)	厚さ(厚)	内面	外面			
1	1	筒生	藍	-	つまみ 6.4	(3.0)	ハラミガキ	ヘラミガキ	完全実測 既成形	
2	2	筒生	藍	-	つまみ 7.1	(3.6)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 既成形	
3	3	筒生	萬年	-	6.8	(7.1)	斜面ヘラミガキ→赤色塗彩 頂部ヘラ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
4	4	筒生	紺	(12.0)	-	(3.9)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	同上実測 既成形	
5	5	筒生	透	15.6	6.2	22.8	ハケ日→ヘラミガキ→赤色塗彩	單面横縫文→側面直文→ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
6	6	筒生	透	(39.5)	-	(21.3)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	同上実測 XIX-4段出目	
7	7	筒生	透	18.8	-	(5.7)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
8	8	筒生	透	19.3	-	(14.7)	ハケ日→ヘラミガキ	ヘラミガキ→ヘラミガキ	完全実測	XIX-4段出目
9	9	筒生	透	(25.0)	-	(6.7)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	同上実測 既成形	
10	10	筒生	透	-	-	(14.0)	ハケ日→ヘラミガキ→赤色塗彩	側面横縫文→側面直文→ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	XII-24
11	11	筒生	透	-	(10.6)	(4.0)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	XII-24
12	12	筒生	透	-	7.6	(11.0)	ハケ日→ヘラナダ	ヘラミガキ	完全実測	
13	13	筒生	透	-	-	(18.0)	ハケ日→ヘラナダ	ヘラミガキ→赤色塗彩	同上実測	XII-24
14	14	筒生	透	17.8	-	(14.2)	ヘラミガキ	側面横縫文→側面直文→丸型足付文→ヘラミガキ	側面横縫文→側面直文→丸型足付文→ヘラミガキ	
15	15	筒生	透	9.4	4.8	2.5	ハケ日	ハケ日→側面横縫文→側面直文	完全実測	
16	16	筒生	透	(16.0)	-	(11.7)	ヘラミガキ	側面横縫文→側面直文	側面横縫文	XII-25段出目
17	17	筒生	透	13.0	(7.6)	17.9	裏面ハケ日→ヘラナダ 台脚ハケ日	側面横縫文→側面直文→ハケ日→ヘラミガキ	完全実測	
18	18	筒生	透	(6.1)	(4.6)	(14.2)	ヘラナダ	ヘラケズノ→ヘラナダ	側面横縫文	XII-24 (E.M.)
19	19	筒生	透	-	-	-	-	-	断面実測	
20	1	筒生	透	21.8	-	(26.0)	ハケ日→ヘラミガキ	側面横縫文→側面直文→ヘラミガキ	完全実測	04XII-25 XIX-5 SD01CT18
No.	種別	器種	法 葉			形態・調整・文様			出土位置	
			口径(高さ)	底径(幅)	厚さ(厚)	内面	外面			
			24	輕石集品	輕石	5.8	(4.6)	3.6	(54.91)	一部欠損 全体にすり
			25	輕石集品	輕石	5.5	4.4	3.6	21.25	
			26	輕石	輝石安山岩	19.6	8.0	1.8	627.36	上下端部に敲打痕

第60表 U4・6遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	素材	最大径	最大幅	厚さ	重さ	明	黒	出土位置
23	陶	舞石面山野	10.9	8.0	4.7	617.90	正裏中央と上下面部に散射状		
24	陶	宝山石	(27.0)	(18.4)	(6.17)	(8050)	下側以外側正面が使用面 柔軟性あり		
25	陶	丸玉	2.4	1.3	0.9	6.67	孔径 6.5~6.2		
No.	種別	器種	口径(直径)	底径(幅)	高さ(厚)	内 葦	外 面	著者	出土位置
1	陶生	鉢	15.8	3.9	6.3	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	
2	陶生	鉢	15.0	4.8	6.2	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	
3	陶生	鉢	12.2	3.6	5.4	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	
4	陶生	鉢	19.8	3.9	5.2	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 逃部ヘラミガキ	完全実測	
5	陶生	鉢	15.9	5.8	5.3	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	
6	陶生	鉢	13.2	4.4	5.4	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 底部ヘラミガキ	完全実測	
7	陶生	鉢	(12.7)	4.6	4.9	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	下層4B 下層IV区
8	陶生	鉢	9.2	—	4.8	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
9	陶生	鉢	14.1	5.4	5.8	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	
10	陶生	鉢	12.1	4.4	4.4	ヘラミガキ→赤色塗彩 滅部	ヘラミガキ→赤色塗彩 滅部	完全実測	
11	陶生	鉢	11.8	3.1	5.9	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 武部ヘラミガキ	完全実測	下層
12	陶生	鉢	(9.7)	3.2	3.8	ヘラミガキ→赤色塗彩 体部	ヘラミガキ→赤色塗彩 体部	完全実測	
13	陶生	鉢	9.7	3.4	3.2	ヘラミガキ→赤色塗彩	作部→近部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 焼成度2.2ケ	下層4区
14	陶生	鉢	9.4	3.4	3.8	ヘラミガキ→赤色塗彩	作部→底部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 焼成度2.2ケ	
15	陶生	鉢	(9.5)	3.4	3.4	ヘラミガキ→赤色塗彩	作部→底部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
16	陶生	高杯	27.2	—	(29.2)	内部ヘラミガキ→赤色塗彩 周縁部ハケ目	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 周縁部あり	
17	陶生	高杯	—	(11.8)	(7.6)	ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	同上	
18	陶生	高杯	—	12.4	(10.3)	内部ヘラミガキ→赤色塗彩 脚部ハケ目	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
19	陶生	高杯	—	(11.4)	(7.6)	ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
20	陶生	高杯	—	—	(11.0)	内部ヘラミガキ→赤色塗彩 脚部ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	Ⅱ区
21	陶生	高杯	—	—	(13.4)	内部ヘラミガキ→赤色塗彩 脚部ハケ目+ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 壊しあり	下層15 下層27
22	陶生	高杯	(27.4)	—	(7.6)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	同上	同上
23	陶生	高杯	(28.1)	—	(12.4)	内部ヘラミガキ→赤色塗彩 脚部ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 実割あり	
24	陶生	高杯	24.3	—	(11.0)	内部ヘラミガキ→赤色塗彩 脚部ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 実割あり	
25	陶生	高杯	—	13.9	(9.1)	ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
26	陶生	蓋	—	(9.4)	(35.0)	内縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部羽織縫	内縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部羽織縫	完全実測 ヘラミガキ→赤色塗彩	下層2 下層44 下層45
27	陶生	蓋	18.1	(6.0)	28.3	内縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部ナデ	内縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部ナデ	完全実測	
28	陶生	蓋	26.7	—	(12.5)	ヘラミガキ→赤色塗彩 有縫	有縫→クサ模様有縫	完全実測	
29	陶生	蓋	16.8	(8.2)	27.3	1:縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部ハケ目+ナデ	1:縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部ハケ目+ナデ	完全実測 縫部ヘラミガキ→赤色塗彩	下層
30	陶生	蓋	19.5	8.5	30.2	1:縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 柄部ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
31	陶生	蓋	—	—	(28.9)	ハケ目 刃縫	刃縫部横縫下文(4ヶ所) 橋脚横縫文 口縫+ 柄部ヘラミガキ→赤色塗彩	同上	
32	陶生	蓋	12.7	5.9	17.8	ヘラミガキ→赤色塗彩	頭部横縫頭縫 橋脚横縫下文(6ヶ所)一部横法文 口縫+柄部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
33	陶生	蓋	10.7	—	(12.0)	口縫部ヘラミガキ→赤色塗彩 脚部ハケ目	頭部横縫頭縫 文 口縫+柄部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
34	陶生	蓋	11.1	—	(11.0)	脚部ナデ	脚部横縫頭縫 文+橋脚横縫下文(8ヶ所) 口縫+柄部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
35	陶生	蓋	(14.0)	(6.0)	22.2	ヘラミガキ	脚部横縫頭縫 文+橋脚横縫下文(4ヶ所) 柄部ヘラミガキ	完全実測	
36	陶生	蓋	—	3.9	(6.0)	ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	下層25区 下層29 下層30
37	陶生	蓋	(18.9)	7.4	24.5	口縫部ヘラミガキ	頭部横縫頭縫 文 口縫+柄部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
38	陶生	蓋	—	7.4	(36.0)	口縫部ヘラミガキ	頭部横縫頭縫 文 口縫+柄部ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 割らんき	
39	陶生	蓋	21.6	—	(10.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	頭部ヘラミガキ→赤色塗彩	同上	

第61表 U6-7遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	器種	法量			成形・構造・文様		指定駄()残存駄()丸底●	
			口径(奥)	底径(幅)	高さ(厚)	内面	外面	備考	出土位置
U6	40	牛牛	壺	(17.1)	-	(16.0)	口縁部へラミガキ→赤色塗彩 側面引手付 下部ハラミ	ヘラミガキ→赤色塗彩 頭部繩彫横文 口縁部へラミガキ→赤色塗彩	完全実測
	41	弘生	壺	(22.6)	-	(8.2)	ヘラミガキ→赤色塗彩	頭部繩彫横文 口縁部へラミガキ→赤色塗彩	因転実測 下留47
	42	牛牛	壺	-	8.3	(19.9)	ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測
	43	弘生	壺	-	(8.0)	(15.2)	ヘラナダ	ヘラミガキ	因転実測 下留50 I区下層
	44	弘生	壺	13.5	5.5	16.2	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の10本+下部ヘラミガキ	完全実測
	45	弘生	壺	(17.4)	6.1	23.3	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の10本+下部ヘラミガキ	完全実測
	46	弘生	壺	12.9	5.4	14.7	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の12本+下部ヘラミガキ	完全実測
	47	弘生	壺	12.9	5.7	14.3	ヘラミガキ 潤耗	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の10本+下部ヘラミガキ	完全実測
	48	牛牛	壺	(12.7)	(5.6)	15.9	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の5本+下部ヘラミガキ	完全実測
	49	弘生	壺	12.1	4.9	14.1	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の9本+下部ヘラミガキ	完全実測
U7	50	弘生	壺	13.1	6.0	17.8	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の16本+潤耗	完全実測 下留38
	51	弘生	壺	(19.2)	6.9	20.1	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横走+一側脚部繩彫横文・頭部繩彫横文(3連止)の8本+下部ヘラミガキ	完全実測 下留50
	52	弘生	壺	18.5	-	(6.2)	ヘラナダ+ヘラミガキ	頭部繩彫横文(3連止)の8本+口縁・脚部繩彫横文+下部ヘラミガキ	完全実測
	53	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	潤耗底状文	表面実測
	54	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	口縁・脚部繩彫横文	表面実測
	55	牛牛	白台壺	9.8	7.0	12.2	ヘラミガキ 脚部ヘラナダ	口縁・脚部繩彫横文(3連止)の5本+脚部ヘラミガキ	完全実測
	56	弘生	壺	-	4.4	(7.0)	ヘラミガキ	潤耗底状文	完全実測
	57	牛牛	壺	最大径	最大幅	見			出土位置
	58	牛牛	壺	砂岩	8.6	6.4	3.8	311.91	正面上にすり面 周囲に敷打跡
	59	牛牛	壺	輝石安山岩	10.0	8.8	2.7	404.89	正面上にすり面 砂芯に敷打跡
U8	60	牛牛	壺	石墨	(1.9)	(1.5)	(0.5)	(0.67)	先端・基部欠損
	61	牛牛	壺	墨墨石	1.3	1.6	0.35	0.03	
No.	種別	器種	法量			成形・構造・文様		指定駄()残存駄()丸底●	
			口径(奥)	底径(幅)	高さ(厚)	内面	外面	備考	出土位置
1	牛牛	壺	-	つまみ	(3.0)	ヘラナダ	ヘラミガキ	完全実測	XXXII-2 桃川底
2	牛牛	壺	(19.0)	-	(2.6)	ヘラナダ	潤耗	因転実測	
3	牛牛	鉢	-	8.0	(2.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
4	牛牛	萬年	(19.0)	-	(7.3)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	因転実測	XXXIII-1クヨ
5	牛牛	高坏	-	(14.6)	(4.4)	ヨコナダ	ヘラミガキ→赤色塗彩	因転実測	XXXIII-6
6	牛牛	高坏	-	-	(8.4)	外縁へラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
7	牛牛	壺	-	-	-	脇筋へラミガキ	潤耗底状文	因転実測	
8	牛牛	壺	-	16.0	(21.1)	ハケ目+ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	XXXIII-2跡出前 XXXIII-6 FDP17
9	牛牛	壺	-	-	-	ハケ目+ヘラミガキ	ハケ目+潤耗底状文+ヘラミガキ	表面実測	FDP14 SOD11FT17
10	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	潤耗文+ヘラミガキ	表面実測	XXXIII-2
11	牛牛	壺	(23.0)	-	(15.6)	潤耗	潤耗底状文+潤耗横彫文(3連止)6本	因転実測	
12	牛牛	壺	(20.0)	-	(27.0)	ハケ目+ヘラミガキ	潤耗底状文+ヘラミガキ	因転実測	FDP6
13	牛牛	壺	18.0	-	(20.3)	ヘラミガキ	潤耗底状文+潤耗横彫文(2連止)10本	完全実測	XXXII-2跡出前
14	牛牛	壺	-	-	(12.4)	ヘラミガキ	潤耗底状文+ヘラミガキ	因転実測	
15	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	潤耗底状文+潤耗横彫文(3連止)12本 口縁潤耗文	表面実測	横断面
16	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	潤耗底状文+潤耗横彫文(1連止)6本+九型耐火付	表面実測	
17	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	潤耗斜彫文	表面実測	
18	牛牛	壺	-	-	-	ヘラミガキ	潤耗底状文(1連止)10本+潤耗斜彫文	表面実測	
19	牛牛	壺	-	8.2	(8.8)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	
20	牛牛	壺	-	8.2	(4.6)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	

第62表 U7・9・11遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	器種	法 異			成 形・調 整・文 標			推定値()残存値()丸底● 備 考	出土位置	
			口径(高)	通径(幅)	側高(厚)	内 面	外 面				
U7	21	弥生	甕	-	6.2	(3.5)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	XXIII-7 XXIII-2横出面	
	22	弥生	甕	(19.4)	-	(16.4)	ヘラミガキ	縦隔壁状文(1重止め)10本	同軸実測	ISGホリ万 U11	
	23	弥生	甕	(17.2)	(7.0)	21.9	ヘラミガキ	横隔壁状文(1重止め)9本→隔壁設状文	完全実測	横出面	
	24	弥生	甕	(25.0)	-	(14.0)	ヘラミガキ	縦隔壁状文(2重止め)10本→縦隔壁状文 に縫合キズ	同軸実測	XXII-7横出面 XXII-7縦出面	
	25	弥生	甕	-	(9.0)	(18.5)	壺形	横隔壁状文 ヘラミガキ	同軸実測	XXII-1	
	26	弥生	台付甕	-	-	(12.0)	ヘラミガキ	横隔壁状文 橫隔壁状文(2重止め)9本→ヘラミガキ	同軸実測		
	27	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	縦文+丸型貼付文	断面実測		
	28	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	口縁部・体部縫文	断面実測	珠凹面	
	29	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	縫文	断面実測		
	30	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	縫文	断面実測	XXII-1 ISG横出面	
	31	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	縫文	断面実測	ISGIV区	
	32	弥生	土器	8.4	3.5	3.5	ヘラナデ	縦隔壁状文	完全実測		
	33	弥生	土器	-	(4.8)	(3.0)	片唇剥離 片唇ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測		
	34	弥生	土器	-	(6.6)	(4.0)	ナデ	ヘラミガキ	同軸実測		
	35	弥生	土器	-	4.5	(2.0)	ヘラミガキ	ヘラナデ	完全実測		
	36	弥生	土器	-	(7.0)	(3.0)	壺形	壺形	同軸実測		
	37	弥生	土器	-	3.4	(3.2)	ヘラナデ	ヘラミガキ	完全実測		
	38	縫文	環体	-	-	-	-	断面実測			
No.	器種	素 材	最大長	最大幅	最大厚	重 量	所 見			出土位置	
U7	39	磁石	砂岩	13.2	7.2	4.2	446.57	上端削り中央と瓶打痕			
	40	磨 磨	砂質砂岩	9.8	3.4	1.9	88.57	上端削り瓶打痕 左側・下側に切り面			
	41	石核	安山岩	11.5	10.1	7.7	863.49				
	42	小 石	ガラス	0.4	0.45	0.25	0.04	孔径 0.1			
	43	石 砂	黑曜石	(2.2)	(1.0)	(0.35)	(0.26)	両側欠角			
	44	角 打	鶏	(9.0)	(1.0)	(1.0)	(0.26)				
No.	種別	器種	法 異			成 形・調 整・文 標			推定値()残存値()丸底● 備 考	出土位置	
U9	1	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	ハケト ナデ	断面実測		
	2	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	横隔壁透え	断面実測	XXII-5横出面	
	3	縫文	灰鉢	-	-	-	-	-	断面実測		
	4	弥生	甕	-	6.4	(2.0)	ヘラナデ	ヘラミガキ	完全実測	XXII-5横出面	
U11	1	弥生	甕	(16.0)	5.7	8.8	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 底部ヘラミガキ	完全実測	S8041WT12	
	2	弥生	甕	-	4.4	(2.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測		
	3	弥生	甕	(12.4)	-	(3.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	同軸実測		
	4	弥生	甕	(10.0)	(4.2)	6.0	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩 酒器ヘラミガキ	同軸実測	XVII-5 S8031WT12	
	5	弥生	甕	(15.0)	-	(5.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩 売耗	ヘラミガキ→赤色塗彩 売耗	同軸実測		
	6	弥生	甕	-	5.1	(4.7)	壺形	壺形	完全実測		
	7	弥生	甕	-	(3.4)	(3.4)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	XVII-7	
	8	弥生	萬字	-	(25.0)	-	(19.1)	ヘラミガキ 売耗	ヘラミガキ 売耗	同軸実測	XVII-6
	9	弥生	高坪	-	(16.0)	(4.5)	ヘラナデ	ヘラミガキ	同軸実測		
	10	弥生	高坪	-	-	(2.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩 開口ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測 焼成度2.2		
	11	弥生	高坪	-	-	(3.0)	片唇ヘラミガキ→赤色塗彩 開口ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	M3XVII-6	
	12	弥生	高坪	-	-	(4.0)	片唇ヘラミガキ→赤色塗彩 開口ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	S8041WT12	
	13	弥生	萬字	-	(19.0)	(5.0)	壺形	ヘラミガキ→赤色塗彩 売耗	同軸実測		
	14	弥生	高坪	(22.0)	-	(10.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	XVII-11 S8041WT12-13	

第63表 U11遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	器種	量			成形・調製・文様		推定(○)既存(△)丸底(●) 備考	出土位置
			口径(米)	直径(厘米)	残高(厘米)	内面	外面		
15	骨生	高杯	(33.0)	-	(10.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	
16	骨生	高杯	-	(16.2)	(9.9)	ナデ	ナデ	印松実測	
17	骨生	盃	(21.0)	-	(8.7)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	印松実測 SD01HT12	XVI-6
18	骨生	盃	(26.8)	-	(8.6)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	印松実測 SD01HT12	XVI-11
19	骨生	盃	-	-	-	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	印松実測 SD01HT12	XVI-11
20	骨生	盃	-	-	(10.2)	ハケ目→ヘラミガキ	網結織紋→網漁波状文→ヘラミガキ	印松実測	
21	骨生	盃	-	-	-	還祐	網結織紋→網漁波状文→ヘラミガキ	印松実測	
22	骨生	盃	-	-	-	ハケ目	網結織紋→ヘラミガキ→赤色塗彩	印松実測	XVI-10
23	骨生	盃	-	-	-	ハケ目	網結織紋→網漁波状文	印松実測	XVI-10
24	骨生	盃	-	(14.2)	(16.0)	ヘラナデ	ヘラミガキ	印松実測 XV-5 XVI-6	XVI-6
25	骨生	盃	-	-	(11.0)	ヘラナデ	ヘラミガキ	印松実測	XVI-6
26	骨生	盃	-	(11.0)	(9.1)	ヘラナデ	ヘラミガキ	印松実測	XVI-10
27	骨生	盃	-	-	-	ハケ目	網文既	印松実測 沈羅	XVI-10 SD1
28	骨生	盃	-	-	-	ナデ	網文既	印松実測	XVI-10
29	骨生	盃	-	-	-	ナデ	網文既	印松実測	XVI-10
30	骨生	盃	-	-	-	ナデ	網文既	印松実測	XVI-10
31	骨生	盃	-	-	-	ナデ	網文既	印松実測	XVI-10
32	骨生	甕	(18.6)	-	(12.6)	ヘラミガキ	網結織文(底に墨止め)14本 網結設狀文	印松実測 SD01HT13	XVI-15 XVI-11
33	骨生	甕	(19.0)	-	(9.3)	ハケ目→ヘラミガキ	網結織文(底に墨止め) 網結設狀文	印松実測	XVI-6 XVI-10
34	骨生	甕	(21.2)	-	(9.0)	ヘラミガキ	網結織文(底に墨止め)6本 網結設狀文	印松実測	XVI-10
35	骨生	甕	(17.0)	-	(10.1)	ヘラミガキ	網結設狀文	印松実測	
36	骨生	甕	(19.2)	-	(6.8)	ヘラミガキ 蓋純	網結織文(底に墨止め)一層網結設狀文	印松実測	
U11	骨生	甕	-	26.3	(24.2)	ヘラミガキ	網結織文(底に墨止め)一層網結設狀文 網結既文→網結織文(底に墨止め)一層網結設狀文→ 網結既文→口唇既文を右下から斜走文で 重ね書き 口唇既文部 下部ヘラミガキ	完全実測	XVI-6
	骨生	甕	(17.0)	-	(9.9)	ヘラミガキ	網結既文→一層網結設狀文	印松実測	XVI-10 XVI-6
	骨生	甕	-	(9.0)	(9.5)	ハケ目	網結既文	印松実測	
	骨生	甕	-	-	-	ハケ目	網結既文→ヘラミガキ	印松実測	XVI-11
	骨生	甕	12.5	5.3	14.9	ヘラミガキ	網結既文(底に墨止め)9本 網結設狀文 ヘラミガキ	完全実測	
	骨生	甕	12.3	5.6	15.2	ヘラミガキ	網結既文(底に墨止め)9本 →ヘラミガキ	完全実測	
	骨生	甕	(13.0)	-	(9.1)	ハケ目→ヘラミガキ	網結既文(底に墨止め)10本 網結設狀文 ヘラミガキ	印松実測	
	骨生	甕	(12.4)	-	(9.6)	ヘラミガキ	網結設狀文 網結既文(底に墨止め)6本	印松実測 SD01HT12	XVI-6
	骨生	甕	-	6.6	(6.2)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	XVI-6
	骨生	甕	-	6.8	(7.9)	ハケ目→ヘラミガキ	網結設狀文 →ヘラミガキ	完全実測	
47	骨生	甕	(9.2)	-	(15.4)	ヘラミガキ	網結織文(底に墨止め)7本 網結設狀文	印松実測	XVI-6
48	骨生	甕	(15.6)	-	(6.2)	ヘラミガキ	網結設狀文 網結既文(底に墨止め)11本	印松実測	
49	骨生	甕	(17.0)	-	(5.6)	ヘラミガキ 繩純	網結既文(底に墨止め)11本 網結設狀文	印松実測	
50	骨生	甕	-	-	(14.5)	還祐	網結既文 網結設狀文	印松実測	XVI-6
51	骨生	甕	-	7.0	(17.2)	ヘラミガキ	網結既文→網結設狀文→ヘラミガキ	完全実測	XVI-5 M03XVI-10
52	骨生	甕	10.4	5.0	18.6	ヘラナデ	網文既	完全実測	XVI-6
53	骨生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	網文既	印松実測	
54	骨生	甕	(22.4)	-	(12.6)	ヘラミガキ	網文既	印松実測 SD01HT12	XVI-6 XVI-10 XVI-6
55	骨生	甕	(16.2)	-	(8.6)	ヘラミガキ	網文既 口唇既文有みあり	印松実測	XVI-10
56	骨生	甕	(23.6)	-	(25.0)	ヘラミガキ	網文既→ヘラミガキ	印松実測 SD01HT12	XVI-10
57	骨生	甕	-	-	-	還祐	網文既	印松実測	
58	骨生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	網文既 1:智器跡	印松実測	SD01HT12

第64表 U11遺物集中区出土遺物観察表

(cm)

No.	種別	種類	法 面			成 形・調 整・文 標		規定値()既存値()丸記●	備 考	出土位置
			凸面(深)	凹面(幅)	高さ(厚)	内 面	外 面			
59	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	塊丸L 口部削込み	既出実測		
60	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	塊丸L 瓶底横擦文	既出実測		
61	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	塊丸L 瓶底斜擦文	既出実測		
62	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ	塊丸L 容器底斜擦文	既出実測		
63	弥生	甕	-	-	-	ナデ	塊丸L	伊集太湖	XVI-6	
64	弥生	甕	-	-	-	ナデ	塊丸L	既出実測		
65	弥生	甕	-	-	-	ナデ	塊丸L	既出実測		
66	弥生	甕	-	-	-	ナデ	塊丸L	既出実測		
67	弥生	甕	-	-	-	ヘラナデ	塊丸L	既出実測		
68	弥生	甕	-	-	-	ヘラナデ	塊丸L	既出実測		
69	弥生	甕	-	-	-	ヘラナデ	塊丸L ヘナナデ	既出実測		
70	弥生	甕	-	5.8	(3.7)	磨耗	擦丸	完全実測		
71	弥生	甕	-	(4.0)	(2.6)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測		
72	弥生	甕	-	7.7	(5.2)	磨耗	ヘラミガキ	完全実測		
73	弥生	甕	-	(6.6)	(8.4)	ミガキ	擦丸ミガキ 底部ミガキ	回転実測		
74	弥生	台付甕	-	8.1	(8.1)	磨耗	擦丸	完全実測		
75	弥生	台付甕	-	-	(4.1)	片剥ヘラミガキ 脊部ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測		
76	弥生	台付甕	-	(12.4)	(6.2)	ハケ目	溝底	回転実測	M31	
77	弥生	台付甕	-	(10.6)	(4.0)	ハケ目 ヘラナデ	ハケ目 ヘラナデ	回転実測	M35	
78	弥生	台付甕	-	-	(6.1)	先端ヘラナデ 脊部ヘラナデ	ハケ目ヘラナデ	完全実測		
79	弥生	台付甕	-	-	(3.7)	裏剥ヘラナデ 脊部ヘラナデ	ヘラナデ	完全実測		
80	弥生	台付甕	-	-	(3.8)	裏剥ヘラミガキ 脊部ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測		
81	上施品	甕	-	-	-	ヘラミガキ	ヘラミガキ	既出実測		
84	弥生	土器	-	(3.4)	(1.8)	ナデ	ナデ	回転実測		
85	縄文	瓦片	-	-	-			既出実測		
86	縄文	瓦片	-	-	-			既出実測		
87	縄文	瓦片	-	-	-			既出実測		

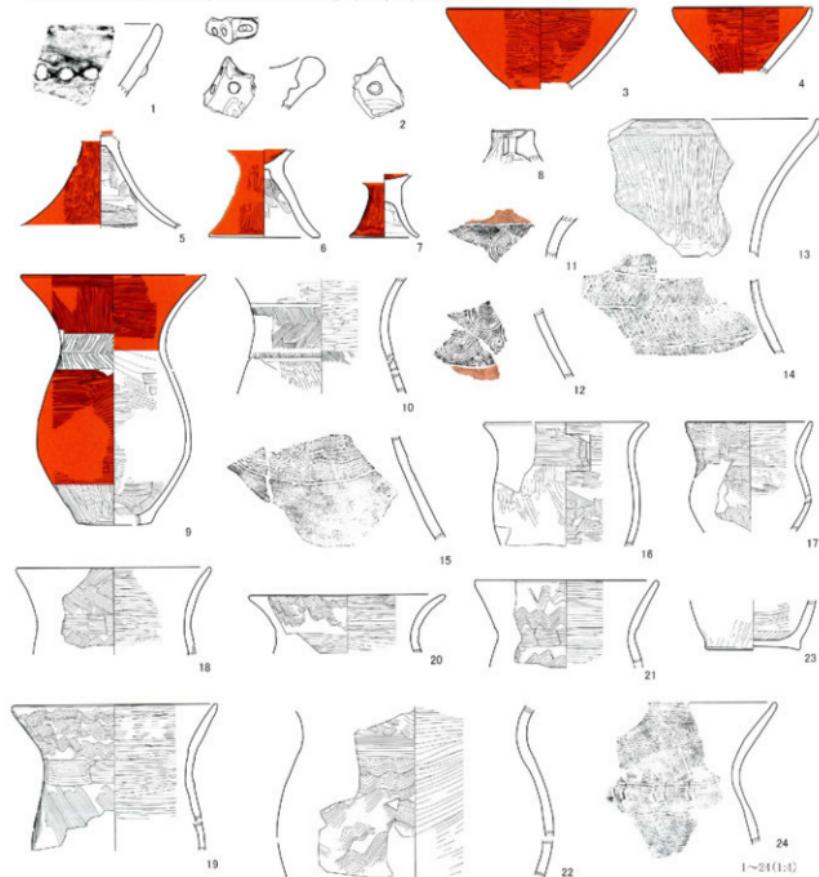
No.	器 物	素 材	板 大 型	板 大 型	設 大 型	重 量	所 貫	見	出土位置
82	円鏡	土磁石	4.9	4.5	0.7	19.43	ヘラミガキ 赤色漆彩		
83	円鏡	土磁石	3.3	4.3	0.5	8.44	内面側面 外面ヘラミガキ赤色漆彩		
88	磨石?	花崗岩	6.2	4.9	1.4	55.48			
89	軋石	花崗岩	10.0	4.5	2.6	203.74	上下竿部に棘打痕		
99	磨石?	砂岩	(6.0)	(4.4)	(2.6)	(16.87)	左下下側大筋 緑斑に棘打痕 正裏にすり面		
91	磨石?	練習砂岩	9.5	4.6	2.4	146.96	上下竿部に棘打痕 正裏にすり面		
92	磨石?	練習砂岩	9.6	4.9	3.8	255.71	上下竿部に棘打痕 正面後方にすり面		
93	磨石?	砂岩	7.6	6.0	1.7	83.70	正裏にすり面		
94	磨石?	砂岩	8.0	3.4	2.4	89.49	正裏にすり面		
95	磨石?	輝石安山岩	6.3	5.7	6.0	285.65	正面にすり面		
96	磨石?	右黄泥岩	7.7	4.0	3.2	172.65	正面にすり面 西側条痕あり		
97	磨石?	彩岩	8.4	4.9	3.1	189.90	正裏にすり面 正面に浅い条痕		
98	磨石?	輝石安山岩	8.7	4.8	2.7	195.42			
99	磨石?	灰色チタード	1.3	0.9	0.25	0.42	全体に擦れている		
100	台石	安山岩	(12.0)	(12.5)	(6.3)	(132.0)	正面が使用面 正面と側面に棘打痕 正面と左側にすり面		
101	石核	隕石岩	2.7	1.9	0.8	3.98	裏はボジ面		
102	蜜玉	碧玉	0.4	0.4	1.5	0.50	孔径 0.16		
103	袋状鉱石	金屬製品	(5.7)	(2.5)	1.8	(33.85)	月鉛先導欠損		

また、遺物下からは顕著な掘り込みは確認されなかつたが、U11の範囲内に弥生後期の所産と考えられる円形土坑が検出されている。D47-52号土坑がそれにあたり、いざれも同規模・同形態である。これらの土坑とUの関係は、D48とD50の覆土中に炭化物や骨粉が含まれていたことから、土坑掘り込みについても庶乗行為の一つとも考えられ、両者の間には何らかの関係があると考えられる。

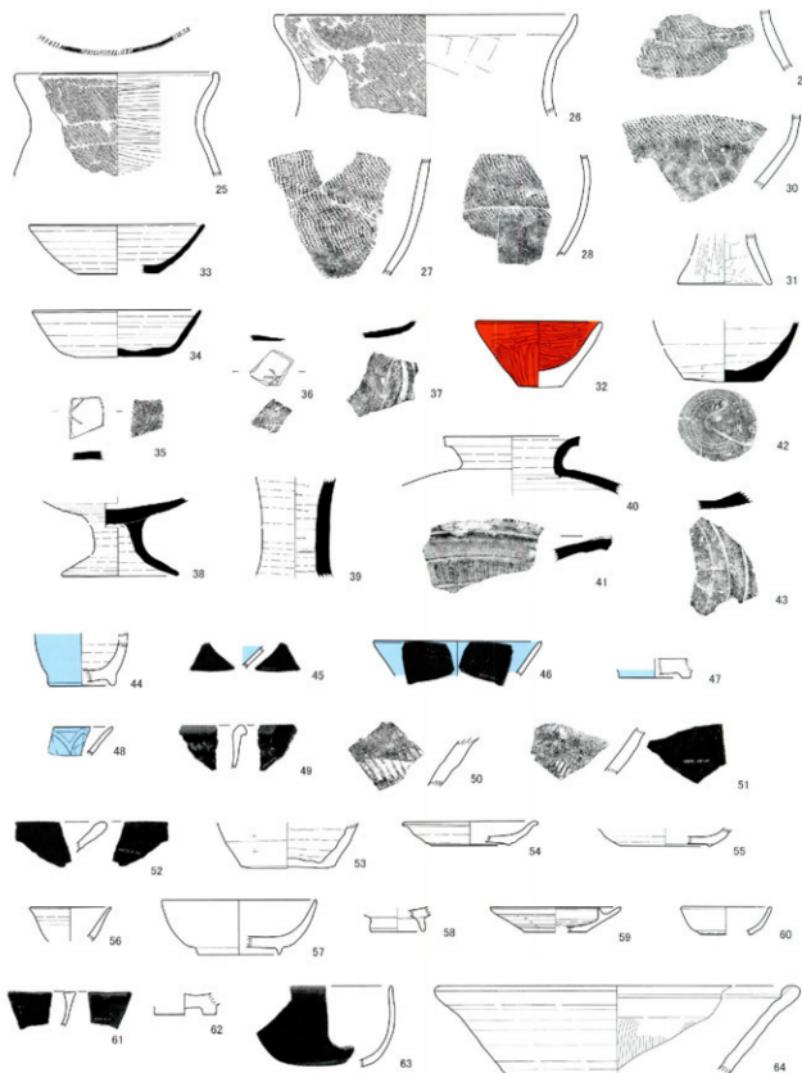
第8節 遺構外出土遺物

本遺跡の遺構外出土遺物として116点を図示した。遺物の所産時期は縄文、弥生後期、古代、中世、近世の多時期に及ぶが、当遺跡で検出された遺構の所産時期とほぼ対応する。

中でも注目される遺物として116の人面土器が挙げられる。試掘調査時に検出された遺物で、出土位置はⅧ・Ⅸ区の埋土保存区に当たる。人面土器は欠損しているものの頬より上の顔左半分が残存している。口の形状は穴で表現されていると思われるが詳細は不明。顔面を赤彩するが、額から鼻筋部分のみ無彩としているのが特徴である。本品の所産時期は、今回の調査区内には弥生中期の遺構が発見されておらず、顔に赤彩を施し、鼻の特徴も西一里塚遺跡群のものに似る。この事から弥生後期の範疇で捉えられると考える。



第150図 遺構外出土遺物実測図(1)



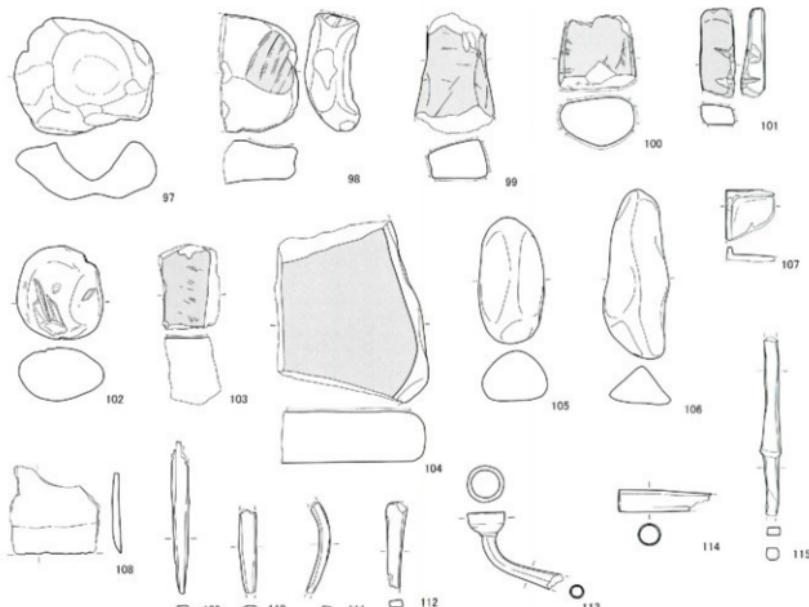
第151図 遺構外出土遺物実測図(2)

25~31・33~34・40~43 (1:0) 32 (1:2)

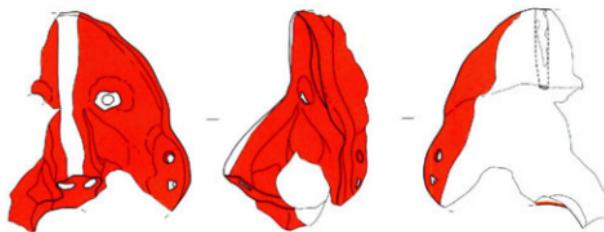


65~69 (1:1)
70~71 (1:2)
72~96 (1:4)

第152図 遺構外出土遺物実測図(3)



97～107 (1:4)
108～120 (1:2)



第153図 遺構外出土遺物実測図(4)

第65表 遺構外出土遺物觀察表(1)

(cm)

No.	種別	種類	法量			成形・構型・文様		推定値(×残存率) (cm)	備考	出土位置	
			口径(長)	底径(短)	高さ(厚)	内面	外面				
1	陶文	深鉢	-	-	-	ナゲ	ナゲ→漆画貼付	新玉丸魚	XI-2		
2	陶文	深鉢	-	-	-	ナゲ 漆画	ナゲ	波打美術	V-18		
3	陶生	鉢	(15.6)	(6.7)	-	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩	回転丸窓	XI-25		
4	陶生	鉢	(11.5)	-	(5.6)	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩	回転美術	III-XVI-10		
5	陶生	窓	-	-	(2.7)	杯部ミガキ→赤色塗彩 脚部ナゲ	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	V-5クコ		
6	陶生	窓	-	(9.1)	(6.1)	杯部ミガキ→赤色塗彩 脚部ココナグ→ナゲ	ミガキ→赤色塗彩	完全実測 游蛇	XI-21		
7	陶生	窓	-	5.8	(5.2)	杯部ミガキ→赤色塗彩 脚部ハナグ→漆画ヨコナゲ	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	X-25		
8	陶生	蓋	つまみ	(3.5)	(2.7)	ナゲ	ヘラケズリ ミガキ	完全実測	XXII-5		
9	陶生	蓋	(15.1)	(6.0)	29.6	摩から底部へケ目の残るナゲ→漆画 ナゲ→口縁ミガキ赤色塗彩	ロ縁と横筋ミガキ→赤色塗彩 底下半と底筋 ミガキ 漆部へ鉛橋を平行漆文+ハラ描き 起走	回転美術	SB011 ET12		
10	陶生	蓋	-	-	(9.6)	ハケ目の残るナゲ→ロ縁から頂部ミ ガキ	ミガキ 横斜斜走文 ハラ描模走平行漆文	回転美術	XIV後出走 II区 E15		
11	陶生	蓋	-	-	-	ナゲ→ロ縁ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩 漆部角筋文 沈継	断面実測 個体	XI-3		
12	陶生	蓋	-	-	-	ハケ目の残るナゲ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩 漆部角筋文 沈継	断面実測 個体	XI-2クコ XI-3		
13	陶生	蓋	-	-	-	ミガキ	ミガキ 沈継	断面実測	XII-22		
14	陶生	蓋	-	-	-	ハケ目の残るナゲ→ミガキ	ミガキ ハラ 描斜走文	断面実測 個体か	XII-22		
15	陶生	蓋	-	-	-	ハケ目の残るナゲ	ミガキ 横斜斜走文 沈継	断面実測	IX-XXI-5		
16	陶生	裏	(13.5)	-	(10.2)	ハケ目の残るナゲ→ロ縁ミガキ	ハケ目の残るナゲ→ミガキ 横斜斜走文(2底止め)	完全実測	XXII-7 92XXII-13		
17	陶生	裏	16.5	-	(9.1)	ミガキ	ミガキ 横斜斜走文(2底止め) 横斜斜走文	完全実測	XV-6		
18	陶生	裏	(15.8)	-	(7.2)	ミガキ	ハケ目の残るナゲ→ミガキ	断面実測	X-25		
19	陶生	裏	16.8	-	(12.2)	ミガキ	横斜斜走文 製版底状文(遮止め)	完全実測	XII-12		
20	陶生	裏	(16.2)	-	(4.6)	ミガキ	横斜斜走文 製版底状文	回転美術	XXI-18		
21	陶生	裏	(15.1)	(7.2)	ミガキ	横斜斜走文(2底止め)9本 横斜斜走文	回転美術	90II18712			
22	陶生	裏	-	-	(14.3)	ミガキ	横斜斜走文10本 横斜斜走文	回転美術	X-19		
23	陶生	裏	-	(7.8)	(4.1)	ミガキ	脚部へクゼミミガキ 底部ミガキ 磨耗	回転美術	XII-12		
24	陶生	裏	-	-	ミガキ	横斜斜走文(2底止め)7本 横斜斜走文	回転美術	MS-XVI-10			
25	陶生	裏	(17.0)	-	(8.7)	ミガキ	口縁部に削み 沈継文	回転美術	XI-3		
26	陶生	裏	(29.0)	-	(8.4)	ナゲ→ロ縁上野ヨコナゲ	丸縫文	回転美術	XVI-14		
27	陶生	裏	-	-	-	ナゲ	ミガキ 沈継文	断面実測	XXM-14+15 MSXXI-4		
28	陶生	裏	-	-	-	ミガキ	ミガキ 沈継文	断面実測	XI-6		
29	陶生	裏	-	-	-	ナゲ	純縫文	断面実測	X-25		
30	陶生	裏	-	-	-	ミガキ	ミガキ 沈継文	断面実測	XXIE-1		
31	陶生	古付縫 (800円)	-	(7.7)	(4.2)	ナゲ	ヘラケズリ→ミガキ	完全実測 游蛇	X-19		
32	陶生	古付縫	5.2	1.8	27	ミガキ→赤色塗彩	ミガキ→赤色塗彩	完全実測	XI-3		
33	須恵器	坪	(14.6)	(6.6)	4.1	ロクロナゲ	ロクロナゲ→底部切切り	回転実測 内外面 に穴打き有	IXX-15		
34	須恵器	坪	(14.0)	(6.6)	3.9	ロクロナゲ	ロクロナゲ→底部切切り後ナゲ	回転美術	X-29		
35	須恵器	坪	-	-	-	ナゲ	ナゲ	須恵美術 ヘラ記号あり	XXII-2		
36	須恵器	坪	-	-	-	-	鉛輪ヘラケズリ	鉛片実測 ヘラ記号あり	X-6		
37	須恵器	坪	-	-	-	ロクロナゲ	ロクロナゲ→底部へクリ後手持ちヘラケズリ	断面実測 ヘラ記号あり	XX-15		
38	須恵器	高杯	-	(9.0)	(9.6)	ロクロナゲ	ロクロナゲ→浮刻スパスベしている	ロクロナゲ	完全実測	XI-11	
39	須恵器	長颈瓶	-	-	(9.0)	ロクロナゲ→ヘナナゲ	ロクロナゲ 自然袖付管	完全実測	XII移出面		
40	須恵器	長颈瓶	(11.2)	-	(4.0)	ロクロナゲ ロコナゲ	ロクロナゲ ロコナゲ 自然袖付管	回転美術	XII-11		

第66表 遺構出土物観察表(2)

No.	種別	器種	法量			成形・施装・文様		推定値() 残存値() 丸底●	備考	出土位置
			口径(直) 底径(端) 厚さ(厚)	内面	外面					
41	直底器	奥5-直	-	-	-	ヨコナデ 自然縫合着	ヨコナデ 自然文あり	断面実測	V-20	
42	直底器	直	6.5 (5.2)	ヨコナデ		ヨクロナデ→底部に底部外側縫合ヘラケズリ	完全実測	XVI後凹面		
43	直底器	不明	-	-	-	ナデ	ナデ	断面実測	XVI後-2	
44	青磁	花瓶	-	(5.6)	(4.3)	直輪	直輪	断面実測(ひこみ 底自然縫合着)	XVI後凹面 縫合部	
45	青磁	画文	-	-	-	施釉	施釉	断面実測 12C後 半 緋皇窯	XVI-6	
46	青磁	画文	(13.8)	-	(2.0)	施釉	施釉	断面実測 13C前 半 緋皇窯	XVII-1	
47	青磁	碗	-	(6.0)	(1.0)	施釉	施釉	断面実測 13C後 半-14C前半 緋皇窯	XVI-7	
48	青磁	漆合夫 碗	-	-	-	施釉	施釉	断面実測 13C 緋皇窯	XX-11	
49	青磁	絵地盤	-	-	-	施釉	施釉	断面実測 北宋 絵地盤 精耕口上 13世紀 中葉	XVII-16	
50	陶器	甕	-	-	-	ナデ	タタキ目	断面実測 中世 常滑	XVII-8	
51	陶器	甕	-	-	-	ヨコナデ	タタキ目	断面実測 中世 常滑	XVI-19	
52	陶器	捏の輪	-	-	-	ヨコナデ	ヨコナデ	断面実測 内面自然 縫合着 13C 常滑	V-20	
53	陶器	窓5-直	-	(7.8)	(3.8)	輪積机あり 自然縫合着	横下平輪机ヘラケズリ	断面実測 常滑	XVII-1	
54	陶器	志野丸 皿	(11.3)	(6.5)	2.0	施釉		断面実測 13C前 半 湿戸美濃	Z	
55	陶器	志野丸 皿	-	(7.4)	(1.0)	ヨクロナデ→施釉	ヨクロナデ→施釉	断面実測 13C前 半 湿戸美濃	XXI 緋集	
56	織部	小鉢	(6.7)	-	(2.8)	ヨクロナデ→施釉	ヨクロナデ→施釉	断面実測 13C後 半 (伊万里)	XVII-2	織部
57	織部	皿	(12.8)	(6.8)	4.5	ヨクロナデ→施釉(染付)	ヨクロナデ→施釉(染付)	断面実測 V無 13C末-14C初半 伊万里	XXII-2	織部
58	織部	只脚手 皿	-	(4.6)	(2.0)	施釉	施釉	断面実測 17C後 半 唐津	XVII-16	
59	陶器	唐明灰	(10.7)	(6.0)	2.1	ヨクロナデ→施釉	ヨクロナデ→圓輪ヘラケズリ→口輪印施釉	断面実測 19C 山	XXII-2 唐明	
60	陶器	小碗	(7.4)	(4.2)	(2.3)	施釉(鉢輪フカカリ)	ヨクロナデ→施釉(鉢輪フカカリ)	断面実測 18C末 ~19C初半 山	XXI 緋集	
61	陶器	香炉	-	-	-	ヨクロナデ→口縁施釉(鉢輪)	ヨクロナデ→施釉	断面実測 18C末 ~19C初半 山	V-22	
62	陶器	灰輪	-	5.1	(1.0)	素輪(鉢輪フカカリ)	ヨクロナデ→底部切り離し後裏台付け→施釉 G(鉢輪フカカリ・底台はハケなし)	完全実測 18C末 ~19C初半 山	XXI-25	
63	陶器	灰輪	-	-	-	施輪(鉢輪フカカリ)	ヨクロナデ→施釉(鉢輪フカカリ)	断面実測 18C末 ~19C初半 山	XXI 緋集	
64	陶器	壺口井	(30.0)	-	(7.5)	ヨクロナデ→壺口井を割り→施釉	ヨクロナデ→施釉(壺口井)	断面実測 18C末 ~19C初半 山	XX-8	
No.	器種	黑 材	體大長	體大高	體大深	面 量	所 貴		出土位置	
65	石繩	黒灰岩(?)	2.4	2.9	0.35	1.16			X-3	
66	石繩	黑色讃萬 安山岩	3.1	1.8	0.3	1.60	先端欠損		XVI-20	
67	石繩	黑色讃萬 安山岩	0.20	(1.4)	(0.3)	(1.03)	先端・基部欠損		XVI-20	
68	石繩	銀糸岩	(1.7)	(1.0)	(0.3)	(0.99)	先端・基部欠損		XVI-25	
69	石繩	黒曜石	2.0	1.5	1.3	0.75			XVII-3	
70	鏡片	黒曜石	1.0	1.9	0.8	0.90	自然面が残る		XVI-1	
71	原石	粘晶質 石英岩	3.4	1.5	1.0	4.58			XVI-10	
72	刀器	研磨砂岩	7.8	(4.4)	1.5	(58.24)	削片利用の刀器 刀削薄誠		V-12	
73	打撲石	研質砂岩	(11.0)	(8.0)	2.7	(202.08)	下部欠損		XI-1	

第67表 遺構外出土遺物観察表(3)

(cm)

No.	種	種	大きさ	大きさ	大きさ	大きさ	所	見	出土位置
74	打製石斧	砾石安山岩	(12.5)	(8.6)	(2.0)	(351.64)	馬頭欠損 潜底部分あり 美化のためか	XII-22	
75	打製石斧	砾石安山岩	(4.0)	(5.9)	(1.1)	(42.16)	上下欠損	XIII-18	
76	打製石斧	砾石安山岩	(11.0)	(7.7)	(1.8)	(180.67)	下部欠損 斧頭につぶれ痕	XI-18	
77	打製石斧	砾石安山岩	(8.4)	(6.4)	(1.6)	(120.15)	下部欠損 斧頭につぶれ痕	XIII-20	
78	打製石斧	砾石安山岩	(6.0)	(6.6)	(0.9)	(72.66)	右側以外欠損	V-13	
79	石斧	石英片岩	(6.4)	(3.0)	(2.0)	(89.27)	上下欠損	SD011WT118	
80	鉋石	砾質砂岩	(6.0)	(8.1)	(0.9)	(322.50)	下端部→齊次欠損 上端部と正面に鍛打痕	XIII-18	
81	鉋石	砾石安山岩	14.7	8.5	4.3	426.81	側面に鋸刃痕	XI-3	
82	鉋石	霞丘山岩	11.2	8.1	4.1	319.98	上下端部に鍛打痕	XIII-1	
83	鉋石	砾質砂岩	(10.8)	(6.0)	(2.7)	(210.76)	上部欠損 下端部に鍛打痕	XXXIII-7	
84	鉋石	砾質砂岩	8.0	2.5	(1.4)	(38.31)	裏面一面欠損 上下端部に鍛打痕	XXXI-25	
85	鎌・鋸刃	砂岩	5.5	2.8	2.3	47.06	上下端部に鍛打痕	XIII-12	
86	鎌・鋸刃	砾石安山岩	(9.6)	(6.4)	(4.7)	(308.12)	成熟あり?表面粗化 片側欠損 正面にすり面 線込みに鍛打痕	XI-16	
87	鎌・鋸刃	砾石安山岩	(9.0)	(6.0)	(2.0)	(198.26)	左側→下端欠損 三面にすり面 上端部に鍛打痕	XXII-2	
88	磨石	チャート	2.1	1.7	0.58	2.89	全体に平行 赤色の付着物あり	X-6	
89	磨石	花崗岩	4.1	2.4	0.8	10.55	左側にすり面	XI-2	
90	磨石	黒色多孔質安山岩	9.0	8.3	3.9	218.51	正面にすり面 上面に削り跡の使用痕	X-15	
91	磨石	麻質砂岩	6.1	3.7	1.4	47.69	正面にすり面 左側に浅い条痕	XI-5	
92	磨石	砾石安山岩	7.1	4.8	2.6	130.22	正面にすり面	XIII-1	
93	磨石	砾質砂岩	8.9	5.0	3.3	186.74	正面にすり面	X-4	
94	磨石	砾質砂岩	(9.0)	(4.0)	(1.8)	(94.85)	裏面欠損 正面にすり面 浅い条痕あり	XIII-17	
95	磨石?	砂岩	10.0	6.7	4.4	453.88	全体に削り跡 すりきり	XIII-6	
96	磨石	砾石安山岩	12.6	7.6	4.2	586.56	正面にすり面	XII-I	
97	圓石	鵝卵石	9.8	11.4	4.8	129.71	周辺 63×6.1 圓周 3.2	XI-16	
98	砾石	砂岩	(3.0)	(6.6)	(3.5)	(295.41)	芦根欠損 正面と上端部に鋸歯状の研磨	XIII-11	
99	砾石	礫灰岩	(10.0)	(6.4)	(3.6)	(253.82)	鉄面4 上下欠損	X-5	
100	砾石	砂岩	(6.2)	(6.0)	(4.0)	(206.41)	鉄面4(?)右側欠損後も使用) 上部欠損	XIII-10	
101	砾石	礫灰岩	(7.0)	(2.9)	(2.0)	(50.47)	下端欠損 右側後方に刻み跡の条痕	XVI-22	
102	砾石製品	鵝卵石	7.8	7.0	4.1	107.64	全体にすり面 上面に削り跡の使用痕	XIV-5	
103	台石片	砾石安山岩	(7.4)	(5.0)	(0.5)	(295.67)	金剛欠損 正面が鋸刃面	V-12	
104	台石	砾石安山岩	(16.0)	(12.5)	(4.2)	(147.00)	3辺欠損 正面が使用面(すり面)	XI-6	
105	編物石?	砾石安山岩	10.4	8.3	4.2	393.15		XIV-5	
106	編物石?	砾石安山岩	14.0	8.4	3.7	289.92		XIII-20	
107	甕	陶器	(4.2)	(2.9)	(1.2)	(17.63)	I槽を残し裏面まで欠損	XIII	
108	鉈?	鉈	(3.7)	(2.7)	(0.2)	(7.95)	下刃以外は欠損	XI-16	
109	角針	鉈	(6.0)	(6.7)	(0.6)	(4.03)	上部欠損	XIII-18	
110	角針	鉈	(3.5)	(6.7)	(0.5)	(2.62)	上部欠損	XIII-9	
111	角針	鉈	(3.6)	(6.5)	(0.2)	(2.86)	上部欠損	XII-I	
112	鉄?	鉈	(3.6)	(6.0)	(0.3)	(1.67)	下部欠損	XIII-14	
113	堆管	鉈	(4.7)	1.5	1.5 厚さ 0.2~0.1	(6.00)	管頭欠損	XIII-II-2	
114	堆管	鉈	(3.0)	0.9	0.9 管厚0.1	(2.22)	後口部欠損	XIII-II-2	
115	鉄鑿	鉈	(7.4)	(9.8)	9.7	(G.54)	上下欠損	XII-I	
116	古鉄	鉈	2.38	—	0.1	1.45	完形 鉄型元宝 1094(北宋)	XII-I	
117	古鉄	鉈	2.33	—	0.13	1.66	完形 乾道通宝 995(北宋)	XIII-1	
118	古鉄	鉈	2.38	—	0.12	2.53	完形 乾道通宝(新) 背に文「文欽」	XIII-II-2	
119	古鉄	鉈	2.51	—	0.13	3.29	完形 乾道通宝(新) 背に文「文欽」	XIII-21	
120	鉄生	人面土器	(9.1)	(G.4)	(8.6)		口・渾・鼻・口・頭部を穿孔(耳孔貫通) 帶赤漆彩 銀片装飾	東T10 VI-IV区	

第V章 科学分析

第1節 種実・樹種鑑定

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

大豆田遺跡IV（長野県佐久市長土呂地内）は、浅間火山西南麓に認められる河川の開析等により形成された山切り地形末端付近の台地部に立地する。本遺跡は、これまでに実施された発掘調査により、主に弥生～平安時代の集落であることが明らかにされている。

本報告では、大豆田遺跡IVの発掘調査で確認された土坑の年代、井戸址などから出土した木製品や種実遺体の種類および植物利用の検討を目的として、自然科学分析調査を実施した。

I. 放射性炭素年代測定

1. 試料

試料は、弥生時代後期の箱清水式期とされる土坑（D48, D50）覆土より出土した炭化物2試料（試料番号1, 2）である。炭化物試料は、D48（試料番号1）が炭化材（最大1cm角程度）と土塊、D50（試料番号2）が炭化材細片からなる。

放射性炭素年代測定には、D48（試料番号1）が1cm角程度の炭化材、D50（試料番号2）が板状を呈する炭化材（長さ1cm×幅1cm×厚さ0.5cm程度）をそれぞれ供した。

2. 分析方法

試料に土壤や根などの目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄等により物理的に除去する。その後、HClによる炭酸塩等酸可溶成分の除去、NaOHによる腐植酸等アルカリ可溶成分の除去、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する（酸・アルカリ・酸処理）。試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅（II）と銀箔（硫化物を除去するため）を加えて、管内を真空にして封じきり、500°C（30分）850°C（2時間）で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用して、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650°Cで10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。

測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置（NEC Pelletron 9SDH-2）を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸（HOX-II）とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に13C/12Cの測定も行うため、この値を用いてδ13Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1,950年を基点とした年代（BP）であり、誤差は標準偏差（One Sigma; 68%）に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.0 (Copyright 1986-2013 M Stuiver and PJ Reimer) を用い、誤差として標準偏差（One Sigma）を用いる。

暦年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、及び半減期の違い（¹⁴Cの半減期5,730±40年）を較正することである。また、暦年較正に関しては、本来10年単位で表すのが通例であるが、将来的に暦年較正プログラムや暦年較正曲線の改正があった場合の再計算や再検討に対応するため、1年単位で表している。

暦年較正結果は、測定誤差σ、2σ（σは統計的に真の値が68%、2σは真の値が95%の確率で存在する範囲）双方の値を示す。また、表中の相対比とは、σ、2σの範囲をそれぞれとした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

3. 結果および考察

炭化材の同位体効果による補正を行った測定結果（補正年代）は、D48（試料番号1）が $1,940 \pm 20$ yrBP、D50（試料番号2）が $2,030 \pm 20$ yrBPである。また、曆年較正結果（ 1σ ）は、D48がcalAD 27 – calAD 81、D50がcalBC 53 – calAD 4である（表1）。

以上の結果から較正曆年代（ 1σ ）は、D48が紀元1世紀頃、D50が紀元前1世紀中頃から紀元1世紀初頭頃に相当し、小林（2009）を参考とすると、弥生時代後期前葉および弥生時代中期末～後期初頭頃という年代観が想定される。なお、今回の測定に供した炭化材は、いずれも辺材部が残存しない破片であったため、木材の使用（伐採）年代よりも古い値を示している可能性を考慮する必要がある。

II. 樹種同定

1. 試料

試料は、古代の掘立柱建物に伴う柱材、古代および中世の井戸址、近世の溝跡などから出土した木製品133点（試料番号1～133）である。このうち、試料番号84（D63№14）は、元の形状が不明の木片で、保存状態も悪いことから、同じD63の分析対象外となっている木製品中より状態が良好な№18-3と差し替えを行っている。また、試料番号122は、肉眼観察時に形状や木取り、樹種が異なる2点（D20№1-1、№1-2）が認められたため、双方を分析対象としている。

2. 分析方法

木製品の木取りを観察した後、剃刀を用いて木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の徒手切片を直接採取する。切片をガム・クロラール（抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類（分類群）を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）、Wheeler他（1998）、Richter他（2006）を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林（1991）や伊東（1995, 1996, 1997, 1998, 1999）を参考にする。

3. 結果

同定結果を表2に示す。分析に供された木製品は、針葉樹6分類群（カラマツ、マツ属複維管束亞属、トウヒ属、ヒノキ、サワラ、ヒノキ科）と、広葉樹4分類群（コナラ属コナラ亞属コナラ節、クリ、ケヤキ、カツラ）に同定された。以下に、各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・カラマツ (*Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere) マツ科カラマツ属

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急で、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、柔組織、仮導管、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。放射柔組織の細胞壁は滑らかで、垂直壁にはじゅず状の肥厚が認められる。分野壁孔はトウヒ型へヒノキ型で、1分野に3~5個。放射組織は單列、1~20細胞高。

・マツ属複維管束亞属 (*Pinus* subgen. *Diploxylon*) マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急へやや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔組織、仮導管、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は單列、1~15細胞高。

・トウヒ属 (*Picea*) マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、柔組織、仮導管、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。放射柔組織の細胞壁は厚く、垂直壁にはじゅず状の肥厚が認められる。放射仮道管の有線壁孔のチ子は主としてトウヒ型。分野壁孔はトウヒ型で、1分野に3~6個。放射組織は單列、1~20細胞高。

・ヒノキ (*Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endlicher) ヒノキ科ヒノキ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかへやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はヒノキ型～トウヒ型で、1分野に1～3個。分野壁孔は、孔口の長軸方向が垂直よりやや斜めになるものが多い。放射組織は単列、1～10細胞高。

・サワラ (*Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endlicher) ヒノキ科ヒノキ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はヒノキ型～スギ型で、1分野に1～3個。分野壁孔は、孔口の長軸方向が水平に近いものが多い。放射組織は単列、1～10細胞高。

・ヒノキ科 (Cupressaceae)

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかへやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔は、スギ型、ヒノキ型、トウヒ型のいずれかであるが、保存が悪く孔口が壊れているため、詳細は不明である。放射組織は単列、1～10細胞高。

上記ヒノキ、サワラを含むヒノキ科のいずれかであるが、分野壁孔が観察できないことからヒノキ科とした。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus*) ブナ科

環孔材で、孔圈部は1～3列、孔圈外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～20細胞高のものと複合放射組織がある。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

環孔材で、孔圈部は3～4列、孔圈外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。

・ケヤキ (*Zelkova serrata* (Thunb.) Makino) ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圈部は1～2列、孔圈外で急激に管径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に紋様状あるいは帯状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1～6細胞幅、1～50細胞高。放射組織の上下縁辺部を中心に結晶細胞が認められる。

・カツラ (*Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc.) カツラ科カツラ属

散孔材で、管孔はほぼ単独で散在し、年輪界に向かって管径を漸減させる。道管の分布密度は高い。道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性、1～2細胞幅、1～30細胞高。

4. 考察

木製品には、カラマツ、マツ属複維管束亜属、トウヒ属、ヒノキ、サワラおよびヒノキ科の針葉樹6分類群と、コナラ属コナラ亜属コナラ節、クリ、ケヤキおよびカツラの広葉樹4分類群の計10分類群が認められた。これらの分類群のうち、ヒノキやサワラは、現在の本遺跡周辺には生育していないものの、群馬県との県境地域には分布するとされる。トウヒ属も遺跡周辺には分布していないものの、浅間山周辺にトウヒ、群馬県との県境の山地にハリモミが分布するとされる。カラマツは、火山災害地などによく生育しており、浅間山周辺は国内でも数少ない自生地の一つである。マツ属複維管束亜属、コナラ節、クリ、ケヤキは人里周辺に普通に見られる種類であり、カツラは谷沿い等に生育する。

また、各分類群の材質的特徴についてみると、針葉樹のカラマツは、やや重硬で強度が高いが、早晚材部の材質差が大きく、加工がやや困難である。マツ属複維管束亜属は、軽軟～やや重硬で、強度と保存性が比較的高い。トウヒ属は、やや軽軟で強度は高いが、保存性は低い。ヒノキやサワラを含むヒノキ科は、木理が直通で割裂性および耐水性が高い。広葉樹のコナラ節、クリ、ケヤキは、重硬で強度が高く、クリやケヤキでは耐朽性も高いとされる。カツラは、広葉樹としてはやや軽軟で、強度や保存性は低い。

今回の分析に供された木製品は、伊東・山田(2012)の木器分類を参考すると、容器（曲物、漆椀、椀？）、食事用具（折敷）、建築部材（柱）、器種不明に分けられる（表3）。なお、井戸址より出土した板、杭および部材につ

いっては、調査所見などからいざれも井戸枠の部材（施設材）と判断されており、出土位置が現位置を保つものについて部材の名称が付されている。

古代の資料は、井戸址（D20）から出土した椀？と、掘立柱建物跡に伴う柱穴より出土した柱材および器種不明がある。椀？は、破片であり、漆塗の痕跡は認められない。針葉樹のヒノキ科を利用することから、加工性の高い木材が選択されたと考えられる。なお、ヒノキ科は、漆器の本地としての利用例もあるが、多くは広葉樹が利用される（伊東・山田, 2012）。また、柱材は、F18のP1, P2がヒノキ（芯去分割材）、P3がヒノキ科（形状不明）であった。この結果から、加工性や耐水性の高い木材の利用が推定される。なお、本地域では、古代の堅穴住居跡から出土した炭化材の調査事例が蓄積されており、聖原遺跡の9世紀後半や10世紀前半とされる堅穴住居跡等でヒノキ属やヒノキ科が確認されていた。今回の結果から、堅穴住居跡の建築材とともに、掘立柱建物跡の柱材としても針葉樹材が利用されていたこと明らかとなった。

中世の資料は、いざれも井戸址から出土しており、井戸枠の部材と考えられる木製品や廃棄されたとみられる木製品（折敷など）から構成される。井戸枠の部材である縦板、桟木および綾杭、部材の可能性がある板、杭、部材等についてみると、5基の井戸址から出土した資料はいざれも多く確認されたサワラをはじめ、ヒノキを含むヒノキ科を主体とする針葉樹材が多数を占める。詳細にみると、D8の芯持（角材）の杭、D63の芯持の綾杭や杭にはマツ属複維管束亜属やカラマツが利用される。一方、芯去分割材で板状を呈する杭（桟木）や杭（綾杭）にはサワラやヒノキ科が利用されており、形状（木取り）によって樹種が異なるという特徴が認められる。また、D8やD9では、杭状を呈する資料（綾杭、桟木、杭など）にコナラ節等の広葉樹材が認められ、いざれも分割材（ミカン割）であるという共通するという特徴も確認された。

また、井戸枠の部材を除く木製品のうち、曲物の底板や側板にはサワラやヒノキ科が認められた。このような木材の利用は、加工性や耐水性の高いという材質等により選択されたと考えられる。折敷（底板）も基本的にはヒノキやサワラが利用されることから、曲物と同様の木材選択が推定される。なお、D63から出土した折敷（試料番号117；No.50-1）は、やや肉厚の柾目板であり、樹種もケヤキであるなど、上記した木材利用と異なる。上記した特徴やケヤキの利用を考慮すると、農耕土木具などの強度を要する器種の可能性がある。

本地域における中世の木材利用についてみると、井戸枠の部材の事例については隣接する道常遺跡においてサワラを主体としてカラマツやヒノキ科等の針葉樹材が確認されている（株式会社アーキジオ、2012）。この他、寺添遺跡の井戸出土木材にサワラを含むヒノキ属、西一本柳遺跡の井戸枠材（板材、横木等）にサワラが確認されており、本遺跡と同様の木材利用が窺える。また、トウヒ属は榛名平遺跡の中世～近世の加工木、カラマツは西一本柳遺跡の中世の用途不明の角材などに認められ（伊東・山田、2012）、調査事例は多くないものの、これらの針葉樹材の利用状況も類似する。

近世の資料は、溝状造構（M55）から出土した漆椀1点である。漆椀は、木取りが横木地板目であり、本地は広葉樹のカツラであった。カツラは、軽軟で解がなく、加工が容易であることから、利用されたと考えられる。

III. 種実同定

1. 試料

試料は、古代および中世の井戸址から出土した種実遺体12試料（試料番号1～12）である。試料の詳細は結果とともに4に示す。

2. 分析方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察する。種実遺体の同定は、現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）、清水ほか（2012）等を参考に実施する。結果は、分類群、学名、部位、状態、計測値、特徴等を一覧表で示し、写真を図版に示す。

3. 結果

同定結果を表4に示す。全12試料を通じて、被子植物4分類群（落葉広葉樹のオニグルミ、アンズ、ウメ、モモ）12個が同定された。栽培種は、D10 曲物内から、アンズの核が1個（試料番号8）、ウメの核が1個（試料番号7）、

モモの核が5個（試料番号5, 6, 9～11）の、計7個が確認された。以下に、確認された種実の形態的特徴等を記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana* (Maxim.) Kitamura) クルミ科クルミ属

検出個体のうち、D20（3層；試料番号2～4）、D9（井戸枠内；試料番号12）の4個は、主に頂部を欠損する破片で、D9（井戸枠内；試料番号12）の表面は、頂部～側面が炭化し黒色を呈す。1本の明瞭な縦の縫合線がある広卵形で、頂部はやや尖る。破片の大きさは1cm以下。核は硬く緻密で断面は平滑。表面には縦方向に溝状の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。核内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・モモ (*Prunus persica* Batsch) バラ科サクラ属

核（内果皮）の完形、破片が検出される。一方の側面にのみ縫合線が顕著に見られる。縫合線に沿って半分に割れている個体とそうでない個体がある。また、ネズミ類の食痕がある個体もある。内果皮は厚く硬く、外側表面は縦に流れる不規則な線状のくぼみがあり、全体として粗いしわ状に見える。

・ウメ (*Prunus mume* (Sieb.) Sieb. et Zucc.) バラ科サクラ属

核（内果皮）の完形が検出される。灰頂部はやや尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。1本の明瞭な縦の縫合線が発達する。内果皮は厚く硬く、表面には円形の小凹点が分布する。

・アンズ (*Prunus armeniaca* L.) バラ科サクラ属

核（内果皮）の完形が検出される。ネズミ類の食痕がある。内果皮は厚く硬く、表面は粗面で不規則なくぼみがある。スモモに似るが縫合線の両側面が稜のようになるため、縦と横の比が小さく円形に近いことで区別される。

4. 考察

井戸址から出土した種実は、オニグルミと、栽培種のアンズ、ウメ、モモの計4分類群が確認された。

D20（I区、3層）やD9（井戸枠内）から出土した種実はオニグルミの核に同定された。オニグルミは、川沿い等の温潤な肥沃地に生育する落葉高木である。堅果類のオニグルミは、子葉が生食可能で栄養価も高く、長期保存可能で収量も多い有用植物であることから、古くから利用され、遺跡出土例も多い。今回確認された出土核には打撲痕と思われる痕跡も認められることから、周辺域の森林より遺跡内に持ち込まれ、利用された可能性も考えられる。

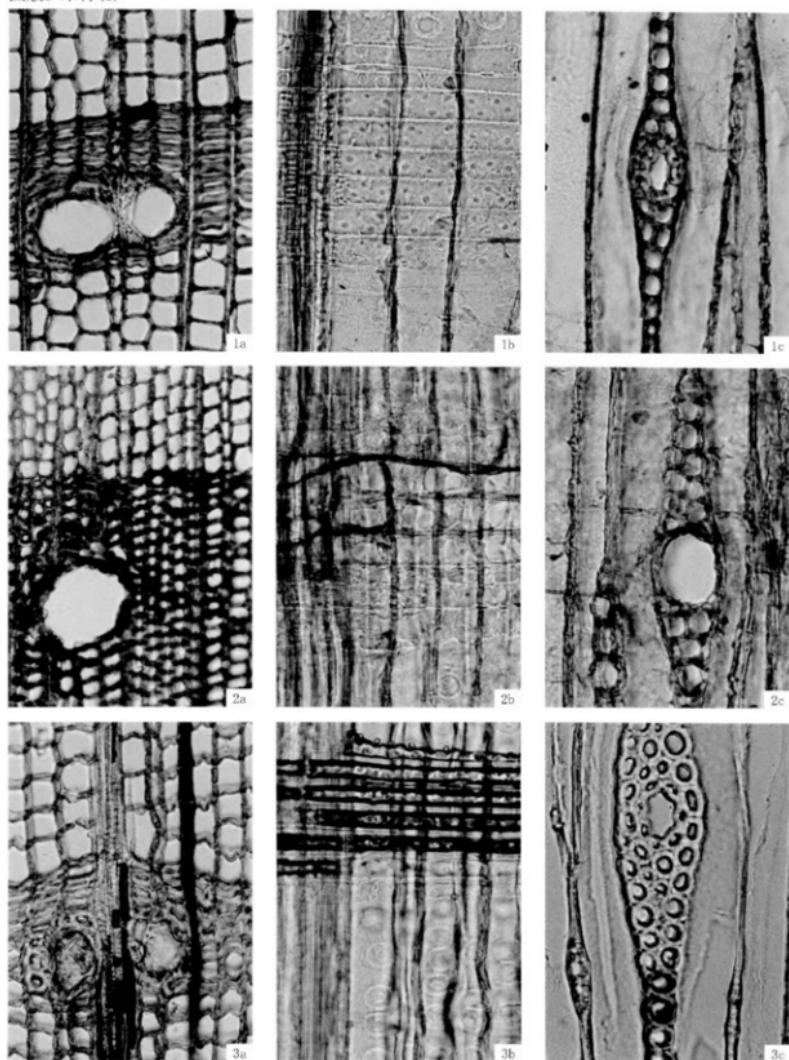
また、中世の井戸埋植（D40 曲物内）から出土した種実遺体には、栽培種のアンズ、ウメ、モモが確認された。これらの栽培種の種実の出土から、これらの果樹の栽培や利用が推定される。なお、井戸埋植内から出土している状況から、遺構内への廻棄、または井戸祭祀等の行為も想定されるが、これらの行為の検討にあたっては、井戸址の埋積状況（過程）や種実遺体以外の遺物の出土状況の確認、さらに本地域における井戸祭祀に関する民俗事例からの検証が望まれる。

引用文献

- 林 昭三, 1991, 日本産木材 順微鏡写真集, 京都大学木質科学研究所.
- 石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑, 石川茂雄図鑑刊行委員会, 328p.
- 伊東隆夫, 1995, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料, 31, 京都大学木質科学研究所, 81-181.
- 伊東隆夫, 1996, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料, 32, 京都大学木質科学研究所, 66-176.
- 伊東隆夫, 1997, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料, 33, 京都大学木質科学研究所, 83-201.
- 伊東隆夫, 1998, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料, 34, 京都大学木質科学研究所, 30-166.
- 伊東隆夫, 1999, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料, 35, 京都大学木質科学研究所, 47-216.
- 伊東隆夫・山田昌久（編）, 2012, 本の考古学 出土木製品用材データベース, 海青社, 449p.
- 株式会社アーキジオ, 2012, 第VIII章 科学分析, 周防畠遺跡群 若宮遺跡IV 道常遺跡 南近津遺跡III 宮の前

- 遺跡 I・II, 佐久市埋蔵文化財調査報告書 第198集, 佐久市教育委員会, 309-330.
- 小林謙一, 2009, 近畿地方以東の地域への拡散、弥生農耕のはじまりとその年代 西本豊弘編, 新弥生時代のはじまり 第4巻, 雄山閣, 55-82.
- 中山至大・井之口希秀・南谷忠志, 2000, 日本植物種子図鑑, 東北大学出版会, 642p.
- Richter H. G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P. E. (編), 2006, 針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘 (日本語版監修, 海青社, 70p. [Richter H. G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P. E. (2004) *IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification*].
- 島地 謙・伊東隆夫, 1982, 図説木材組織, 地球社, 176p.
- 鈴木庸夫・高橋 冬・安延尚文, 2012, ネイチャーウォッキングガイドブック 草木の種子と果実ー形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種ー, 誠文堂新光社, 272p.
- Wheeler E. A., Bass P. and Gasson P. E. (編), 1998, 広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩 (日本語版監修), 海青社, 122p. [Wheeler E. A., Bass P. and Gasson P. E. (1989) *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*].

図版1 木材(1)

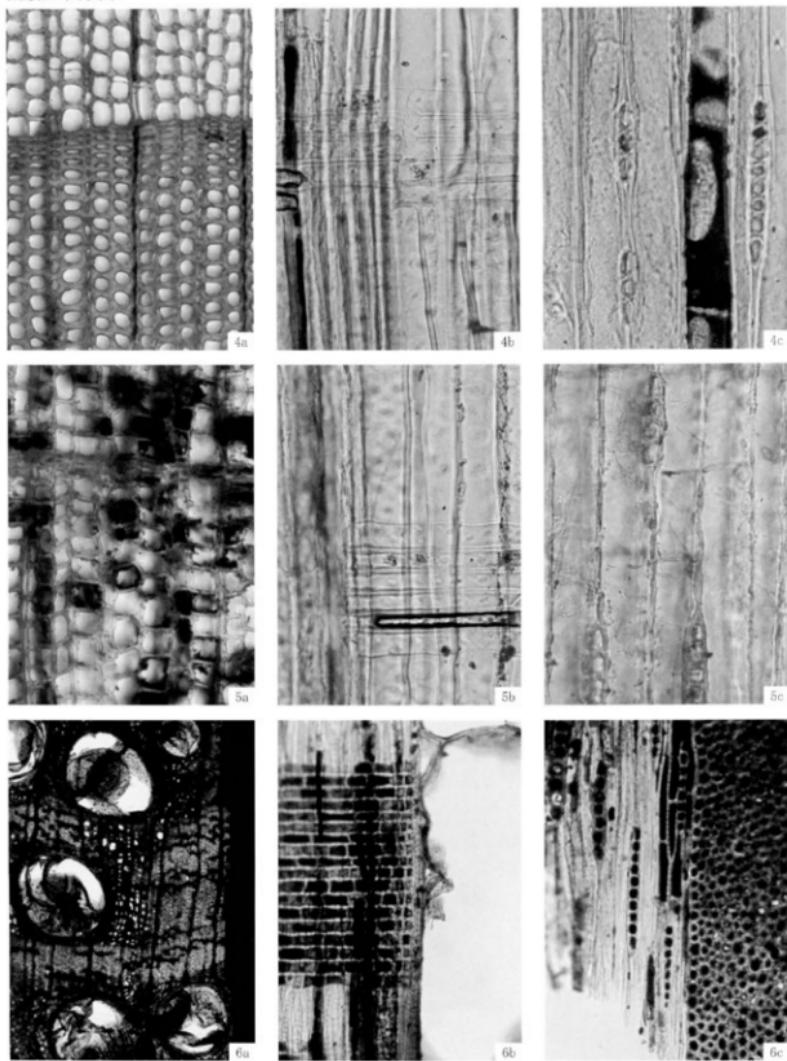


1. カラマツ (D63 No.28;99)
2. マツ属複維管束亜属 (D63 No.26;97)
3. トウヒ属 (D40 No.4-3;127)

a:木口, b:柾目, c:板目

100 μm:a
100 μm:b, c

図版2 木材(2)



4. ヒノキ (D8 No.21;46)

5. サフラ (D6 No.2-2;3)

6. コナラ属:コナラ種属コナラ筋 (D8 No.10;35)

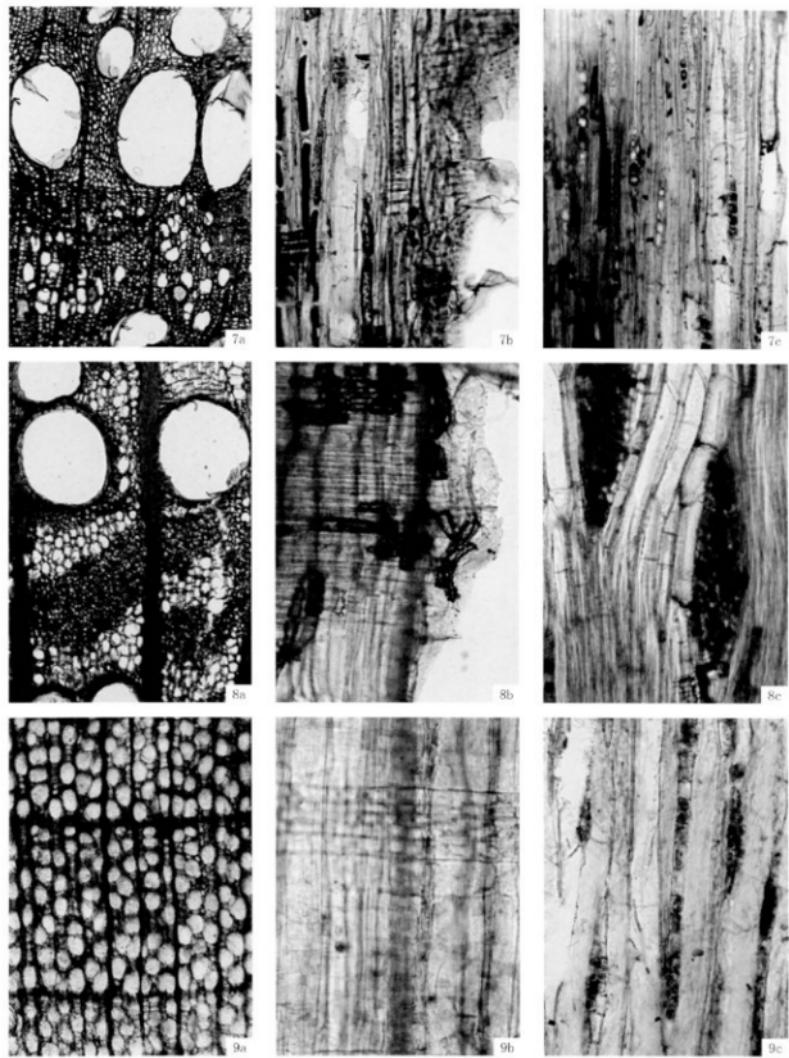
a:木口, b:弦目, c:板目

100 μ m: 6a

100 μ m: 4-5a, 6b, c

100 μ m: 4-5b, c

図版3 木材(3)



7. クリ (D9 No42;68)

8. ケヤキ (D63 No50-1;117)

9. カツラ (M55;133)

a:木口, b:粋目, c:板目

— 100 μ m:a

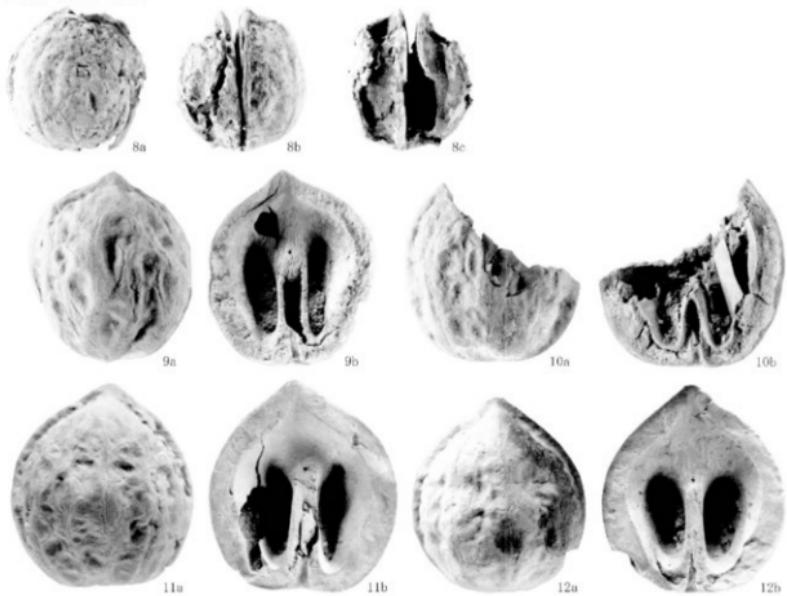
— 100 μ m:b, c

図版4 種実遺体(1)



1. アンズ 核(食痕) (D40 曲物内; 8)
2. ウメ 核(D40 曲物内; 7)
3. モモ 核(食痕) (D40 曲物内埋土; 5)
4. モモ 核(D40 曲物内; 6)
5. モモ 核(食痕) (D40 曲物内; 9)
6. モモ 核(D10 曲物内; 10)
7. モモ 核(D10 曲物内; 11)

図版5 種実遺体(2)



8. オニグルミ 核(D20 1区;1)

10. オニグルミ 核(上部欠損) (D20 3層;3)

12. オニグルミ 核(表面模化・頂部、側部欠損) (D9 井) 3枚内;12)

9. オニグルミ 核(D20 3層;2)

11. オニグルミ 核(D20 3層;4)

5mm

表1. 放射性炭素年代測定および曆年較正結果

試料	測定年代 (yrBP)	δ ¹³ C (‰)	補正年代 (曆年較正用) (yrBP)	曆年較正結果					相對比 CodeNo.						
				a	cal AD	27	-	cal AD	41	cal BP	1,923	-	1,909	0.233	
試料番号1 DB8 炭化材	1,940±20	-25.94±0.19	1,941±22	a	cal AD	48	-	cal AD	81	cal BP	1,902	-	1,869	0.767	IAAA- 131897
					cal AD	9	-	cal AD	12	cal BP	1,941	-	1,938	0.005	
				2a	cal AD	15	-	cal AD	93	cal BP	1,935	-	1,857	0.874	
					cal AD	97	-	cal AD	124	cal BP	1,853	-	1,826	0.121	
試料番号2 DB9 炭化材	2,030±20	-26.07±0.16	2,030±23	a	cal BC	53	-	cal AD	4	cal BP	2,002	-	1,946	1.000	IAAA- 131898
					cal BC	103	-	cal AD	28	cal BP	2,052	-	1,922	0.987	
				2a	cal AD	50	-	cal AD	48	cal BP	1,910	-	1,902	0.913	

表3. 遺構別・器種別種類構成

		古代(8世紀)		古代		中唐(13世紀)								
		D2D	F18	F20		D6		D8		D8		D8		
分類群	物?	不明	柱	不明	曲物	板	杁	部材	不明	杁	板	部材	板	
計葉柄	—	—	—	—	—	—	—	枝木?	枝木	枝木?	—	枝木	枝木	
カツラヅ														
マツ風複縫管束葉属													2	
トクヒ属														
ヒノキ					2		3		1	1				
サワラ							8	1			7	4	2	
ヒノキ科	1	1	1	1						2	3	1		
計葉柄	1	1	1	1										
広葉樹														
コナラ属													4	
クリ													3	
ケヤキ														
カツラ		1												
合計	1	1	3	1	1	11	1	1	1	9	7	6	4	3
		中唐(13世紀)						中唐						計計
		曲物	板	杁	部材	折板	杁	部材	板	杁	部材	板	杁	計計
分類群	物?	—	枝木	—	枝木	—	枝木	枝木	—	枝木	枝木	—	枝木	枝木
計葉柄														
カツラヅ														
マツ風複縫管束葉属														1
トクヒ属														1
ヒノキ														1
サワラ	1	20		1	2	2	4	14	1	4	1	1		15
ヒノキ科	2					1	2		1	1				28
計葉柄	1	22	1	6	2	4	8	17	4	5	3	1	1	18
広葉樹														
コナラ属														11
クリ														2
ケヤキ														2
カツラ														1
合計	1	22	1	6	2	4	8	17	4	5	3	1	1	135

表4. 種害同定結果

試料番号	調査地	出土位置	分類群	部位	状態	数量(個)	計測値 ⁽¹⁾			備考(特徴など)
							長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	
1	D20	H2	オニグルミ	種	完形未満	1	20.6	20.0	19.6	表面激しく摩耗
2	D20	3箇	オニグルミ	種	破片	1	28.6	24.1	13.6	わずかに欠損(4時, 開裂)
3	D20	3箇	オニグルミ	種	破片	1	20.1	26.9	12.2	欠損(2時, 開裂)
4	D20	3箇	オニグルミ	種	破片	1	31.2	27.9	14.1	わずかに欠損(4時, 開裂)
5	D40	曲物内埋土	モモ	種	完形	1	19.7	15.5	13.1	表面-末ズレ-粗食糞
6	D40	曲物内	モモ	種	半分	1	22.7	18.1	8.5	頂部むずむず-欠損
							16.7	11.2	5.2	球内面の種子の跡みの大きさ
7	D40	曲物内	ウメ	種	完形	1	12.3	10.1	7.5	表面には円形の小凹点が分布
8	D40	曲物内	アンズ	種	完形	1	15.8	14.3	9.6	表面は粗糞, 背面下部凹凸-粗食糞
9	D40	曲物内	モモ	種	完形	1	23.2	14.0	12.5	頂部尖る, 表面-末ズレ-粗食糞
10	D40	曲物内	モモ	種	完形未満 (ほぼ半分)	1	20.8	15.6	7.5	縫合線にむじむじ割れ, 半分厚6.3mm
11	D40	曲物内	モモ	種	完形	1	21.1	17.0	14.3	頂部はやや尖る, 丸みがある
12	D9	井戸砂内	オニグルミ	種	破片	1	29.5	25.9	13.1	表面-誤形(2時, 剥離), むずむず(4時, 開裂)→凹凸

*1：計測はデジタルノギスを用いた。欠損部は残存値に「+」で示す。

*2: 本ニグルミ練の欠損部位は、手制画を12等分し、時計の短針に重ねる（上部（頭部）が12時、下部（基部）が6時を示す）。

表2-1 樹種掲載(1)

番号	器種	法量(cm) 板 棟 厚み			木取り	種類・固有 (分類群)	出土場所 (名前)	遺物名	施	種	査	法量(cm) 底 棟 厚み			木取り	種類 (分類群)	出土場所 (名前)
		板	棟	厚み								底	査	厚み			
1	杭	37.3	5.2	2.0	分割材	ヒノキ	Na1		2	不明	34.7	5.5	0.7			Na2	
2	板	36.5	8	0.5	板目	ヒノキ	Na2-1		3	板材	71.5	5.2	2.7			Na4	
3	板	34.5	6.3	0.5	板目	サワラ	Na2-2		4	板	21	4	0.5			Na6	
4	板	32.5	12	0.5	板目	サワラ	Na3		5	板	26.5	3.6	0.3			Na7	
5	不明	32	15.5	3.2	板目	サワラ	Na4		6	板	35.8	3.7	6.3			Na8	
6	桿木	93.5	6.2	3.8	板目	ヒノキ	Na5		7	板	22.2	4.8	0.7			Na9	
7	板	47.7	12	2	板目～査目	サワラ	Na6		8	板	72	7.3	0.9			Na10	
8	板	33	6.4	0.8	査目	ヒノキ	Na7		9	板	40.2	6.3	0.3			Na11	
9	板	45	2.8	1	査目	ヒノキ	Na8		10	板	82	8.2	0.8			Na12	
10	板	46.5	9.5	1.2	査目	サワラ	Na9		11	板	19.5	4.3	1.3			Na13	
11	板	35.8	16.7	0.6	査目	サワラ	Na10		12	板	40	16.5	3.3			Na15	
12	木舟?	73	7	4.2	分割材	サワラ	Na11		13	不明	22.2	5.6	0.5			Na17	
13	不明	29.5	18.2	2.3	板目	サワラ	Na12		14	不明	27.5	2.7	1.8			Na18	
14	不明	24.7	13	3.2	板目	サワラ	Na13		15	杭	64	8.2	2.1			Na21	
15	不明	24	15.4	4	板目	ヒノキ	Na14-1		16	板	61.5	5.8	1.8	査目	サワラ	Na22	
16	不明	23	11.3	16.8	分割材	サワラ	Na15		17	漆舟	59	16.5	1	板目	サワラ	Na23	
17	不明	30.8	8	2.5	板目	サワラ	Na16		18	板	25	16.5	0.5	板目	サワラ	Na24	
18	不明	34.5	15.2	3.7	査目	サリラ	Na17		19	板	57.8	17	1.5	査目	サリラ	Na25	
19	板	34.5	17.9	3.5	板目	サワラ	Na18		20	板	65	19	2.3	板目	サワラ	Na26	
20	板	26.4	12.6	3.9	板目	サワラ	Na19		21	板	33.5	9.5	1.5	査目	サリラ	Na27	
21	板	54	7.8	1	査目	サワラ～漆化	Na20		22	板	94	11	0.8	板目	サワラ	Na28	
22	不明	28.5	1.6	0.8			Na21		23	板	97.5	15.5	1	板目	サワラ	Na29	
23	漆縫	29.5	4.8	2.5			Na22		24	板	72	4.5	2.5	分割材	ヒナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na29	
24	不明	16.4	13.2	2			Na23		25	板	20.6	4.5	1.8	分割材	クリ	Na31	
25	不明	30.6	11.3	3.5			Na24		26	板	31.5	9.2	0.5	板目	サワラ	Na32-1	
26	杭	21.8	19.6	9			Na25		27	板	43.5	7.5	6.5			Na32-2	
27	不明	28.7	13.3	3	査目	サワラ	Na26		28	板	29.6	6.5	0.5			Na32-3	
28	杭	22	4.8	3			Na27		29	板	43	11.2	2.4	査目	サリラ	Na33-1	
29	杭	39.7	10.3	8.4			Na28		30	半舟	42	2.7	2.7			Na33-2	
30	杭	18.3	8	1.5			Na29		31	板	32	13.6	1.2	査目	ヒノキ	Na34-1	
31	不明	23	12.3	3			Na30		32	板	26.5	7	1			Na34-2	
32	舟形物	22.5	16.2	0.5	板目	ヒノキ	漆舟?有	Na31	33	板	49.3	16.2	1.2	板目	ヒノキ	Na35	
33	不明	9.3	4	1.2	板目	ヒノキ	Na14-2		34	漆舟	51.1	12.9	0.8	板目	サワラ	Na36-1	
34	不明	12.2	1.5	0.2			Na15		35	板	58.4	4.2	1			Na36-2	
1	埋板	51.5	20.7	3	板目	ヒノキ	一部に樹皮	Na1	36	板	27.5	6.5	0.8			Na36-3	
2	埋板	54.4	31.1	3.8	板目	ヒノキ	Na2		37	板	54.8	17.2	2.3	板目	サワラ	Na37	
3	板	52.0	12.5	2.5	板目	ヒノキ	Na3		38	板	75	6.5	2.2	分割材	サワラ	Na38	
4	埋板	44.8	7.8	7.4	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na4		39	板	68.5	45.5	3.7	板目	サリラ	Na39	
5	桿木	76	4.2	3.5	板目	ヒノキ	漆コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na5	40	板	37.8	16.2	1.4	板目	サワラ	Na40	
6	埋板	52.3	29.5	2.8	板目	サワラ	Na6		41	杭	58.2	5	2.6	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na41	
7	板	96.5	49	3.7	板目	サワラ	Na7		42	漆舟	54.5	5.2	3	分割材	クリ	Na42	
8	板	53.2	20.5	2.3	板目	サワラ	Na8		43	杭	73.2	4.8	4.1	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na43	
9	板	24	9.5	1.7	板目	ヒノキ	Na9-1		44	板	49.3	32.2	3.6	板目	サワラ	Na44	
10	板	41	8.8	1	板目	ヒノキ	Na9-2		45	板	51.6	4.5	6.6	板目	サワラ	Na45-1	
11	桿木	28.5	5	3.5	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na10		46	板	43.5	3.1	9.0	板目	サワラ	Na45-2	
12	杭	44.6	4.3	1.9	板目	ヒノキ	Na11		47	板	39.6	1.7	9.5	板目	サワラ	Na45-3	
13	埋板	53.1	26.5	2.6	板目	サワラ	Na12		48	杭	74	5.2	2.6	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na46	
14	埋板	65.5	30.5	2.8	板目	ヒノキ	Na13		49	板	67.2	13.0	1	板目	サワラ	Na47	
15	埋板	44	8	6.8	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na14		50	板	92.5	11	1.2	板目	サワラ	Na48	
16	木舟?	88.4	6.5	4.5	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na15		51	板	33.4	6.6	0.3	板目	サワラ	Na49	
17	埋板	73.3	8.3	7.8	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na16		52	板	36	8.7	0.6	板目	サワラ	Na51	
18	埋板	58	8.8	2.4	分割材	コナラ風コナラ漆縫コナラ筋	Na17		53	板	42.3	7.3	6.5			長下縫	
19	杭	49.5	8.5	6.8	芯材	マツ属複数管束材	Na18		54	板	61.7	5.5	2.5			長下縫	
20	埋板	71.5	27.7	2.2	板目	サワラ	Na19		55	板	47.5	5	6.7			被下縫	
21	埋板	64.6	24	1.2	板目	サリラ	Na20		56	板	61.8	8.2	1			被下縫	
22	板	62.5	12.6	1.4	板目	ヒノキ	Na21		57	板	32.7	5.5	1			被下縫	
23	板	56.2	9	8.6	芯材角材	マツ属複数管束材	Na22		58	板	62.2	5	1			被下縫	
24	不明	20	3.6	1			Na23		59	板	28.6	4.6	9.7			被下縫	
25	不明	9.6	2.2	1.8			Na24		60	板	49.4	8.6	9.7			被下縫	
26	不明	6.5	1.7	0.4			Na25		61	不明	53.6	2.9	0.7			被下縫	
27	不明	12.8	2.3	0.5			Na26		62	杭	47	9.5	3.5			島下縫	
28	築?	19.5	6.5	6.3			Na27		63	板	25	8.1	9.6			被下縫	
29	不明	31.2	8.5	1.8			Na28		64	漆舟	30	8.8	1			島下縫	

表2-2 樹種掲載(2)

遺 物 名	器 種	法 面(cm)			木取り	種 類・品 名 (分類別)	出土 地 名	遺 物 名	法 面(cm)			木取り	種 類 (分類別)	出土 地 名			
		縦	横	厚み					縦	横	厚み						
65	板	29	5	0.7				遺下層15	40	底	10.5	1.5	板目	サワラ	N-37		
66	板	29	8.5	0.8				遺下層16	41	底板	44	13.6	1.3	板目	サワラ	N-38	
67	板	19	6	0.3				遺下層16	42	底板	111	36	3.8	板目	ヒノキ科	N-39	
68	曲げ物側	22.6	9	1	板目	サワラ		N-39	43	底	106.2	36	3.8	板目～板目	サワラ	N-40	
69	曲げ物	16	5.2	0.5				遺下層16	44	底	59.6	5.4	0.8			N-41	
70	曲げ物	17.2	2.9	0.5				遺下層16	45	底木	83.4	5	4.7	分割材	サワラ	N-42	
71	不明	10.7	6.1	0.3				N-4	46	底木	83.1	5.5	4.2	分割材	サワラ	N-43	
72	板	14.3	5.7	0.5				N-5	47	底	83	5.6	3.8	分割材	ヒノキ科	N-44	
73	板	17.7	3.2	2				N-14	48	底	95.5	12.0	1.3			N-45	
74	板	11.8	2.7	0.5				N-16	49	底	82.7	4.8	4.4			N-46	
75	板	8	2.6	0.2				N-17	50	底材	33.9	2.3	0.7	板目	ヒノキ	N-47-2	
76	板	14.5	9.2	2.2				N-18	51	底	58.3	14.1	2			N-48	
77	板	11.3	7	0.8				N-19	52	底	95.6	12.9	1.2			N-49	
78	板	14	5.7	1				N-20	53	底	74.7	13.2	1.2	板目	サワラ	N-50	
79	板	16.6	9.2	0.5				N-21	54	底	74	8.6	0.5	板目	サワラ	N-51	
80	鉢材	8.4	4.3	1.5				N-22	55	底	41.7	13.8	0.8			N-52	
81	鉢材	12	6	0.8				N-23	56	底	32.2	8.2	0.5			N-53	
82	鉢材	23	8.7	0.8				N-24	57	不明	28	3.6	0.4			N-54	
83	鉢材	12.2	2	0.5				N-25	58	不明	26.5	1.5	0.5			N-55	
84	板	13.6	6.7	0.5				N-26	59	不明	26.3	4.2	0.5			N-56	
85	板	15.8	2	0.5				N-27	60	鉢材	31.6	4.8	0.5			N-57	
1	桿木	26.5	4.3	4	分割材	サワラ		N-28	61	不明	28.7	5.7	0.8			N-58	
2	桿木	81	4.1	2.5				N-29	62	鉢	33.9	11.8	0.7	板目	サワラ	N-59-1	
3	桿木	81	8.3	4.5	分割材	サワラ		N-30	63	鉢	20.8	15.8	0.8	板目	ヒノキ	N-59-2	
4	桿木	82	4	2.5	分割材	ヒノキ科		N-31	64	鉢	33.7	24.4	0.8	板目	サワラ	N-59-3	
5	不明	27	18.6	1.3	板目	サワラ		N-32	65	鉢	32.0	14	0.7	板目	ヒノキ	N-59-4	
6	板	62.3	17	1.6	板目	サワラ		N-33	66	底	7.3	2.8	0.8			N-60	
7	縦板	81	18.2	1.5	板目	サワラ		N-34	67	底	16.4	6.2	1			N-61	
8	板	96.8	23.2	3.9	板目	サワラ		N-35	68	底	42.6	7.2	2.2			N-62	
9	縦板	110.8	46.2	5.2	板目～板目	サワラ		N-36	69	不明	8	1.9	0.8			N-63	
10	板	66.3	16.5	1	板目	サワラ		N-37	70	不明	8.2	1.7	0.8			N-64	
11	不明	46.2	6.5	0.4	板目	サワラ		N-38	71	木片	3	1	0.2			N-65	
12	板	89.5	10.5	2.1	板目	サワラ		N-39	72	不明	7.3	2.3	0.5			N-66	
13	板	64.5	6.1	0.3				N-40	73	不明	14.7	1.5	0.8			N-67	
14	板	37.1	5	0.3				N-41	74	不明	11.8	2.3	0.6			N-68	
15	板	97.3	18.2	2.4	板目	ヒノキ科		N-42	75	不明	6.8	6	0.5			N-69	
16	板	69.0	12.9	3.3	板目	サワラ		N-43	76	不明	7.8	7.3	1.2			N-70	
17	板	73.8	12.1	0.5	板目	サワラ		N-44	77	不明	3.2	8.1	0.9			N-71	
18	板	46.5	7.4	0.5	板目	サワラ		N-45	78	不明	22.8	2.8	0.7			N-72	
19	不明	46.7	7	0.5				N-46	79	不明	6.7	4.7	1			N-73	
20	縦板	26.2	18.5	1.8	板目	サワラ		N-47	80	不明	15	3.5	3			N-74	
21	縦板	71.3	8.8	1.5	芯角材	マツ根根皮束茎葉		N-48	81	不明	3.3	3.3	0.4			N-75	
22	縦板	70.7	12.1	9.8	芯角材	マツ根根皮束茎葉		N-49	82	木片	4.2	1.5	0.1			N-76	
23	縦板	76.2	11.5	19.7	芯角材	マツ根根皮束茎葉		N-50	83	木片	82.5	7.5	6.3	分割材	サワラ	N-77	
24	板	189.2	12	19.3	芯材	カラマツ		N-51	84	木片	86.7	8	5.3	分割材	サワラ	N-78	
25	板	72.6	14	2.5	板目	ヒノキ科		N-52	85	木片	82.8	8.5	4	分割材	サワラ	N-79	
26	板	68.2	7.8	1.2	板目	サワラ		N-53	86	木片	86	8.2	8.3	分割材	サワラ	N-80	
27	板	44	12.2	1.5	板目	サワラ		N-54	87	木	40.3	9.2	1.2			N-81	
28	板	74.5	37	3.3	板目	サワラ		N-55	88	木	28.3	5	0.9	板目	トウヒ属	N-82	
29	不明	35.5	4	0.8				N-56	89	木	40.3	9.2	1.2			N-83	
30	不明	27.5	3.3	0.3				N-57	90	木	28.3	5	0.9	板目	トウヒ属	N-84	
31	不明	50.2	10.7	1.2				N-58	91	木	70	8.3	0.3			N-85	
32	不明	45.2	6.7	1.3				N-59	92	木	64.2	14	0.5	板目	ヒノキ科 墓舎	N-86	
33	板	79.7	37.9	4.1	板目	ヒノキ		N-60	93	D	1	不明	27	4	3.3		N-87
34	縦板	75	16.2	2.6	板目	ヒノキ		N-61	94	D	2	不明	27.7	4.3	4		N-88
35	縦板	79.7	34.2	3.2	板目	サワラ		N-62	95	1	堆	16.2	10.3	4	分割材	ヒノキ	P-1
36	板	72.3	29.7	3.5	板目	サワラ		N-63	96	2	堆	7	2.8	0.3	分割材	ヒノキ	P-2
37	不明	44.5	9.6	0.7				N-64	97	2	生	11.5	9.6	4.5	健方	ヒノキ科	P-3
38	不明	41.1	4.7	0.5				N-65	98	1	不明	6.1	3.2	0.7	礫石	ヒノキ科	P-4
39	不明	27.3	3.9	0.3				N-66	99	1	漆喰	4	5.5	0.8	楳木板目	カツラ 漆喰	

第2節 大豆田遺跡IV出土蓋型土器残存圧痕のレプリカ法調査

首都大学東京大学院 遠藤英子

土器圧痕にシリコン樹脂を充填してレプリカを採取し、それを走査型電子顕微鏡（SEM）で観察するレプリカ法は、圧痕を残した様々な原因物質の推定に有効な方法であるが（丑野・田川1991）、なかでも圧痕からそれを残した植物種子を同定できる確実性の高い研究法として、生業研究の分野で近年急速に普及してきている。中部高地では縄文晩期末から弥生時代前期にかけての資料の調査が数多く実施されており、当該期この地方にアワ・キビの雜穀栽培が広く展開していたことが明らかとなった（中沢ほか2010、遠藤・高瀬2011、中山・佐野2012、遠藤2012など）。今回、本報告書作成中に見いだされた、非常に多くの圧痕を残す蓋型土器について、このレプリカ法調査を実施する機会を得たので、その結果をご報告したい。

この蓋型土器の詳細については本文（IV章5節）を参照いただきたいが、種子由来と推定される圧痕が土器内面21点、外面29点、つまみ部分7点、断面11点の計68点観察された。土器の遺存はおよそ全体の半分ぐらいであり、また小さすぎて型取りが難しいと考え採取を見送った圧痕も多いため、本来はこの倍以上の圧痕が存在していた可能性が高い。圧痕は断面を含めた様々な部位に観察され、しかも全てが土器胎土をオーバーハングさせて内部に潜り込んでいる圧痕形態であったため、おそらくは粘土の状態で種子が混入したものと推定される（遠藤2014）。またこのような密度の高い圧痕の残存については、これまでの調査でも経験がない非常に稀な資料であり、おそらくは土器製作者が意図的に圧痕を残したものと考える。

調査は、まず肉眼および10倍のルーペにより土器の内外面や断面を観察し、種子由来と推定される圧痕を検出し、圧痕内を柔らかくバタ毛歯ブラシなどでクリーニングしたうえで、①離型剤（アセトン+パラロイドB-27）の塗布、②シリコン樹脂（トクヤマデンタル社製トクヤマフィットスター）の充填、③レプリカの取り出し、④アセトンによる離型剤の除去、⑤レプリカの走査型電子顕微鏡（KEYENCE VE-8800）による観察、撮影、同定、記録という、福岡市埋蔵文化財センター方式（比佐・片多2005）に基づく手順で実施した。

また種子の同定は、現生種子との形態的比較により行うが、主な栽培穀物の同定基準は以下の通りである。

①イネ *Oryza sativa* : 玄米が内外顎に包まれた卵の状態で検出されることが多い。卵の側面観は紡錘

形で、維管束が腹面、両側面、背面に各1本ずつ縱走することから、内外顎組織で凹凸のある表面

形態を呈している。内外顎の表皮細胞には顆粒状突起（直径約50 μm）が観察される。

②アワ *Setaria italica* (L.) P.Beauv. : 内外顎の残存した有ふ果の状態で観察されることが多く、背腹面観は卵形円形～梢円形で、先端は鈍頭であり突出しない。側面観は、やや狭い卵状梢円形になり、背面（外顎）側が膨らみ、腹面（内顎）側がやや平坦な個体が多いが、両方が膨らむ場合もある。内外顎の表皮細胞にはエノコログサ属特有の乳頭状突起が認められ、特に外顎の乳頭状突起の直径が15–20 μmであることや、それぞれの突起が歯状に連なることなく独立している特徴は、アワの野生種エノコログサ (8–15 μm)との区分の指標の一つとされる（Nasu et al 2007）。内外顎の境目には乳頭状突起のない滑らかな部位が三日月状に観察される。内外顎の剥けた穎果の状態で観察されるレプリカ資料もわずかにみられるが、この場合は粒長の2/3ほどの長さでA字形をした胚がみられる。

③キビ *Panicum miliaceum* L. : アワと同じく有ふ果の状態で観察されることが多いが、アワと比べて大型で、背腹面観は倒広卵形、側面観は内顎側と外顎側の両方が膨らむ個体が多い。内外顎の表皮は平滑で、アワのような乳頭状突起はない。果皮がアワより厚いので、外顎が内顎を包み込む部分で明瞭な段差がつく。穎果の状態で観察される資料もわずかにみられ背面の中央には粒長の1/2ほどの長さの胚がみられる。

68点のレプリカを採取し走査型電子顕微鏡で観察したところ、イネ卵3点、アワ有ふ果18点、穎果1点、キビ有ふ果11点を同定した。

先行研究からは水田稻作の定着が遅れる中部高地においても中期後半の栗林式期には本格的な水田稻作が開始され、それ以降確実に水田稻作が拡大していくと理解されていると思われるが（中山2010、小山2014など）、今回の調査ではイネ3点に対してアワ・キビが30点と、栽培穀物のパッケージは雑穀がおおきく上回る結果となった。とはいっても今回はたった1点の出土資料を対象としたデータであり、この結果から遺跡全体の栽培穀物を推定すること

は早計であろう。土器圧痕は非常に限られたチャンスで形成されると予測されるため本来は出土資料全体を対象とした悉皆調査が望ましい。従って分析は今後の調査に委ねたいが、実は中部高地や関東地方のレプリカ法調査では同様の結果が得られており、たとえば水田や水利施設が検出され埼玉県下における本格的な水田稲作社会の到来と考えられてきた熊谷市北島遺跡や隣接する前中西遺跡、また中期から後期の時間幅を持つ和光市牛王山遺跡でもイネと雜穀が相半ばする結果を得ている。一方フローテーションによる炭化種子データでも志木市田子山遺跡の弥生時代後期住居1軒からはイネ81,481点にたいしてアワ194,993点が同定されている（高瀬・遠藤2010）。今回の箱清水期の蓋は、本格的な農耕社会成立後は次第に稲作に特化していくと考えられてきた予測とはやや様相の異なる、多様な弥生農耕の展開を想定させる資料となるかもしれない。もちろん佐久地域内においても遺跡立地による栽培形態の差異も予測される。今後のデータの蓄積が望まれる。

引用文献

- 丑野 翠・田川裕美1991「レプリカ法による上器圧痕の観察」『考古学と自然科学』24 日本国文化財科学学会13-36頁
 遠藤英子2012「縄文晩期末の土器棺に残された雜穀」『長野県考古学会誌』140長野県考古学会43-59頁
 遠藤英子2014「種実由来器圧痕の解釈について」『考古学研究』60-4考古学研究会62-72頁
 遠藤英子・高瀬克範2011「伊那盆地における縄文時代晩期の雜穀」『考古学研究』58-2 考古学研究会 74-85頁
 小山岳夫2014「佐久地方北部の弥生集落の変遷ー主として栗林期ー箱清水期ー」『熊谷市前中西遺跡を語る』関東弥生文化研究会／埼玉弥生土器観会263-278頁
 高瀬克範・遠藤英子 2010「埼玉県志木市田子山遺跡第31地点弥生時代21号住居出土炭化種子の分析」『古代学研究所紀要』12明治大学3-13頁
 中沢道彦・佐々木由香・須賀浩郎・米田恭子・竹原 学 2010「長野県松本市石行遺跡出土縄文時代晩期末氷I式土器のアワ圧痕とその評価に向けて」『日本考古学協会第76回総会研究発表要旨集』46-47頁
 中山誠二2010『植物考古学と日本の農耕の起源』同成社
 中山誠二・佐野 隆2012「縄文時代終末期のアワ・キビ圧痕ー山梨県屋敷平遺跡の事例」『山梨県考古学協会誌』21 85-97頁
 比佐陽一郎・片多雅樹2005『土器圧痕レプリカ法による転写作業の手引き』福岡市埋蔵文化財センター
 Nasu,H. Momohara,A.Yasuda,Y.He,J.2007 The occurrence and identification of *Setaria italica*(L.) P. Beauv. (foxtail millet) grains from the Chengtoushan site (ca.5800cal B.P.) in central China, with reference to the domestication centre in Asia Vegetation history and archaeobotany 16:481-494

第1表 種子同定一覧

番号	規則	採取箇所	規定	種子の形態	認証番号	番号	部位	検出量	規定	種子の形態	認証番号	番号	部位	検出量	規定	種子の形態	認証番号
0001	つまみ	外面	アワ	有ふ果	0026	胴部	外-ai	アワ	有ふ果	0047	胴部	内面	キビ?	有果			
0005	つまみ	外面	アワ	有ふ果	0027	胴部	外面	キビ	有ふ果	0048	胴部	内面	キビ	有ふ果	図2-5		
0007	つまみ	外面	キビ	有ふ果	0028	胴部	外面	アワ	有ふ果	0049	胴部	内面	キビ	有ふ果			
0008	胴部	外面	イネ	穂	0029	胴部	外面	キビ?	不明	0051	胴部	内面	アワ	有ふ果			
0010	胴部	外面	アワ	有ふ果	0030	胴部	外面	アワ	穂果	0052	胴部	内面	イネ	穂	図2-6		
0011	胴部	外面	アソ	有ふ果	0031	胴部	外面	キビ	有ふ果	0053	胴部	内面	アソ	有ふ果			
0013	胴部	外面	アワ	有ふ果	0032	胴部	外面	アワ	有ふ果	0054	胴部	内面	アワ?	有ふ果			
0015	胴部	外面	キビ	有ふ果	0034	胴部	外面	アワ	有ふ果	0056	胴部	内面	キビ	有ふ果			
0016	胴部	外面	キビ	有ふ果	0036	胴部	外面	アワ	有ふ果	0058	胴部	内面	キビ	有ふ果			
0018	胴部	外面	アワ	有ふ果	0039	胴部	内面	アワ	有ふ果	0059	胴部	内面	キビ?	小明			
0020	胴部	外面	アソ	有ふ果	0040	胴部	内面	キビ?	不明	0063	胴部	内面	アソ	有ふ果			
0021	胴部	外面	イネ	穂乳	0043	胴部	内面	キビ	有ふ果	0065	胴部	内面	アワ	有ふ果	図2-7		
0022	胴部	外面	アワ	有ふ果	0045	胴部	内面	アワ?	有ふ果	0067	胴部	内面	アワ	有ふ果	図2-8		
0025	胴部	外面	キビ	有ふ果													



図1-1:土器内面の大きなイネ圧痕(中央)と小さな雜穀圧痕



図1-2:土器断面にも観察される圧痕

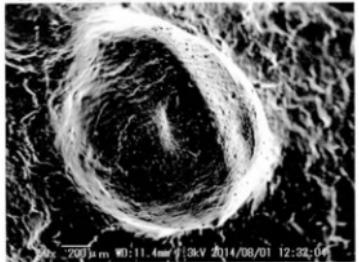


図1-3:外頭表面に乳頭状突起が観察されるアワ有ふ果

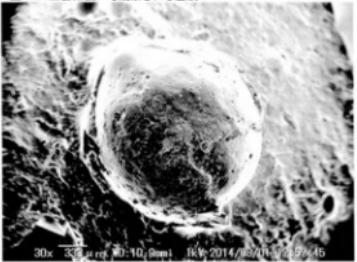


図1-4:表面が平滑で内外頭の境目に段差があるキビ有ふ果

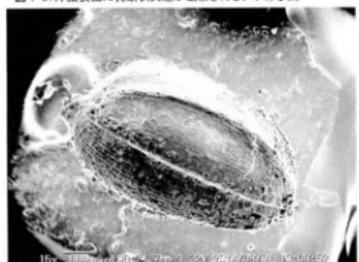


図1-5:筋縫形で、維管束による凸凹、表面に顆粒状突起のあるイネ軸

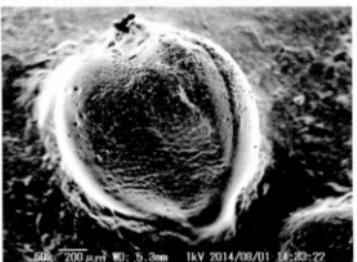


図1-6:内外頭境目に平滑な三日月状部位が観察されるアワ有ふ果

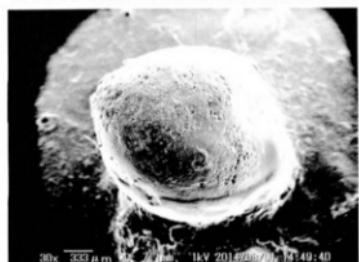


図1-7:ツンと尖る倒広卵形で、内外頭の表皮は平滑なキビ有ふ果

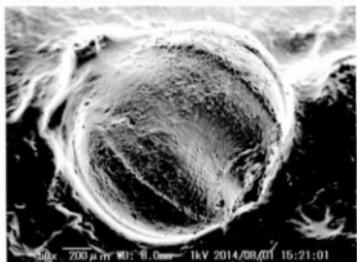


図1-8:内頭側の乳頭状突起と平滑な三日月状部位が見えるアワ有ふ果

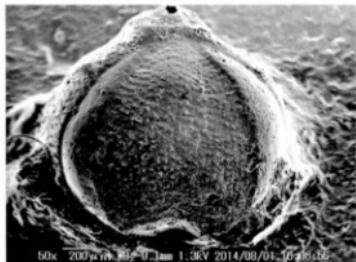


図 2-1: アワ有ふ果内外縁の乳頭状突起とその境目の三日月状部位

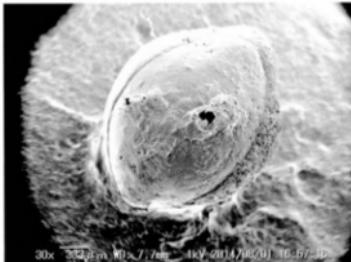


図 2-2: 内外縁の段差と平滑な表面状態が観察されるキビ有ふ果

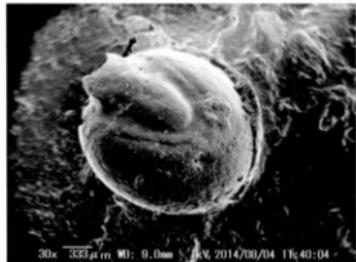


図 2-3: 粒長 2 / 3 ほどの長さの A 字形の胚が観察されるアワ詰果

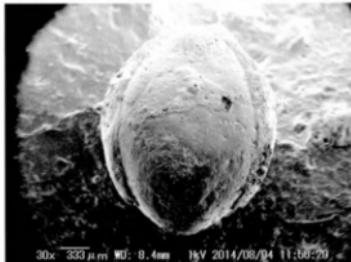


図 2-4: 内外縁の段差と平滑な表面状態が観察されるキビ有ふ果

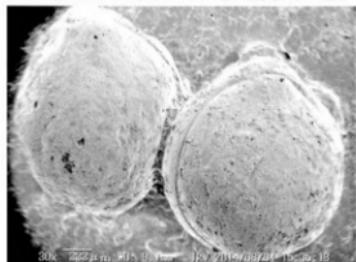


図 2-5: キビ有ふ果が 2 点並りあって観察された



図 2-6: 基部に小筋突が観察されるイネ詰

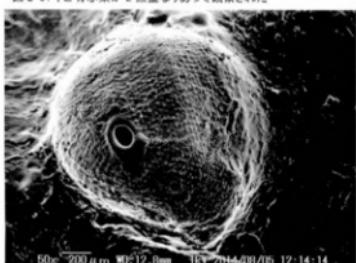


図 2-7: 表皮全面に乳頭状突起が観察されるアワ有ふ果外縁側



図 2-8: やや平坦な内縁側に乳頭状突起が観察されるアワ有ふ果

第3節 大豆田遺跡から出土した動物遺体

植月 学

はじめに

本稿では佐久市大豆田遺跡IVから出土した動物遺体について報告する。遺構の年代は弥生時代、古代、中世、近世に分かれるが、資料の大部分は中世に属する。

1. 方法

同定は現生標本との比較によった。部位や種の同定に至らなかつた標本についても記録し、一覧に記載した。

計測はDreisch(1976)の方法を基本とした。ウマ臼歯の歯冠高については植月（2011）に示した方法により、上顎歯については中心と頬側で、下顎歯についてはこれに舌側も加えて計測した。

年齢推定は西中川・松元（1991）の方法によりおこなつたが、歯根中心が破損している場合には舌側や頬側（両方の場合は平均）の計測値を用いた。この場合には中心での計測値と比較して若干の誤差が生じる可能性がある。

年齢推定は臼歯1点ごとの推定を集計した結果と、同一個体と思われる標本の推定値を平均した個体ごとの結果の2通りで示した。後者の方が集団の年齢構成を示すにはより正確だが、同一個体が離れて出土した場合には認識できず、重複してカウントしてしまうという問題点がある。前者は残りの良い個体の値が強く反映されることになるが、この条件はどの遺跡でも同じなので、年齢構成を相対的に比較する上ではより公平だと考えられる。なお、同一個体の左右臼歯列が存在し、計測を省略した場合にも年齢推定値は左右両側で集計している。

2. 結果

(1) 組成

約123点の標本が含まれていた（細かく破碎された破片の数はいちいち数えていない）。このうち種の同定に至つた標本は96点だった。内訳はウマが93点、ウシが2点、ヒトが1点であった。同定されたのは臼歯の標本が主体である。獣骨も出土しているが、遺存状態が悪く、部位の同定にも至らない標本がほとんどであった。大形の標本が多く、歯の同定結果からウマの骨が主体となる可能性が高い。

時期別にみても、この傾向は変わらない。内訳は下記のとおりである。

古代：ウマ3、中世：ウシ2、ウマ80、近世：ウマ5。なお、弥生時代の遺構からウマ3点、ヒト1点が出土しているが、ウマは混入と考えられている。

(2) 年齢構成（図1）

古代、近世は傾向を論じるには標本が少ない。中世は全標本でみると4歳前後の若い個体が多く、9歳、12歳前後がこれに次ぐ。13歳以上は少ない。個体別でみると9~12歳の割合が増える。

(3) 大きさ

馬歯は加齢による摩耗と共に歯冠長を減じていくので、他の標本との比較の際には歯冠高も考慮する必要がある。そこで、歯冠高が判明した標本について、植月（2011）において集成した東日本の古墳時代～中世遺跡出土馬歯の計測値の散布図へプロットした（図2）。高さと長さの両方を計測できた標本は多くない。最大となる3個体分が計測できた下顎P3、M1、M2で見ると、平均よりも大形の個体2点、平均的な個体が1点みられた（歯種によって異なるが、おおむね三ヶ所遺跡標本を大、塙部遺跡標本を平均、大師東丹保遺跡標本を小とした場合）。

高さ／長さが計測可能であった15点について、中世遺跡の基準3標本の平均的な変化曲線との偏差により求めたLSI (Log Size Index) の平均値は0.0225であった。この値はこれまでに筆者が調査した古墳時代～中世の東日本の馬歯としては最大級の値である。3個体程度の平均なので、この値が遺跡全体を代表しているとは断定できないが、かなり大形の個体が飼育されていったことは間違いない。

3.まとめ

本遺跡で出土した動物遺体は遺存状況が不良で、骨の多くは同定が困難であった。同定可能だったのは主に臼

歯であり、得られる情報は限られるが、以下のような特徴が指摘できる。

- (1) 哺乳類（少なくとも大型獣）の中ではウマが主体となる。この傾向は古代から近世まで一貫しているが、中世以外は標本数が少なく、詳細は不明である。
- (2) ウマの年齢は5歳前後を主体とし、半数程度が8歳までに死亡している。類似の傾向は他の古代～中世遺跡でも見られ、近世になるとより高齢の個体に偏るようである。その背景について、今後遺跡の性格を含めて検討していく必要がある。
- (3) 東日本遺跡出土馬の中でも大形の臼歯を持つ個体が存在した。

末筆ながら貴重な資料を分析する機会をえていただいた佐久市教育委員会および富沢一明氏に深く感謝申し上げる。

引用文献

- 植月 学 2011 「出土馬歯計測値の比較のための基礎的研究」『動物考古学』28 1-22頁
西中川 駿・松元光春 1991 「遺跡出土骨同定のための基礎的研究」『古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究』(平成2年度文部科学省科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書) 164-188頁
Driesch, A. 1976 A guide to the measurement of animal bones from archaeological sites. Peabody Museum of Archaeology and Ethnology, Harvard University

推定 年齢	全標本			個体別
	古代	中世	近世	
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	6	0	6
5	4	17	1	55
6	2	9	1	12
7	0	1	0	1
8	2	2	0	4
9	2	7	0	9
10	0	2	0	2
11	0	5	1	6
12	0	8	0	8
13	0	0	0	0
14	0	0	0	0
15	0	3	0	3
16	0	0	0	0

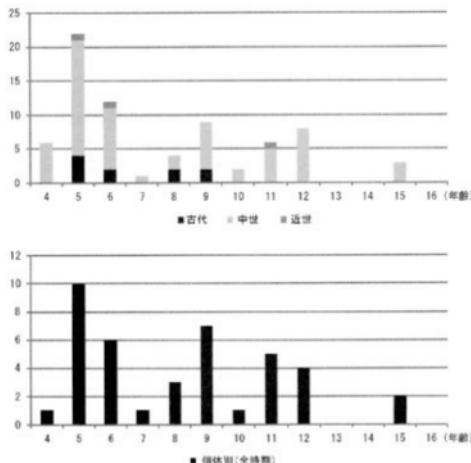


図1 ウマ臼歯による推定年齢の分布

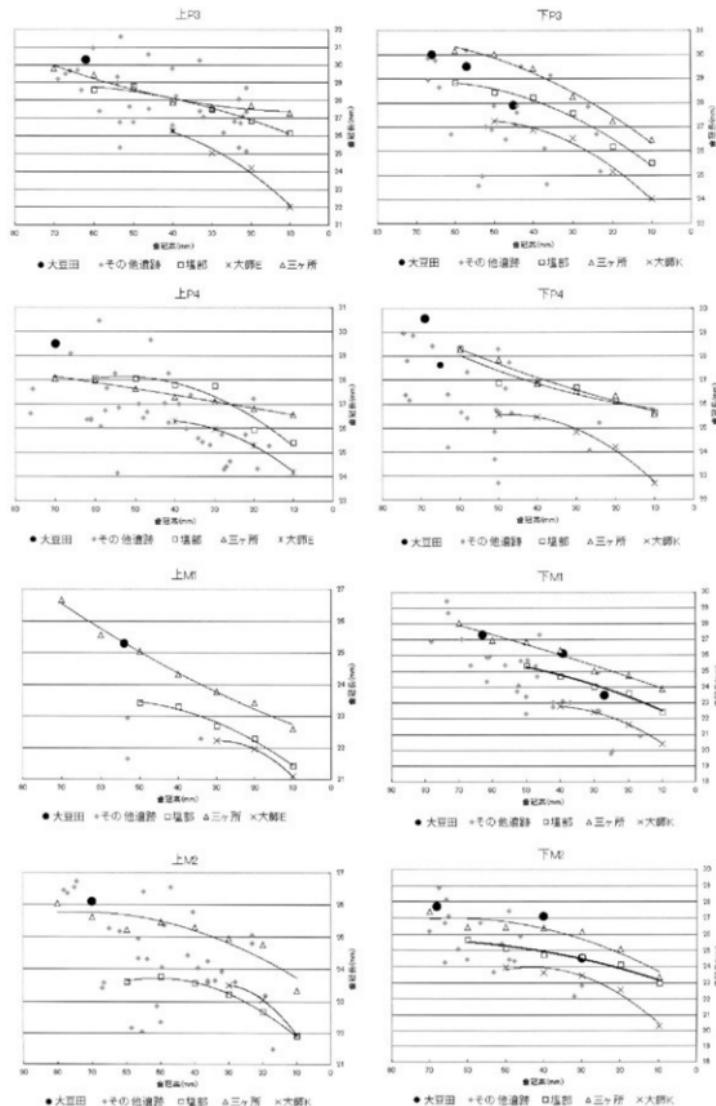
表1 出土動物遺体一覧

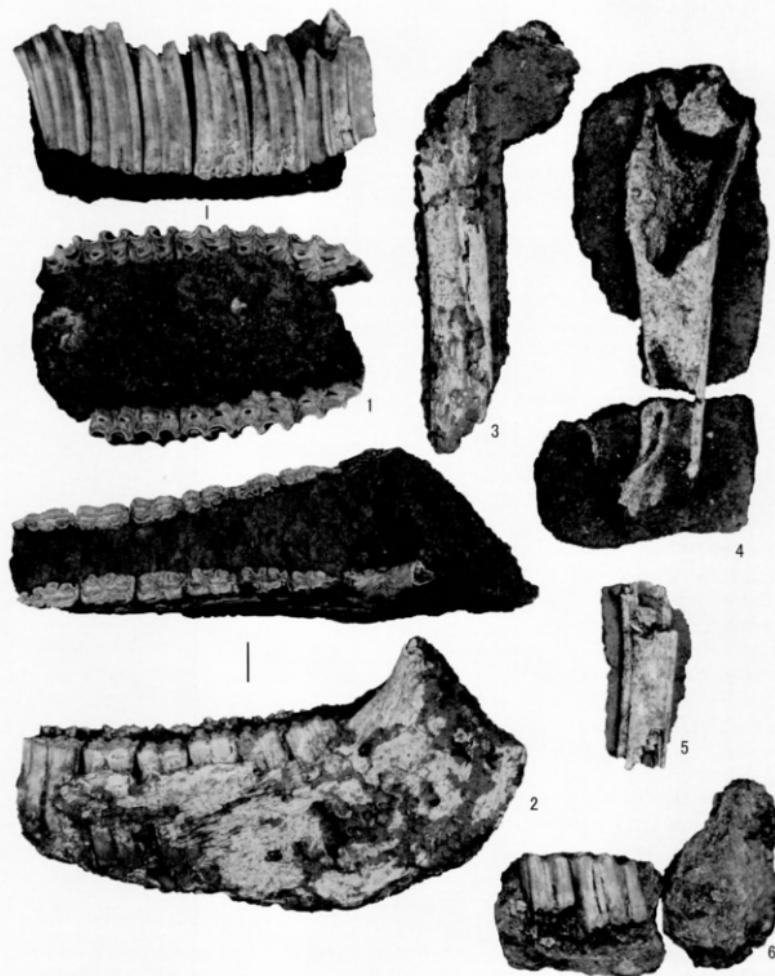
登録番号	遺傳	グリッド	区・面	No.	時期	種	部位	位置	左右	数	通し番号 (福月)	備考	年齢	成耗	致疾	調査	
1	M1		I 区	曾	中世	哺乳類	不可			299							
2	M1		I 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	III	左	1	206-1	206-2と同一個体か					
3	M1		I 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	III	左	1	206-2	206-1と同一個体か					
4	M13		I 区	近世	ウマ	上顎骨	破片	?	1	209							
5	M1		II 区	曾	中世	ウシ/ツバ	四肢骨			309							
6	M1		II 区	曾	中世	ウマ	P2	左	1	203-3							
7	M1		II 区	曾	中世	ツバ	P2	右	1	203-4							
8	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	P3/4	右	1	203-5						
9	M1		II 区	曾	中世	ウマ	上顎骨	P2	右	1	203-1						
10	M1		II 区	曾	中世	ウマ	上顎骨	P3/4	左	1	203-2						
11	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	?	11	203-6							
12	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	III	左	1	204-2	204-3と同一個体					
13	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	III	右	1	204-3	204-2と同一個体					
14	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	III	左	1	204-4	204-5と同一個体					
15	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	III	右	1	204-5	204-6と同一個体					
16	M1		II 区	曾	中世	ウマ	上顎骨	達化境	右	1	332						
17	M1		II 区	曾	中世	ウマ	下顎骨	?	左	1	377						
18	M1		II 区	曾	中世	ウマ?	中手骨?	近端端?	左	1	329						
19	M1		II 区	曾 11	中世	ウマ	上顎骨	P2-3D, 切歯X2	左(右)	1	294	原位置、骨質部消失					
20	M1		II 区	曾 12	中世	ウマ	岩骨		左(右)	1	333						
21	M1		II 区	曾 13	中世	ウマ	下顎骨	[P23M122]	左(右)	1	293	骨質部ほぼ消失	頭				
22	M1		II 区	曾 14	中世	ウマ	下顎骨	?	6	325		右	密				
23	M1		II 区	曾 15	中世	哺乳類	?	破片	?	1	334						
24	M1		II 区	曾 16	中世	哺乳類	?	破片	?	1	331						
25	M1		II 区	曾 17	中世	哺乳類	?	破片	?	1	335						
26	M1		II 区	曾 18	中世	ウマ	下顎骨	?	右	1	543	他の骨片あり					
27	M1		II 区	曾 19	中世	ウマ	下顎骨	P4/4	左	1	328						
28	M1		III 区	曾 20	中世	ウシ/ツバ	四肢骨	?	1	330							
29	M1		III 区	曾 21	中世	ウシ/ツバ	四肢骨	?	1	325							
30	M1		III 区	曾 22	中世	ウシ/ツバ	四肢骨	?	1	324							
31	M1		III 区	古代	哺乳類	?	破片	?	1	316		*					
32	M1		III 区	古代	哺乳類	?	破片	?	2	318		*					
33	M13		II 区	古代	ウマ	頭骨	?	1	319								
34	M14		II 区	近世	ウマ	下顎骨	?	1	312								
35	M14		II 区	近世	ウマ	下顎骨	P4/4 破片	?	1	218							
36	M14		II 区	近世	ウマ	下顎骨	?	破片	?	3	317						
37	M14		II 区	近世	ウマ	下顎骨	?	破片	?	1	320						
38	M14		II 区	近世	ウマ	上顎骨	M3	右	1	323							
39	M14		II 区	近世	ウマ	上顎骨	P3/4	左	1	322							
40	M17		II 区	近世	ウシ/ツバ	四肢骨	?	1	318								
41	M18		II 区	近世	ウシ/ツバ	四肢骨	破片	?	1	311							
42	M18		II 区	近世	ウシ	下顎骨	?	1	321								
43	M18		II 区	近世	ウシ	下顎骨	?	破片	?	1	314						
44	M18		II 区	近世	ウシ	下顎骨	P2-M3	右	1	319		若					
45	M18		II 区	近世	ウシ	下顎骨	?	破片	?	1	322						
46	M18		II 区	近世	ウシ	下顎骨	M1/2	左	1	313							
47	M27		II 区	近世	哺乳類	?	破片	?	1	320							
48	M27	XV II-1	曾	中世	ウシ	下顎骨	[M23]	左	1	283	骨消失む						
49	M27	XV II-5	曾	中世	哺乳類	不可	破片	?		278							
50	M27	XV I-5	曾	中世	ウシ	上顎骨	M1/2	右	1	284-1		若					
51	M27	XV I-6	曾	中世	ウシ	下顎骨	P2	左	1	284-2							
52	M27	XV I-5	曾	中世	ウシ	上顎骨	M1/2	左	1	284-3							
53	M27	XV I-6	曾	中世	ウシ	下顎骨	M3	左	1	282-1	口腔内に複数個骨分						
54	M27	XV I-6	曾	中世	ウシ	上顎骨	P3/4	左	1	282-2							
55	M27	XV I-5	曾	中世	ウシ	上顎骨	P3/4	左	1	282-3							

51	927	XV I-5		中世	ツマ	上顎前	ML	右	1	282-4	歯根肥大	
51	927	XV I-5		中世	ツマ	上顎前	ML/2	左	1	282-5		
51	927	XV I-5		中世	ツマ	上顎前	PL/4	左	1	282-6		
52	927	X-21		中世	ツマ	上顎前	ML/2	右	1	388		
53	927	XV I-5		中世	ツマ	下顎前	PL/4	左	1	287		
54	927	XV II-2		中世	ツマ	上顎前	ML/2	右	1	299	過心	
55	927	XV II-2		中世	ツマ	上顎前	破片	?	1	291		
56	927	I X-25	骨	中世	ツマ	上顎前	ML/2	左	1	281-1		
56	927	I X-25	骨	中世	ツマ	下顎前	ML/2	左	1	281-2		
57	927	X-22		中世	ツマ	下顎前	PL/4	左	1	289		
58	927	XV II-4		中世	ツマ	下顎前	ML/2	右	1	280		
59	927	XV II-1		中世	ツマ	東	破片	?	1	292	整理歩中、種名複数(括弧で付いた)	
60	927	XV II-1	骨	中世	ツマ	下顎前	ML/2	左	1	285		
61	927	XV I-5	骨	中世	ツマ	上顎前	ML/2/3	右上	1	286	整理番号誤認(括弧で付いた)	
62	927	XV I-5		中世	ツマ	上顎前	ML/2	右	1	279-1		
62	927	XV I-5		中世	ツマ	切歯	?	2	1	279-2		
63	929			中世	ツマ	下顎前	ML/2	左	1	372		
64	933			2	中世	ツマ	大顎骨	後位源	右	1	379	
65	933			中世	ツマ	四歯骨	破片	?	1	376		
66	933			中世	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	369		
67	933			中世	ツマ	下顎骨	PL/3	右	1	379		
68	933			中世	ツマ	切歯	?	?	1	371		
69	935			古代	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	1	374	
20	982			近世	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	1	373	
21	984			2	中世	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	342	
22	987			1	中世	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	349	
23	987			2	中世	ツマ	ウン	中辺骨	?	1	339	
24	987			3	中世	ツマ	四歯骨	破片	?	1	338	
25	987			4	中世	ツマ	上顎前	PL/4	右	1	341	
26	987			5	中世	ツマ	大顎骨	後位源～過位源	左	1	368	
27	987			6	中世	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	337	
80	突出	XII-1		ツマ	下顎前	PL/2, 3D	左	1	365			
80	947	XII-1		ツマ	下顎前	P/I	板片	右	1	366		
81	U11			2971	新生	喉乳頭	?	破片	?	363		
82	U11			08	新生	ツマ	P/I	破片	?	1	347	混入の可能性
83	U11			712	新生	ツマ	P/I	破片	?	1	348	混入の可能性
84	U11			1338	新生	喉乳頭	?	破片	?	1	356	
85	U2			新生	ツマ	ヒト	歯	?	361			
86	U2			新生	ツマ	上顎前	?	?	362			
87	U5			中世	ツマ	上顎前	ML/2	左	1	364		
88	U20			古代	ツマ	下顎前	P2 ML, 切歯XII	左前	1	369		
89	B45			新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	355		
90	B45			新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	369		
91	B45			新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	369		
92	B45			4	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	349	
93	B45			7	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	357	
94	B45			14	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	358	
95	B45			72	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	359	
96	918			85	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	351	
97	918			107	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	362	
98	918			119	新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	353	
99	959			新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	354		
100	959			新生	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	349		
101	999			新生	ツマ	下顎前	P/I	破片	?	367	特異不確定	
7	M1			8	中世	ツマ	喉乳頭	?	破片	?	227	
Tall				區古代	ツマ	P/I	破片	?	1	345		
Tall				古代	ツマ	P/I	破片	?	1	344		

表2 ウマ歯計測・年齢推定結果

整理番号	通し番号	上下	左右	種類	備考	L組合面	土	段耗/積出	HL	土	HC	H	HB	土	相手年輪				
															1	2	平均	標準偏差	
z	206	下	左	石	M1			23.5		23		25		14.0		14.0		13.5	
	206-2	下	左	石				24.5		29		26		14.1		14.1		14.1	
	206-2	上	右	石	M1/2			24.1				45		17.8	20.0	18.4		18.4	
	206-1	上	右	石	P2			32.5				36		9.8		9.8		11.0	
	206-1	上	右	石	P3/4			27				35		11.2	12.0	11.6			
	206-3	下	左	石	P2			29.6		23		25		11.1		11.1			
	206-4	下	左	石	P2			29.4		29		23		11.9		11.9			
	206-5	下	右	石	P4			26.5		33		36		19.2	16.8	19.5			
	206-6	上	左	石	M1			25.0				64		14.6	19	14.2		14.3	
	206-7	上	左	石	X							5		3.8		3.8			
	206-8	下	左	石	X							64		5.2		5.2		5.2	
	206-9	下	左	石	P2			24.1		23		24		11.5		11.8		11.4	
	206-9	下	左	石	P2			28.9		41		41		9.6		9.6			
	206-10	下	左	石	P1			26.1		38		39		10.3		10.3			
	206-11	下	左	石	P2			27.1		49		50		10.8		10.8			
19	294	上	左	石	P2	右側あり、省略								4.0		4.0		4.3	
19	294	上	左	石	P2	右側あり、省略								4.4		4.4		4.4	
19	294	上	左	石	P2	右側あり、省略								4.6		4.6		4.6	
19	294	上	左	石	P2	右側あり、省略								4.7		4.7		4.7	
19	294	上	左	石	P2	右側あり、省略								4.8		4.8		4.8	
19	294	上	左	石	P2	右側あり、省略								4.8		4.8		4.8	
19	294	上	右	石	P2	P2-F4 97.1, 98.1-98.8	未記	37.6				59		4.0		4.0			
19	294	上	右	石	P2	P2-M3 (69.5)								4.0		4.0			
19	294	上	右	石	P3			30.3				62		4.4		4.4			
19	294	上	右	石	P4			29.9				70		4.9		4.9			
19	294	上	右	石	P5			32.9				64		5.2		5.2			
19	294	上	右	石	P6			24.1				79		4.5		4.5			
19	294	上	右	石	P7			22.6				63		4.3		4.3			
21	293	下	左	石	P2	ハマ板(セメント剥離)	未記	33.2				45		4.8		4.8			
21	293	下	左	石	P3			29.5				57		5.1		5.1			
21	293	下	左	石	P4			29.6				69		4.4		4.4			
21	293	下	左	石	P5			26.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P6			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P7			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P8			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P9			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P10			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P11			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P12			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P13			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P14			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P15			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P16			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P17			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P18			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P19			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P20			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P21			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P22			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P23			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P24			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P25			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P26			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P27			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P28			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P29			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P30			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P31			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P32			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P33			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P34			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P35			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P36			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P37			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P38			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P39			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P40			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P41			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P42			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P43			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P44			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P45			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P46			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P47			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P48			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P49			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P50			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P51			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P52			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P53			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P54			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P55			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P56			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P57			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P58			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P59			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P60			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P61			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P62			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P63			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P64			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P65			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P66			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P67			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P68			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P69			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P70			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P71			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P72			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P73			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P74			27.5						4.6		4.6			
21	293	下	左	石	P75			29.3						4.6		4.6			
21	293	下	左	石</															





動物遺体

ウマ[1.P34M129・左右(19)、2.P234M123・左右(21)、3. 桫骨・左(17)、4. 大腿骨・左(76)]

ウシ[5. 中手骨・左/右、6.M23・左]

スケールは10cm ()内は整理番号

第VI章 調査の総括

本遺跡の調査では、第IV章調査の成果で述べたとおり、縄文から近世・近代に亘る長い時間軸の遺構・遺物が検出された。本章ではこれら今回の発掘調査により明らかとなった成果をまとめ総括としたい。内容はまず1点目として、遺跡の時代別利用状況を縄文、弥生、古代、中世についてまとめてみたい。なお、まとめにあたっては、近年調査報告された周辺遺跡の成果もふまえつつ概観したい。もう一点は、本文中でも触れたが弥生後期の所産と考えられる、縄文施文の上器についてである。外米からの影響と考えられるこのような土器がまとめて出土したのは本遺跡が佐久地域では初めてとなる。その発見意義等に触れてみたい。

第1節 大豆田遺跡IVとその周辺地域の時代的概観

(1) 縄文時代

今回の調査では縄文時代の遺構として落とし穴と考えられる土坑2基と杭列遺構が検出された。調査面積から考えると非常に閑散とした風景であるが、近接する中部横断道分の周防煙遺跡群でも落とし穴が1基、北側に隣接する宮の前遺跡でも集落は発見されず、落とし穴が調査されている。近接する縄文集落は田切を隔てた北西側台地の近津遺跡群に立地すると考えられる。西近津遺跡Ⅳからは縄文後期の土坑群が検出され、石棒や土偶等が出土している。このように、縄文時代の本遺跡周辺は狩猟場として利用されていたと考えられる。

(2) 弥生時代

弥生時代になると中期後半の集落が形成されるが、場所は中部横断道側の調査地点で、尚且つ南側に広がる低地を超えた微高地上である。よって大豆田遺跡や宮の前遺跡が立地する台地上では中期後半の栗林期の集落は発見されていない。台地全体に生活の場が広がるのは弥生時代後期の箱清水期である。後期になると住居や周溝墓が台地上で検出されている。今回の大豆田遺跡IVの調査範囲では住居址と土坑、掘立柱建物址が検出されたが、調査区を接する周防煙B遺跡のA地区とB地区、北に接する宮の前遺跡では、円形周溝墓や方形周溝墓が検出されている。これら集落と墓域はある程度の距離を持ち混在しないようであるが、先に述べた中期後半の集落が調査された中部横断道調査範囲の5区については周溝墓と住居址が近接し、一部重複関係にある。これは低地内の限られた範囲の微高地上に遺跡が立地すると考えられる。

周辺部で検出されている後期の集落は、田切や低地、或いは墓域に区切られて、各々一つの村落的な立地を示している(第1図参照)。今回の調査範囲である大豆田遺跡IVも微視的にはU7.9.11遺物集中区の範囲は黒土上が堆積し、地形的にはやや低くなる。よって周防煙B遺跡の集落も含め、遺跡内で西側の集落エリアと東側の集落に分かれると考えられる。このように見ていくと、周辺で発見された集落グループは中部横断道2.3区で30軒以上、宮の前遺跡10軒以上、大豆田遺跡西側24軒、大豆田遺跡東側10軒以上となる。各グループはいずれも重複関係があり、一時期の集落数の把握は難しいが、大豆田遺跡西側グループは比較的重複が少なく、住居主軸方向もほぼ一致することから、同時に併存を20軒前後と試算してもよいと考える。

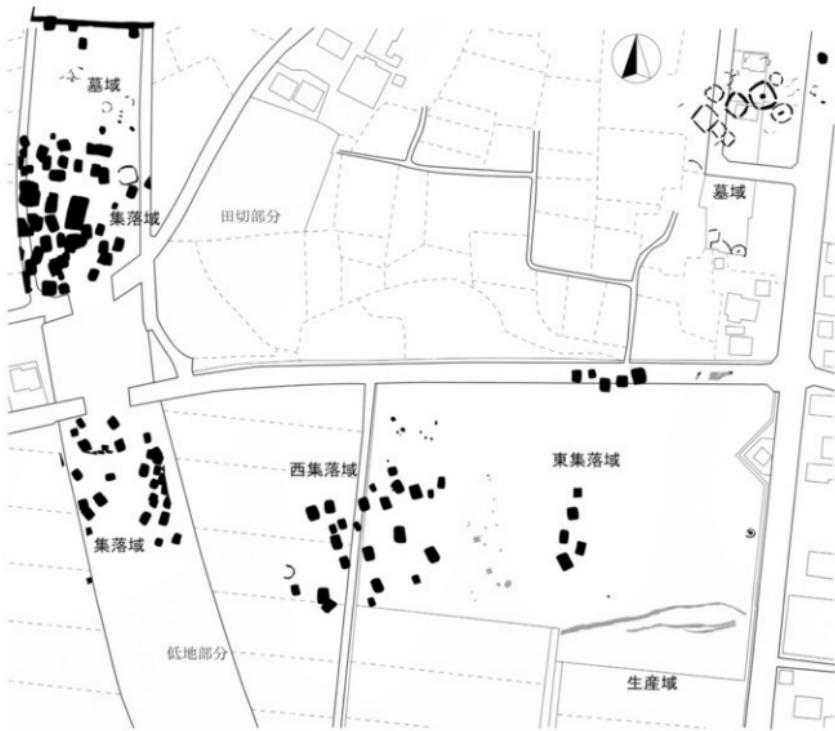
よって、中部横断自動車道に伴う調査の西近津遺跡群部分が未報告であるため、詳細は分からぬが、住居規模が18.0×9.5mという超大型住居を含む西近津遺跡群の弥生後期集落を母村的な位置づけと捉えられれば、周辺の台地や微高地に20軒前後で立地する集落は、母村を取り囲む子村的な立地と推定できる。これら集落の集團が目指したもののは、眼前に広がる濁川が形成した沖積低地の水田開発であろうことが想定される。

(3) 古墳時代

今回の調査では古墳時代の遺構として弥生末から古墳前期の住居址1軒、後期の住居址1軒、溝状遺構1本しか検出されず、古墳時代については不明な部分が多い。また、中部横断道側の2.3区においても古墳時代の住居址は検出されておらず、宮の前遺跡についても数は少ない。よって大豆田遺跡周辺の台地は古墳時代において積極的な土地利用は無かったと考えられる。ただ、本遺跡のM7号溝状遺構から5.6世紀の土器が出土し、当該期の所産と考えた。溝は東西方向に伸び、台地と沖積低地の境界付近に立地することから、何らかの土地区画を目的とした行為が考えられ、全くの無人の荒野的な情景ではなかったと考えられる。

(4) 古代(奈良・平安時代)

奈良・平安時代になると、弥生時代後期同様に台地全体に活動の場が広がる。検出された遺構としては住居址・掘立柱建物址・土坑・溝状遺構等である。遺跡全体の特徴としては、周防畠B遺跡も含めると住居址16軒に対して、掘立柱建物址が27棟と、掘立柱建物址の比率が高いことが挙げられよう。勿論、両遺構の同時併存の確定は非常に難しいが、累計として見た場合でも西隣りの中部横断自動車道調査地点が住居址41軒、掘立柱建物址11棟であり、比率の差は歴然である。これらの事から、今回調査が行われた大豆田遺跡IV周辺の台地上は集落域というよりも、掘立柱建物址を主に使用する生活域と考えられる。当遺跡の南側前面が沖積低地であり、水田としての生産活動域であろうことが予想されるため、この掘立柱建物址群は集落域と生産域の中間に位置し、水田耕作のための倉庫群と捉えられないだろうか。今一步想像をたくましくすれば、これら倉庫群に収められていたものは、もちろん生産品である「穀」を第一に、耕作にかかる農具、水田維持の為の資材等が考えられ、主軸方位や形態の差は収蔵物の違いに起因するのではないかであろうか。このことは集落内での集団と個人における農具保有・管理の問題を解明しなければもちろん証明できないことであるが、今回記載したことはあくまでも想像であり、何らの考古学的・文献史学的な証拠は今のところないが一考の価値はあるように思う。



第1図 弥生後期遺構配置図



第2図 古代遺構配置図



第3図 中世遺構配置図

(5) 中世

今回の調査では中世の遺構として掘立柱建物址や溝状遺構や土坑が検出された。掘立柱建物址については4棟を比定したがいずれも確定的な出土遺物は無く、形態と覆土の状況からの判断である。ただ、掘立柱建物として組めなかつた単独ピットが800個以上検出されており、これらの中に建物址となるものも多いと考えられる。土坑については特に井戸址と考えられるものが多かった。中でも木棒の形状が良好に残存しているものとしてD8.9.40.63号土坑があり、特にD40については埋め桶も残存していた。これら井戸址の深さは平均2mの深さで、北側に接する道常遺跡検出の井戸が平均3m以上の深さがあるのに対して浅かった。これは遺跡の立地の差であり、湧水層が低地に近い本遺跡の方が高いことに起因する。

次に、溝状遺構は本文中でも触れたが、南北と東西にそれぞれ伸びる溝が直行することが最大の特徴である。またこれらの溝は位置を少しづつ替えてながら掘り直しが行われており、結果何本かの溝状遺構の集合体のような状況であった。本遺跡において古代までの溝状遺構は、北東方向から南西方向に斜めに地形を横切るもののがほとんどであった。この中世段階になり、依然とした南北・東西方向を志向する溝状遺構が出現するということは、この時期に新たな地割や水路建設がなされたことを意味し、条理的な風景がこの段階から現れたと考えたい。

これら中世所産の遺構から出土した遺物は青磁類や尾張・常滑系の陶器類、北関東や県内産の須恵質系すり鉢などがあった。これらはいずれも13~14世紀代のもので占められ、本遺跡の井戸や溝状遺構の帰属年代の根拠となっている。中でも特に注目される遺物として遺構外からの出土であるが、輸入陶器の綠釉盤がある。長野県内では中央道建設に伴う松本市の北栗遺跡より出土した破片に次ぐもので県内2例目となる。また、近世以降の溝状遺構からの出土であるが龍泉窯系の青磁香炉などもあった。

ただ、佐久地域においては特殊と考えられるこれらの遺物が出土しているが、遺構群の状況としては溝に囲まれた範囲に井戸と小規模な掘立柱建物址が主に建つ状態で、館や町屋といった様相は見受けられない。また、道常遺跡のような堅穴状遺構が密集するような一般的な集落域とも異なっている。ただ、形態的にしっかりと井戸はつぐられている。これらの状況から本遺跡の性格づけに苦慮する。井戸の使用目的が日々の人々の暮らしにのみ使用されたものなのか、或いは何らかの生産活動と関連するのか、現状では答えを持ち合わせない。この点については今後の課題とした。しかし、佐久地域において発見例の少ない13~14世紀代の中世前期に比定される本遺跡は希少な発見例である。

(6) 近世・近代

近世・近代に属する遺構は溝状遺構が多く、その多くは圃場前の水田畦畔や水路と重なるものが多い。また、南北に伸びる中世の溝状遺構は圃場整備前の道路下に位置し、中世の区割りが道として近世・近代まで踏襲された好例であろう。なお、近世以降は水田として利用されていたと考えられるが、先に述べた水路や地割しか発見されていない。これは、昭和55年以降の大規模圃場整備による掘削や、基本層序で述べた近世の水田耕作土と考えられるIV・V層を表土剥ぎ段階で除去した為である。

注

1.中部横断道自動車道関連で調査された西近津遺跡群の弥生・古代・中世の遺構配置図は、長野県埋蔵文化財センター 年報 27 に掲載された全体図から現地説明会資料等を参考に再トレースしたもので正確な帰属時期を示すものではない。詳細については長野県埋蔵文化財センター刊行の本報告を参照されたい。

2.田切地形及び低地を示した範囲は、昭和55年の圃場整備以前の水田形状や水路、周防畠B遺跡の調査成果を参考として作成した。

第2節 弥生後期の縄文施文土器について

今回の調査では箱清水式土器と共に弥生後期所産と考えられる縄文施文の土器が多く出土した。これらは、所謂関東に分布域をもつ「赤井戸式土器」や「吉ヶ谷式土器」と呼ばれる上器群に似る。今日までにこれらの土器が佐久地域において一遺跡からまとめて出土したことはなかった。ここでは、これら資料を今一度精査し、今回の出土資料の位置づけを試みたい。

大豆田遺跡IVから出土した縄文施文の土器は主に土坑やU7やU11といった遺物集中区から出土しており、今回の調査された住居址からは出土していない。しかし、隣接する周防塙B遺跡からはY2号住居址やY16号住居址から全体の器形を知りうるような土器が出土し、また他の住居址からも破片資料であるが出土している。遺物集中区でも述べたが、U7やU11の土器群は西側に展開する集落址から持ち込まれた可能性が指摘できる為、これら縄文施文の土器群は今回の調査範囲でも西側に展開する集落や接する周防塙B遺跡の集落内で使われていたものと推測される。

佐久地域で弥生後期段階のこれら縄文施文土器の出土遺跡としては、管見に触れたものとして下記の表と地図にまとめた。

第1表 縄文施文土器出土遺跡一覧表

遺跡名	遺構名	種別	形 状	時期
1 近津遺跡群	遺構外	甕	輪積み底口縁部	
2 西近津遺跡IV	D54	甕	頭部破片 鍋文RL	覆土より
3 上大豆塙遺跡	H1	甕	接合後にはば完形	
		甕	頭部破片 単筋縄文RL	2片出土
4 宮の前遺跡 I・II	D93 H109	甕	頭部破片	弥生井戸
		甕	頭部破片 単筋縄文RL	弥生後期
5 大豆田遺跡 I・II	M8	甕	破片	
6 辻の前遺跡	H7	甕	輪積み底口縁部	2片出土
	H1	甕	口縁部破片	古墳前期
7 辻の前遺跡 II	H3 H3	壺	口縁部から頸部	弥生後期後半
	H3	甕	頭部破片	2片出土
		不明	区画線あり、破片	弥生後期
8 周防塙遺跡群	SB55住居 SB77住居 SM509方形集落墓 SD05号溝址	壺?	破片	4片覆土より出土
		甕	口縁部破片	覆土より
		甕	口縁部破片	覆土より
9 周防塙B遺跡	Y2号 Y16号	甕	口縁部から頸部	弥生後期前半
		壺	頸部から胴部	弥生後期前半?
10 西一本柳遺跡 X I	M1	甕	輪積み底口縁部	十王台式出土
11 西一本柳遺跡 X	H27	壺	赤彩壺の頸部破片	弥生後期



第4図 縄文施文土器出土遺跡位置図

これらの分布図から解ることは、明らかに佐久地域内の弥生後期集落の中で縄文施文土器を出土する遺跡が偏るということである。一番の中心は今回調査が行われた大豆田遺跡周辺で、今一步微細にみると土器器形が解るようなものを出土するのは、低地に近い或いは低地内微高地に立地する遺跡であり、台地上に展開する大規模集落内からは今のところ出土報告がない。今一つの位置は西一本柳遺跡周辺である。ただ、こちらの範囲からはいずれも小片の出土に止まっている。このように、佐久地域における縄文施文土器を出土する遺跡は極めて限定された遺跡からの出土であり、尚且つその中心は今回調査が行われた大豆田遺跡IVの西側を含む周防畑B遺跡で検出された集落であることが予想される。

では、現在までに当地域においてどのような土器が出土しているか整理してみたい。先に掲載した表でも解るように、その主体は甕であり、少量の壺が含まれる。赤井戸並びに吉ヶ谷土器系譜と考えられる高坏や吉ヶ谷式で特徴的な壺口縁部の突唇状粘土帯に刻みを施した飾りの壺などは見られない。ただし、本遺跡のM10号溝状遺構出土の高坏脚部(第106-31)などは坏部と脚部の接合部に吉ヶ谷式に見られる突唇状の粘土帯が巡る。このような形状は箱清水式には見られず、或いは赤井戸・吉ヶ谷式の影響とも考えられる。まず壺については第5図に示した1~3が甕と考えられる。しかし、1と2は器形が箱清水式と考えられ、施文のみが影響を受けている。3は赤彩が施された壺で、縄文施文が段状になる赤井戸・吉ヶ谷式に近い。甕は今回多くの形態が出土している。ただし、全容を把握できる土器は少ない。4は壺か甕か判断に苦しむが、器形と縄文施文は赤井戸・吉ヶ谷式に近い。しかし、両形式が行わない沈線による区画を施す点は箱清水式的である。7はほぼ完形の甕で、口唇部に刻みを持ち、胎土も在地とは異なる感じがある。11~13は赤井戸・吉ヶ谷式に特徴的な輪積み痕を残す縄文施文の壺口縁部である。7と11~13は搬入品の可能性がある。他のものは器形が箱清水式のものが多く、櫛描を縄文に置き換えたようなものも多い。また14のように赤井戸・吉ヶ谷式ではあまり見られない口縁部に無文帶を持つ土器がある。胎土も在地としてはやや異なる感がある。箱清水式の甕でも口縁部に無文帶を持つ資料はあまり見受けられない。このような文様構成は信州において中期栗林的な要素であり、関東側では後期の樽式や岩鼻式に見られる文様構成と理解している。14のような土器は在地化と考えるべきなのか、或いは群馬県前橋市荒砥北三木堂遺跡31号住居址から出土している中期後半の縄文系土器に似ていると思うのは無理があろうか。

このように、今回の大豆田遺跡からの出土資料の多くは縄文施文土器と一概に言つても、赤井戸・吉ヶ谷式がストレートに地域内に搬入されているというのではなくである。佐久地域で変容し、在地化とまでは言わなくともオリジナルからだいぶかけ離れた土器群と捉えられよう。では、なぜこのような土器が一遺跡からまとまって出土するのであろうか、住居址内から出土する多くの土器は在地箱清水式である。そこに混在する縄文施文土器が出土するということは、集落全体での人々の移入ということは考えづらい。すれば婚姻や少人数の移動などが考えられるが現況の考古学的資料ではここまでである。ただ、今一度確認したいのは、大小さまざまな後期箱清水期の集落が展開するこの地域で、大豆田遺跡のみにこのような土器が集中して出土する理由は、今後考えいかなければならない大きな課題の一つである。

最後に今回の資料は、並行関係が追えれば赤井戸・吉ヶ谷式成立の問題にも一助となるのかもしれない。ただ、今回は縄文施文土器しか取り上げなかつたが、この問題をまとめるにあたって、櫛描文土器である樽式や岩鼻式の土器の搬入について考えていかなければならぬ事に気づいた。從来より弥生中期栗林段階から北陸や北関東からの外來系土器については注視がされてきた。しかし、中期・後期段階における関東側からの竜見町式・樽式の地域内への搬入がどのような様相であるのか把握はされていない。この問題を扱うことが今回の縄文施文土器の位置づけをより一層深化させることにつながる。佐久地域はその立地から特に取り組まなければならないと考える。今回は紙面の都合上ここまでとして、改めて別稿としたい。

参考文献

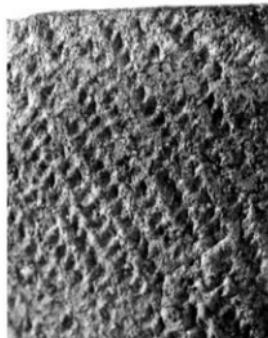
- 大木紳一郎 1991 「赤井戸式の祖型について」『研究紀要』8 (Ⅲ)群馬県埋蔵文化財調査事業団
2007 「岩鼻式と樽式土器」『埼玉の弥生時代』埼玉弥生土器観会
柿沼幹夫 1982 「吉ヶ谷式土器について」『土曜考古』第5号 土曜考古学研究会

なお、大木紳一郎氏と柿沼幹夫氏には本資料の実見ご教示を頂いたが、本報告書でご意見を反映出来なかつた。記してお詫びと御礼を申し上げたい。



1.社の前II 7.上大豆塚 11.西一本柳X I 12.近津遺跡群 13.社の前 その他は大豆田IV

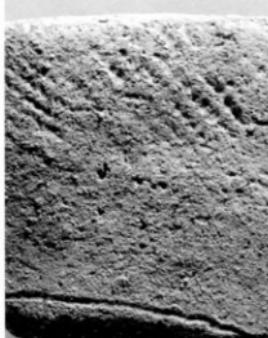
第5図 佐久地域出土の関東系縄文施文土器



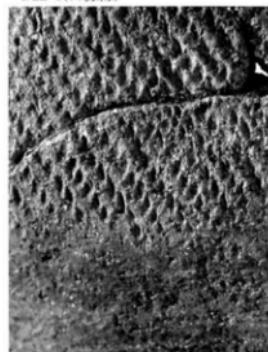
D22-5(口縁部)



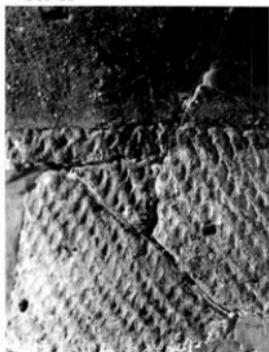
U11-85



U11-57



D22-5(腹部下半)



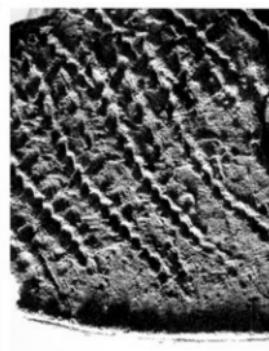
D48-7



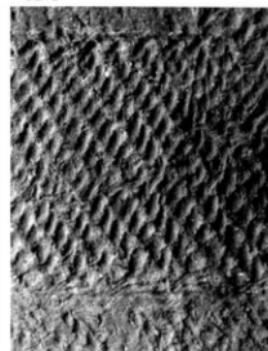
U2-4



D104-1



U11-29



Gr-25

第1表 遺構計測表 (1)

(重複関係は新しい構造の記述) 34

第2表 遺傳計測表(2)

測定番号	被検用	平均	標準偏差	標準誤差	標本数	性状	性状(性別)		性状(性別)		性状(性別)		性状(性別)	
							母方	父方	母方	父方	母方	父方	母方	父方
815	XII-17-38	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
816	XII-21-622	♀(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
817	XII-1-2	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
818	XV-10-15	♀(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
819	XV-6-11	♀(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
821	XI-12-19*	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
822	XI-19-21	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
823	XI-1-12	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
824	XIII-17-21	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
825	XIV-19-25*	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
827	XI-16	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
828	XII-1-17	♂(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
829	XI-1-17	♀(8)	(3.17±0.8)	0.23	123(2)	♂(8)	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
831	X-20-25*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
832	XV-14-15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
833	XV-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
834	XV-26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(遺傳因子は挿入遺伝子のみ記載)

遺構計測表 (3)

卷之三

第4表 游標計測表(4)

(実測結果は新しい標準の値を記す)

測定番号	被測定範囲	平均 誤差	誤差範囲			測定範囲	測定範囲	測定範囲	測定範囲
			所用範囲	誤差範囲	標準				
F17	X-1-10 Y-1-16	Y-2'-4	4.58	3.07	16.35	0.40-+0.79	0.01-+0.13	F1-F7 4.58 F8-F12 3.39	F1-F7 4.55 F8-F12 3.23
F18	X-1-15 Y-1-11	Y-2'-4	5.01	3.05	16.06	0.41-+0.49	0.01-+0.08	F1-F9 1.36 F10-F15 1.43	F1-F7 3.08 F8-F12 3.11
F19	X-1-6 Y-2'-6	Y-2'-4	4.80	3.60	12.72	0.46-+0.80	0.20-+0.47	F1-F1 1.24 F2-F3 1.17	F1-F7 3.55 F8-F12 3.65
F20	X-1-20 Y-1-16	Y-1'-4	7.06	5.15	26.47	0.76-+0.99	0.16-+0.14	F1-F9 2.27 F10-F12 2.19	F1-F7 2.22 F8-F12 2.17
F21	X-1-24-+6-9 Y-6-8	Y-6'-4'	4.55	3.18	13.29	0.31-+0.37	0.13-+0.29	F1-F7 1.53 F8-F12 1.11	F1-F7 1.61 F8-F12 1.11
F22	X-1-9-+4-15 Y-5-7	Y-1'-4'	7.36	6.22	27.43	0.34-+0.72	0.09-+0.13	F1-F9 1.96 F10-F12 1.36	F1-F7 3.59 F8-F12 3.11
F23	X-1-19 Y-8	Y-4'-4	2.38	2.52	6.28	0.13-+0.37	0.11-+0.38	F1-F7 2.18 F8-F12 2.28	F1-F7 2.34 F8-F12 2.28
F24	X-1-11 Y-2-6	Y-10'-4	2.94	3.47	11.52	0.41-+0.59	0.15-+0.29	F1-F9 2.14 F10-F12 1.77	F1-F7 3.38 F8-F12 3.30
F25	X-1-7	Y-6-7	2.63	1.40	11.69	0.60-+0.91	0.26-+0.44	F1-F9 1.59 F10-F12 1.40	F1-F7 3.46 F8-F12 3.40
F26	X-1-22-+8 Y-8	Y-4'-4	6.32	5.60	27.38	0.23-+0.34	0.13-+0.09	F1-F9 4.42 F10-F12 3.51	F1-F7 4.28 F8-F12 3.59
F27	X-1-4-+7-11-12 Y-2-6	Y-2'-4	5.13	3.78	19.29	0.61-+1.13	0.17-+0.10	F1-F9 3.81 F10-F12 3.63	F1-F7 5.20 F8-F12 5.09
F28	X-1-11-+2-10-17 Y-6	Y-6'-4	6.81	5.11	32.41	0.75-+1.27	0.14-+0.08	F1-F9 2.01 F10-F12 1.40	F1-F7 4.73 F8-F12 4.14
F29	X-16 Y-5-8	Y-2'-4	2.47	3.91	13.22	0.33-+0.65	0.14-+0.23	F1-F9 1.82 F10-F12 1.11	F1-F7 3.34 F8-F12 3.06
F30	X-17-22 Y-6	Y-1'-4	6.70	4.34	28.76	0.60-+0.93	0.13-+0.10	F1-F9 2.16 F10-F12 2.02	F1-F7 3.26 F8-F12 3.06
F31	(X-19-25- Y-6-8)	Y-4'-4	1.01	1.29	26.93	0.03-+0.17	0.21-+0.12	F1-F9 2.18 F10-F12 1.13	F1-F7 3.28 F8-F12 3.11
F32	X-1-6-11 Y-6-8	Y-77'-4	3.21	2.91	8.72	0.31-+0.62	0.11-+0.16	F1-F9 1.82 F10-F12 1.34	F1-F7 2.91 F8-F12 2.15
F33	X-1-25 Y-12-25	Y-87'-4	6.65	4.31	33.09	0.62-+0.70	0.20-+0.10	F1-F9 4.06 F10-F12 3.60	F1-F7 7.22- F8-F12 7.17

第5表 遺構計測表(5)

遺構名	検出位置	平面形状	横 墓			出土物	断面測定	備 考
			施設方位	施設概要	施設概要			
II	XV-11(2+2)	長方形	N-S-E-W	2.05	1.21	0.32		
III	XV-22	長方形	N-S-E-W	2.03	1.20	0.39	瓦器類、金銀類	
IV	XV-23	圓形	N-S-E-W	1.78	1.17	0.42	瓦器類	ノルマニウム
V	XV-24	斜方形	N-S-E-W	0.98	0.67	0.34		
VI	XV-25	圓形	N-S-E-W	1.09	1.06	0.48	骨器類、金銀類	ノルマニウム
VII	XV-26	圓形	N-S-E-W	1.09	1.06	0.48	骨器類、金銀類	ノルマニウム
VIII	XV-27	方角?	N-S-E-W	1.07	1.29	0.49	テラス底土、土器	ノルマニウム
IX	XV-28	-	-	0.70	0.51	0.19	灰陶瓦	
X	XV-14	圓形(方形)	N-S-E-W	2.27	1.91	0.50	骨器類、金銀類、瓦器類	
XI	XV-29	六角形	N-S-E-W	2.06	1.76	0.58	骨器類、金銀類	ノルマニウム
XII	XV-30	円形	N-S-E-W	1.73	1.65	0.71	骨器類、金銀類	ノルマニウム
XIII	XV-31	-	N-S-E-W	1.69	1.26	0.48		R1-Q10
XIV	XV-16	-	-	1.52	0.82	0.42		R2
XV	XV-11	斜円形	N-S-E-W	0.93	0.51	0.12	瓦器類(?)、灰陶瓦、金銀類	
XVI	XV-28	斜円形	N-S-E-W	2.15	1.16	0.22	骨器類(?)、瓦器類、金銀類	P1
XVII	XV-14	斜円形	N-S-E-W	1.31	0.81	0.08	骨器類、金銀類	ノルマニウム
XVIII	XV-9	斜円形	N-S-E-W	0.74	0.74	0.26	骨器類(?)、瓦器類	
XIX	XV-5	斜円形	N-S-E-W	0.92	0.65	0.21	骨器類(?)、瓦器類	ノルマニウム
XX	XV-4	斜円形	N-S-E-W	0.72	0.71	0.26	骨器類(?)、瓦器類	ノルマニウム
XXI	XV-3	斜円形	N-S-E-W	0.97	0.59	0.29	骨器類(?)、瓦器類、金銀類	ノルマニウム
XXII	XV-3+9	円形	N-S-E-W	1.21	1.26	0.36	骨器類(?)	P5
XXIII	XV-4	斜円形	N-S-E-W	1.20	0.69	0.24	骨器類	
XXIV	XV-3	円形	N-S-E-W	1.03	0.65	0.13	骨器類(?)、瓦器類、金銀類	
XXV	XV-9	斜円形	N-S-E-W	0.87	0.41	0.06	骨器類(?)、瓦器類、上部の竹子(?)、瓦器類	ノルマニウム
XXVI	XV-12	円形	N-S-E-W	0.61	0.79	0.11	骨器類(?)	
XXVII	XV-16	-	-	0.65	0.77	0.15	骨器類(?)、瓦器類	
XXVIII	XV-19	-	N-S-E-W	1.25	1.05	0.36	骨器類(?)、瓦器類	ノルマニウム
XXIX	XV-18	-	-	1.40	0.84	0.14		
XXX	XV-18	円形	N-S-E-W	0.96	0.96	0.20		ノルマニウム
XXXI	XV-12	円形	N-S-E-W	1.15	1.06	0.60	骨器類	ノルマニウム
XXXII	XV-12	円形	N-S-E-W	0.84	0.77	0.11		ノルマニウム
XXXIII	XV-12	-	-	0.90	0.40	0.11		
XXXIV	XV-2	-	-	0.91	0.47	0.22		
XXXV	XV-12	-	-	1.06	0.78	0.40		P5-P16
XXXVI	XV-9	斜円形	N-S-E-W	1.03	1.47	1.02	瓦器類、骨器類	ノルマニウム
XXXVII	XV-1	斜円形	N-S-E-W	1.11	0.67	0.14		M5

第6表 遺構計測表(6)

(事件開催に係る運営のみ記載)

通關証	檢出位置	半導體管		固 體		出貨量		備註	
		英語名	中文名	英語名	中文名	英語名	中文名		
E01 XVII- XVIII-1	管材	S-17'-4	S-17'-4	1.57	6.41	6.52			
E02 XVII-1	管材	S-17'-4	S-17'-4	0.02	0.39	0.23			
E03 XVII-1	-	-	-	1.57	0.30	0.13			
B10 X-1-22-23	線材/管材	S-17'-4	S-17'-4	1.77	1.74	1.68	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B11 XVII- XVIII-1	-	-	-	0.79	0.79	0.41			
B12 XVII-1	-	-	-	1.70	1.50	0.81	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B13 XVII-4-7	板材	S-17'-4	S-17'-4	1.00	0.69	0.16			
B14 XVII-4-7	管材	S-17'-4	S-17'-4	1.09	0.26	0.16			
B15 XVII-1-2	管材	S-17'-4	S-17'-4	0.79	0.72	0.13	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B16 XVII-7	管材	F100	S-17'-4	1.12	0.66	0.24	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B17 XVII-9	管材	F100	S-17'-4	1.44	1.20	0.16			
B18 XVII-1-15	管材	F100	S-17'-4	1.39	1.39	0.19	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B19 XVII-11	-	-	-	0.96	0.13	0.13	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B20 XVII-5	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	1.16	1.07	0.12	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B21 XVII-5	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	1.08	0.80	0.19	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B22 XVII-6	-	S-17'-4	S-17'-4	1.14	1.09	0.27	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B23 XVII-4-4	板材	S-17'-4	S-17'-4	0.76	0.62	0.96			
B24 XVII-4-8	管材	F100	S-17'-4	0.79	0.73	1.73			
B25 XVII-18	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	2.69	3.18	1.88	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B26 XVII-22	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	1.08	0.99	0.99			
B27 XVII-15-20	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	2.35	1.62	0.62	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B28 Y-17	長形	S-17'-4	S-17'-4	1.39	1.03	0.19			
B29 Y-17	長形	S-17'-4	S-17'-4	1.17	0.66	0.36			
B30 Y-13	長形	S-17'-4	S-17'-4	2.04	1.17	0.59	[D]出貨	[D]出貨	
B31 Y-13-4	長形	S-17'-4	S-17'-4	1.09	0.66	0.40	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B32 Y-5	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	2.63	2.46	2.12	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B33 Y-26	圓棒	F100	S-17'-4	0.78	0.69	0.43			
B34 Y-16-17	圓棒	F100	S-17'-4	1.02	1.17	0.31	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B35 Y-16	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	1.41	1.25	0.17	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B36 Y-16	圓棒	S-17'-4	S-17'-4	1.41	1.00	0.30	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B37 Y-1-3	圓棒	F100	S-17'-4	1.08	1.05	0.22	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B38 Y-1-4	圓棒	F100	S-17'-4	-	0.78	0.66			
B39 Y-23	圓棒	F100	S-17'-4	-	1.19	0.90			
B40 Y-29	圓棒	F100	S-17'-4	-	2.43	2.16	1.29	[D]出貨地點: 桃園市	[D]出貨地點: 桃園市
B41 Y-24	圓棒	F100	S-17'-4	-	1.01	0.70	0.15		
B42 Y-1-4	圓棒	F100	S-17'-4	2.03	2.05	0.67	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	
B43 Y-24	圓棒	F100	S-17'-4	2.61	2.11	0.35	出貨地點: 桃園市	出貨地點: 桃園市	

第7表 遺構計測表(7)

測定名	検出位置	半角距離	傾			出土遺物	測量表示	備 考	
			長軸方位	長軸長度	短軸長度				
E87 X-14-25	右門柱	半圓形	82°57'~9	1.82	0.48	0.30	新玉器		
E88 X-22	半圓形	82°57'~9	(1.82)	0.53	0.45			P1 16.6×3.3 厚さ0.14	
E89 X-2	右門	~	0.03	0.39				P1 16.6×3.3 厚さ0.14	
E90 X-10	~	~	0.36	0.40	0.17				
E91 X-1~6	半圓形	82°57'~9	2.23	1.85	0.19	鉛色25片+土15片+灰	73-949		
E92 X-16	右門柱	~	1.14	0.56	0.22	新玉器・黒	365		
E93 X-29	~	~	(0.61)	(0.60)	0.19				
E94 X-29	~	~	82°57'~9	(1.84)	0.80	0.37	新玉器片+新玉器・黒	72-430+955	アラベスク彫り
E95 X-25	~	~	1.23	0.26	0.36	新玉器・黒	73-486	アラベスク彫り	
E96 X-21	~	~	2.67	0.96	0.14	新玉器			
E97 X-21	~	~	82°57'~9	2.69	0.53	新玉器・黒	367		
E98 X-1	左門	半圓形	82°57'~9	1.60	1.21	0.25	新玉器・黒		
E99 X-1	深縫長方形	82°57'~9	2.67	1.15	0.88	新玉器・黒	73-7616	P2 0.38×0.25 P2 4.6×0.21	
E99 X-18-23	半圓形	~	(2.63)	~	0.18		73-7616		
E99 X-23	~	~	3.75	0.76	0.27		73-7616		
E99 X-25-25	半圓形	~	(7.96)	1.79	0.56	新玉器片	329		
E99 X-13	半圓形	~	(3.73)	~	0.39		73-7616		
E99 X-18	奥方門柱	82°57'~9	1.56	1.29	0.09	新玉器片+新玉器	329		
E99 X-17-22	左門	82°57'~9	2.16	1.75	1.22	新玉器片+土15片+灰	72-430+955		
E99 X-17-22	~	~	3.51	~	0.34	新玉器	72-430+955		
E99 X-17-19	奥方門柱	82°57'~9	1.33	0.98	0.29	新玉器	329		
E99 X-18	半圓形	82°57'~9	1.61	0.76	0.25		73-7616		
E99 X-18-19	~	~	3.03	~	0.14	新玉器・黒	329		
E99 X-27-11	右門	82°57'~9	1.39	1.77	0.28				
E99 X-21	~	~	1.69	(0.62)	0.26				
E99 X-1-3	半圓形	~	~	1.00	(0.96)	0.20		73-7616	
E99 X-1-4	~	~	~	1.25	(1.04)	0.22			
E99 X-1-4	右門	82°57'~9	1.53	1.19	0.29	新玉器・黒	73-7616		
E99 X-1-6	左門	~	~	1.22	0.41				
E99 X-25-24	半圓形	82°57'~9	(1.85)	1.84	0.22	新玉器			
E99 X-1-3	~	~	2.91	(0.87)	0.18		73-7616		
E99 X-1-6	左門	82°57'~9	1.21	0.65	0.18	新玉器片+新玉器	329		
E99 X-1	~	~	1.96	(0.31)	0.18				
E99 X-21	奥方門柱	82°57'~9	1.26	0.55	0.18				
E99 X-21	左門	82°57'~9	1.77	0.25	0.16				
E99 X-1-3	右門	82°57'~9	0.68	0.81	0.20				

第8章 遊標計測表(8)

(監視網は正しい直角の位置)

測定名	測定位置	平均価値		標準偏差		標準誤差		測定回数	備考
		測定回数	平均価値	測定回数	標準偏差	標準誤差			
B1.3 X-3		116	5.46° ± 4	1.63	0.51	0.16			
B1.4 V-16-23	下部形	5.57° ± 4	(23)	1.38	0.36	0.16			
B1.5 V-38	側面形	5.57° ± 4	2.68	1.19	0.26				
B1.6 V-38	—	—	1.40	0.55	0.17				
B1.7 V-23	下部形	5.46° ± 4	(16)	1.22	0.38				
B1.8 X-5	側面形	5.49° ± 4	(20)	1.38	0.37	0.16			
B1.9 V-13	2.87° ± 4	1.69	1.27	0.14					
B1.10 X-1-2	側面形	5.46° ± 4	1.12	0.96	0.17				
B1.11 V-22	側面形	5.57° ± 4	1.53	1.21	0.13				
B1.12 X-1	下部形	—	(36)	0.59	0.16	0.04			
B1.13 V-18	—	—	1.54	0.47	0.10				
B1.14 V-16	下部形	5.48° ± 4	1.34	1.06	0.29				
B1.15 X-54	側面形	5.28° ± 4	2.74	1.58	0.21				
B1.16 V-15	側面形	5.27° ± 4	1.37	0.82	0.09				
B1.17 V-25	側面形	5.27° ± 4	1.34	0.77	0.09				
B1.18 X-24	側面形	5.41° ± 4	1.34	0.98	0.21				
B1.19 X-4	側面形	5.41° ± 4	0.96	0.94	0.16				
B1.20 X-3	—	—	1.47	(0.81)	0.19				
B1.21 X-4	下部形	5.49° ± 4	1.73	1.45	0.22				
B1.22 V-34	—	—	—	(0.60)	—	0.11			
B1.23 X-5	側面形	5.57° ± 4	1.79	(1.06)	0.35	0.14			
B1.24 X-36	側面形	5.57° ± 4	0.96	0.53	0.17				
B1.25 X-11	側面形	5.57° ± 4	0.96	0.53	0.17				
B1.26 X-15	側面形	5.41° ± 4	1.41	1.08	0.16				
B1.27 X-14	側面形	5.41° ± 4	1.30	1.22	0.12				
B1.28 X-11	下部形	5.41° ± 4	(12)	1.00	0.67				
B1.29 X-14-21	側面形	5.28° ± 4	1.22	0.93	0.15				
B1.30 X-18	下部形	5.62° ± 4	3.18	(1.09)	0.17				
B1.31 X-13-14	側面形	5.37° ± 4	1.41	1.08	0.16				
B1.32 V-14	下部形	5.43° ± 4	1.30	1.22	0.12				
B1.33 X-20	長方形	5.67° ± 4	(23)	0.65	0.20				P1-0.20±0.14 P2-0.21±0.14
B1.34 X-36	下部形	—	(6)	(1.81)	0.18	0.05			P3-0.21±0.12
B1.35 X-25-21	下部形	5.47° ± 4	(5.96)	0.98	0.66	0.22			
B1.36 X-17-22	下部形	5.56° ± 4	2.28	(1.80)	0.34				P4-0.26±0.16
B1.37 X-20-25	下部形	5.56° ± 4	—	—	—				P5-0.22±0.16

第9表 遺構計測表 (9)

新規開拓は新しい道筋の立案費

第10表 溶構計測表(10)

(番号記号は新しい標準の分類)

測定名	検出位置	幅		深さ		出土物	整復状況	備考
		最大	最小	最大	最小			
M65	XH-2+3~XH-2+25 XW-2+2~22	(05.95)	0.80~1.71	0.10~0.16	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器-上縁鉢外-漆-灰	120~104~82cm-H=467	番号 65番底灰い(2020年1月)	
M66	XH-3+2~25 XW-4+6	(24.95)	0.20~0.99	0.12~0.16	瓦質鉢底	TG	番 0.1m(H)	
M67	XW-2+3~XW-2+25 XH-2+2~24 XW-3+9 X	(09.92)	1.03~2.64	0.57~0.91	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器	H17	番 0.7m(H)	
M68	X-1+2~X-2+25 X-21~24	(73.07)	0.27~0.97	0.14~0.18	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器-半身立像	H10~H16	番 0.5m(H)	
M69	R-2+26 X-3+25 X-1+21~25	(07.07)	0.26~0.98	0.12~0.66	瓦質鉢底-鉢外-漆-上縁鉢外-漆-灰漆器	H15~H20~H26~H27	番 0.3m(H)	
M70	X-12+2~X-26 X-1+36~17+21~26 X-10+21	(17.17)	0.23~1.90	0.09~0.42	瓦質鉢底-鉢	H12	番号 65番(H)	
M71	XW-1+9~11	(21.30)	0.27~0.94	0.05~0.11	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器	H1	番 0.1m(H)	
M72	XW-1+9+11~16	(07.22)	0.17~0.95	0.07~0.18	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰	H1	番 0.1m(H)	
M73	X-11+22~17+17	(16.07)	0.28~0.96	0.06~0.69	瓦質鉢底	H11~H12~H13~H14~H15~H16	番 0.1m(H)	
M74	XW-1+9+19 XW-6	(18.46)	0.92~2.47	0.07~0.22	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器	H1~H2~H3~H4~H5~H6~H7~H8~H9~H10~H11~H12~H13~H14~H15~H16~H17~H18~H19~H20~H21~H22~H23~H24	番 0.2m(H)	
M75	XW-1+9+19 XW-6+10	(111.92)	0.26~2.23	0.06~0.49	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器-半身立像	H1~H2~H3~H4~H5~H6~H7~H8~H9~H10~H11~H12~H13~H14~H15~H16~H17~H18~H19~H20~H21~H22~H23~H24~H25~H26~H27	番 1.2m(H)	
M76	XW-2+4~7+8+17+22~24 XW-2+3~9+13	(06.86)	0.10~1.26	0.22~0.37	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器	H18	番号11番(H)	
M77	XW-2+3	(7.41)	0.25~0.92	0.17	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器	H1	番 0.1m(H)	
M78	XW-2+2	(16.40)	0.26~1.49	0.15~0.42	瓦質鉢底-鉢外-漆-灰漆器	H1~H2~H3~H4~H5~H6~H7~H8~H9~H10~H11~H12~H13~H14~H15~H16~H17~H18~H19~H20~H21~H22~H23~H24~H25~H26~H27~H28~H29~H30~H31~H32~H33~H34~H35~H36~H37~H38~H39~H40~H41~H42~H43~H44~H45~H46~H47~H48~H49~H50~H51~H52~H53~H54~H55~H56~H57~H58~H59~H60~H61~H62~H63~H64~H65~H66~H67~H68~H69~H70~H71~H72~H73~H74~H75~H76~H77~H78~H79~H80~H81~H82~H83~H84~H85~H86~H87~H88~H89~H90~H91~H92~H93~H94~H95~H96~H97~H98~H99~H100~H101~H102~H103~H104~H105~H106~H107~H108~H109~H110~H111~H112~H113~H114~H115~H116~H117~H118~H119~H120~H121~H122~H123~H124~H125~H126~H127~H128~H129~H130~H131~H132~H133~H134~H135~H136~H137~H138~H139~H140~H141~H142~H143~H144~H145~H146~H147~H148~H149~H150~H151~H152~H153~H154~H155~H156~H157~H158~H159~H160~H161~H162~H163~H164~H165~H166~H167~H168~H169~H170~H171~H172~H173~H174~H175~H176~H177~H178~H179~H180~H181~H182~H183~H184~H185~H186~H187~H188~H189~H190~H191~H192~H193~H194~H195~H196~H197~H198~H199~H200~H201~H202~H203~H204~H205~H206~H207~H208~H209~H210~H211~H212~H213~H214~H215~H216~H217~H218~H219~H220~H221~H222~H223~H224~H225~H226~H227~H228~H229~H230~H231~H232~H233~H234~H235~H236~H237~H238~H239~H240~H241~H242~H243~H244~H245~H246~H247~H248~H249~H250~H251~H252~H253~H254~H255~H256~H257~H258~H259~H260~H261~H262~H263~H264~H265~H266~H267~H268~H269~H270~H271~H272~H273~H274~H275~H276~H277~H278~H279~H280~H281~H282~H283~H284~H285~H286~H287~H288~H289~H290~H291~H292~H293~H294~H295~H296~H297~H298~H299~H300~H301~H302~H303~H304~H305~H306~H307~H308~H309~H310~H311~H312~H313~H314~H315~H316~H317~H318~H319~H320~H321~H322~H323~H324~H325~H326~H327~H328~H329~H330~H331~H332~H333~H334~H335~H336~H337~H338~H339~H340~H341~H342~H343~H344~H345~H346~H347~H348~H349~H350~H351~H352~H353~H354~H355~H356~H357~H358~H359~H360~H361~H362~H363~H364~H365~H366~H367~H368~H369~H370~H371~H372~H373~H374~H375~H376~H377~H378~H379~H380~H381~H382~H383~H384~H385~H386~H387~H388~H389~H390~H391~H392~H393~H394~H395~H396~H397~H398~H399~H400~H401~H402~H403~H404~H405~H406~H407~H408~H409~H410~H411~H412~H413~H414~H415~H416~H417~H418~H419~H420~H421~H422~H423~H424~H425~H426~H427~H428~H429~H430~H431~H432~H433~H434~H435~H436~H437~H438~H439~H440~H441~H442~H443~H444~H445~H446~H447~H448~H449~H450~H451~H452~H453~H454~H455~H456~H457~H458~H459~H460~H461~H462~H463~H464~H465~H466~H467~H468~H469~H470~H471~H472~H473~H474~H475~H476~H477~H478~H479~H480~H481~H482~H483~H484~H485~H486~H487~H488~H489~H490~H491~H492~H493~H494~H495~H496~H497~H498~H499~H500~H501~H502~H503~H504~H505~H506~H507~H508~H509~H510~H511~H512~H513~H514~H515~H516~H517~H518~H519~H520~H521~H522~H523~H524~H525~H526~H527~H528~H529~H530~H531~H532~H533~H534~H535~H536~H537~H538~H539~H540~H541~H542~H543~H544~H545~H546~H547~H548~H549~H550~H551~H552~H553~H554~H555~H556~H557~H558~H559~H560~H561~H562~H563~H564~H565~H566~H567~H568~H569~H570~H571~H572~H573~H574~H575~H576~H577~H578~H579~H580~H581~H582~H583~H584~H585~H586~H587~H588~H589~H590~H591~H592~H593~H594~H595~H596~H597~H598~H599~H600~H601~H602~H603~H604~H605~H606~H607~H608~H609~H610~H611~H612~H613~H614~H615~H616~H617~H618~H619~H620~H621~H622~H623~H624~H625~H626~H627~H628~H629~H630~H631~H632~H633~H634~H635~H636~H637~H638~H639~H640~H641~H642~H643~H644~H645~H646~H647~H648~H649~H650~H651~H652~H653~H654~H655~H656~H657~H658~H659~H660~H661~H662~H663~H664~H665~H666~H667~H668~H669~H670~H671~H672~H673~H674~H675~H676~H677~H678~H679~H680~H681~H682~H683~H684~H685~H686~H687~H688~H689~H690~H691~H692~H693~H694~H695~H696~H697~H698~H699~H700~H701~H702~H703~H704~H705~H706~H707~H708~H709~H710~H711~H712~H713~H714~H715~H716~H717~H718~H719~H720~H721~H722~H723~H724~H725~H726~H727~H728~H729~H730~H731~H732~H733~H734~H735~H736~H737~H738~H739~H740~H741~H742~H743~H744~H745~H746~H747~H748~H749~H750~H751~H752~H753~H754~H755~H756~H757~H758~H759~H760~H761~H762~H763~H764~H765~H766~H767~H768~H769~H770~H771~H772~H773~H774~H775~H776~H777~H778~H779~H780~H781~H782~H783~H784~H785~H786~H787~H788~H789~H789~H790~H791~H792~H793~H794~H795~H796~H797~H798~H799~H799~H800~H801~H802~H803~H804~H805~H806~H807~H808~H809~H809~H810~H811~H812~H813~H814~H815~H816~H817~H818~H819~H819~H820~H821~H822~H823~H824~H825~H826~H827~H828~H829~H829~H830~H831~H832~H833~H834~H835~H836~H837~H838~H839~H839~H840~H841~H842~H843~H844~H845~H846~H847~H848~H849~H849~H850~H851~H852~H853~H854~H855~H856~H857~H858~H859~H859~H860~H861~H862~H863~H864~H865~H866~H867~H868~H869~H869~H870~H871~H872~H873~H874~H875~H876~H877~H878~H879~H879~H880~H881~H882~H883~H884~H885~H886~H887~H888~H889~H889~H890~H891~H892~H893~H894~H895~H896~H897~H898~H899~H899~H900~H901~H902~H903~H904~H905~H906~H907~H908~H909~H909~H910~H911~H912~H913~H914~H915~H916~H917~H918~H919~H919~H920~H921~H922~H923~H924~H925~H926~H927~H928~H929~H929~H930~H931~H932~H933~H934~H935~H936~H937~H938~H939~H939~H940~H941~H942~H943~H944~H945~H946~H947~H948~H949~H949~H950~H951~H952~H953~H954~H955~H956~H957~H958~H959~H959~H960~H961~H962~H963~H964~H965~H966~H967~H968~H969~H969~H970~H971~H972~H973~H974~H975~H976~H977~H978~H979~H979~H980~H981~H982~H983~H984~H985~H986~H987~H988~H989~H989~H990~H991~H992~H993~H994~H995~H996~H997~H998~H998~H999~H999~H1000~H1001~H1002~H1003~H1004~H1005~H1006~H1007~H1008~H1009~H1009~H1010~H1011~H1012~H1013~H1014~H1015~H1016~H1017~H1018~H1019~H1019~H1020~H1021~H1022~H1023~H1024~H1025~H1026~H1027~H1028~H1029~H1029~H1030~H1031~H1032~H1033~H1034~H1035~H1036~H1037~H1038~H1039~H1039~H1040~H1041~H1042~H1043~H1044~H1045~H1046~H1047~H1048~H1049~H1049~H1050~H1051~H1052~H1053~H1054~H1055~H1056~H1057~H1058~H1059~H1059~H1060~H1061~H1062~H1063~H1064~H1065~H1066~H1067~H1068~H1069~H1069~H1070~H1071~H1072~H1073~H1074~H1075~H1076~H1077~H1078~H1079~H1079~H1080~H1081~H1082~H1083~H1084~H1085~H1086~H1087~H1088~H1089~H1089~H1090~H1091~H1092~H1093~H1094~H1095~H1096~H1097~H1098~H1099~H1099~H1100~H1101~H1102~H1103~H1104~H1105~H1106~H1107~H1108~H1109~H1109~H1110~H1111~H1112~H1113~H1114~H1115~H1116~H1117~H1118~H1119~H1119~H1120~H1121~H1122~H1123~H1124~H1125~H1126~H1127~H1128~H1129~H1129~H1130~H1131~H1132~H1133~H1134~H1135~H1136~H1137~H1138~H1139~H1139~H1140~H1141~H1142~H1143~H1144~H1145~H1146~H1147~H1148~H1149~H1149~H1150~H1151~H1152~H1153~H1154~H1155~H1156~H1157~H1158~H1159~H1159~H1160~H1161~H1162~H1163~H1164~H1165~H1166~H1167~H1168~H1169~H1169~H1170~H1171~H1172~H1173~H1174~H1175~H1176~H1177~H1178~H1179~H1179~H1180~H1181~H1182~H1183~H1184~H1185~H1186~H1187~H1188~H1189~H1189~H1190~H1191~H1192~H1193~H1194~H1195~H1196~H1197~H1198~H1199~H1199~H1200~H1201~H1202~H1203~H1204~H1205~H1206~H1207~H1208~H1209~H1209~H1210~H1211~H1212~H1213~H1214~H1215~H1216~H1217~H1218~H1219~H1219~H1220~H1221~H1222~H1223~H1224~H1225~H1226~H1227~H1228~H1229~H1229~H1230~H1231~H1232~H1233~H1234~H1235~H1236~H1237~H1238~H1239~H1239~H1240~H1241~H1242~H1243~H1244~H1245~H1246~H1247~H1248~H1249~H1249~H1250~H1251~H1252~H1253~H1254~H1255~H1256~H1257~H1258~H1259~H1259~H1260~H1261~H1262~H1263~H1264~H1265~H1266~H1267~H1268~H1269~H1269~H1270~H1271~H1272~H1273~H1274~H1275~H1276~H1277~H1278~H1279~H1279~H1280~H1281~H1282~H1283~H1284~H1285~H1286~H1287~H1288~H1289~H1289~H1290~H1291~H1292~H1293~H1294~H1295~H1296~H1297~H1298~H1299~H1299~H1300~H1301~H1302~H1303~H1304~H1305~H1306~H1307~H1308~H1309~H1309~H1310~H1311~H1312~H1313~H1314~H1315~H1316~H1317~H1318~H1319~H1319~H1320~H1321~H1322~H1323~H1324~H1325~H1326~H1327~H1328~H1329~H1329~H1330~H1331~H1332~H1333~H1334~H1335~H1336~H1337~H1338~H1339~H1339~H1340~H1341~H1342~H1343~H1344~H1345~H1346~H1347~H1348~H1349~H1349~H1350~H1351~H1352~H1353~H1354~H1355~H1356~H1357~H1358~H1359~H1359~H1360~H1361~H1362~H1363~H1364~H1365~H1366~H1367~H1368~H1369~H1369~H1370~H1371~H1372~H1373~H1374~H1375~H1376~H1377~H1378~H1379~H1379~H1380~H1381~H1382~H1383~H1384~H1385~H1386~H1387~H1388~H1389~H1389~H1390~H1391~H1392~H1393~H1394~H1395~H1396~H1397~H1398~H1399~H1399~H1400~H1401~H1402~H1403~H1404~H1405~H1406~H1407~H1408~H1409~H1409~H1410~H1411~H1412~H1413~H1414~H1415~H1416~H1417~H1418~H1419~H1419~H1420~H1421~H1422~H1423~H1424~H1425~H1426~H1427~H1428~H1429~H1429~H1430~H1431~H1432~H1433~H1434~H1435~H1436~H1437~H1438~H1439~H1439~H1440~H1441~H1442~H1443~H1444~H1445~H1446~H1447~H1448~H1449~H1449~H1450~H1451~H1452~H1453~H1454~H1455~H1456~H1457~H1458~H1459~H1459~H1460~H1461~H1462~H1463~H1464~H1465~H1466~H1467~H1468~H1469~H1469~H1470~H1471~H1472~H1473~H1474~H1475~H1476~H1477~H1478~H1479~H1479~H1480~H1481~H1482~H1483~H1484~H1485~H1486~H1487~H1488~H1489~H1489~H1490~H1491~H1492~H1493~H1494~H1495~H1496~H1497~H1498~H1499~H1499~H1500~H1501~H1502~H1503~H1504~H1505~H1506~H1507~H1508~H1509~H1509~H1510~H1511~H1512~H1513~H1514~H1515~H1516~H1517~H1518~H1519~H1519~H1520~H1521~H1522~H1523~H1524~H1525~H1526~H1527~H1528~H1529~H1529~H1530~H1531~H1532~H1533~H1534~H1535~H1536~H1537~H1538~H1539~H1539~H1540~H1541~H1542~H1543~H1544~H1545~H1546~H1547~H1548~H1549~H1549~H1550~H1551~H1552~H1553~H1554~H1555~H1556~H1557~H1558~H1559~H1559~H1560~H1561~H1562~H1563~H1564~H1565~H1566~H1567~H1568~H1569~H1569~H1570~H1571~H1572~H1573~H1574~H1575~H1576~H1577~H1578~H1579~H1579~H1580~H1581~H1582~H1583~H1584~H1585~H1586~H1587~H1588~H1589~H1589~H1590~H1591~H1592~H1593~H1594~H1595~H1596~H1597~H1598~H1599~H1599~H1600~H1601~H1602~H1603~H1604~H1605~H1606~H1607~H1608~H1609~H1609~H1610~H1611~H1612~H1613~H1614~H1615~H1616~H1617~H1618~H1619~H1619~H1620~H1621~H1622~H1623~H1624~H1625~H1626~H1627~H1628~H1629~H1629~H1630~H1631~H1632~H1633~H1634~H1635~H1636~H1637~H1638~H1639~H1639~H1640~H1641~H1642~H1643~H1644~H1645~H1646~H1647~H1648~H1649~H1649~H1650~H1651~H1652~H1653~H1654~H1655~H1656~H1657~H1658~H1659~H1659~H1660~H1661~H1662~H1663~H1664~H1665~H1666~H1667~H1668~H1669~H1669~H1670~H1671~H1672~H1673~H1674~H1675~H1676~H1677~H1678~H1679~H1679~H1680~H1681~H1682~H1683~H1684~H1685~H1686~H1687~H1688~H1689~H1689~H1690~H1691~H1692~H1693~H1694~H1695~H1696~H1697~H1698~H1699~H1699~H1700~H1701~H1702~H1703~H1704~H1705~H1706~H1707~H1708~H1709~H1709~H1710~H1711~H1712~H1713~H1714~H1715~H1716~H1717~H1718~H1719~H1719~H1720~H1721~H1722~H1723~H1724~H1725~H1726~H1727~H1728~H1729~H1729~H1730~H1731~H1732~H1733~H1734~H1735~H1736~H1737~H1738~H1739~H1739~H1740~H1741~H1742~H1743~H1744~H1745~H1746~H1747~H1748~H1749~H1749~H1750~H1751~H1752~H1753~		

第11表 遺構計測表 (11)

(重複問題)は新しい情報の読み取り

编 号	出 地	地层剖面	地层特征			出土遗物	重 点 特 征
			层位	幅	厚 度		
W54	X-2+25+6.5		(3.41)	0.44+-0.77	0.10+-0.35		W. 0.25±0.5m
W55	X-1.5 +3.4 +1.2		(2.76)	0.18+-0.32	0.08+-0.20		N. 0.25±0.5m
W56	X-1 +10+20		(2.41)	0.27+-0.90	0.08+-0.30		W. 0.14±0.5m
W57	X-1 +10+20		(2.41)	0.25+-0.49	0.10+-0.30		W. 0.14±0.5m
W58	X-13		(2.46)	0.25+-0.49	0.10+-0.12		W. 0.14±0.5m
W59	X-10 +1 X-20+10+15		(3.31)	0.18+-0.82	0.07+-0.19		W. 0.16±0.5m
W60	X-17+22		(2.74)	0.20+-0.96	0.11+-0.24		W. 0.16±0.5m
W61	V-24 X-1 +4+16 X-20		(3.40)	0.26+-1.53	0.11+-0.72		W. 0.16±0.5m
W62	V-25 X-1 +4+16 X-20		(2.63)	0.33+-0.96	0.08+-0.26		W. 0.16±0.5m
W63	V-25 X-1 +4+16 X-20		(2.63)	0.33+-0.96	0.08+-0.26		W. 0.16±0.5m
W64	V-25 X-1 +4+16 X-20		(2.63)	0.33+-0.96	0.08+-0.26		W. 0.16±0.5m
W65	X-20		(3.47)	0.28+-0.49	0.08+-0.17		W. 0.16±0.5m
W66	X-19+21		(3.03)	0.33+-0.96	0.08+-0.16		W. 0.16±0.5m
W67	V-15+20+25		(2.46)	0.20+-0.66	0.05+-0.64		W. 0.16±0.5m
W68	V-15+20+25		(2.46)	0.21+-0.62	0.05+-0.54		W. 0.16±0.5m
W69	V-13+15 V-14		(2.54)	0.24+-0.35	0.07+-0.28		W. 0.16±0.5m
W70	V-16		(2.76)	0.28+-0.91	0.10+-0.22		W. 0.16±0.5m
W71	V-15+20+25		(2.46)	0.20+-0.66	0.05+-0.64		W. 0.16±0.5m
W72	V-15+20+25		(2.46)	0.21+-0.62	0.05+-0.54		W. 0.16±0.5m
W73	V-15+20+25		(2.46)	0.21+-0.62	0.05+-0.54		W. 0.16±0.5m
W74	V-13+15 V-14		(2.54)	0.24+-0.35	0.07+-0.28		W. 0.16±0.5m
W75	V-16		(2.76)	0.28+-0.91	0.10+-0.22		W. 0.16±0.5m
W76	V-18		(2.46)	0.20+-0.66	0.05+-0.64		W. 0.16±0.5m
W77	V-15+16		(2.44)	0.22+-0.90	0.08+-0.20		W. 0.16±0.5m
W78	V-15+16		(2.44)	0.22+-0.90	0.08+-0.20		W. 0.16±0.5m
W79	V-19		(2.17)	0.29+-0.66	0.05+-0.08		W. 0.16±0.5m
W80	V-18		(2.46)	0.29+-0.83	0.05+-0.06		W. 0.16±0.5m
W81	V-19		(2.46)	0.26+-0.93	0.10+-0.13		W. 0.16±0.5m
W82	X-18+19+20		(1.46)	0.21+-0.48	0.08+-0.11		W. 0.16±0.5m
W83	X-14+15		(1.46)	0.27+-0.63	0.12		W. 0.16±0.5m
W84	X-19+1-2		(2.23)	0.21+-0.54	0.08+-0.12		W. 0.16±0.5m
W85	X-19+1-2		(2.23)	0.21+-0.54	0.08+-0.12		W. 0.16±0.5m
W86	X-19+1-2		(2.23)	0.21+-0.54	0.08+-0.12		W. 0.16±0.5m
W87	X-14+15		(1.46)	0.27+-0.63	0.12		W. 0.16±0.5m
W88	X-19+1-2		(2.23)	0.21+-0.54	0.08+-0.12		W. 0.16±0.5m
W89	X-19+1-2		(2.23)	0.21+-0.54	0.08+-0.12		W. 0.16±0.5m
W90	X-17+18+19+20		(1.46)	0.27+-0.68	0.11+-0.14		W. 0.16±0.5m
W91	X-19+1-2		(1.46)	0.29+-0.94	0.22+-0.46		W. 0.16±0.5m